

台東区

町会活動に関する意識調査

報告書

令和2年3月

台東区

目次

I 調査全体の概要

第1章 調査概要	2
1 調査目的	2
2 調査の実施概要	2
3 調査票の配布・回収結果	3
4 報告書の見方	2
第2章 区の概要	4
1 人口	4
（1）人口及び世帯数	4
（2）地区別人口	5
（3）年代別人口	6
2 地区及び町会	7

II 考察及び町会活性化に向けた提言

第1章 調査対象別の結果概要	10
1 町会役員	10
2 区民	14
3 マンション管理組合	19
第2章 町会加入促進及び活性化に関する考察及び提言	22
1 町会に対する意向及び町会活性化に関する課題や傾向	22
2 町会活性化に向けた提言	28
（1）町会活性化に向けた背景と前提	28
（2）町会での未加入者や参加活動者などの状況と理想像	29
（3）町会活性化に向けたステップ	29
（4）町会活性化に求められる取組や施策	30
（5）将来的な町会運営に向けて	34

III 町会役員向けの調査結果

1 回答者自身について	36
2 組織運営やコミュニケーション等について	39
3 町会活動や広報活動について	51
4 未加入者の加入促進について	56
5 集合住宅及び管理組合との連携について	66
6 外国人住民との関係について	77
7 町会運営に関する問題点について	84
8 町会の規模や再編等について	94
9 行政への要望について	98
10 その他	108

IV 区民向けの調査結果

1 回答者自身について	112
2 町会の加入について	127
3 町会の活動について	144
4 町会に対するイメージや問題について	156
5 町会役員について	159
6 その他	162

V マンション管理組合向けの調査結果

1 管理組合及びマンション等について	166
2 町会との関わりについて	177
3 その他	185

《参考資料》

(1) 外国人居住者向けの調査結果	194
(2) 町会役員向けアンケート調査票	201
(3) 区民向けアンケート調査票	207
(4) マンション管理組合向けアンケート調査票	211

I 調査全体の概要

第1章 調査概要

1 調査目的

近年、人口の流動、世帯構成や居住形態の変化などさまざまな要因により、コミュニティ意識の希薄化が進み、会員の減少や役員の高齢化などの課題に直面している。

そこで、町会の実態を把握するとともに、町会や活動に対する意識等を調査分析し、町会活動の活性化に向けた検討を進めていくための基礎資料とする。

2 調査の実施概要

- 調査地域 台東区全域
- 調査対象 ①町会役員 ②区民 ③マンション管理組合 ④外国人居住者
- 調査対象数（配布数）
 - ①町会役員 597 件
 - ②区民 7,614 件
 - 〔 無作為抽出した区民：5,984 件 〕
 - 〔 区内分譲マンション居住者：1,630 件 〕
 - ③マンション管理組合 1,573 件
 - ④外国人居住者 61 件
- 調査方法 書面によるアンケート調査の配布、郵送または WEB による回収
- 調査期間 令和元年 10 月 1 日～11 月 8 日
- 調査項目 下記参照

■調査対象と方法

調査対象	内容	配布方法	回収方法
①町会役員	全町会（199 町会）、各町会に 3 部配布 ※別途基礎調査も実施	地区町会連合会 を通じて配布	区民事務所等 へ提出
②区民	住民基本台帳から地区の人口比率により年代別に抽出した区民（世帯主）、及び各地区均一の戸数となるように抽出した区内分譲マンション居住の区民（世帯主）	郵送	郵送または WEB
③マンション管理組合	区内マンションの管理組合	郵送	郵送または WEB
④外国人居住者	区主催の事業参加者等	聞き取り等による	

■調査項目

①町会役員	②区民	③マンション管理組合
1. 回答者自身について 2. 組織運営やコミュニケーションについて 3. 町会活動や広報活動について 4. 未加入者の加入促進について 5. 集合住宅及び管理組合との連携について 6. 外国人住民との関係について 7. 町会運営に関する問題点について 8. 町会の規模や再編等について 9. 行政への要望について	1. 回答者自身について 2. 町会の加入について 3. 町会の活動について 4. 町会に対するイメージや問題について 5. 町会役員について 6. その他	1. 管理組合及びマンション等について 2. 町会との関わりについて 3. その他

3 調査票の配布・回収結果

調査対象及び全体の配布・回収結果は以下のとおりである。

■配布数及び回収数

調査対象	配布数	到達数	回収数	回収率
①町会役員	597	597	542	90.8%
②区民	7,614	7,515	2,181 (441)	29.0%
③マンション管理組合	1,573	1,356	356 (64)	26.3%
計	9,983	9,667	3,266	33.8%
④外国人居住者（参考）	61	—	61	—

※()は各項目のうち WEB による回答数（内数）。

※到達数は、配布した調査票のうち、宛先不明等による未達数を除いた数。

※回収率：回収数／到達数の割合としている。

4 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数点第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が 100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
図表中の数値表記は比率を表しており、単位（%）を省略している場合がある。
属性で回答がなかった選択肢について、クロス集計では該当項目を省略している場合がある。
設問で回答がなかった選択肢について、図表中の表記を省略している場合がある。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。
N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数
- (5) 統計数値を考察するにあたり、割合の表現を以下の表記としている。（一部これに準じていない場合もある）

数値の範囲	表記	数値の範囲	表記
0.0～0.4%	○割	6.5%～8.9%	○割近く（近い）
0.5～0.9%	ほぼ○割	9.0～9.4%	ほぼ○割
1.0～3.9%	○割を超え	9.5～9.9%	○割
4.0～6.4%	○割半ば		

第2章 区の概要

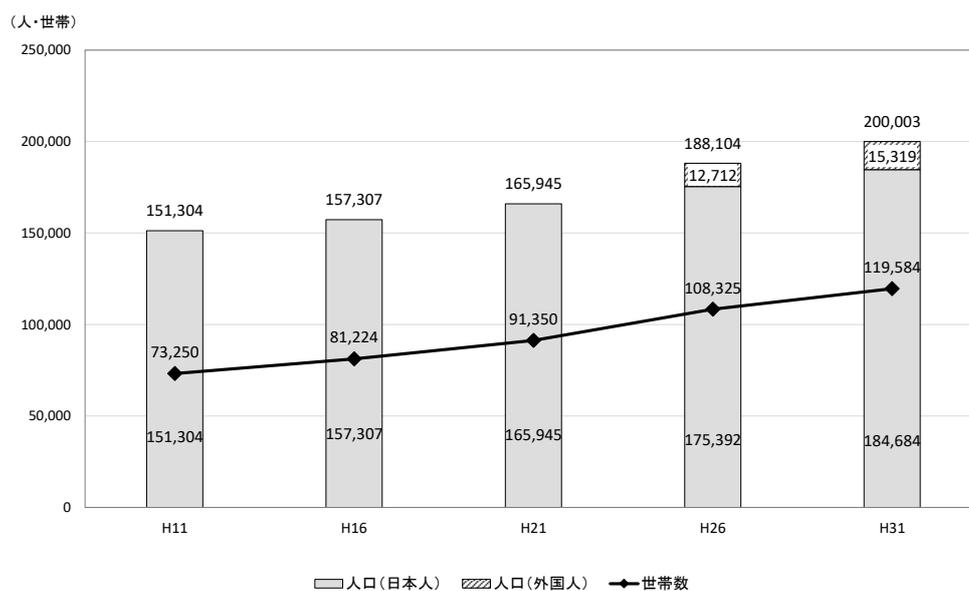
1 人口

(1) 人口及び世帯数

区の人口は、年々増加傾向にあり、平成31年4月では200,003人（住民基本台帳）となっている。そのうち、日本人184,684人、外国人15,319人と、日本人・外国人ともに増加している。

世帯数も増加傾向にあり、平成31年4月では119,584世帯となっている。1世帯あたりの人数をみると、平成11年では2.06人だったのに対し、平成31年は1.67人と減少していることがわかる。

人口及び世帯数の推移



※平成24年7月9日に外国人登録制度が廃止され、外国人も住民基本台帳に記載されるようになった。人口統計は、平成24年7月分までは日本人のみ、平成24年8月分以降は日本人と外国人を含む。

(参考)

	外国人登録者数	日本人・外国人合計
H11	6,517人	157,821人
H16	10,028人	167,335人
H21	11,947人	177,892人

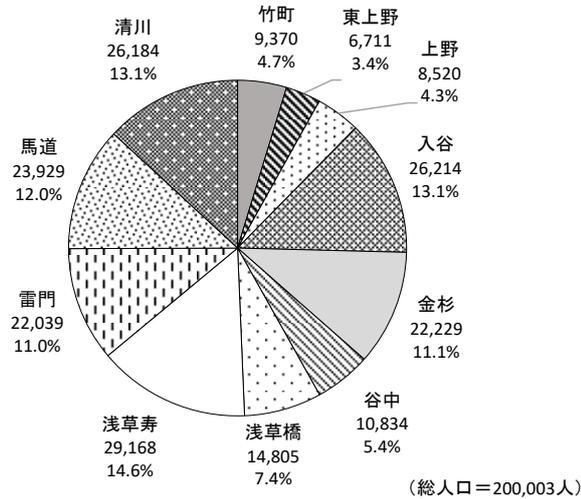
出典：住民基本台帳（各年4月）

(2) 地区別人口

区には11の地区があり、地区別人口をみると、浅草寿地区が最も多く29,168人、次いで、入谷地区が26,214人、清川地区が26,184人と続いている（平成31年4月住民基本台帳）。最も人口が少ない地区は、東上野地区で6,711人となっている。

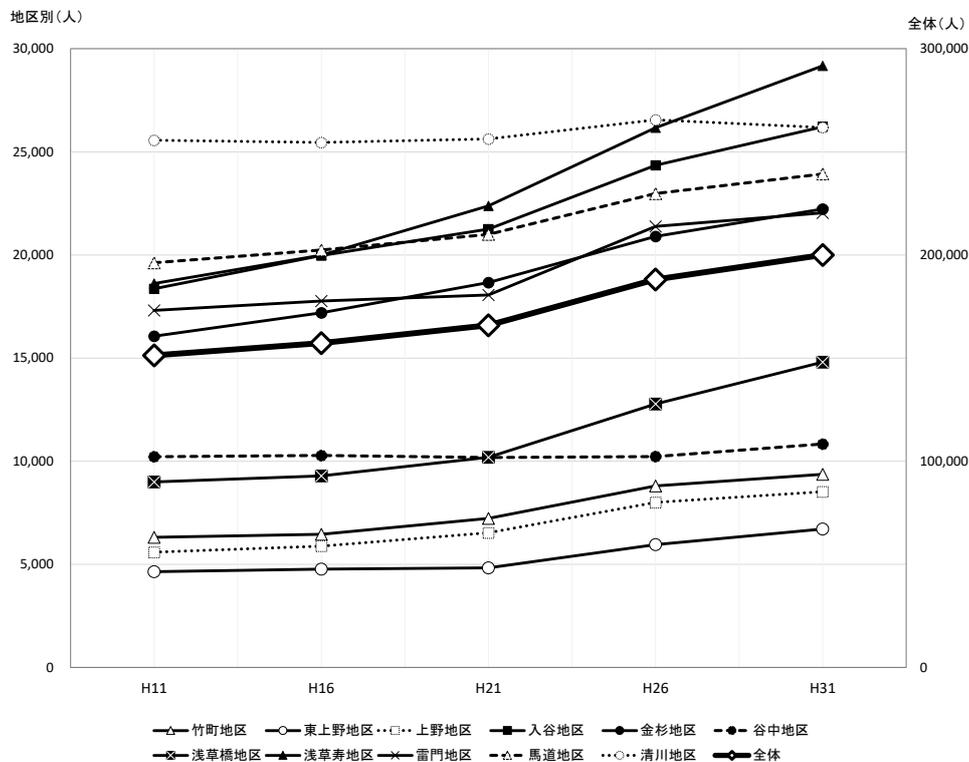
また、全体の人口は増加傾向にあり、特に直近10年（平成21年～平成31年）での増加率が高いことがわかる。

台東区の地区別人口（H31.4）



出典：住民基本台帳（平成31年4月）

地区別及び全体の人口の推移



出典：住民基本台帳（平成31年4月）

(3) 年代別人口

年代別人口をみると、日本人は40代が16.2%と最も多い。外国人は20代が2.3%と最も多く、外国人人口のほぼ3割を占める。(平成31年4月住民基本台帳)。

10歳ごとの年代別では、「40～49歳」が最も多く17.4%、次いで「30～39歳」が16.7%、「50～59歳」が13.1%と続いている。

地区別の年代別人口をみると、浅草橋地区は40代以下が67.7%と多い。一方、清川地区は60代以上が39.5%となっている。

日本人及び外国人の年代別人口と割合

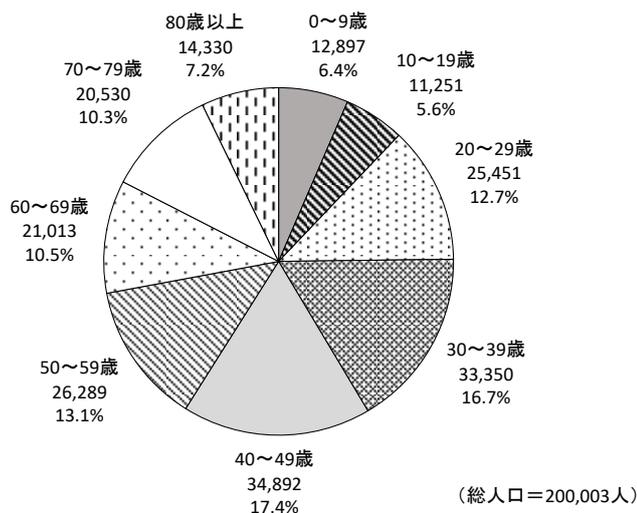
	日本人		外国人		総数	
	人口(人)	割合(%) ^{*2}	人口(人)	割合(%) ^{*2}	人口(人)	割合(%) ^{*2}
10代以下	22,482	11.2%	1,666	0.8%	24,148	12.1%
20代	20,754	10.4%	4,697	2.3%	25,451	12.7%
30代	29,704	14.9%	3,646	1.8%	33,350	16.7%
40代	32,421	16.2%	2,471	1.2%	34,892	17.4%
50代	24,591	12.3%	1,698	0.8%	26,289	13.1%
60代	20,263	10.1%	750	0.4%	21,013	10.5%
70代	20,266	10.1%	264	0.1%	20,530	10.3%
80代以上	14,203	7.1%	127	0.1%	14,330	7.2%
合計	184,684	92.3%	15,319	7.7%	^{*1} 200,003	100.0%

*1「全年代の合計値」

*2「割合」は、「全年代の合計値」を分母に算出

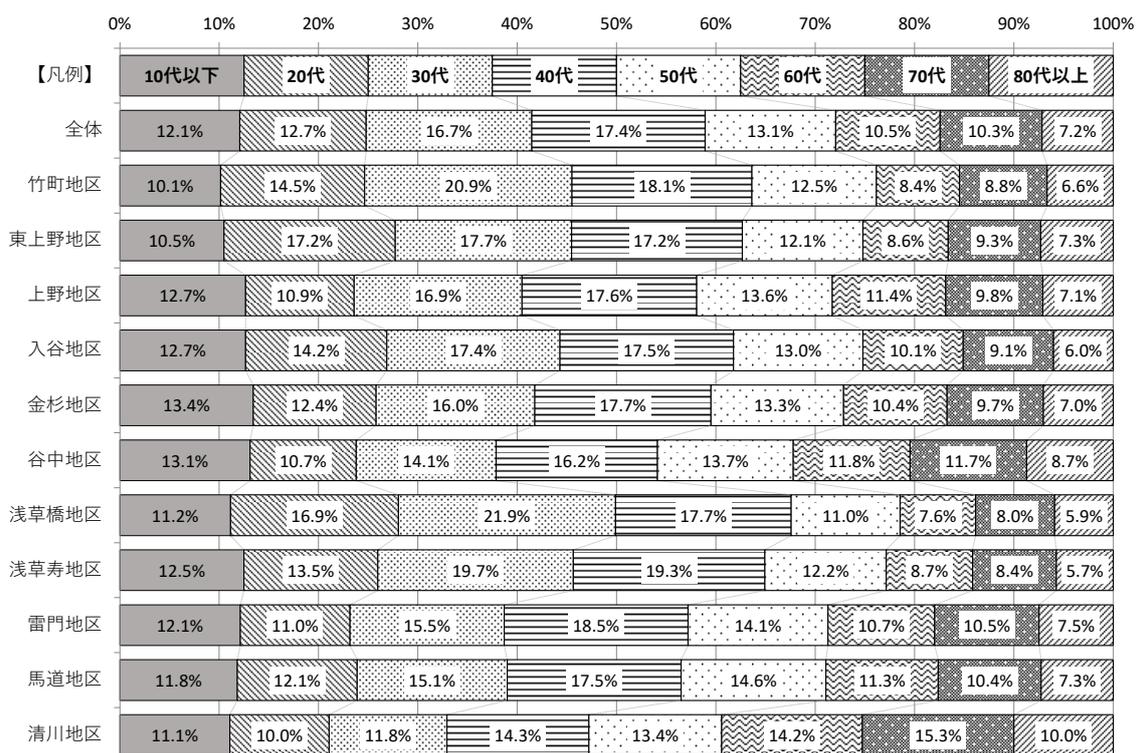
出典：住民基本台帳（平成31年4月）

台東区の年代別人口（H31.4）



出典：住民基本台帳（平成31年4月）

地区別及び全体の年代別人口の割合



出典：住民基本台帳（平成 31 年 4 月）

2 地区及び町会

区には現在 199 の町会があり、それらが 11 の地区に分かれて地区町会連合会を構成している。各地区の町会数は下表のとおりである。

■ 11 地区及び町会数

地区	町会数	地区	町会数
竹町地区	11 町会	浅草橋地区	13 町会
東上野地区	9 町会	浅草寿地区	28 町会
上野地区	21 町会	雷門地区	24 町会
入谷地区	19 町会	馬道地区	24 町会
金杉地区	14 町会	清川地区	22 町会
谷中地区	14 町会	合計	199 町会

Ⅱ 考察及び町会活性化に向けた提言

第1章 調査対象別の結果概要

1 町会役員

(1) 町会活動について

町会の活動状況は、7割半ばの町会が「活発である」と回答している。【図1-1】中でも、役員同士または役員と会員のコミュニケーションが良好な町会ほど活動が活発化している傾向にある。また、地域のニーズから事業を見直している町会ほど活動が大変活発との回答が増加する傾向にある。(Q3-1)

実施している活動で多いものは、「親睦交流のイベント」や「行政情報の周知」「防犯パトロール」「交通安全」「防災活動」となっている。(下表) その中でも「親睦交流のイベント」と「防災活動」については、まだ実施していない町会においても7割以上が必要性を感じており、既に実施している町会でも2割以上が今後力を入れていきたいとの意向となっている。

なお、「HPやSNSを使った情報発信」と「外国人住民との交流等」は実施している町会は多くないものの、そのうち3割以上は今後のさらなる取組の意向がみられる。

一方、「高齢者の見守り」や「子供の見守り」、「子育て支援」の活動は、実施している町会と実施していない町会がみられるが、今後の必要性が高い活動との認識がみられる。(Q3-2A, B) 【図1-2】

図1-1 町会の活動状況

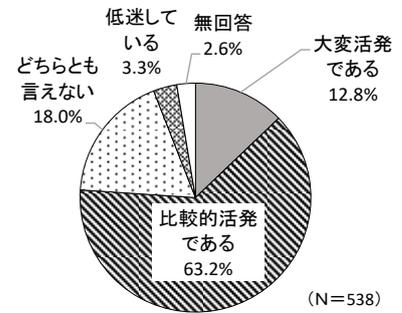
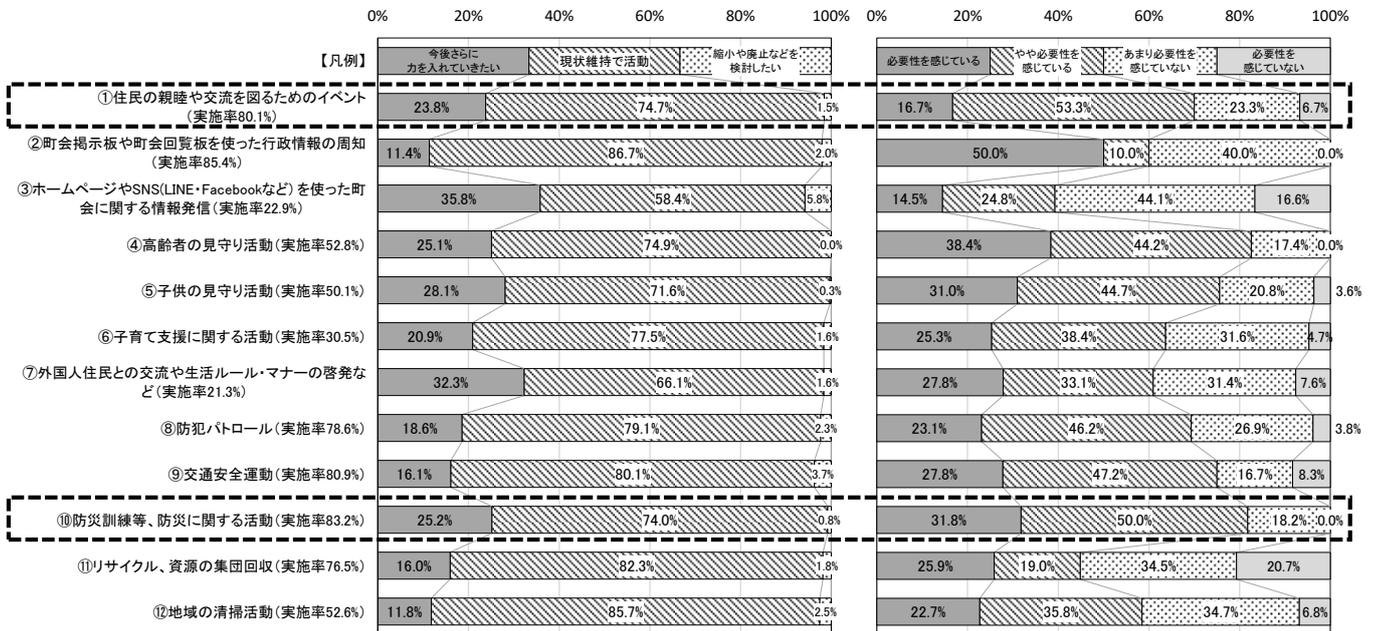


図1-2 A: 町会活動の今後の方向性 (実施している場合)

B: 町会活動の実施の必要性 (実施していない場合)



(2) 町会加入促進について

町会未加入者に対して8割以上が集合住宅への建築時からの協力依頼や管理組合への勧誘、お祭り時でのパンフレット配布などさまざまな取組を行っている。(Q4-1)

【図1-3】

一方で、約2割が加入の呼びかけの取組をしておらず、その理由としては、「未加入者と接点がない、どこにいるかわからない」が4割以上となっている。(Q4-2)

町会加入が進まない問題点としては、「町会のメリットが住民にとってわかりづらい」と「町会活動への理解が得られない」が上位にあげられており、加入を断られる理由でも「加入するメリットがない」があげられているとおり、町会活動をわかりやすく伝え、理解を得ていくことが求められる。(Q4-3、Q4-4)【図1-4】

なお、町会役員としては、「知り合いが増えるなどの地域でのつながり」「気軽に地域の催しに参加できること」さらには「防犯や防災など安心して暮らすことができること」が町会加入のメリットと感じている。(Q4-5)

図1-3 加入の呼びかけの取組状況

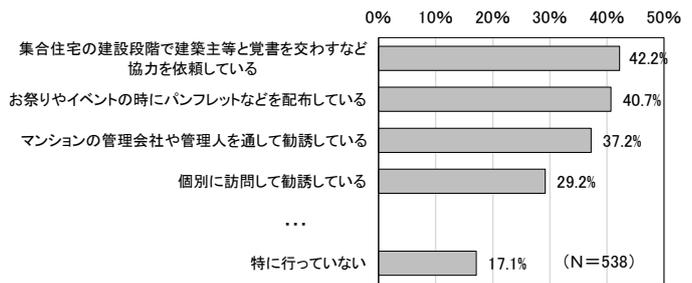
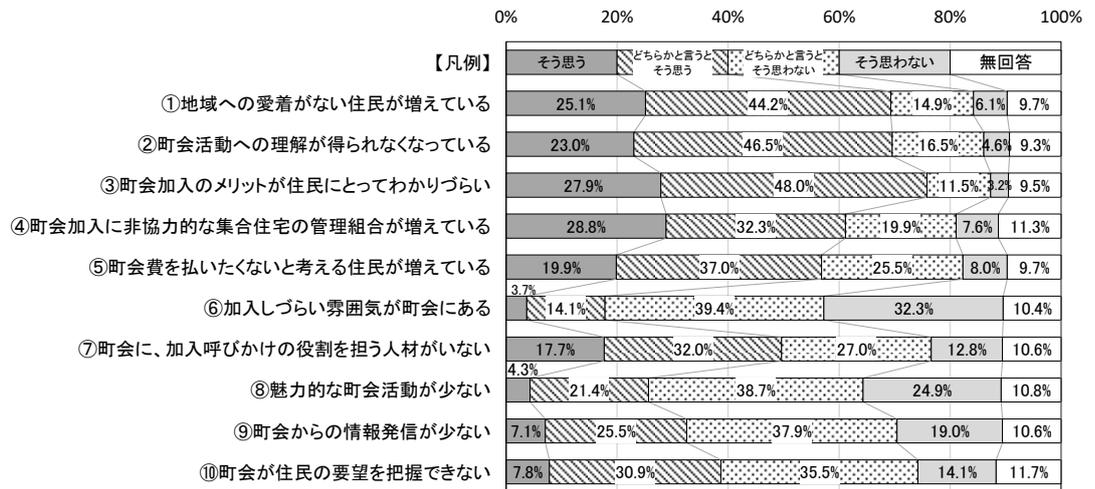


図1-4 加入が進まない問題点



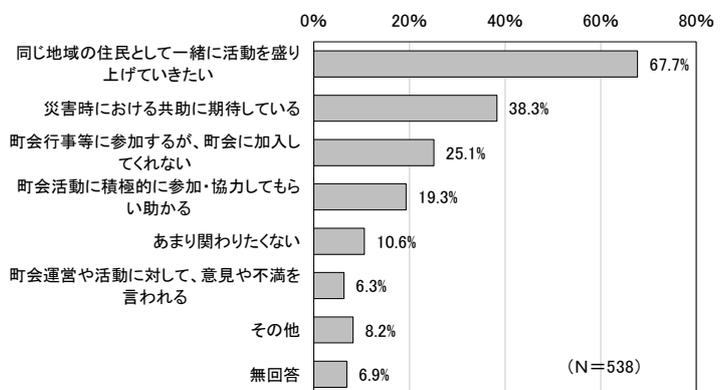
(3) 集合住宅との連携について

集合住宅の居住者に関して、町会役員としては「一緒に活動を盛り上げたい(67.7%)」や「災害時での共助への期待(38.3%)」など協力体制を築きたい意向が多くあげられている。(Q5-1)【図1-5】

また、集合住宅との連携の状況は、積極的な連携は多くないものの、連絡などのある程度の連携体制ができているとした回答は3割半ばで、5割近くは、きっかけがあれば連携したいとの意向を持っている。(Q5-2)【図1-6】

そのような中、町会未加入の集合住宅との連携として「町会行事への参加」や「町会の防災訓練への参加」は連携や受入の可能性があると6割近くが回答しており、その必要性を感じていることが伺える。(Q5-3)【図1-7】

図1-5 集合住宅の居住者への意向



特に、防災共助に関わる集合住宅との取組に関しては、取組予定の有無にかかわらず、8割以上の町会役員がその必要性を感じている。(Q5-4)

図1-6 集合住宅との連携の状況

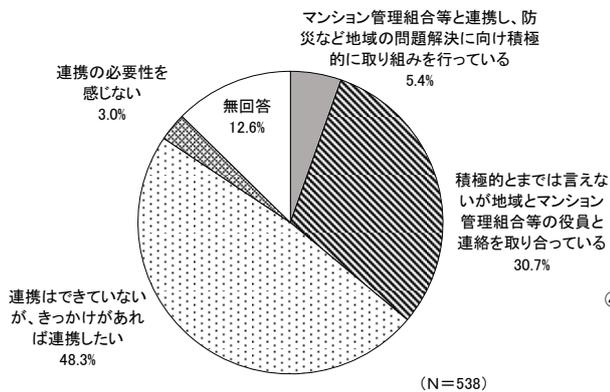
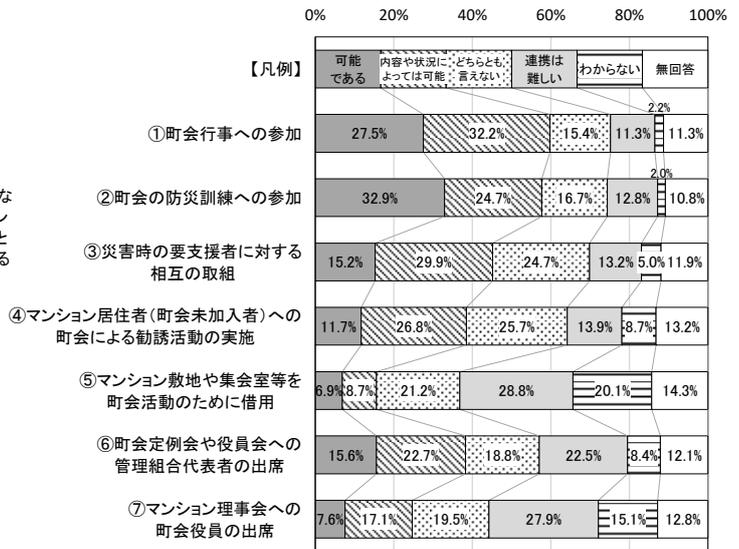


図1-7 町会未加入の管理組合との連携等の可能性

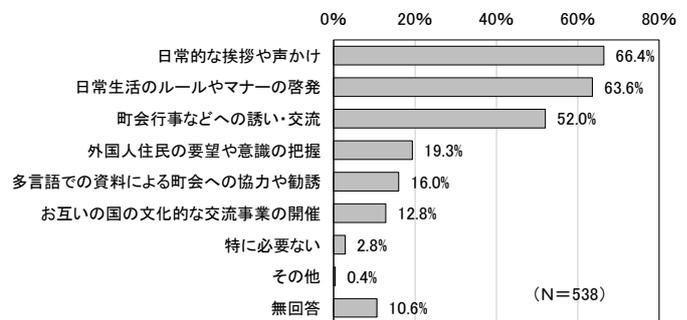


(4) 外国人住民について

地域に暮らす外国人の状況は、町会区域内に多くないとの回答が大半であるが、竹町地区や浅草橋地区では他の地区と比較すると多いと感じている傾向がある。一方で、外国人の町会加入は多くなく、勧誘があまり行われていない状況も要因の一つであると考えられる。(Q6-1~Q6-3)

外国人住民に関するトラブルは少ないながらもあることから、「日常的な挨拶や声かけ」や「日常生活のルールやマナーの啓発」などコミュニケーションとマナー等の周知を必要としている。これらの活動とあわせて、町会行事への参加や交流の機会づくり、多言語での町会パンフレットの作成などの取組の意向もあげられている。(Q6-6、Q6-7)【図1-8】

図1-8 外国人住民に対して今後町会が取り組むべきこと



(5) 町会の運営と活性化事業について

町会運営の問題点として、8割近くが「役員の高齢化や役員のなり手不足」と回答している。次いで、「現役世代の町会活動の従事者の不足」を6割近くが回答しており、町会運営の担い手不足が深刻な問題となっている。(Q7-3)【図1-9】

そのような町会が抱える問題の解決のため、町会として「町会事業に参加しやすい柔軟な対応」、「町会の意義や活動の情報発信」、「町会活動を知ってもらう機会の提供」の取組にそれぞれ4割以上の町会役員が必要性を感じている。

SNSなどによる新たな情報発信については全体では必要性は高くないものの、50代以下では関心が高い。(Q7-5)【図1-10】

図1-9 町会運営に関する問題点

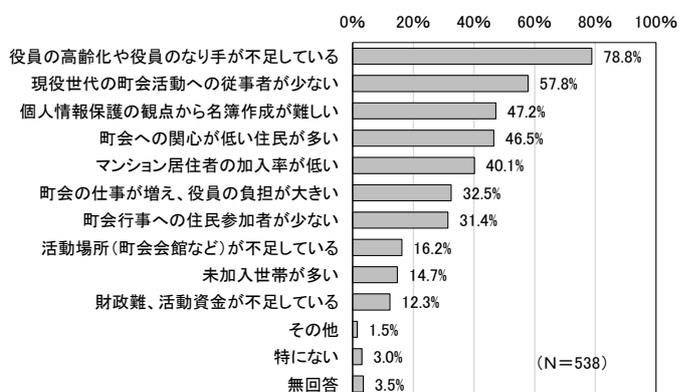
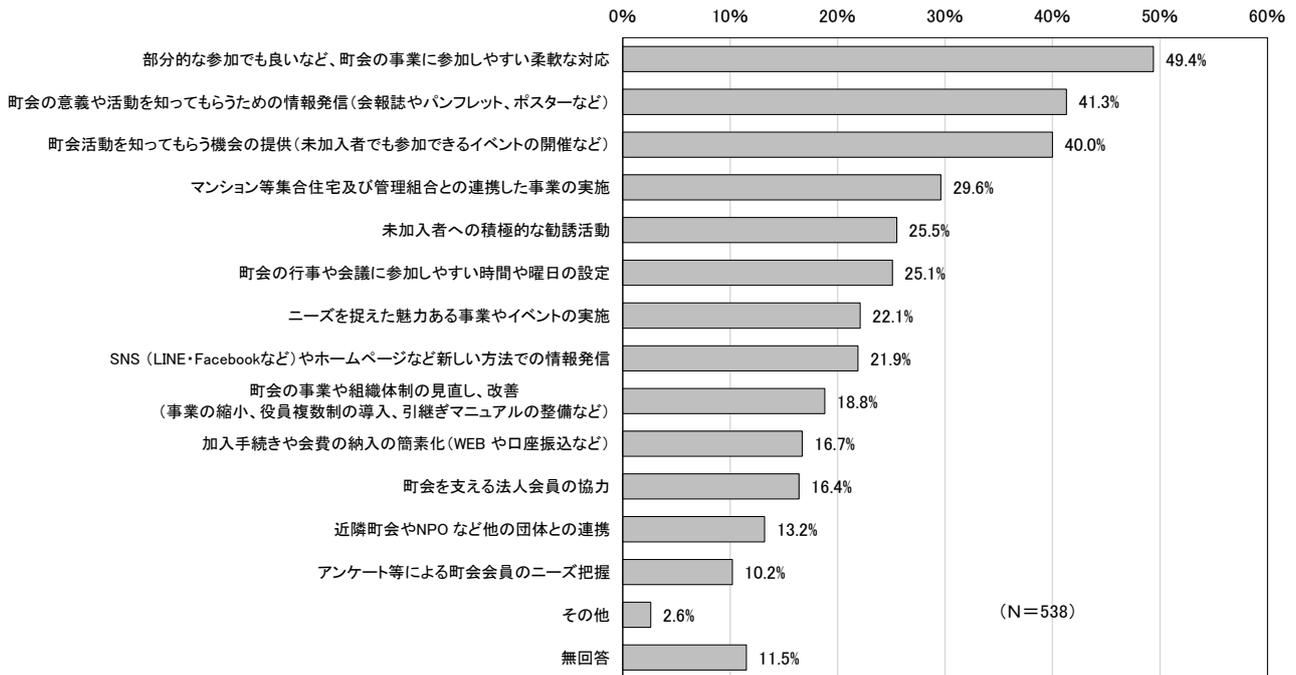


図1-10 町会が抱える課題の解決のために必要な取組



町会運営に関わる仕事の負担に関して、お祭りやイベントの負担が最も大きいと感じており、次いで、町会費の集金や行政からの依頼業務が負担になっている傾向がみられる。(Q2-3)

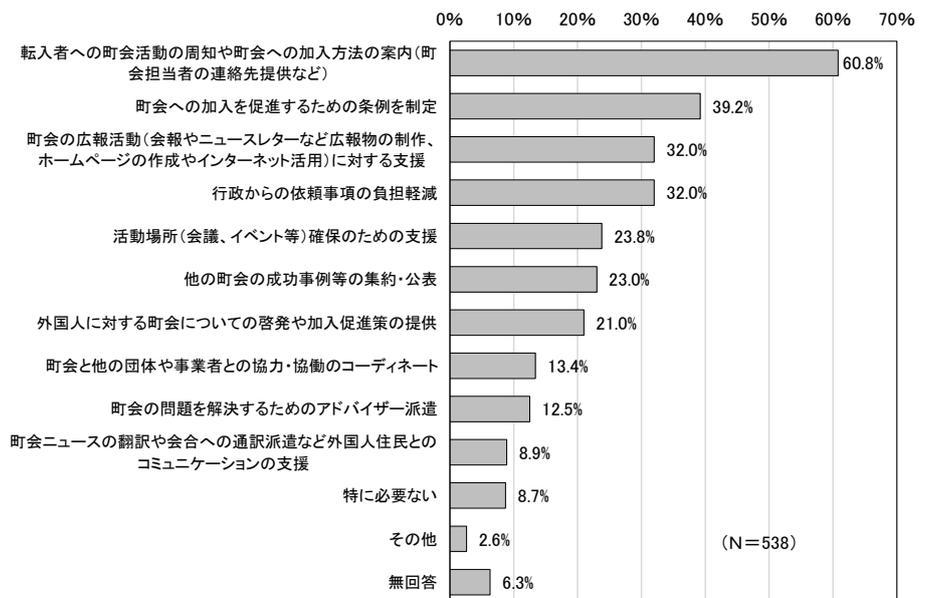
行政からの依頼業務では、「行事や会議への出席」及び「国勢調査員」に関して4割近くの町会役員が負担と回答しており、「回覧」も2割が負担と回答している。(Q9-1)

行政への期待としては、加入促進に関わる支援として「転入者への町会情報の発信」や「加入促進に関わる条例制定」が上位にあがっている。加えて、「町会自らの広報活動に対する支援」「行政からの依頼事項の軽減」も3割以上の回答となっている。

(Q9-2)【図1-11】

今後の町会活性化に向けた事業に対して、7割の町会役員が参加したい意向を示している。「行政に期待する施策や支援」に対する意向からみると、他の町会の成功事例の共有や町会の広報活動に対する支援などに興味がある傾向がみられる。(Q9-4)

図1-11 行政に期待する町会活性化に関する施策や支援



2 区民

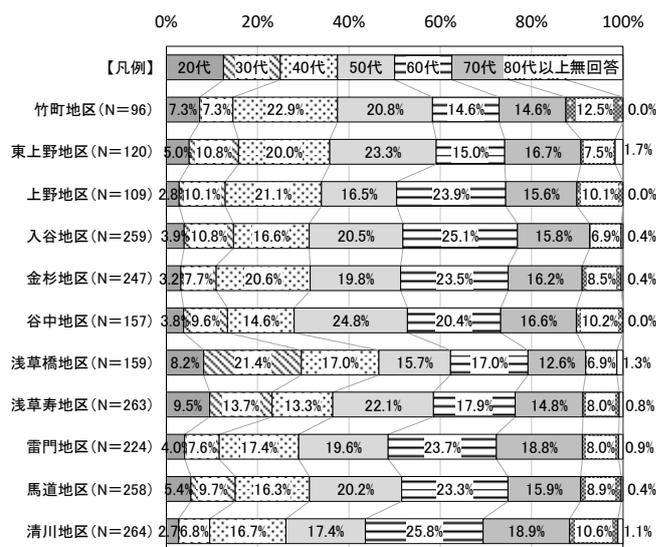
(1) 回答者属性と地区の特徴

回答者の年代は、20代及び30代、80代以上はやや回答が少ないが、いずれも100サンプル以上であり有効な回答数となっている。なお、地区別の回答数は、区の地区別人口の構成割合とほぼ同等の回答が得られている。

地区の特徴としては、浅草橋地区や浅草寿地区は20代及び30代の回答割合が多く、居住年数も5年未満の割合が多くなっている。また、住居形態も賃貸の集合住宅の占める割合が多い。賃貸の集合住宅に住む単身の若い世代が多い地区と言える。

一方、谷中地区は40代以下が3割未満で若い世代が少ない地区となっており、持家の戸建てが比較的多く、居住年数も長い区民が多い傾向がみられる。【図1-12】

図1-12 【地区別】年代内訳



(2) 地域に対する認識（愛着や問題意識）について

若い世代も含めたいずれの世代においても、地域への愛着や近所付き合いなどのつながりがある。年代や居住年数が高くなるほど愛着度や付き合い度合いが高く、また、戸建ての方が集合住宅よりも近所付き合いの度合いが高くなる傾向がみられる。

一方で、「40代以下」「居住年数が短い」「集合住宅居住者」であるほど、あいさつ程度の関係が大半で、交流やつながりが少ない状況であることがわかる。(Q1-2、Q1-3)【図1-13、図1-14】

図1-13 地域への愛着

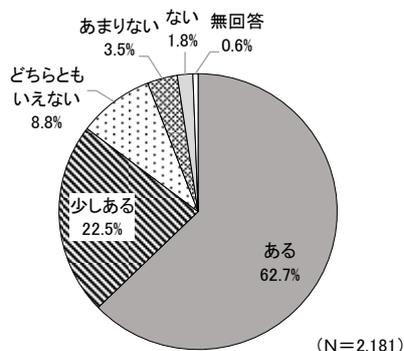
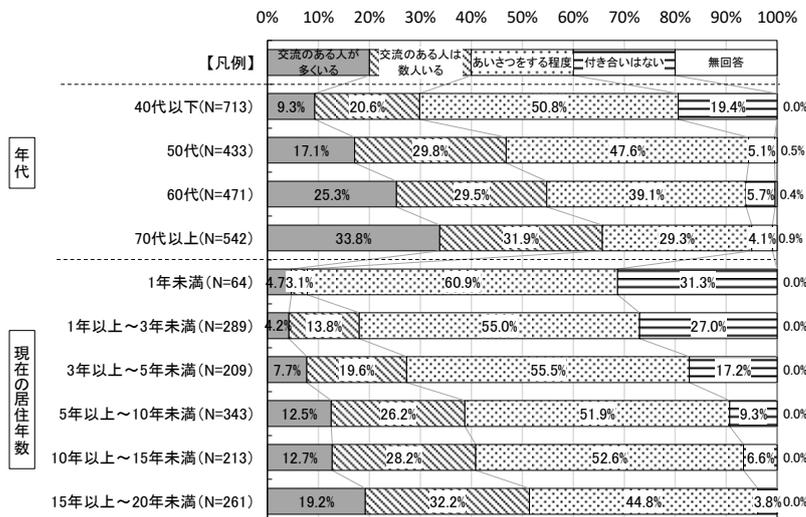


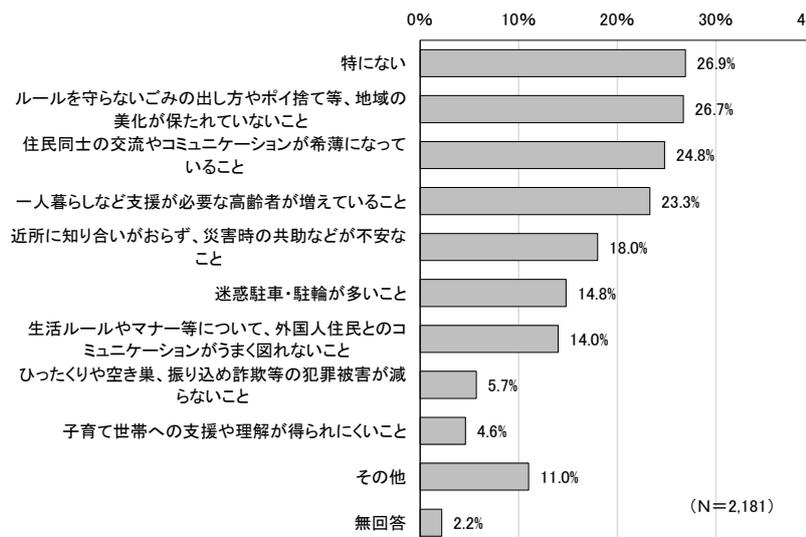
図1-14 近所付き合いの度合い



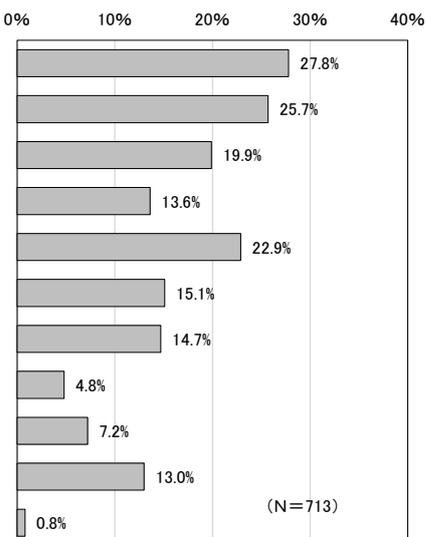
地域での心配事や問題として、ごみ出しルールやポイ捨て、住民同士のコミュニケーションの希薄化などが多くあげられている。

そのような中、40代以下の回答や集合住宅（持家・賃貸）、町会未加入の回答者は、近所付き合いの度合いが低いことから、「近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと」に対する問題意識が高い傾向にある。「災害時の共助」は若い世代や集合住宅の居住者に共通した関心事であると考えられる。(Q1-4)【図1-15】

図1-15 地域での心配事・問題点(全体)



地域での心配事・問題点(40代以下)



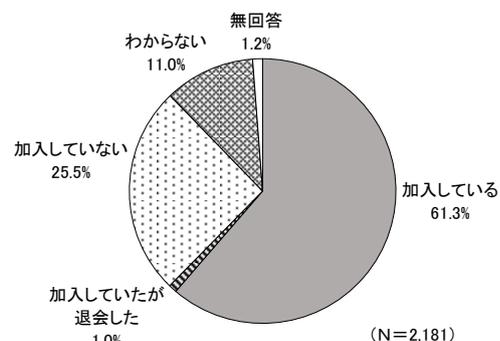
(3) 町会の加入について

町会加入状況は、「加入している」が61.3%、「加入していない(「退会した」も含める)」が26.5%となっている。

(Q2-1)【図1-16】

加入していない理由としては、「加入するきっかけがない」が4割半ば、「就業状況により活動に参加できないから」と「町会の活動がわからない」がそれぞれ3割近くとなっている。特に、若い世代に関しては、日常的な近所付き合いや地域との関わりが少ないことから、町会や地域との接点が少ないため加入につながっていないことが要因となっていると言える。(Q2-5)【図1-17】

図1-16 町会への加入状況



一方、町会加入の条件等では、「加入しやすい雰囲気

(29.6%)」や「活動内容がわかる情報発信(26.0%)」、さらには「行事などを通した町会の雰囲気を知る機会(19.7%)」、「ライフスタイルに配慮された参加(19.2%)」などがあげられている。(Q2-7)【図1-18】

また、町会加入者の退会の理由として、「メリットがわからないこと」や「何をしているのかわからないこと」があげられている。

図1-17 町会に加入していない理由(上位のみ)

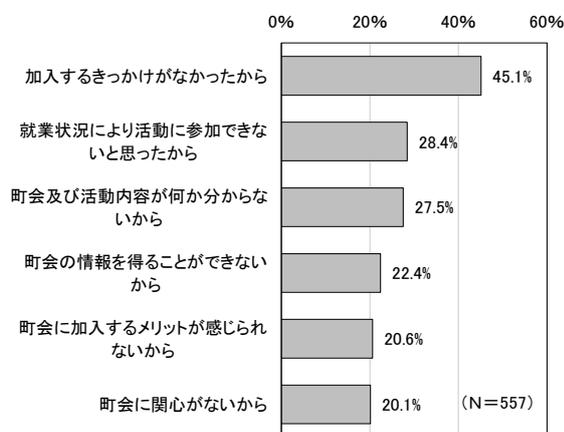
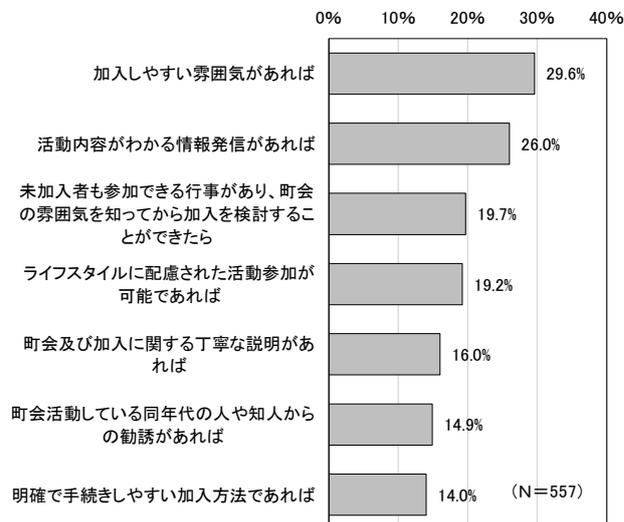


図1-18 町会に加入するための状況や条件(上位のみ)



そのため、若い世代や未加入者、また加入者に対しても、そのアプローチとして、積極的な『きっかけづくり』と町会の意義と活動等の『情報発信』が重要であると言える。加えて、『気軽な参加ができる雰囲気』や、仕事がある中でも『参加できる配慮』など町会側での工夫も重要であると言える。

(4) 町会活動について

町会に対して求める活動は、全体では「防犯パトロール」や「高齢者の見守り活動」、「子供の見守り活動」がそれぞれ3割以上と上位を占めているが、年代によってそのニーズや度合いは異なっている。

40代以下の若い世代では、「子供の見守り活動」と「子育て支援に関する活動」へのニーズが高い。また、50代以上になると、「高齢者の見守り活動」へのニーズが高くなっていることから、自身に近い世代の課題解決が求められている。

「ホームページやSNSでの情報発信」に関しては50代以下で2割以上の一定のニーズが見られ、積極的な取組が期待されている。(Q3-1(1))【図1-19】

町会活動への参加経験が「ない」回答者が6割半ばであり、町会に加入していても半数が活動に参加したことがない状況である。(Q3-2)【図1-20】

参加経験がない人の活動参加の条件としては、「気軽な参加」が4割近く、「都合のつく開催日時」や「できる範囲等での参加」、「楽しそうな活動内容」がそれぞれ3割となっている。その中でも、特に40代以下の若い世代では「楽しそうな活動内容」も重要な要素として上位にあげられている。(Q3-4)【図1-21】

図1-20 町会活動への参加経験

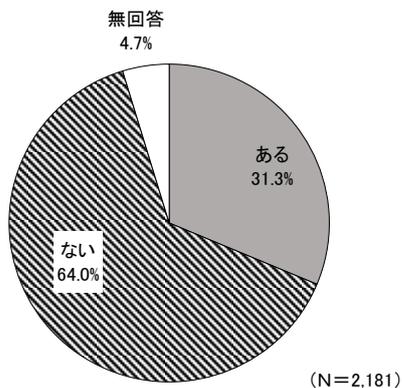


図1-19 特に力を入れてほしい町会活動

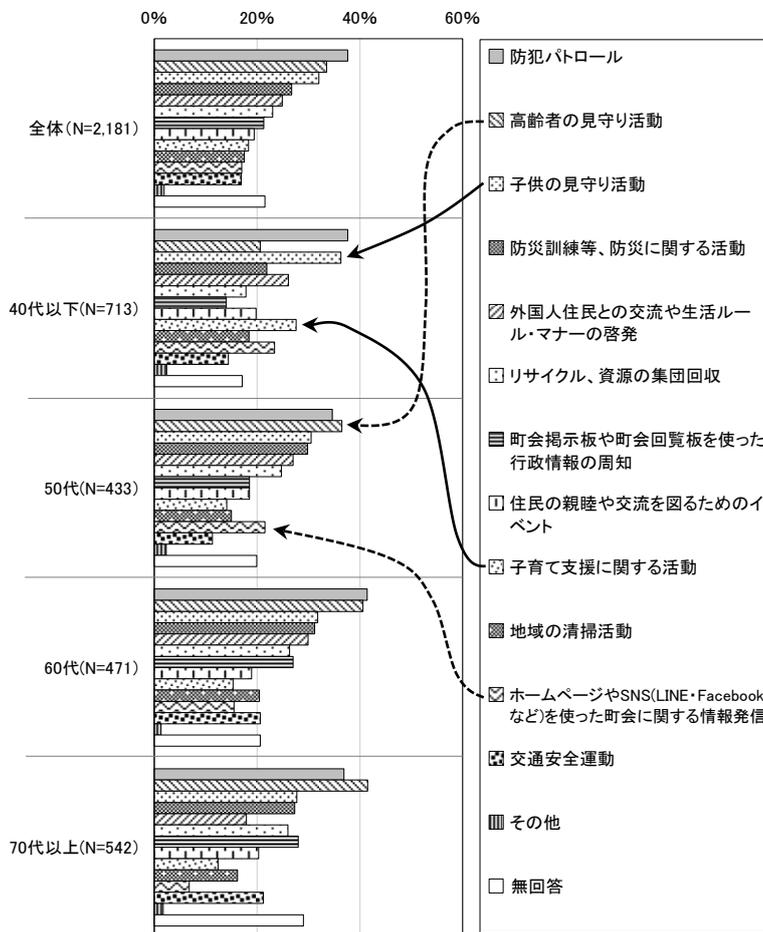
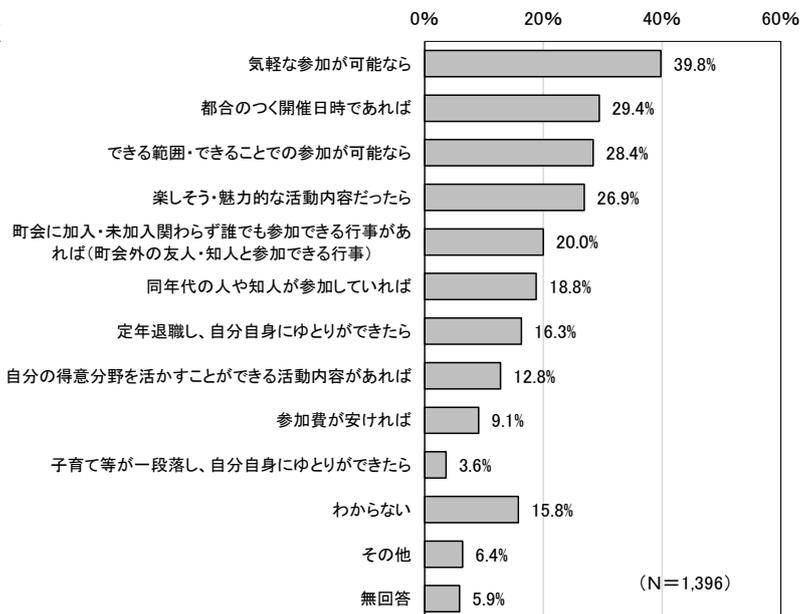


図1-21 町会活動に参加するための条件等



町会活動の満足度・重要度をみると、加入している（していた）回答者の満足度として、「リサイクル、資源の集団回収」と「回覧板等の行政情報の周知」はほぼ4割が満足している。また、「親睦交流のイベント」や「防犯パトロール」、「交通安全」、「防災活動」も3割以上の満足度と高くなっている。

一方、加入していない回答者の活動に対する重要度では、「防犯パトロール」や「防災活動」、「子供の見守り活動」が6割を超えている。（Q3-5(A)(B)）【図1-22】

町会に加入している回答者の活動の満足度と、加入していない回答者の活動の重要度を点数化してみると、「子供の見守り活動」「子育て支援の活動」「高齢者の見守り活動」「外国人住民へのマナー啓発等」は、加入者の満足度が低く、また、未加入者の重要度が高い活動となっている。【図1-23】

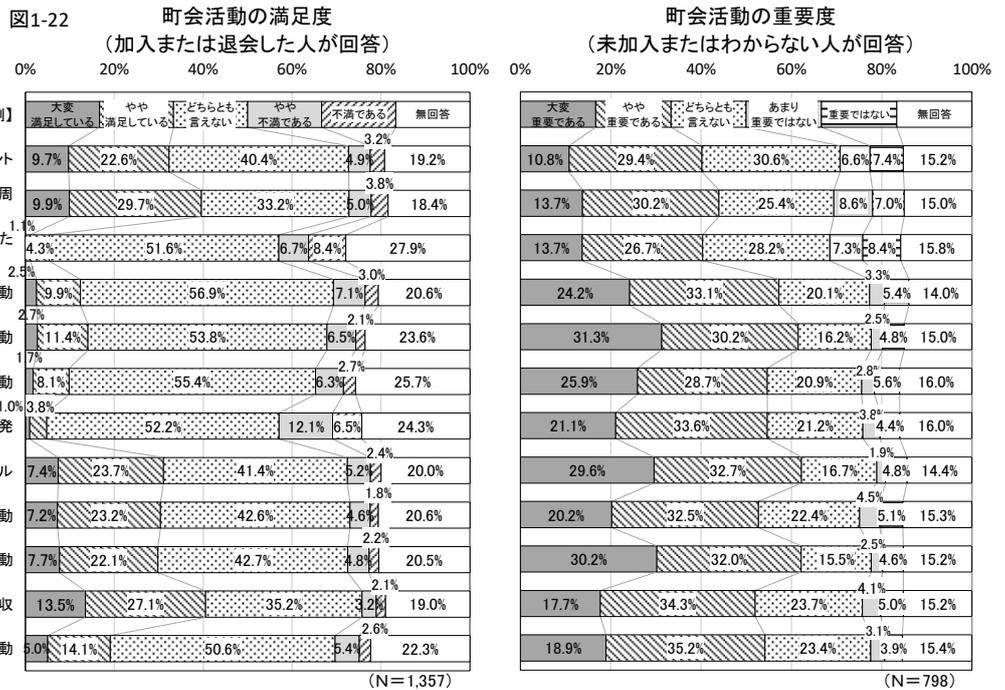
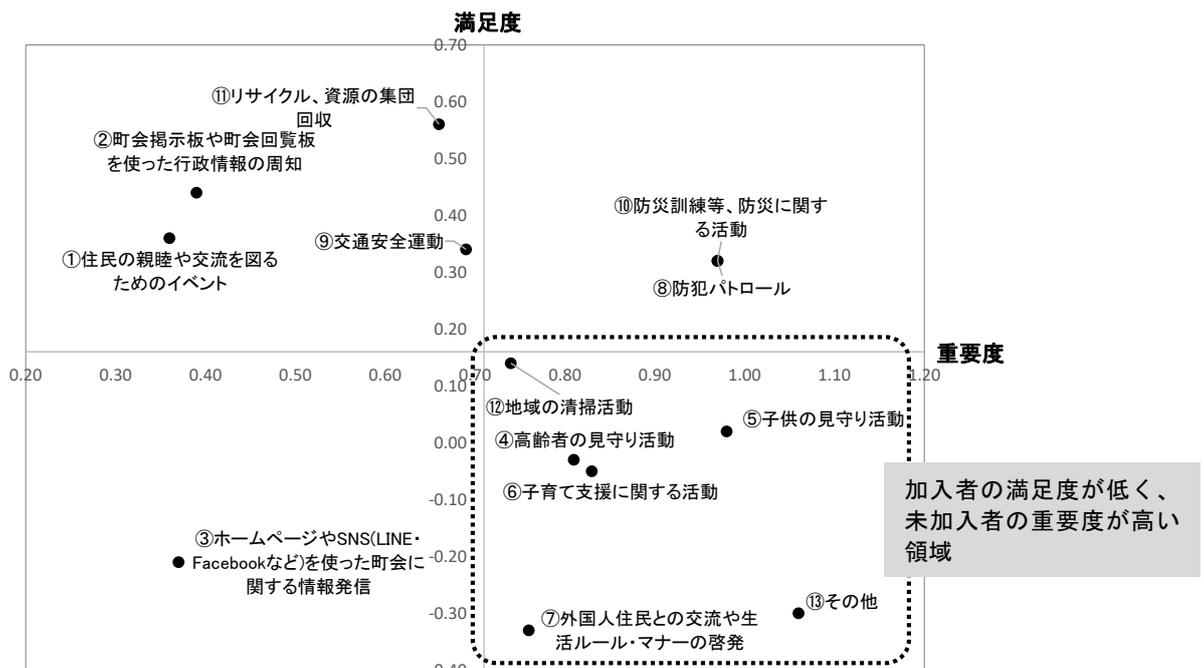


図1-23 町会活動に対する満足度・重要度



※「満足度」は町会に加入している人または加入していたが脱会した人、「重要度」は加入していない人またはわからない人がそれぞれ回答。

※「満足度」及び「重要度」の回答を5段階で点数化し、その平均値についてグラフ化している。

(大変満足・大変重要:2点、満足・重要:1点、どちらとも言えない:0点、やや不満・あまり重要でない:-1点、不満・重要でない:-2点)

※グラフの軸は「満足度」及び「重要度」それぞれの全項目の平均値としている。

(5) 町会に対するイメージや問題意識について

町会加入の有無にかかわらず、町会に対するイメージとして「地域の絆」や「地域の安全・安心」に対する認識がされている傾向にある。(Q4-1)【図 1-24】

町会活動の問題点としては、「若い世代などが参加しにくいこと」及び「会員の高齢化」が約 4 割、「特定の会員しか活動に関わらないこと」と「活動内容がわかりづらい」が約 3 割であげられており、運営面での『参加しづらさ』や『活動のわかりづらさ』が大きな問題と認識されている。

中でも、40 代以下では 6 割近くが「若い世代などが参加しにくい」、3 割半ばが「役割や当番が負担である」をあげており、現状の町会運営や活動の方法が、仕事を持っている人が参加しづらい状況であるということがわかる。(Q4-2)【図 1-25】

図1-24 町会のイメージ

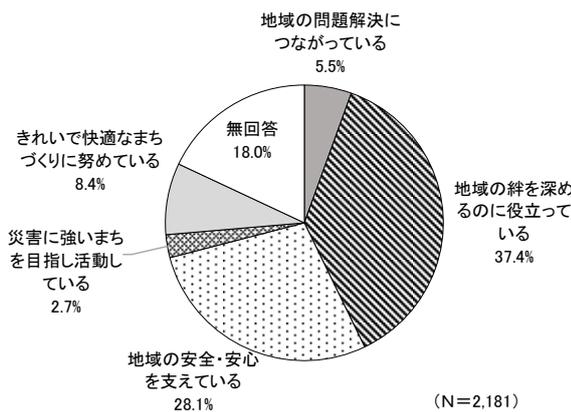
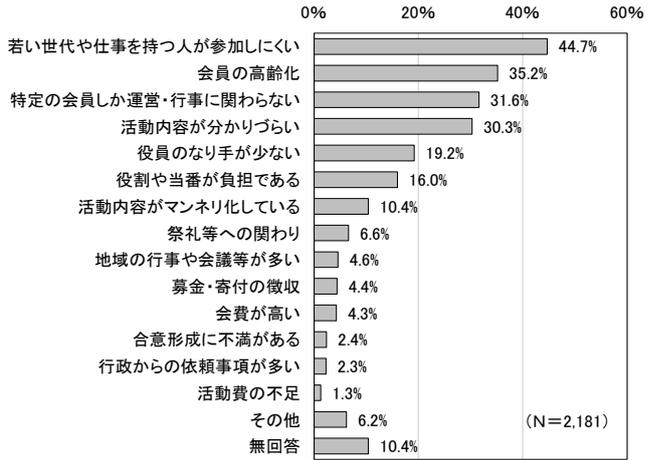


図1-25 町会活動の問題点



(6) 町会の運営や役員について

町会役員の依頼を受けた場合、7 割近くが「引き受けたくない」という意向である中、「引き受ける」と回答した人が 3.5%と少ないながらも引き受ける意向を持っている人がいる。さらに、「内容や条件によって引き受ける」を含めると 13.7%と 7 人に 1 人、「どちらも言えない」を含めると 25.8%と 4 人に 1 人が引き受ける潜在的な可能性を示す結果となっている。【図 1-26】

引き受ける条件として、「ライフスタイルに配慮された仕事の分担」や「仕事の負担の軽減」、「仕事内容が明確」、「決まった任期」が求められている。(Q5-1、Q5-2)【図 1-27】

図1-26 町会役員の引き受け意向

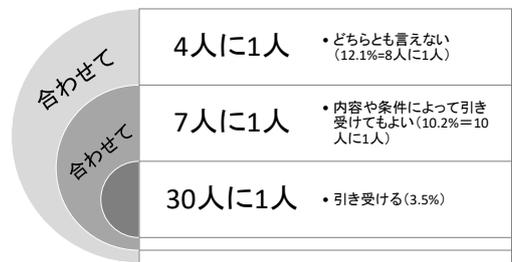
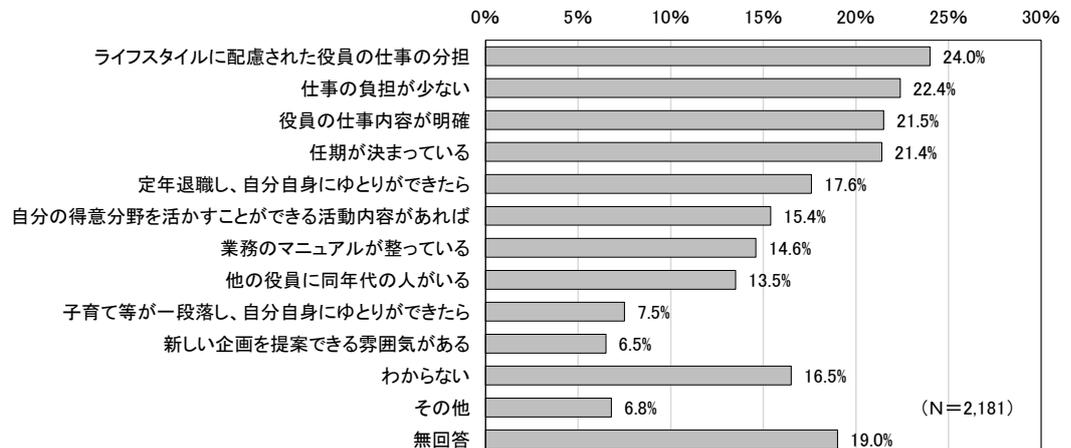


図1-27 町会役員を引き受けるときの条件等



3 マンション管理組合

(1) 町会への加入について

本調査の回答数 356 件のうち、「マンション全体で加入」が 73.3%、「居住者が個別に加入」が 14.3%、「未加入」は 5.1%である。(Q1-2)【図 1-28】

マンション全体で加入している管理組合の半数以上が、「地域や行政の情報が手に入りやすい」「防犯・防災、福祉など安心して暮らすことができる」と感じている。一方、加入しているものの「町会との関わりが少ない」との回答も半数近くあげられている。(Q1-3)

管理組合からみて、マンション居住者が加入しないと思われる理由は「町会加入のメリットがわかりづらいこと」が最も多くあげられた。(Q2-4)【図 1-29】

図1-28 町会の加入状況

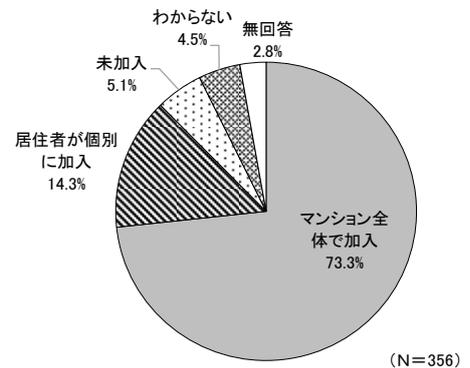
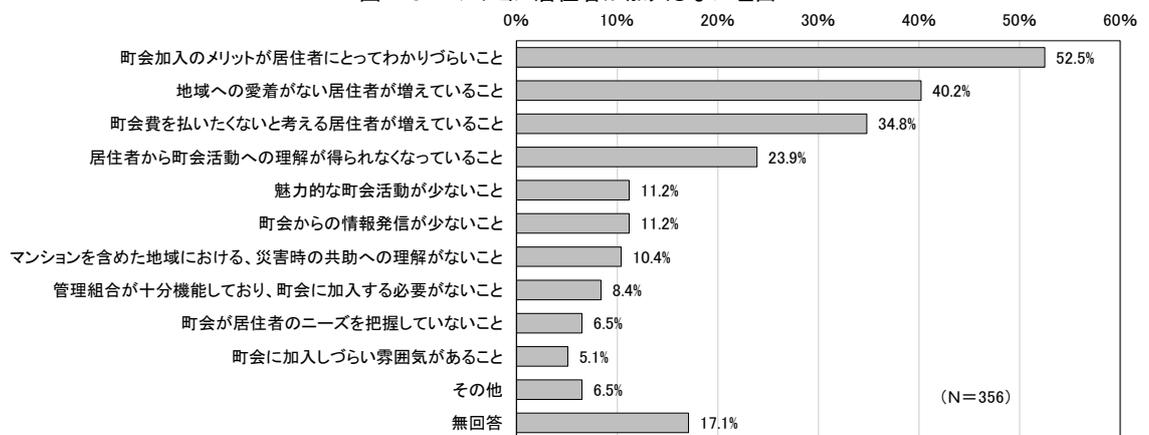


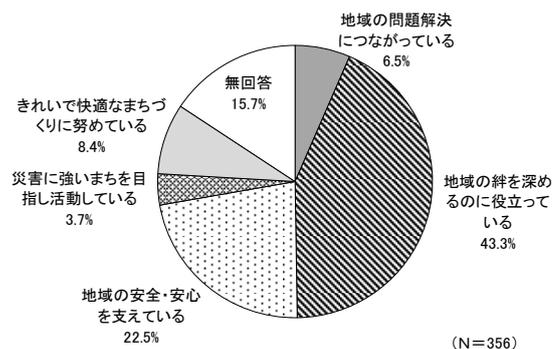
図1-29 マンション居住者が加入しない理由



(2) 町会に対するイメージや問題意識について

町会との関わりの有無にかかわらず、町会に対するイメージとして「地域の絆」や「地域の安全・安心」が大きく認識されている。(Q2-3)【図 1-30】

図1-30 町会のイメージ

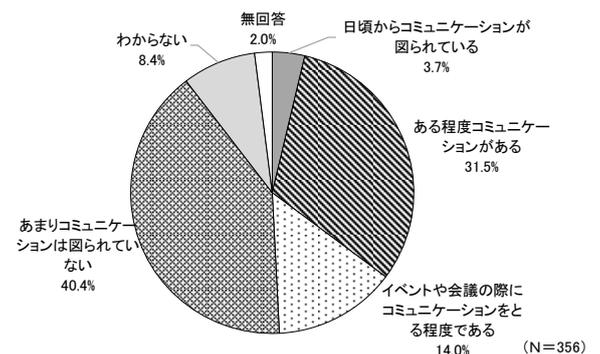


(3) マンション内のコミュニケーションについて

マンションの居住者同士のコミュニケーションは、「日頃からコミュニケーションが図られている」と「ある程度コミュニケーションがある」を合わせた割合は 3 割半ばとなっている一方で、4 割が「あまりコミュニケーションが図られていない」と捉えている。【図 1-31】

10 戸未満のマンションでは 5 割近くはコミュニケーションが図られていないと回答しており、総戸数が多くなるにつれて、イベントや会議でのコミュニケー

図1-31 マンション居住者同士のコミュニケーション



ションが多くなる傾向にある。

住居形態では、分譲ではある程度コミュニケーションがあるものの、賃貸では6割以上はコミュニケーションがない状況となっている。

マンションの町会への加入状況では、町会に加入しているマンションほど、マンション内のコミュニケーションが図られている傾向がみられる。これはマンション内のコミュニケーションの度合いが高いと町会加入につながる、もしくは町会に加入することでマンション内のコミュニケーションに寄与しているという相乗効果があるのではないかと推測される。(Q3-1)

(4) 町会との関わり及び町会活動について

管理組合と町会との関わり度合いは、「あまり関わりはない」「ほとんど関わりはない」を合わせると半数を超えている。【図 1-32】区実施の「台東区民の意識調査」においても、町会に加入していても関わりがない傾向がみられたが、同様の傾向がマンションでもみられた。

地区によってさまざまであるが、町会役員がマンションにいる場合は関わりが強く、全体で町会に加入しているマンションではある程度関わりが図られている傾向がみられる。その内容としては、「町会行事の準備や実施への協力」が6割を超えている。(Q2-1、Q2-2)【図 1-33】

図1-32 管理組合と町会の関わり度合い

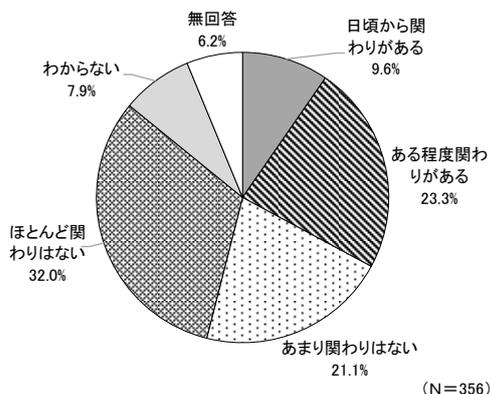
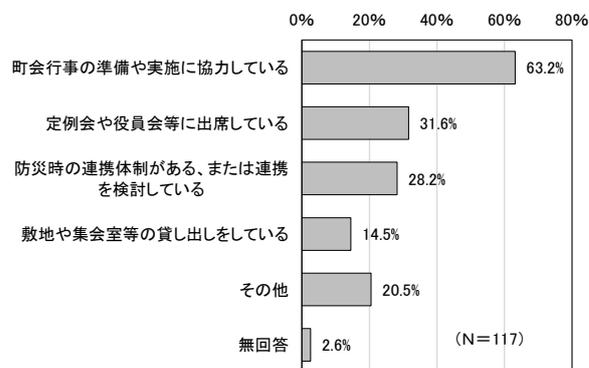
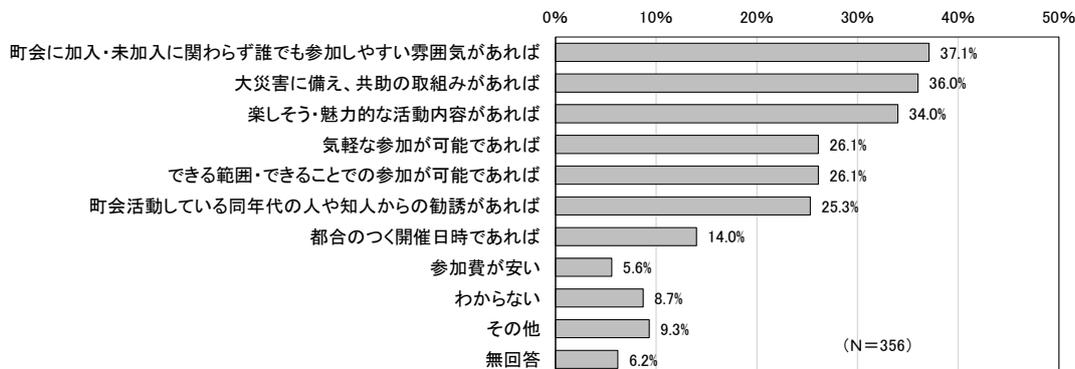


図1-33 町会との関わり方



マンション居住者の町会活動への参加を増やすための条件等として、「誰でも参加しやすい雰囲気」や「防災共助の取組」、「楽しそうな活動内容」と3割以上で考えられており、区民の活動参加の条件と同様の傾向に加えて、「防災共助の取組」があがっている。(Q2-5)【図 1-34】

図1-34 マンション居住者の町会活動への参加を増やすための条件等



(5) 町会との協力や連携、防災共助について

個別に加入もしくは未加入のマンション管理組合では、管理組合としての町会への協力の可能性として、「町会行事への参加」が5割を超えている。また、「災害時の要支援者への相互の取組」や「町会の防災訓練の参加」も4割以上が回答しており、防災共助の意識が高いことが伺える。(Q1-5)【図 1-35】

一方、町会からの町会のPRや声かけのためのマンション理事会等への参加希望に対しては、「内容によって可能」や「理事や居住者の承諾があれば可能」も含めると7割以上が可能であるとの意向を示している。特に総戸数が多いマンションや町会役員がいるマンションでは、高い割合で可能性があると傾向がある。(Q2-6)【図1-36】

マンション管理組合として、現状は町会との関わりは少ないが、町会行事や防災共助などを通じた関わり、さらには町会活動の受入の意向があることがわかる。

図1-35 管理組合としての町会への協力の可能性

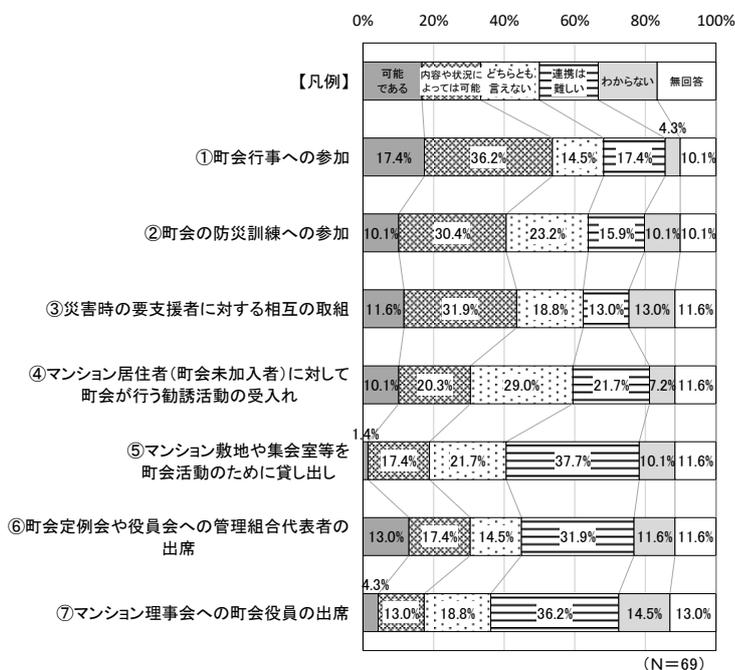
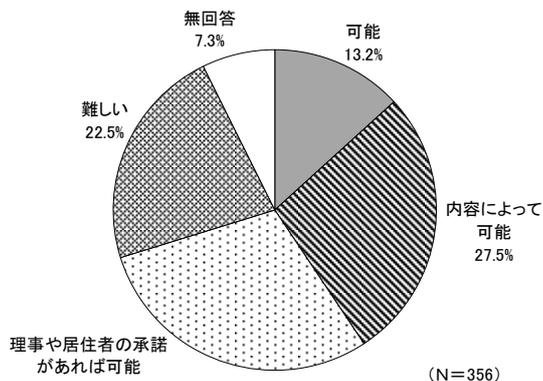


図1-36 町会のPRや声かけのためのマンション理事会等への参加の受入の可能性



特に、町会との『防災共助の取組』に関しては、その必要性は認識されており8割の管理組合が必要であると回答している。その中で、既に取り組んでいるマンション管理組合は1割弱と少なく、必要性を感じながらも取り組めていない管理組合が7割近くを占めている。具体的な取組としては、「近隣住民同士での連携」や「町会との合同防災訓練」、「要支援者情報の共有」への必要性を感じている。(Q3-2、Q3-4(1))【図1-37、図1-38】

図1-37 町会との防災共助の取組の状況

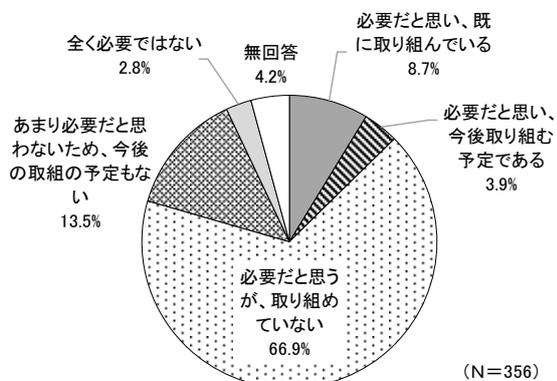
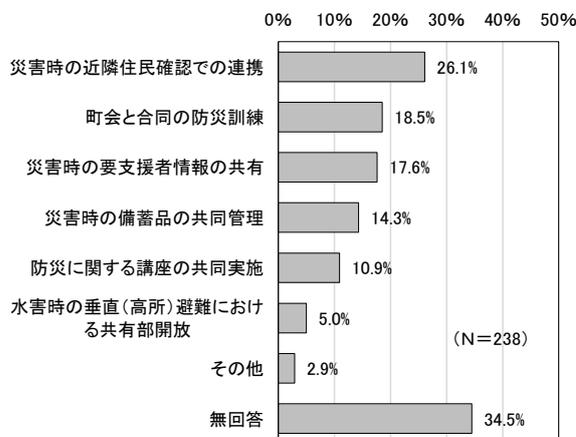


図1-38 必要だと思う防災共助の取組

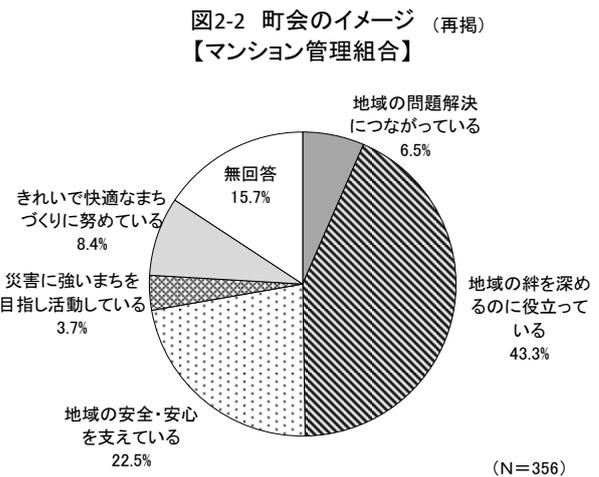
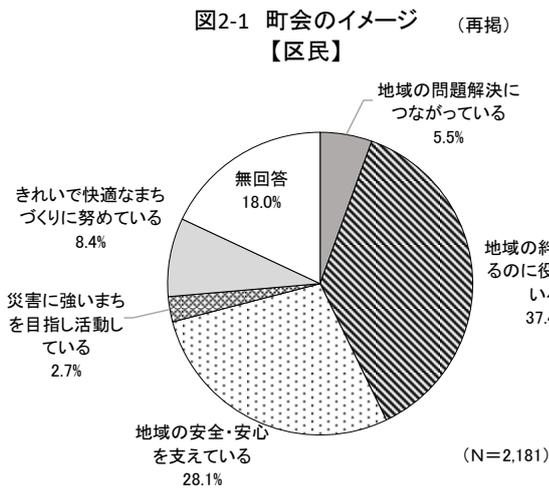


第2章 町会加入促進及び活性化に関する考察及び提言

1 町会に対する意向及び町会活性化に関する課題や傾向

(1) 町会のイメージについて

区民及びマンション管理組合が持つ町会のイメージとして、「地域の絆を深めるのに役立っている」と「地域の安全・安心を支えている」という認識が大きな割合を占めている。(区民 Q4-1、管理組合 Q2-3)【図 2-1、図 2-2】これらは地域コミュニティの基盤として重要な要素である。

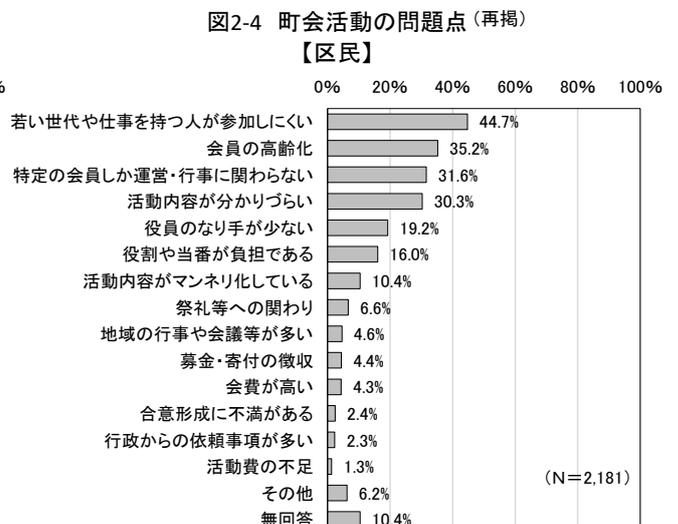
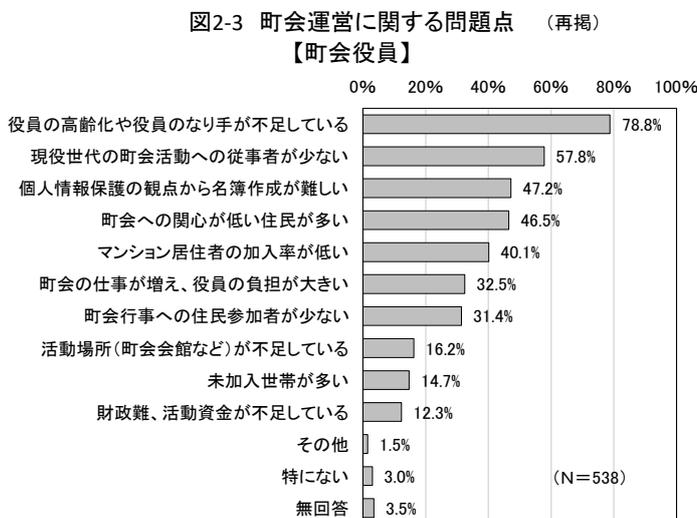


(2) 町会活動及び運営に関する問題点について

町会運営において「役員の高齢化や役員のなり手不足」が大きな課題となっている。その要因として考えられる「現役世代の活動への関わりの少なさ」も町会役員意識では問題点として捉えられている。(町会 Q7-3)【図 2-3】

一方、区民が思う町会活動の問題点は、「若い世代や仕事を持つ人が参加しにくい」が最も多くあげられている。(区民 Q4-2)【図 2-4】

町会・区民双方が同様の問題意識を持っており、現役世代が関わることができるようにするには、この問題点を解消していくことが求められる。



(3) 町会加入の条件等について

現状、各町会ではさまざまな機会を通して加入の呼びかけをしているが、「未加入者と接点がない」「未加入者がどこにいるかわからない」という問題があげられている。(町会 Q4-2)

一方、区民の町会に加入していない理由は「きっかけがない」や「仕事の関係で参加できない」、「活動内容が分からない」となっている。加えて、加入する条件としては「加入しやすい雰囲気」「活動内容の情報発信」「未加入者も参加できる行事」「ライフスタイルに配慮された参加形態」があげられている。(区民 Q2-5、区民 Q2-7)【図 2-5】

これらのことから、地域のコミュニケーションを密にすることで未加入者を把握し、未加入者との接点をつくったり、町会の活動内容などの情報を発信したりしながら、町会や地域との関わりのきっかけづくりを行うことが重要となる。

町会側が考える加入が進まない問題点として「町会加入のメリットが住民にとってわかりづらい」や「活動への理解が得られなくなっている」、「地域への愛着がない住民が増えている」と認識されている。(町会 Q4-4) 言い方を変えれば、町会加入の判断に必要な情報が伝えられていない、活動に関する情報発信が不十分とも言える。町会側から住民に対し的確なアプローチができていないのか再確認する必要があると考えられる。【図 2-6】

図 2-5 町会加入に関する意向【区民】

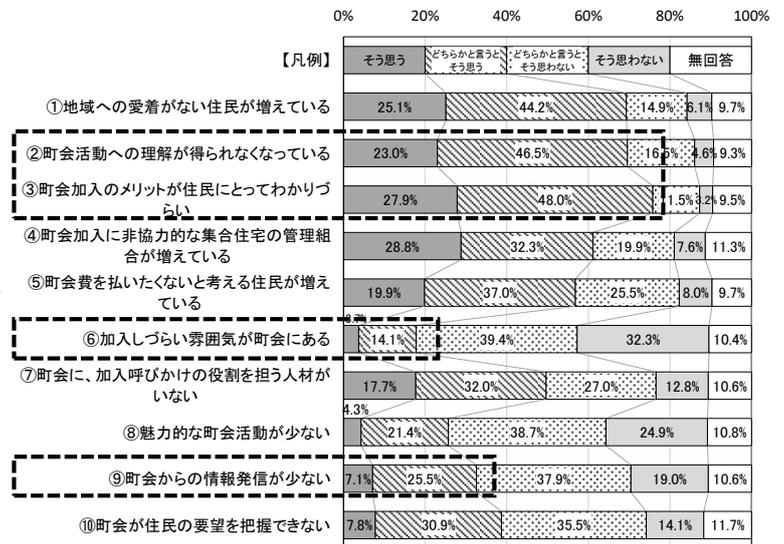
■町会に加入していない理由(上位)

加入のきっかけがない	45.1%
仕事の関係で参加できない	28.4%
活動内容が分からない	27.5%
町会の情報が得られない	22.4%
メリットが感じられない	20.6%

■町会に加入するために必要な状況や条件(上位)

加入しやすい雰囲気	29.6%
活動内容の情報発信	26.0%
未加入者も参加できる行事	19.7%
ライフスタイルに配慮された参加形態	19.2%

図 2-6 町会への加入が進まない問題点【町会役員】

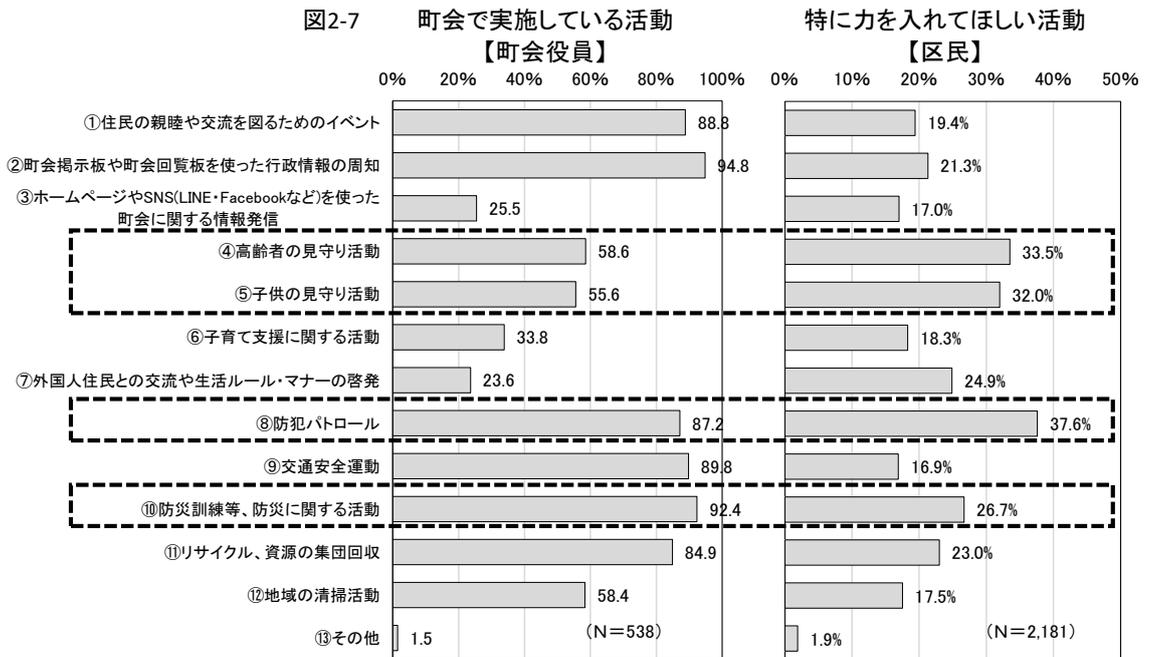


(1) ~ (3) を通じて、区民は町会に対して地域の絆を深めるのに役立っているというイメージを持っている一方で、組織や活動に対して閉鎖的なイメージも抱いているため、「参加しやすい雰囲気」や「若い世代に配慮した参加しやすい形態」、また、町会の意義や役割、活動内容を積極的に発信していくことが必要である。

(4) 町会活動に対するニーズについて

町会の活動は多岐にわたっており、地域の安全・安心な暮らしや快適な暮らしを支える重要な役割を担っている。一方で、社会情勢の変化から地域課題は多様化、複雑化しているとともに、世代によってもそのニーズは異なっており、これからの町会運営においてはそれらに対応していくことが求められる。

『区民の町会活動へのニーズ』と『町会役員の町会活動の状況・意向』を見比べると、現状「親睦交流のイベント」「行政情報の周知」「防犯パトロール」「交通安全」「防災活動」「リサイクル・資源回収」は8割以上の町会で実施されている。(町会 Q3-2) 一方、区民が力を入れてほしい活動では、「防犯パトロール」「高齢者の見守り活動」、「子供の見守り活動」のニーズが高い。特に40代以下の若い世代では「子供の見守り活動」と「子育て支援」に対するニーズがみられる。(区民 Q3-1(1))【図 2-7】

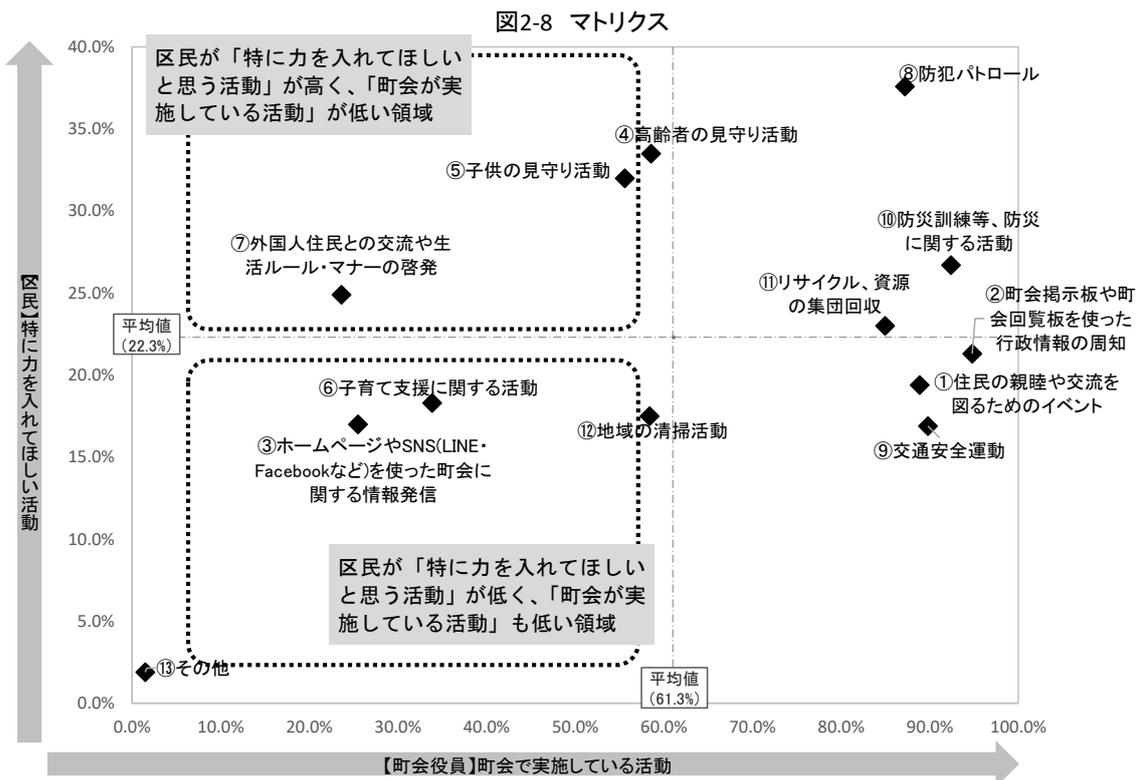


このように、現状町会が取り組んでいる活動と住民ニーズが合致しているものもあれば、ギャップがある活動もみられる。

以下のマトリクスは町会で実施している活動と、区民が特に力を入れてほしいと思っている活動をグラフに表したものである。【図 2-8】

区民が「特に力を入れてほしいと思う活動」が高く、「町会が実施している活動」が低い領域（外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発等）の活動に力を入れることで、区民へのアピールになり、加入促進及び活動参加を促すことにつながると考えられる。

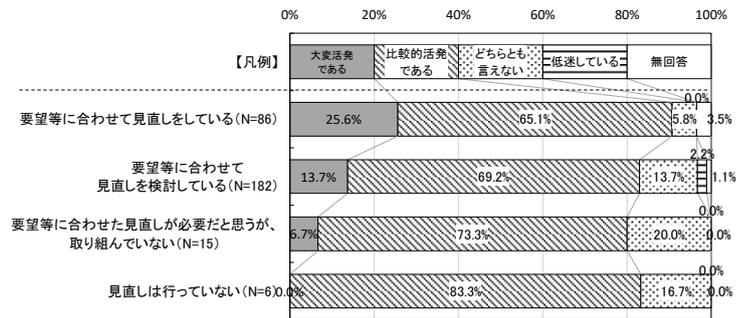
区民が「特に力を入れてほしいと思う活動」が低く、「町会が実施している活動」も低い領域（ホームページや SNS を使った情報発信等）は、取組の優先度は低いが、今後ニーズが増す可能性が高いことから、活動に取り組んでいくことも大切である。



地域の要望等に合わせて町会の事業を見直ししている町会では町会活動が活発に行われている傾向もみられることから（町会 Q3-1）【図 2-9】、地域ニーズの把握とニーズを基にした事業の見直し検討、そしてニーズに対応した活動展開が町会活性化に有効であると考えられる。

特に若い世代のニーズを捉え対応を展開することで、若い世代の町会への理解や関心の向上、加入促進及び活動参加を促すことにつながると考えられる。さらには町会に対する認識が高まり、参加意欲が向上することへの波及効果も想定される。

図2-9 町会の活動状況(事業の見直しによる傾向)【町会役員】



(5) 町会活動への参加について

区民の町会活動への参加経験は、参加したことがない人が6割以上という状況であり、町会に加入していても活動への参加に結び付いていないことも課題となっている。（区民 Q3-2）参加してみたい活動としていずれの活動においても比較的参加意向があるものの、参加に結びついていないのが現状であり、前述のとおり、参加しづらい形態や雰囲気が要因になっていると想定される。（区民 Q3-1(2)）

区民の町会活動に参加したいと思うきっかけや条件等は、「気軽な参加」が最も重要であり、その他「都合のつく開催日時」や「できる範囲等での参加」、「楽しそうな活動内容」に配慮や留意することが求められている。（区民 Q3-4）マンション居住者では「加入・未加入に限らず参加しやすい雰囲気」や「防災共助の取組」、「楽しそうな活動内容」の要素の重要性が高い。（管理組合 Q2-5）【図 2-10、図 2-11】

未加入者を含めて町会活動への参加を促すために、上記の条件等が求められている。特に、マンション居住者や若い世代においても「防災共助」は関心が高いテーマであることから、「防災共助」を活動展開や情報発信に活用していくことが有効であると考えられる。

図2-10 町会活動に参加するための条件等 【区民】 (再掲)

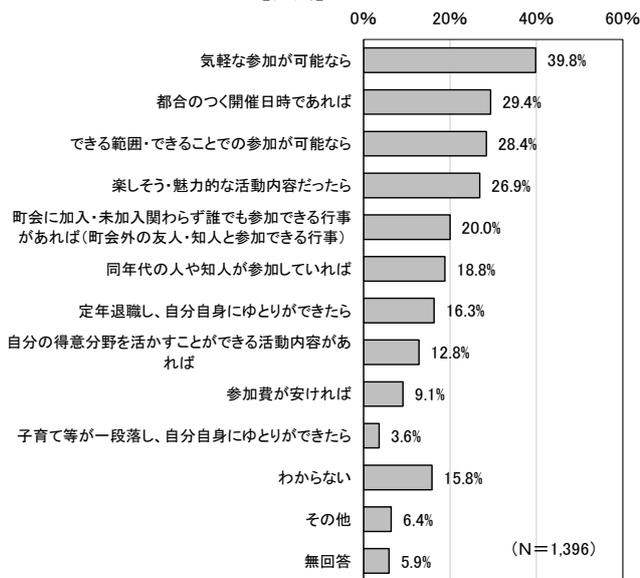
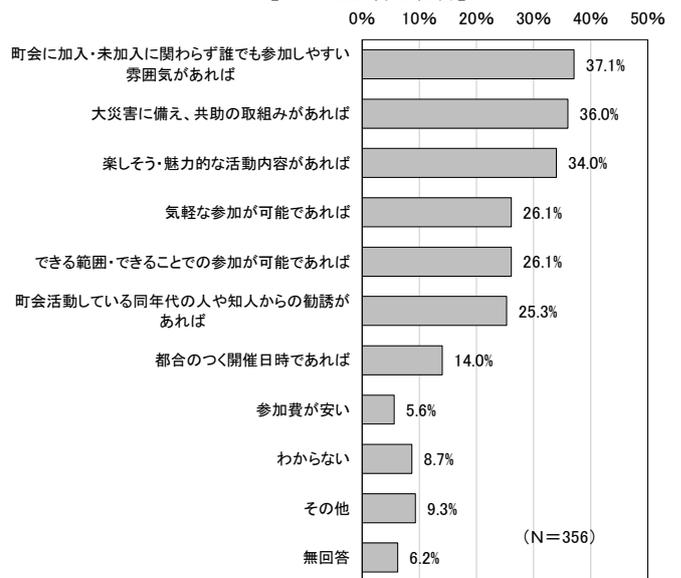


図2-11 マンション居住者の町会活動への参加を増やすための条件等 【マンション管理組合】 (再掲)



(6) 防災共助の取組について

災害時の対応や防災共助は、戸建て及び集合住宅の区民、若い世代の区民でも関心が高いテーマであり、その必要性を一定に感じている共通のテーマである。(町会 Q5-1、Q5-3、Q5-4、管理組合 Q3-2、Q3-4(1))

図2-12 集合住宅との防災共助の取組の状況
【町会役員】

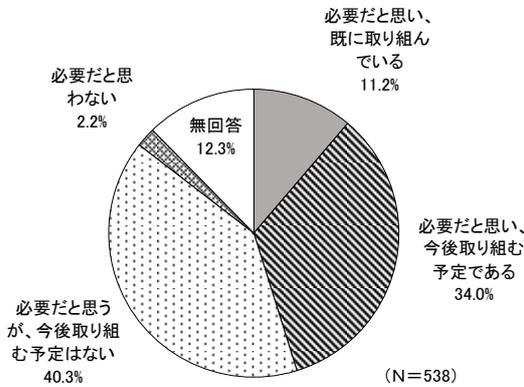
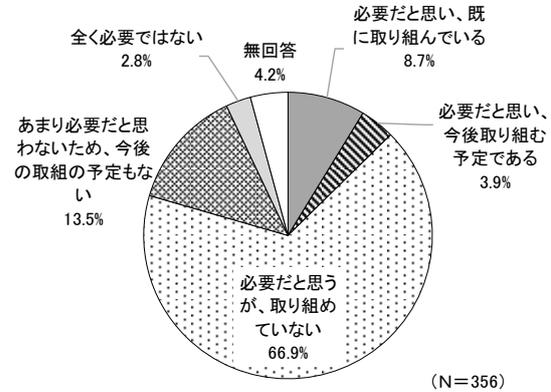


図2-13 町会との防災共助の取組の状況
【マンション管理組合】 (再掲)

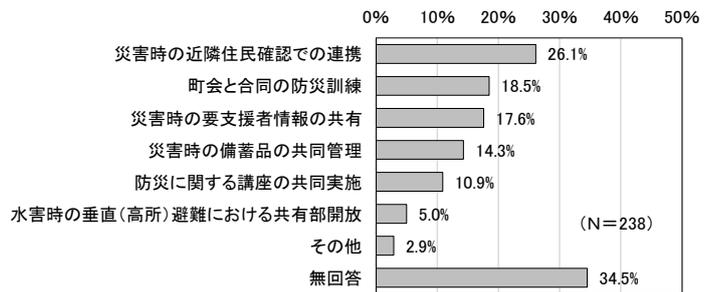


特に、町会とマンション管理組合の双方が防災の必要性や連携の可能性を感じており、現状ではなかなか連携の方向性が定まっていない町会が見られる中、町会と集合住宅、さらには若い世代を巻き込んだ取組を進める突破口の一つになり得ると考えられる。【図 2-12、図 2-13】

その具体的な取組としては、マンション管理組合の意向であげられている「近隣住民同士での連携」や「町会との合同防災訓練」、「要支援者情報の共有」の取組が有効であると想定される。(管理組合 Q3-4(1))

【図 2-14】

図2-14 必要だと思ふ防災共助の取組
【マンション管理組合】 (再掲)



(7) 町会と集合住宅の連携について

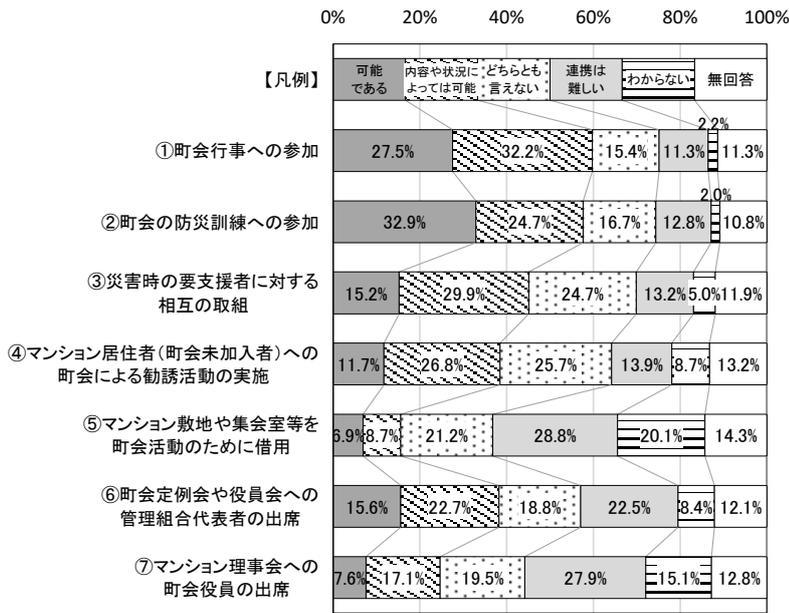
町会への加入促進において、集合住宅の居住者へのアプローチやマンション管理組合との連携は重要である。現状では難しい状況であることが多いが、集合住宅と町会との連携が図られると、加入促進に大きな一歩になると考えられる。

町会及び町会未加入のマンション管理組合ともに、「町会行事への参加」と「町会の防災訓練への参加」、「災害時の要支援者に対する相互の取組」は、連携の可能性が高い結果となっている。(町会 Q5-3、管理組合 Q1-5) 【図 2-15】

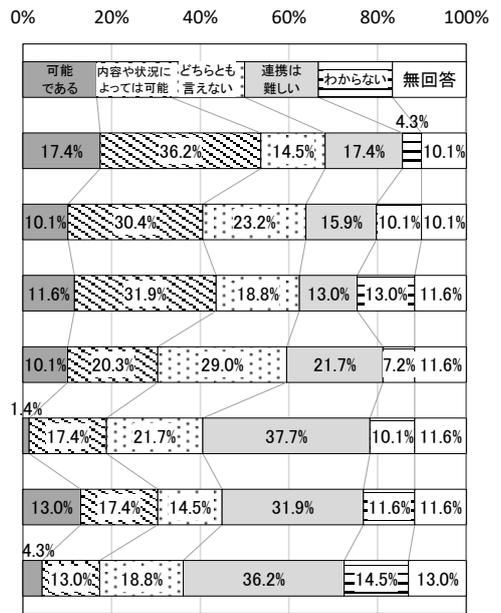
町会とマンション管理組合それぞれが相互に少なからず連携の意向があり、町会としてきっかけがあれば連携したいとの意向も半数程度あることから (町会 Q5-2)、町会行事への気軽な参加を通したきっかけづくり、防災共助をテーマにした取組を通した体制づくりなどが期待できる。

そうすることで、マンション居住者に対して町会の強みや活動内容を訴求することも可能であると考えられる。

図2-15 町会未加入の管理組合との連携等の可能性
【町会役員】 (再掲)



管理組合としての町会への協力の可能性
【マンション管理組合】 (再掲)



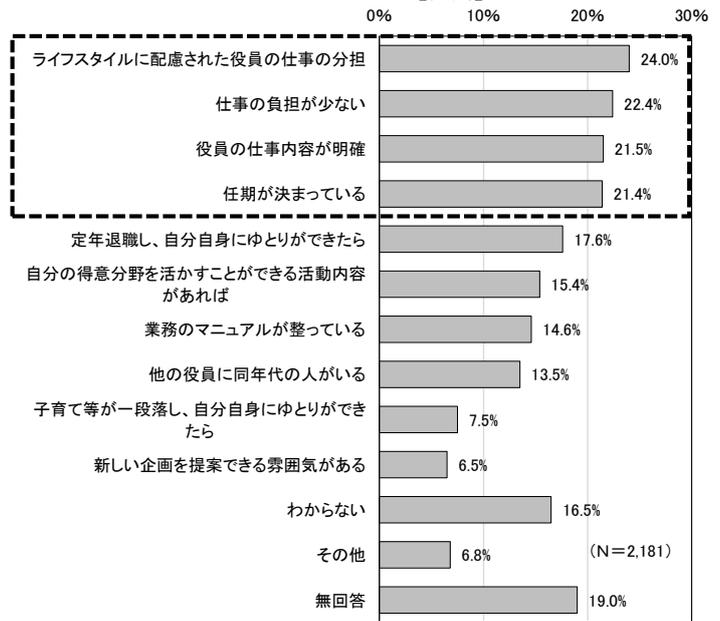
(8) 町会運営及び担い手について

町会運営に関して、町会役員の認識として役員のなり手不足が大きな課題となっている中、区民の7割近くが役員を引き受けないとの意向であるが、内容や条件などの工夫によっては4人に1人は引き受ける可能性がある。

区民が役員を引き受ける条件としては、「ライフスタイルに配慮された仕事の分担」や「仕事の負担の軽減」、「仕事内容が明確」、「決まった任期」へのニーズがあげられている。(区民 Q5-2)【図 2-16】

町会の運営においてこれらの条件を反映させていき、後継者の育成につなげていくことが重要であると考えられる。

図2-16 町会役員の引き受けるときの条件等
【区民】



2 町会活性化に向けた提言

(1) 町会活性化に向けた背景と前提

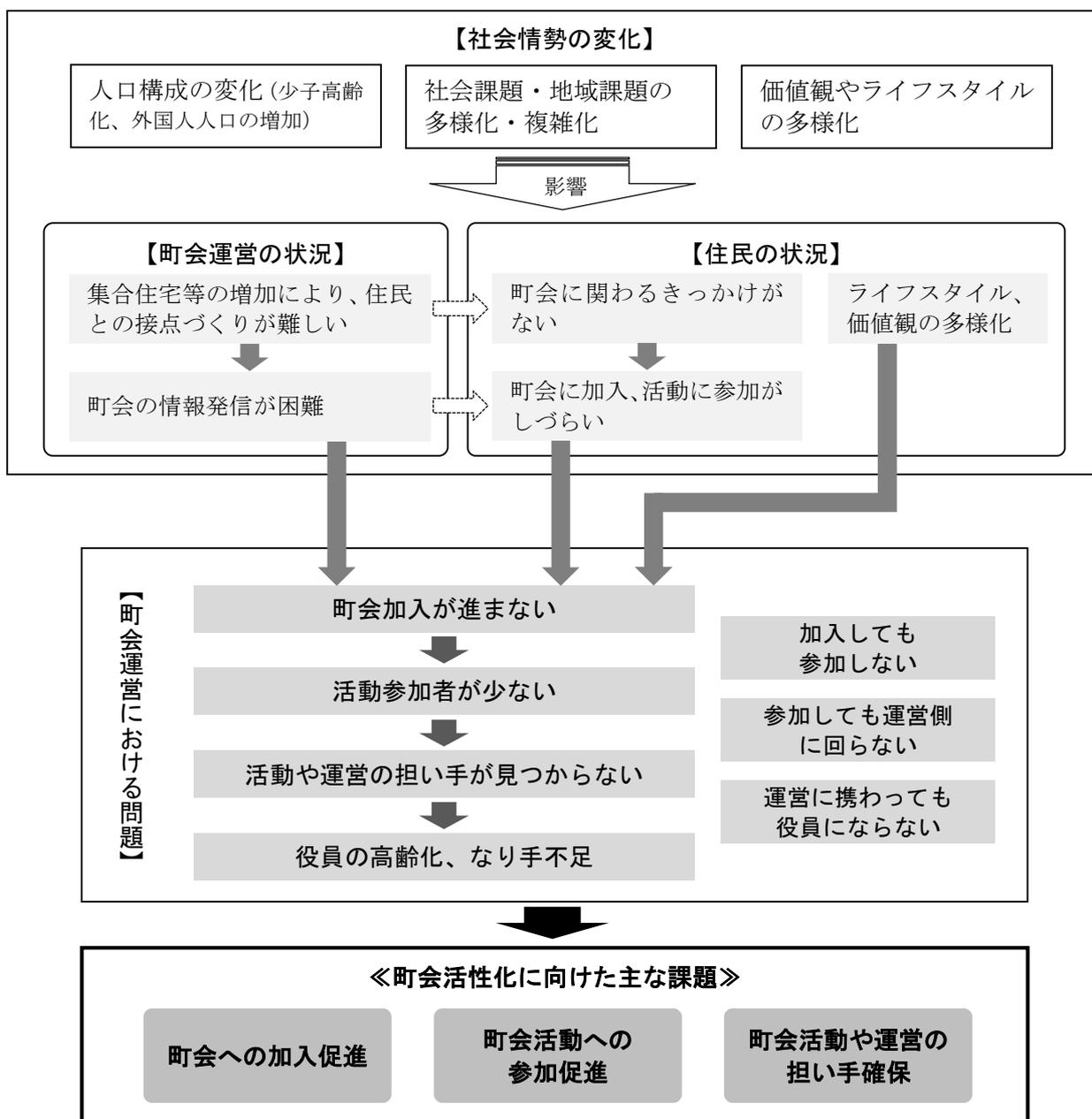
近年、少子高齢化や外国人人口の増加等により人口構成の変化が進行しているとともに、社会課題も多様化している状況である。また、若い世代をはじめとしてライフスタイルや価値観も多様になっている。

このような影響を受け、町会運営や住民の状況にも変化が生じている。

区においては集合住宅等が増加しており、町会が住民と接点を持ちにくくなっていることにより、町会の情報が住民へ伝わらず、住民も町会に関わるきっかけがなく、情報もないことから、町会に加入しづらい・活動に参加しづらい状況となっている。

住民の中でも特に現役世代への動機づけが足りていないために、町会加入が進まないことや、前述のとおり町会加入者でも参加しづらい形態等により、活動への参加者が少なく、活動や運営の担い手も見つからなくなり、役員の高齢化やなり手不足の問題が生じていると考えられる。

以上のことから、町会活性化に向けて、「町会への加入促進」「町会活動への参加促進」「町会活動や運営の担い手確保」が主な課題となっている。

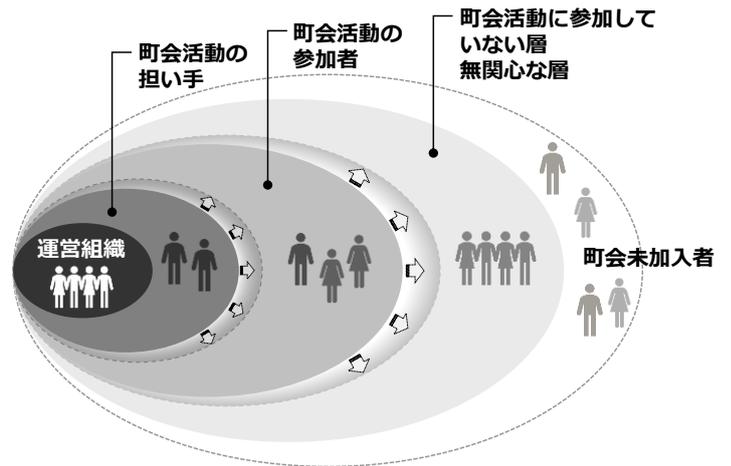


(2) 町会での未加入者や活動参加者などの状況と理想像

町会は、一定のエリアの範囲において活動が行われており、任意ではあるがそのエリアの住民が会員となり構成されている組織である。

町会運営においては、会長をはじめとした役員を中心に会員である地域住民とともに、事業の企画、運営が行われている。

しかし、現状、町会では町会への加入や活動への参加、運営の担い手などその関わり度合いは異なっており、右図のような状況となっている。



このような状況から出来る限り「町会活動の担い手」「町会活動の参加者」を増やし、「町会活動に参加していない層、無関心な層」「町会未加入者」を減らしていくことで、町会活性化につながる。

また「町会活動の担い手」が増えることで、自ずと「運営組織」も拡大すると見込まれる。

(3) 町会活性化に向けたステップ

町会活性化のステップは、下図のように想定される。

町会活性化に向けては、本調査を通して明らかになった課題から、①加入促進 (STEP3)、②活動参加の促進 (STEP4)、③担い手確保 (STEP5) の段階が考えられ、それぞれの段階において取組や支援を行っていくことが必要であると考ええる。

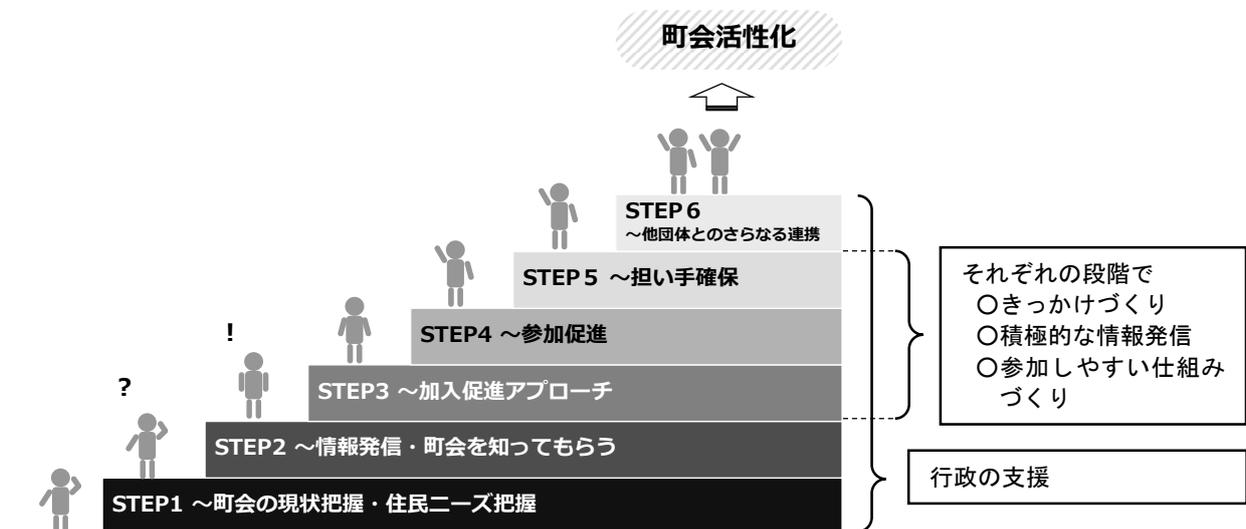
いずれの段階においても、町会側の「きっかけづくり」や「積極的な情報発信」、「気軽に参加できる仕組み」などの取組や工夫が重要となる。

また、STEP3～5の取組を進めていく上では、まず、町会を知ってもらうことが前提となることから、STEP2の町会の意義や活動内容などの情報発信が重要である。加えて、加入や参加促進へのアプローチにおいてSTEP1の住民ニーズの把握がベースとなると考えられる。

また、各段階において行政の支援や取組も必要であると考ええる。

なお、将来的な町会運営を考慮した際、町会内にとどまらず、地域の他団体との協働・連携体制も必要になってくると予想されることから、STEP6の他団体との多様な連携も重要であると考えられる。

■町会活性化に向けたステップ (イメージ)



(4) 町会活性化に求められる取組や施策

本調査結果から、「加入促進」及び「活動参加の促進」、「担い手確保」に向けて、それぞれ以下のアプローチや取組、または改善や工夫が重要であることが導き出された。

- ①加入促進（未加入者へのアプローチ）
 - ・きっかけづくり
 - ・町会に関する積極的な情報発信
- ②活動参加の促進（活動への参加を増やすために）
 - ・閉鎖的なイメージの払拭
 - ・活動内容のわかりやすい発信
 - ・気軽に参加できる仕組みや仕事を持つ人も参加しやすい仕組み
- ③担い手確保（役員の担い手を増やすために）
 - ・役員の仕事の負担軽減
 - ・役割分担や仕事内容の明確化
 - ・任期の設定と後継者の育成

これらの調査結果を踏まえて、各ステップにおいて求められる取組例や施策等を提言する。

STEP 1 町会の現状把握・ニーズ把握

■町会活動の再確認

- ・役職ごとの負担割合
- ・役職ごとのマニュアル整備
- ・事業ごとのマニュアルを整備
- ・会議や事業の開催時期 など

これまでの町会活動を見直すことは、新たな参加者や担い手の確保にもつながり、また効率的な町会活動にも有効である。

- マニュアルを整備すると、業務量の把握でき、引継ぎもスムーズに
- 役職により負担が偏ることのないよう改善を
- ライフスタイルに配慮して会議や事業の時間を変更すると新たな参加者の増加に

■ニーズの把握

- ・加入者のニーズを把握
- ・未加入者のニーズを把握 など

町会活動を行っていくうえで地域のニーズを把握し、これに応えていくことで町会活動の活性化が期待できる。

- 現在の活動への要望などを把握し、町会として活動態勢の修正や工夫を
- 未加入者のニーズを把握し活動に反映すると、町会への理解も深まる

- #### 行政による支援の検討
- ・マニュアル作り支援
 - ・ニーズ調査支援
 - ・本意識調査の活用 など

STEP 2 情報発信・町会を知ってもらう

■町会・町会活動を知ってもらう

- ・町会のPR
- ・町会活動のPR
- ・活動時のPR
- など

町会についての地域における役割を知ってもらい、町会活動についての理解が深まれば、活動への参加者や加入者の増加に期待できることから情報発信は重要である。

- 町会PR紙で転入者や未加入者に興味を持ってもらう機会に
- 町会名の入ったユニフォームでの活動で町会活動PR
- 日々の町会活動を定期的に発信すれば町会への理解が深まる

■情報発信ツールを工夫

- ・チラシの活用
- ・新たな情報発信ツールなどの活用
- など

情報発信の方法にはさまざまな手段があるが、それぞれの特性を活かし発信することで活動やその内容を効率的効果的に伝えることができる。

- 紙媒体によるPR紙のポスティング
- 町会のホームページで多くの人に情報提供
- 町会のSNSだけでなく、町会員のSNSでも情報発信

行政による支援の検討

- ・情報発信に関する技術的支援
- など

STEP 3 加入促進アプローチ

■未加入者へのPR、接点・きっかけづくり

- ・町会のPRチラシの活用
- ・交流型イベントへの声掛け
- ・マンション管理組合との事業
- など

- 町会PR紙で未加入者との接点を
- 未加入者でも参加できるオープンなイベントで交流のきっかけ作り
- 戸建てもマンションも同じ住民、顔の見えるお付き合いを

■ライフステージ別アプローチ

- ・単身者（若者）
- ・子育て世代
- ・50～60代（定年退職前後）
- など

町会加入について、一律に行うよりも対象者のライフステージに応じてアプローチすることで効果が上がる。

- 若者には押しつけず気軽な雰囲気
- 子供同士とその親同士の交流には期待
- 定年後の仲間づくりに、これまでの経験を活かして

■外国人との接点・きっかけづくり

- ・町会のPRチラシの活用
- ・交流型イベントへの声掛け
- など

在住外国人は、言葉や文化の違いからあまり地域に馴染めない方もいる。多言語による町会案内や活動紹介ができなくても、「やさしい日本語」での会話でお互いに理解を深めることもできる。

行政による支援の検討

- ・転入者への町会情報周知
- ・区HPによる町会活動紹介
- ・やさしい日本語や多言語パンフレット作成支援
- ・情報発信に関する技術的支援
- など

STEP 4 参加促進

■町会事業へ参加を促す

- ・イベント周知方法の工夫
- ・イベントのニーズ調査
- ・魅力的なイベントの企画
- ・交流型イベント
- ・イベントごとにアンケート
- など

イベントを通して地域の人が交流し、親睦を深めることは町会を活性化させる。

- どれだけ集まるかは周知次第
- ニーズに合わせた事業で魅力もアップ
- イベントの感想を聞いて反省と改善

■事業運営へ参加を促す

- ・軽微な役割分担
- ・できる時だけの手伝いや得意分野
- ・町会活動のPR
- など

一人ひとりの負担を軽くすれば気軽に協力を受け入れ、事業運営に多くの人に関われるものになる。

- 軽微な役割、1回だけのお手伝いで気軽な参加
- 無理せずできる時だけお手伝い
- 任せる勇氣

■外国人の参加を促す

- ・定期的に実施する事業への参加を促す

外国人も気軽に参加できるイベント等で町会との接点や加入のきっかけづくりにつながるが、清掃活動やパトロールなど定期的に実施される事業に参加してもらうことでさらに交流を深められ、活動の参加促進につながる。

行政による支援の検討

- ・外国人と町会との関わり支援
- ・集合住宅と連携した事業支援
- ・情報発信に関する技術的支援
- など

STEP 5 担い手確保

■町会運営へ参加を促す

- ・役職ごとの負担軽減
- ・役職ごとのマニュアル整備
- ・事業ごとのマニュアルを整備
- ・募集広告 など

町会や事業の運営に参加する場合、忙しそうや大変そうと敬遠され気味であるが、役割や業務量をはっきりしていれば協力してもらいやすくなる。

- 偏りのない役割分担で負担の軽減
- マニュアル整備で業務量の見える化と引継ぎをスムーズに
- 町会PR紙で協力者募集
- ライフスタイルへの配慮で新たな参加者の増加に

■ライフスタイル別アプローチ

- ・30～40代
- ・50～60代（定年退職前後）

会議や行事などのさまざまな人が参加、協力しやすい日時にすることにより、これまで協力したくてもできなかった人の参加を促進できることもある。ライフスタイルやライフステージに配慮することにより新たな人材が発掘されることもある。

- 子供向け事業で子育て世代に協力要請
- これまでの経験を活かした得意分野で活躍

行政による支援の検討

- ・マニュアルづくり支援
- ・行政からの依頼事項の見直し など

STEP 6 他団体とのさらなる連携

■近隣町会との交流、地区内の団体と協力、地区内、区内で情報共有

- ・共催イベントの開催
- ・学校やPTAなどと協力して事業展開
- ・他の町会との情報共有 など

町会活動や運営には悩みはつきものである。複数の町会の会長同士、役員同士、住民同士の交流が深まれば、悩みの解決や新たな発想が生まれることもある。

- 事業の共催、合同実施で規模拡大
- 身近な団体との協力で新たな連携
- 取り組み事例を情報共有

行政による支援の検討

- ・交流の場の創出
- ・情報共有の支援
- ・講演会、講習会の開催 など

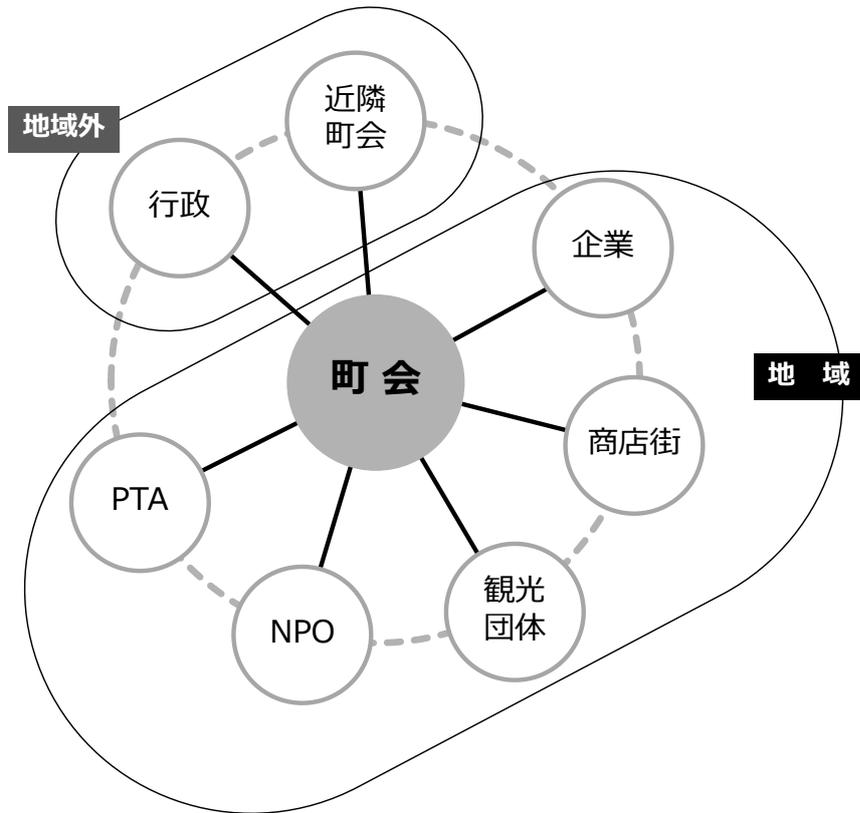
(5) 将来的な町会運営に向けて

上記のとおり、町会の課題に対して直接的、短期的な取組のほか、将来的な町会運営を考えたときには、以下のようなことが求められる。

台東区においても社会情勢や人口構成等の変化により、町会運営が困難になることも予想されることから、大きく捉えたコミュニティマネジメントとして、他の町会や他の団体等と連携したネットワーク型の町会運営が求められる。

また、そのような町会運営を推し進めていくうえでは、10年後20年後を見据えた活動体制を整えていく必要がある。そのためには、町会役員をはじめ、住民や他団体とともに活動体制の再構築や見直しを行うとともに、そのプロセスを通して地域で共有していくことも必要である。

将来的な町会の運営や活性化を視野に入れ、町会内はもちろん、近隣町会や他団体、さらに地区、また台東区一丸となって取り組んでいくことが望まれる。



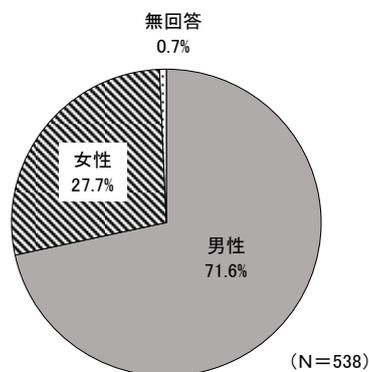
Ⅲ 町会役員向けの調査

1 回答者自身について

(1) 性別

男性が半数以上の 71.6% となった。

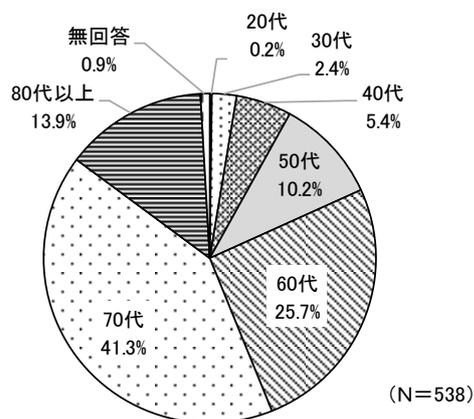
全体	上段:実数(件)		
	男性	女性	無回答
538	385	149	4
100.0	71.6	27.7	0.7



(2) 年代

70代が 41.3% と最も多い。次いで 60代が多い。

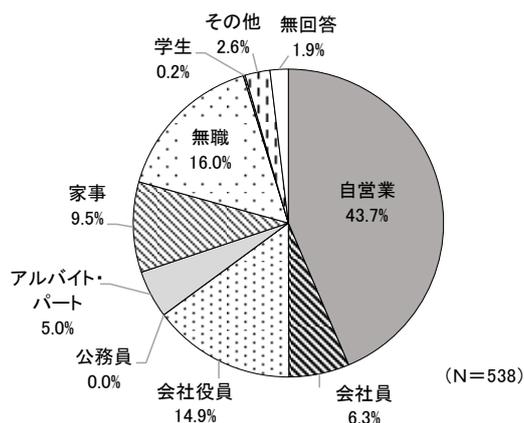
全体	上段:実数(件)							
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
538	1	13	29	55	138	222	75	5
100.0	0.2	2.4	5.4	10.2	25.7	41.3	13.9	0.9



(3) 職業

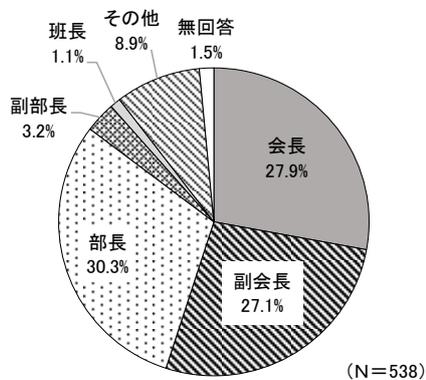
「自営業」が43.7%と最も多い。

全体	自営業	会社員	会社役員	公務員	アルバイト・パート	家事	無職	学生	その他	無回答	上段: 実数(件)		下段: 割合(%)	
538	235	34	80	0	27	51	86	1	14	10				
100.0	43.7	6.3	14.9	0.0	5.0	9.5	16.0	0.2	2.6	1.9				



(4) 町会での役職

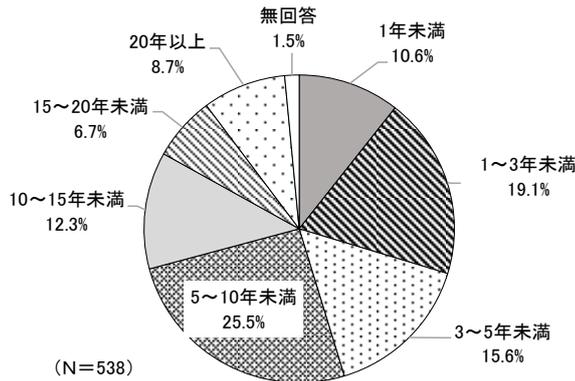
全体	会長	副会長	部長	副部長	班長	その他	無回答	上段: 実数(件)		下段: 割合(%)	
538	150	146	163	17	6	48	8				
100.0	27.9	27.1	30.3	3.2	1.1	8.9	1.5				



(5) 現役職の在職年数

「5～10年未満」が25.5%と最も多い一方、「20年以上」在職している役員も8.7%いる。

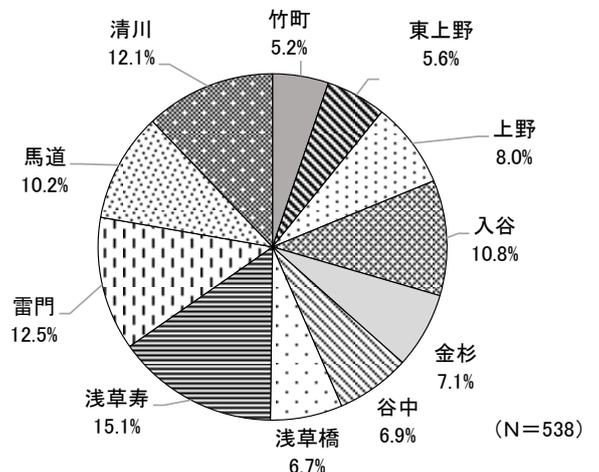
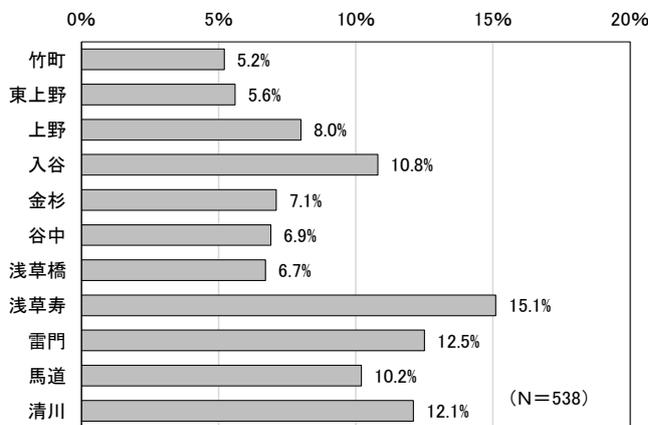
全体	上段:実数(件)							
	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
538	57	103	84	137	66	36	47	8
100.0	10.6	19.1	15.6	25.5	12.3	6.7	8.7	1.5



(6) 居住地域

「浅草寿地区」「雷門地区」「清川地区」「入谷地区」「馬道地区」の5地区がそれぞれ10%以上となっている。区全体に占める各地区の町会数の割合とほぼ同等である。

全体	上段:実数(件)										
	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川
538	28	30	43	58	38	37	36	81	67	55	65
100.0	5.2	5.6	8.0	10.8	7.1	6.9	6.7	15.1	12.5	10.2	12.1

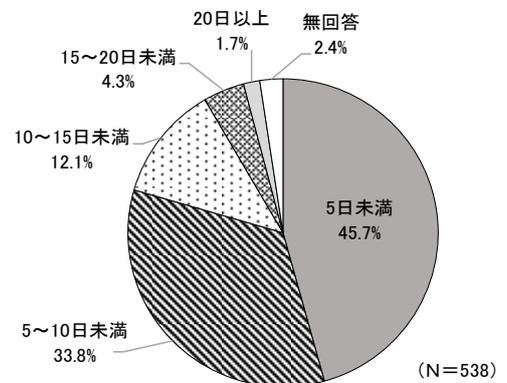


2 組織運営やコミュニケーション等について

Q2-1 あなたは、町会活動に1ヶ月あたりどのくらい従事していますか。町会に関わる所用として30分以上従事する日数をお答えください。(1つだけ)

「5日未満」が45.7%と最も多い一方、15日以上従事している役員も6.0%いる。

全体	上段:実数(件)						無回答
	5日未満	5日未満	1日未満	1日未満	2日未満	2日以上	
538	246	182	65	23	9	13	
100.0	45.7	33.8	12.1	4.3	1.7	2.4	

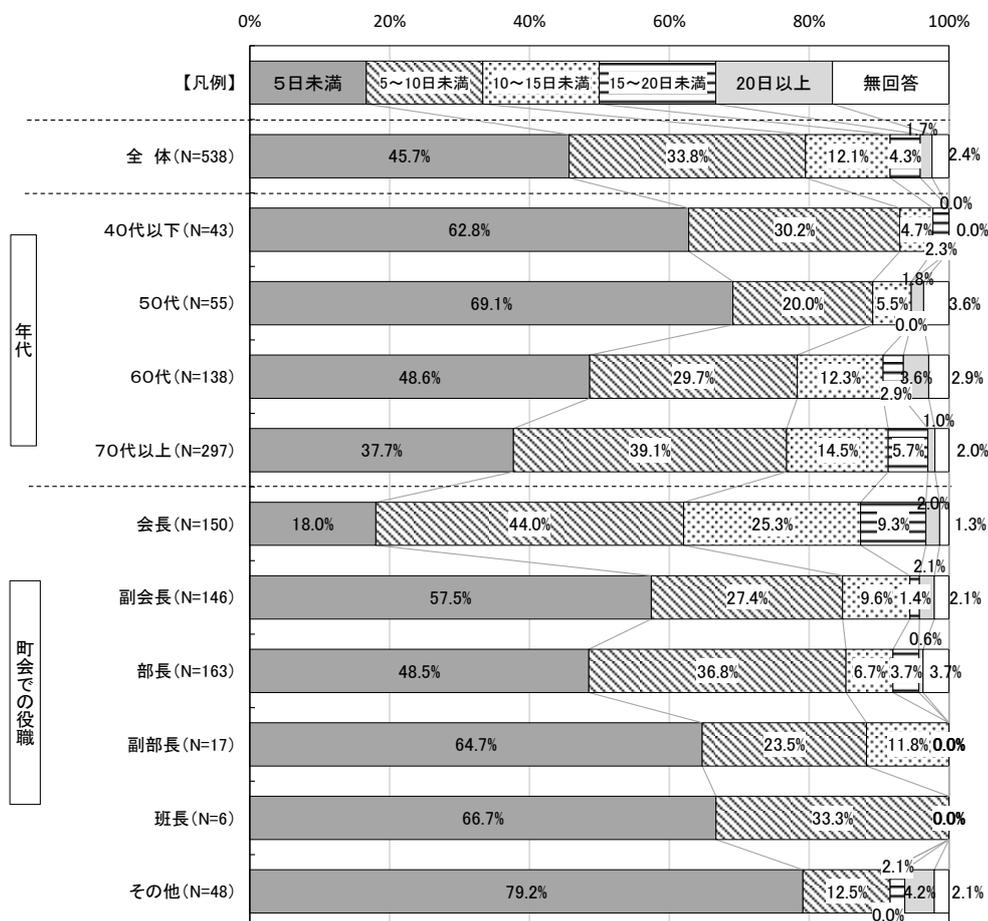


■年代・役職による傾向及び特徴 (1ヶ月あたりの町会活動の従事日数)

会長職が最も従事している役職であり、「5～10日未満」が44.0%、「10～15日未満」が25.3%、「5日未満」が18.0%となっている。また、「15～20日未満」従事している会長も9.3%いる。

副会長は「5日未満」が57.5%「5～10日未満」が27.4%となっており、会長とそれ以外の役員の負担の偏りが大きい状況である。

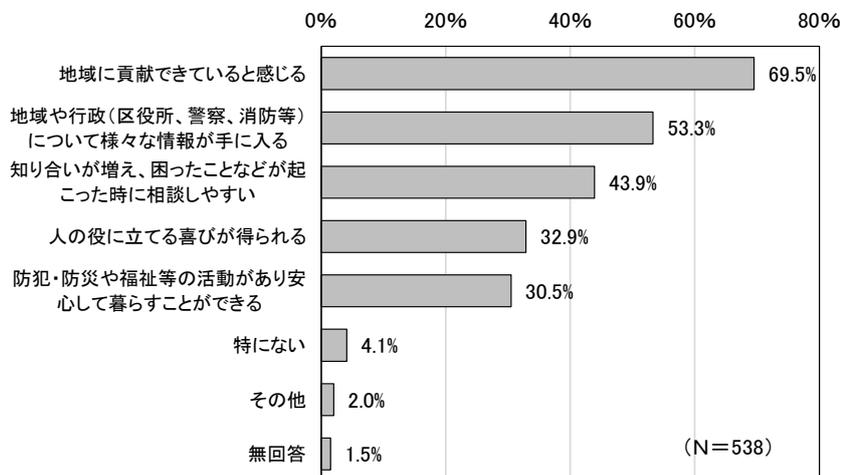
年代別にみても、役職や仕事等との関係からか、年代が高くなるにつれて従事日数が多くなっている傾向にある。



Q2-2 町会役員をやって、よかったことは何ですか。(3つまで)

「地域に貢献できていると感じる」が69.5%と最も多く、次いで「地域や行政（区役所、警察、消防等）について様々な情報が手に入る」が53.3%となった。

	全体	感じる	様々な情報が入る	地域や行政（区役所、警察、消防等）について様々な情報が手に入る	相談しやすい	知り合いが増え、困った時に	人の役に立てる喜びが得られる	防犯・防災や福祉等の活動があり安心して暮らすことができる	特にない	その他	無回答
上段:実数(件)	538	374	287	236	177	164	22	11	8		
下段:割合(%)	100.0	69.5	53.3	43.9	32.9	30.5	4.1	2.0	1.5		



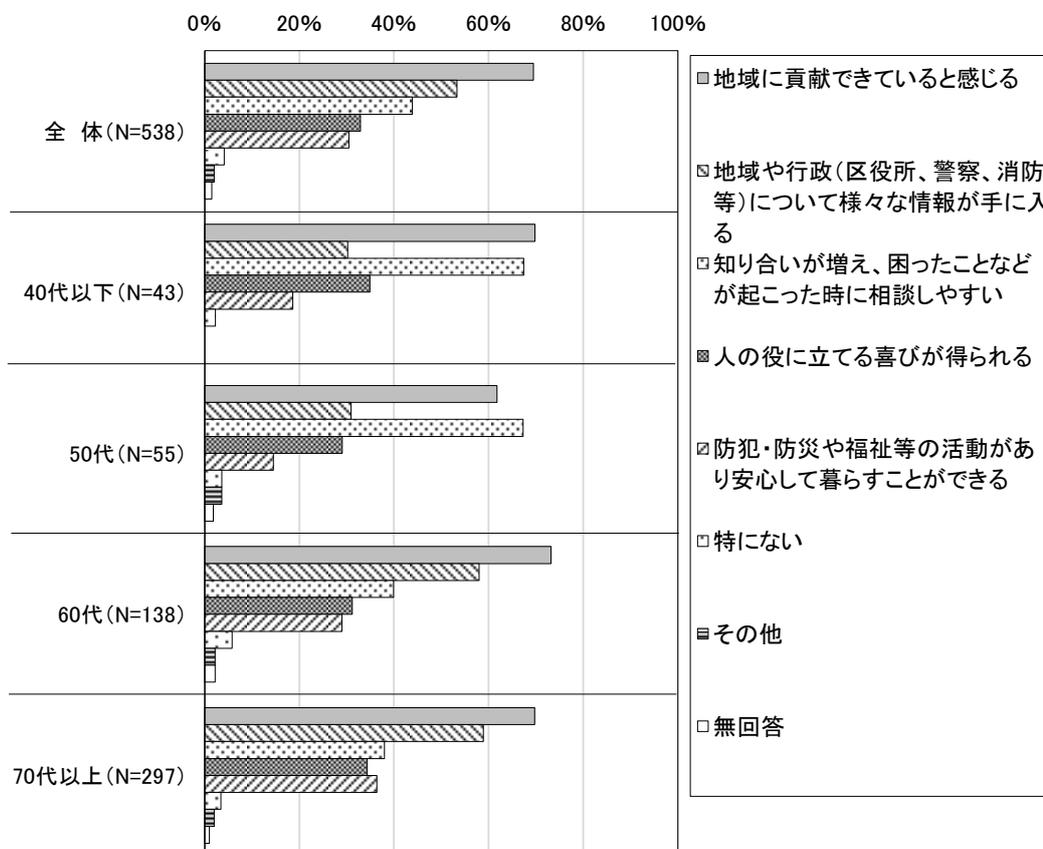
【「その他」の主な内容】

- ・ 青少年の育成に貢献できる
- ・ 我が町として地元愛が強くなる
- ・ 他町会の多くの役員と知り合え、人間関係の輪が広がったこと
- ・ 役員になってまだ半年、正直まだわからない

■年代による傾向及び特徴（町会役員をやって、よかったこと）

40代以下及び50代では、「地域に貢献できていると感じる」のほかに、「知り合いが増え、困ったことなどが起こった時に相談しやすい」が高くなっている。

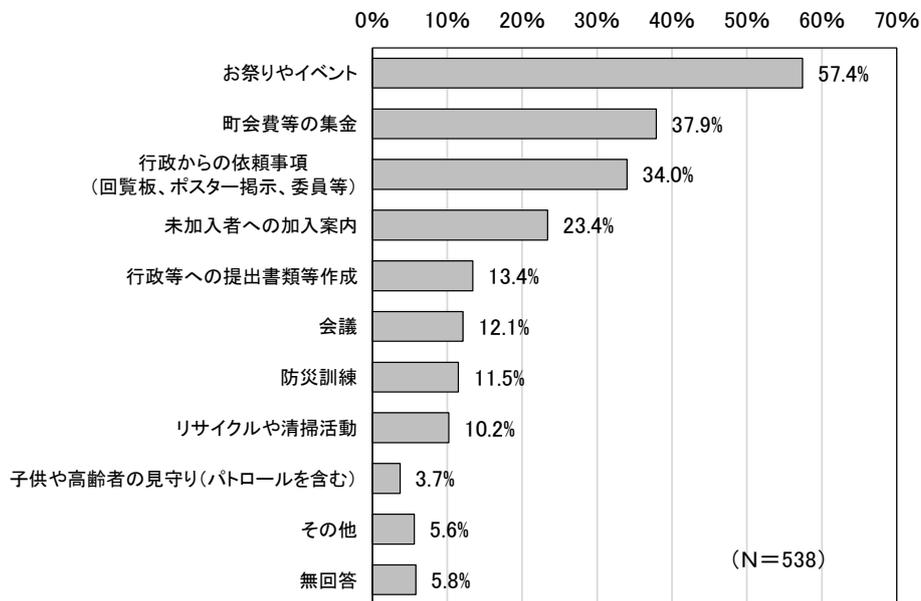
【年代別】



Q2-3 町会の仕事で、特に役員の負担が大きいと思う活動や事業はありますか。(3つまで)

「お祭りやイベント」が 57.4%と最も多く、次いで「町会費等の集金」「行政からの依頼事項（回覧板、ポスター掲示、委員等）」がそれぞれ 30%以上となった。

全体	お祭りやイベント	町会費等の集金	行政からの依頼事項 (回覧板、ポスター掲示、委員等)	未加入者への加入案内	行政等への提出書類作成	会議	防災訓練	リサイクルや清掃活動	子供や高齢者の見守り(パトロールを含む)	上段: 実数(件)		下段: 割合(%)											
										その他	無回答												
538	309	204	183	126	72	65	62	55	20	30	31	100.0	57.4	37.9	34.0	23.4	13.4	12.1	11.5	10.2	3.7	5.6	5.8



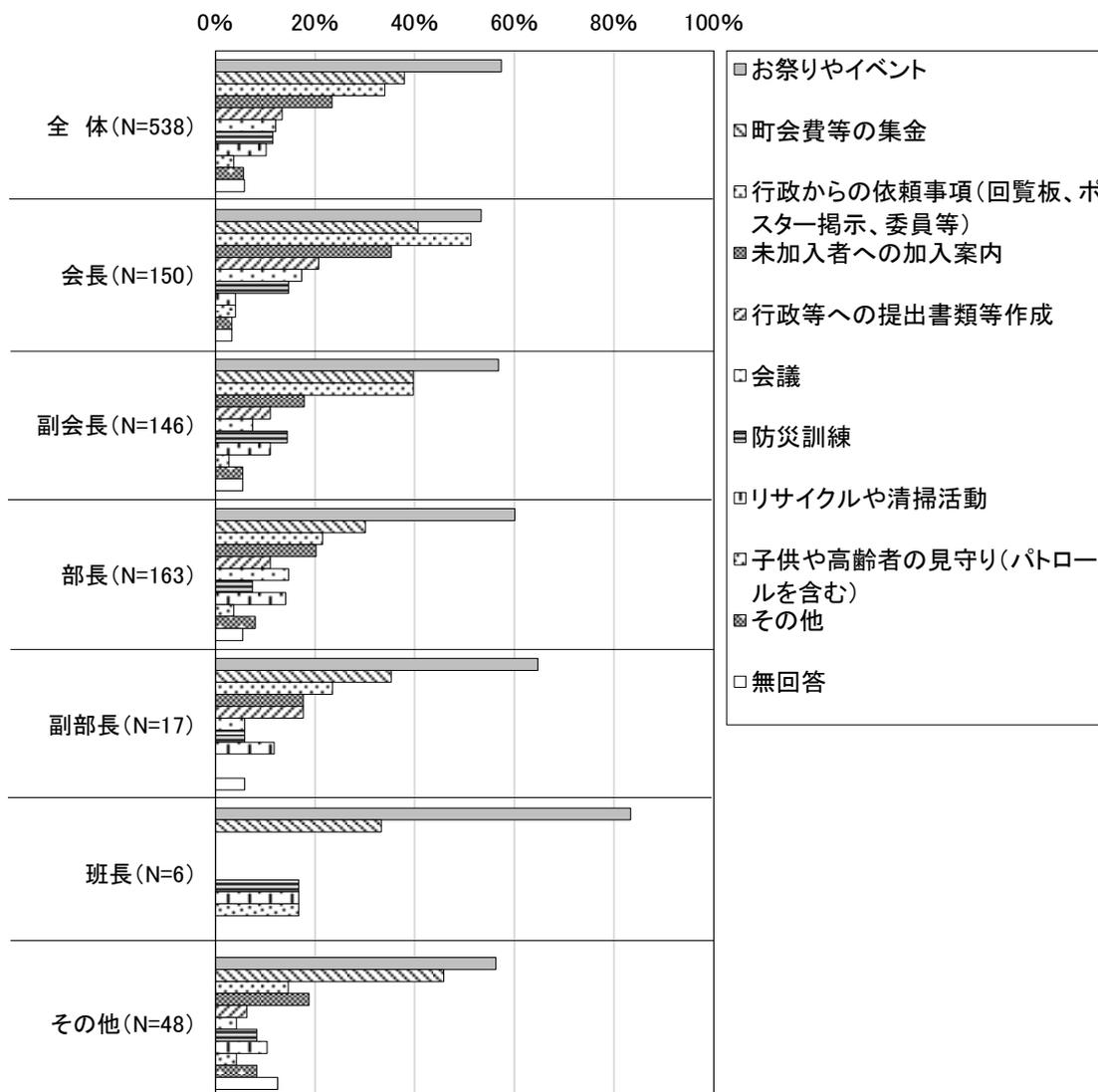
【「その他」の主な内容】

- ・ 町会費、寄付などの負担
- ・ 建築会社等との交渉
- ・ 手分けしてやっているので特になし

■ 役職による傾向及び特徴（町会の仕事で特に役員の負担が大きい活動）

役職で見ると、全ての役職に共通して「お祭りやイベント」が最も多く、また「町会費等の集金」も多くあげられている。また、会長や副会長は「行政からの依頼事項（回覧板、ポスター掲示、委員等）」が負担と感じている。

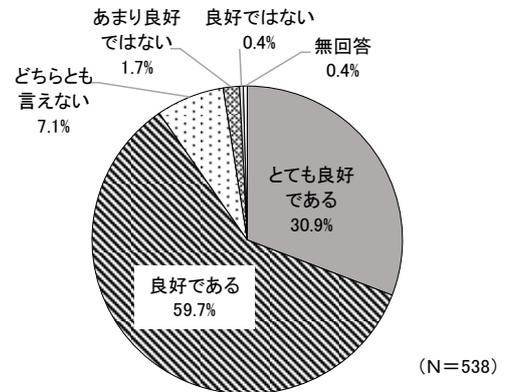
【町会での役職】



Q2-4 町会の役員同士（三役とその他役員、専門部間の役員同士など）の連絡やコミュニケーションの状況をどのように思いますか。（1つだけ）

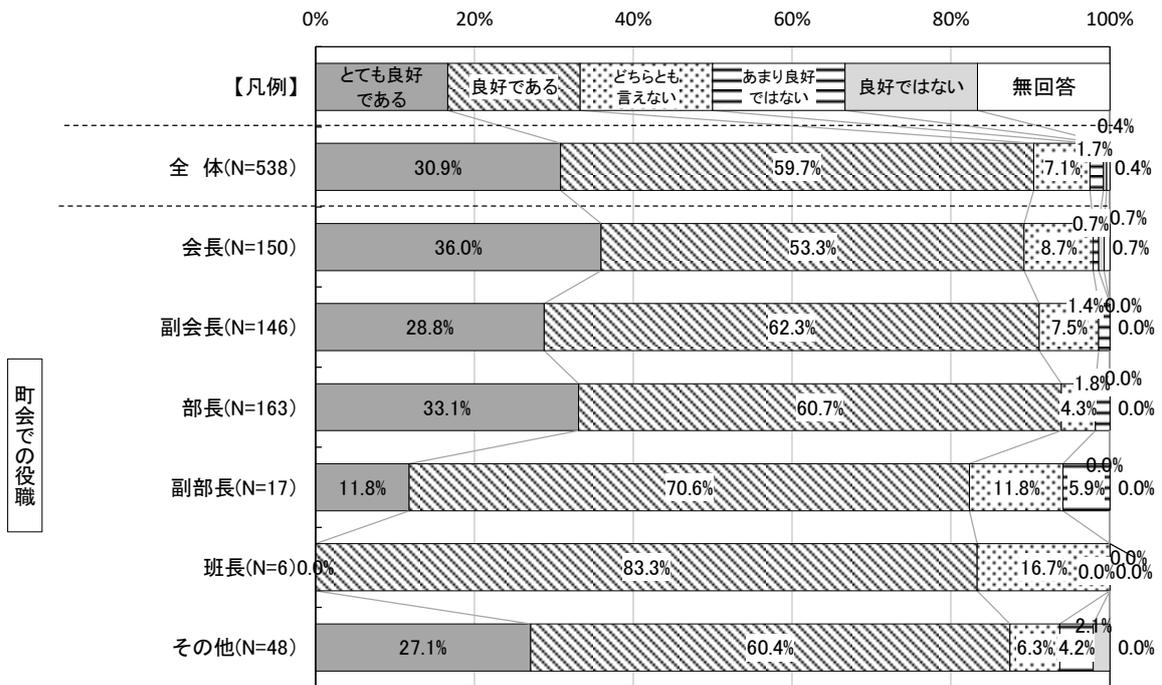
「とても良好である」と「良好である」を合わせた『良好傾向にある回答』が90.6%となっている。

全体	とても良好である	良好である	どちらとも言えない	あまり良好ではない	良好ではない	無回答	上段: 実数(件)	
							下段: 割合(%)	
538	166	321	38	9	2	2		
100.0	30.9	59.7	7.1	1.7	0.4	0.4		



■役職・役員同士の連絡方法による傾向及び特徴（役員同士のコミュニケーションの状況）

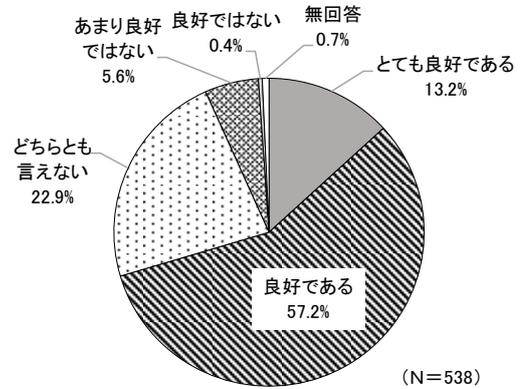
全ての役職で「とても良好である」「良好である」を合わせた『良好傾向にある回答』が80%以上となっている。



Q2-5 役員と役員以外の会員とのコミュニケーションは良好に図られていると思いますか。(1つだけ)

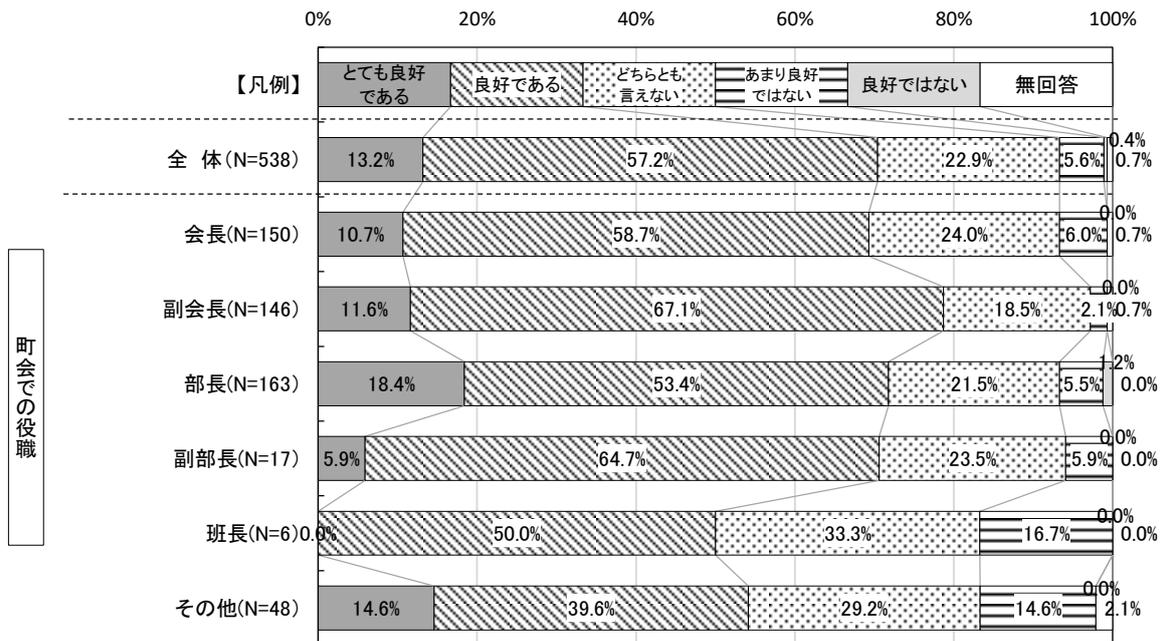
「とても良好である」と「良好である」を合わせた『良好傾向にある回答』が70.4%となっており、Q2-4の役員同士でのコミュニケーションと比較するとやや少ない結果となった。

全体	とても良好である	良好である	どちらとも言えない	あまり良好ではない	良好ではない	無回答
538	71	308	123	30	2	4
100.0	13.2	57.2	22.9	5.6	0.4	0.7



■ 役職・役員以外との連絡方法による傾向及び特徴（役員と役員以外のコミュニケーションの状況）

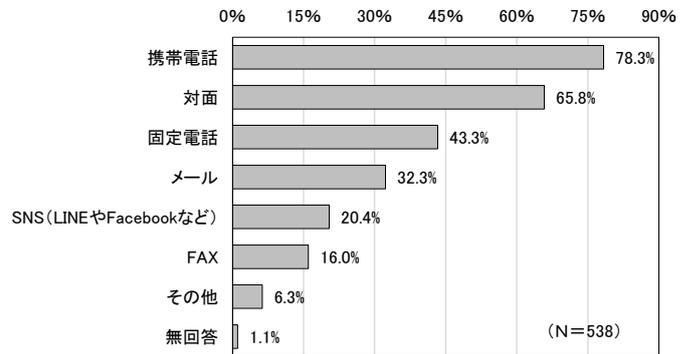
全ての役職で「とても良好である」と「良好である」を合わせた『良好傾向にある回答』が多くあげられている。



Q2-6 町会の役員同士の連絡や情報伝達の主な手段は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「携帯電話」が78.3%と最も多く、次いで「対面」が65.8%となった。

	上段:実数(件) 下段:割合(%)								
	携帯 電話	対 面	固 定 電 話	メ ー ル	S N S (L I N E や F a c e b o o k な ど)	F A X	そ の 他	無 回 答	
全 体	421	354	233	174	110	86	34	6	538
	78.3	65.8	43.3	32.3	20.4	16.0	6.3	1.1	100.0



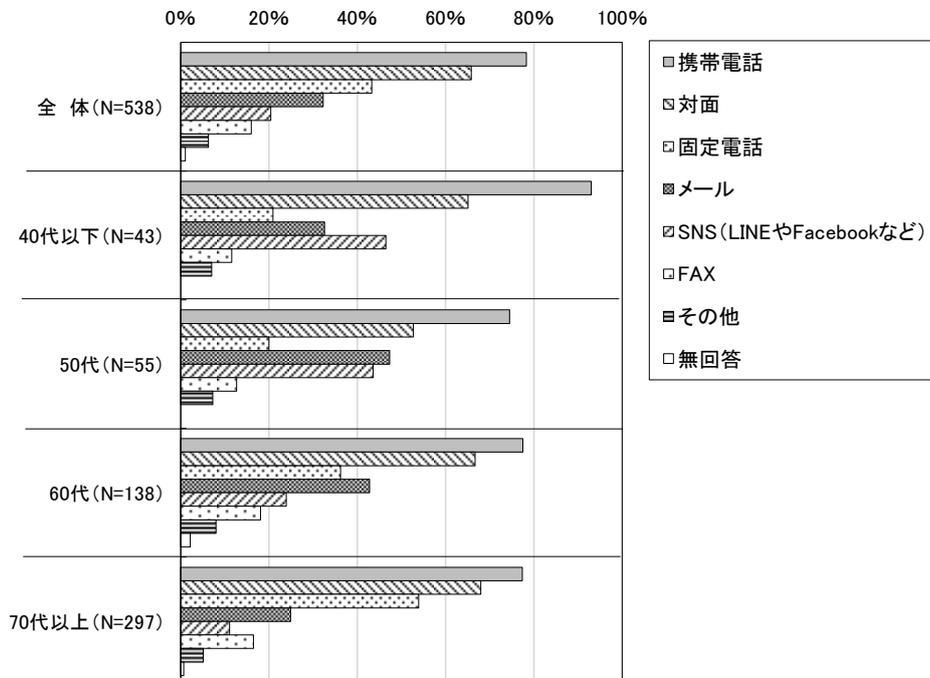
【「その他」の主な内容】

- ・ お知らせの案内チラシの各戸配布
- ・ 回覧板
- ・ 町会役員会・理事会

■年代による傾向及び特徴（役員同士の連絡や情報伝達の主な手段）

いずれの年代でも「携帯電話」「対面」が最も多くあげられたが、次いで、40代以下では「SNS (LINEやFacebook)」があげられ、50代は「メール」があげられている。特に SNS の利用は 60代以上になると利用が少なく、年代によるコミュニケーションツールに差がみられる。

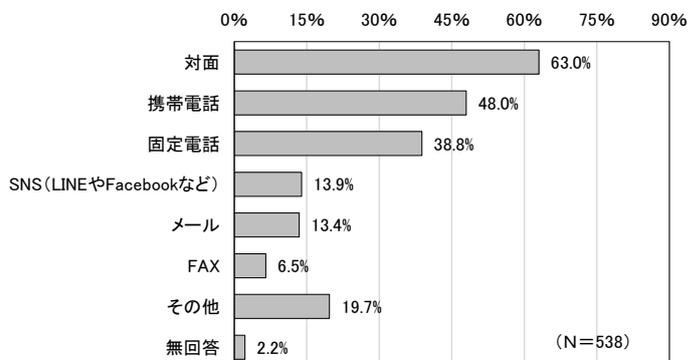
【年代別】



Q2-7 役員と役員以外の会員との連絡や情報伝達の主な手段は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

「対面」が63.0%と最も多い。次いで「携帯電話」が48.0%、「固定電話」38.8%と、『電話』による回答があげられた。

全体	対面	携帯電話	固定電話	SNS (LINEやFacebookなど)	メール	FAX	その他	無回答	上段:実数(件)
									下段:割合(%)
538	339	258	209	75	72	35	106	12	
100.0	63.0	48.0	38.8	13.9	13.4	6.5	19.7	2.2	



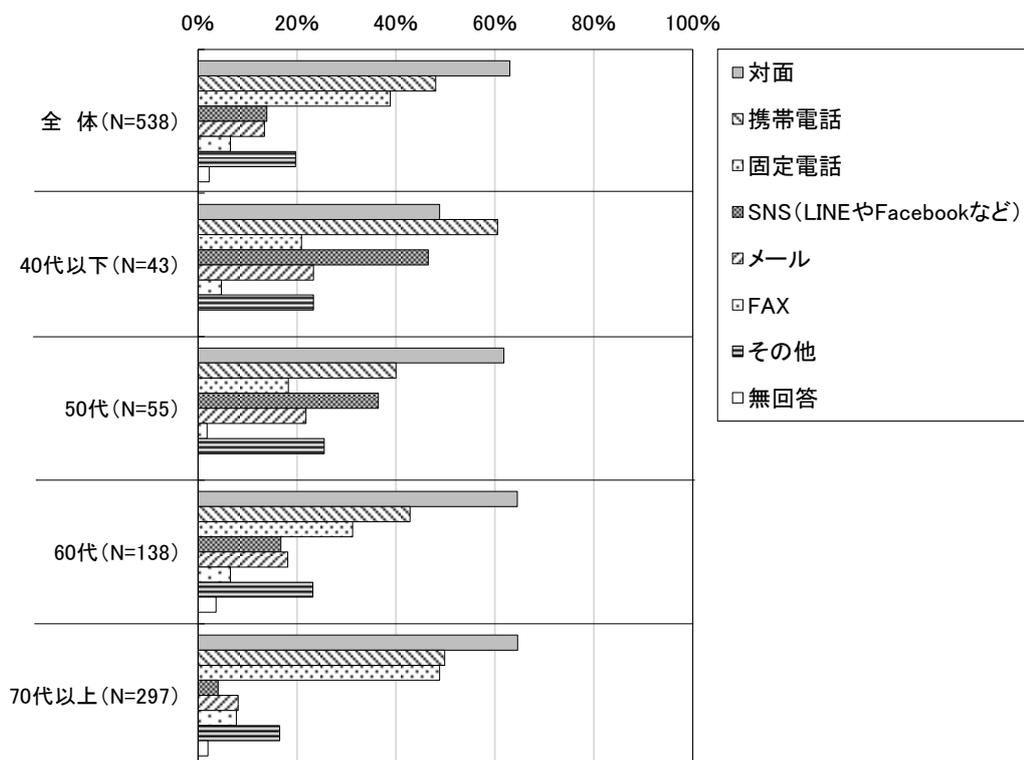
【「その他」の主な内容】

- ・ 回覧板
- ・ 掲示板
- ・ 書類配布
- ・ 定例会

■年代による傾向及び特徴（役員と会員の連絡や情報伝達の主な手段）

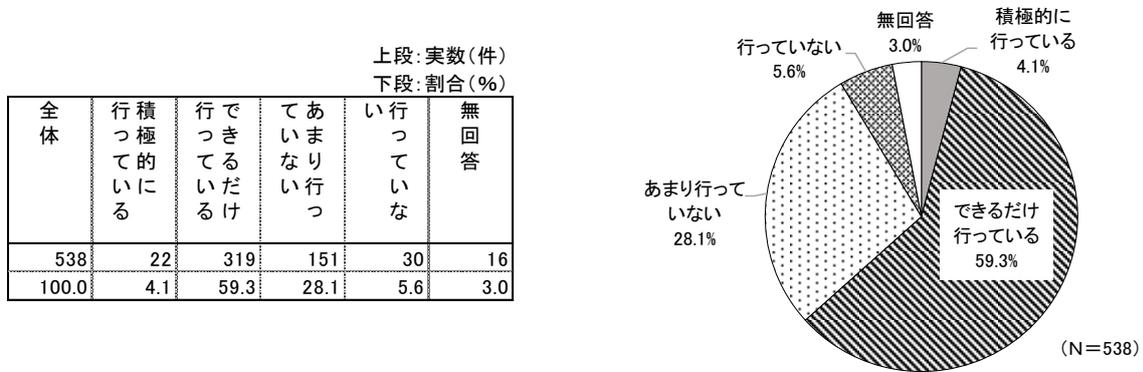
40代以下では「携帯電話」が最も多くあげられており、次いで「対面」となっているが、他の年代では「対面」が最も多く、次いで「携帯電話」があげられており、年代による連絡や情報伝達手段に差がみられる。

【年代別】



Q2-8 町会内の住民（非会員も含む）に対して、住民の要望や意見などの把握はしていますか。（1つだけ）

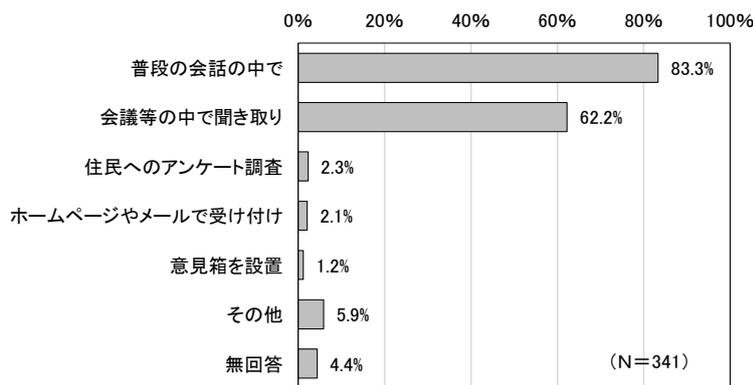
「積極的に行っている」と「できるだけ行っている」を合わせた『住民の要望・意見の把握を行っている回答』が63.4%となった。



※Q2-8で「①積極的に行っている」または「②できるだけ行っている」を回答した方に伺います。Q2-9 どのような方法で、住民の要望や意見を把握していますか。（当てはまるもの全てに○）

「普段の会話の中で」が83.3%と最も多く、次いで「会議等の中で聞き取り」が62.2%となった。

全体	普段の会話の中で	取り会議等の中で聞き	住民へのアンケート調査	ホームページやメールで受け付け	意見箱を設置	その他	上段:実数(件)	
							下段:割合(%)	無回答
341	284	212	8	7	4	20	15	
100.0	83.3	62.2	2.3	2.1	1.2	5.9	4.4	



【「その他」の主な内容】

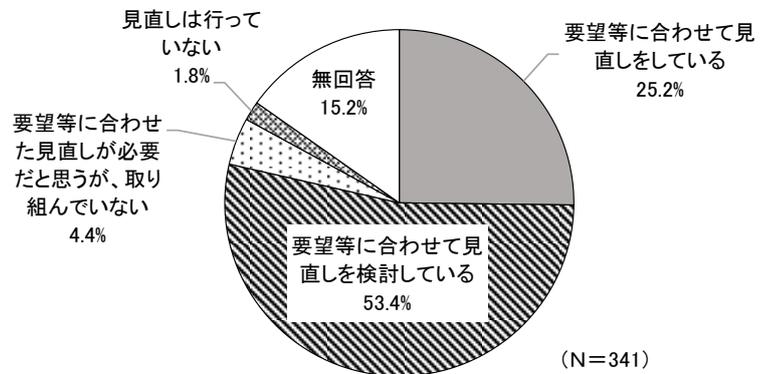
- ・ 直接電話を受ける
- ・ 各種会合・イベント時に
- ・ 町会費集金の際

※Q2-8で「①積極的にやっている」または「②できるだけやっている」を回答した方に伺います。

Q2-10 住民からの要望や課題から、町会の事業や活動の見直しなどを行っていますか。(1つだけ)

「要望等に合わせて見直しを検討している」が53.4%と最も多く、次いで「要望等に合わせて見直しをしている」が25.2%となった。

全体	要望等 を して 合 わ せ て 見 直 し を し て い る	要望等 を 検 討 し て い る	取り 組 む に よ り 必 要 と 思 わ れ な い と 見 直 す	要望 等 に 合 わ せ て 見 直 し は 行 っ て い な い	無 回 答	上段:実数(件)	下段:割合(%)
						341	100.0
						86	25.2
						182	53.4
						15	4.4
						6	1.8
						52	15.2



Q2-11 組織運営やコミュニケーション等に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 自営業の人と会社員とでは時間が合わないことが多い。
- ・ 組織が高齢化しているので、もう少し若い人達にも参加して欲しい。
- ・ 役員や住人の高齢化の為、活発な町会活動が行いにくい。
- ・ 役員の固定化に気をつけている。次代の若い方の加入を心配している。
- ・ 役員数が少なく、実際に動ける人がもっと少ないので役職に就いている人の負担が大きく、その人に集中している。
- ・ 町会イベント等に於いて呼び掛けするも積極的参加はほとんど無い。(まずは、町会役員からの挨拶、声掛けをするなど対面でのつながりを多く作り、町会運営等に関心を持ってもらう)
- ・ 町会行事に無関心な人が多くなっているように思います。
- ・ 温度差をどう埋めれば良いか?何が地域・町会のためになるか。
- ・ 新しいマンションなどの新規転入者とのコミュニケーションは難しい。
- ・ マンション居住者はポストに名札が無いので居住しているかどうかわからない。アンケート等をポスティングしても返事が返ってこない。
- ・ マンションの新しい住民に対して、町会イベントの参加を促したいと思っています。回覧板だけだと見ない人もいる中で共有が難しい状態です。
- ・ 町会に入りたくない、マイナスイメージのある方も多い(非会員の増加)。会員でも、役員または町会運営の手伝いとなるとハードル高い人が多い。
- ・ 町会のイベント等、感心するほど皆一生懸命やっています。それなのに新旧の部員の入替わりに手こずります。
- ・ 町会のイベント等に、住民の方の参加を呼びかけていますが、なかなか集まってもらえず、意見を問う機会が少ない。
- ・ 町会業務が個人レベルで行われており、組織的かつ体系的に運営されていない。業務の詳細が町会内で共有されていない。
- ・ コミュニケーションが取れていないと思う。要望や意見を言われたことが余りない。
- ・ 役員や役員以外の方とも、皆協力的で楽しく活動している。

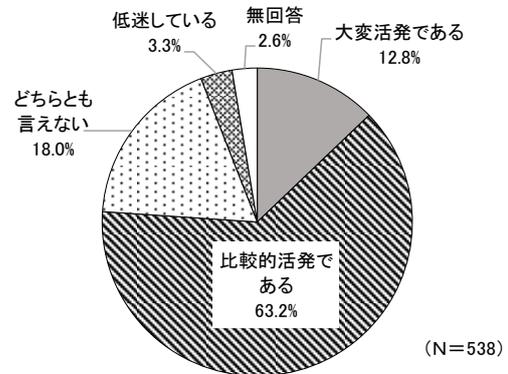
- 町会内には色々な方がいらっしゃいますので、その都度、適宜に対応する様に心がけています。
- 一般的に町会の活動が明確ではないため、何をやっているのか理解してもらえないことが多いと思う。もっとオープンにするべきだと思う。
- 町会というイメージが年代でそれぞれある様に感じられます。古いイメージの町会がまだ根強い。現代に合わせて変わってきてはいるが、マンションが増え、いろんな国の人達や、地域に密着しない方の居住が多くなった今日では、町会組織運営は難しく、コミュニケーション等もとりにくい。少しでも広がる様、皆で声かけを実行しています。
- HP の開設やメールマガジン等の利用をし、現代に沿ったあり方でコミュニケーションを図っていくべきと思う。行政もサポートして欲しい。
- 困っている時には力を貸す又は準備をしておく事が大切である。
- 今まで、こうだったからではなく、時代に合わせたの運営を。
- 当町会の役員は世代交代で比較的年齢層が若い故に、コミュニケーションが取りやすい。又、青年部の積極的な活躍が底力となり、安堵している。組織運営に関わる町会役員にとって重要な事は自覚と責任感だと痛感している。

3 町会活動や広報活動について

Q3-1 あなたの町会の活動状況について、どのように思いますか。(1つだけ)

「比較的活発である」が63.2%と最も多い。次いで「どちらとも言えない」が18.0%となった。

	上段:実数(件)					無回答
	ある	大変活発である	比較的活発である	どちらとも言えない	低迷している	
全体	538	69	340	97	18	14
	100.0	12.8	63.2	18.0	3.3	2.6



■年代・地区・役員同士のコミュニケーション・役員と会員のコミュニケーション・事業等の見直し状況による傾向及び特徴（町会の活動状況）

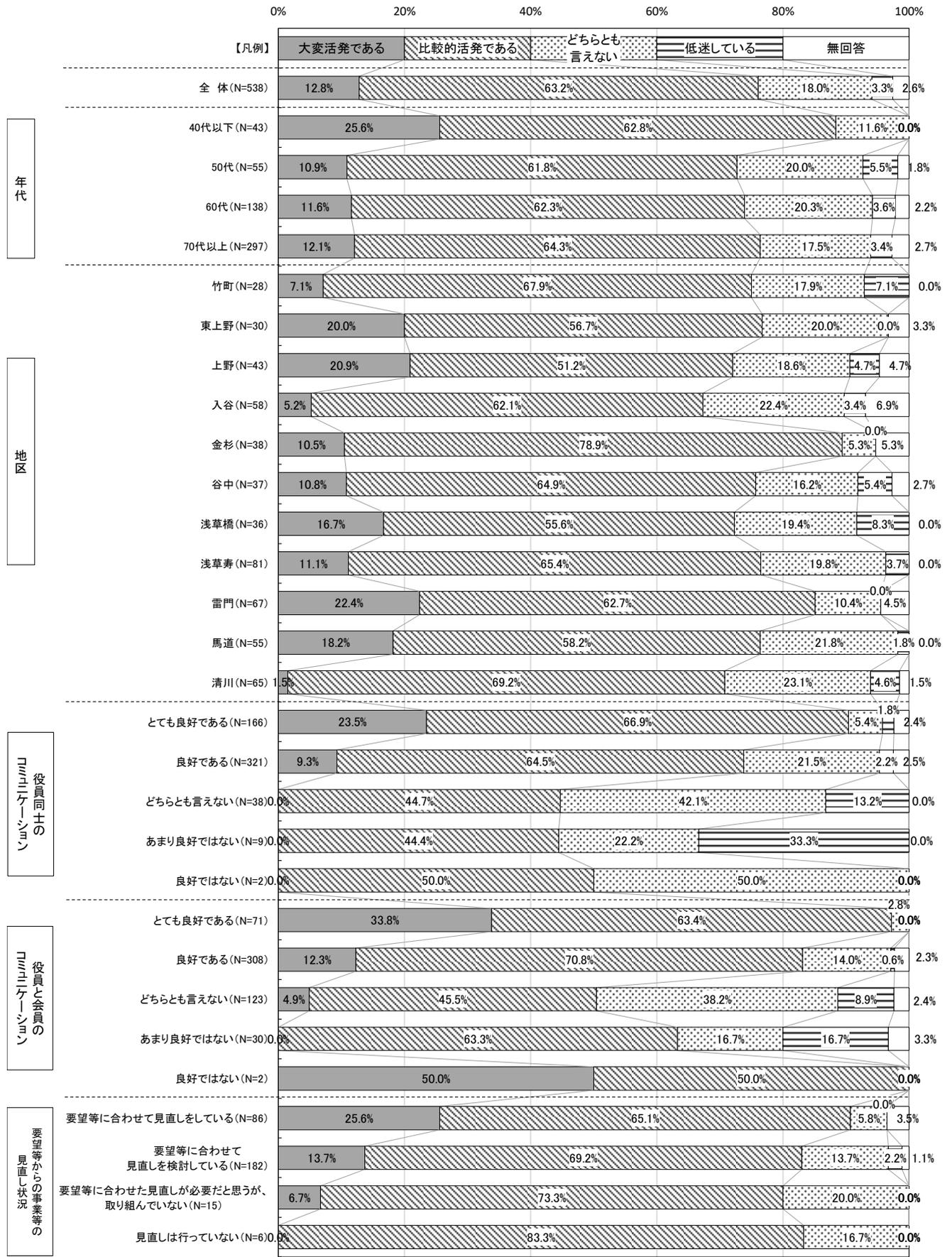
年代別では、40代以下の回答者は「大変活発である」が25.6%と他の年代より大きく上回っている。

地区別では、金杉地区が「大変活発」「比較的活発」の合計が最も高く、89.4%となっている。

また、役員同士または役員と会員のコミュニケーションの状況でみると、コミュニケーションが良好なほど活動が活発に行われている傾向にある。

加えて、地域の要望等を受け入れ事業の見直しをしている町会は、「大変活発」が高くなっている。

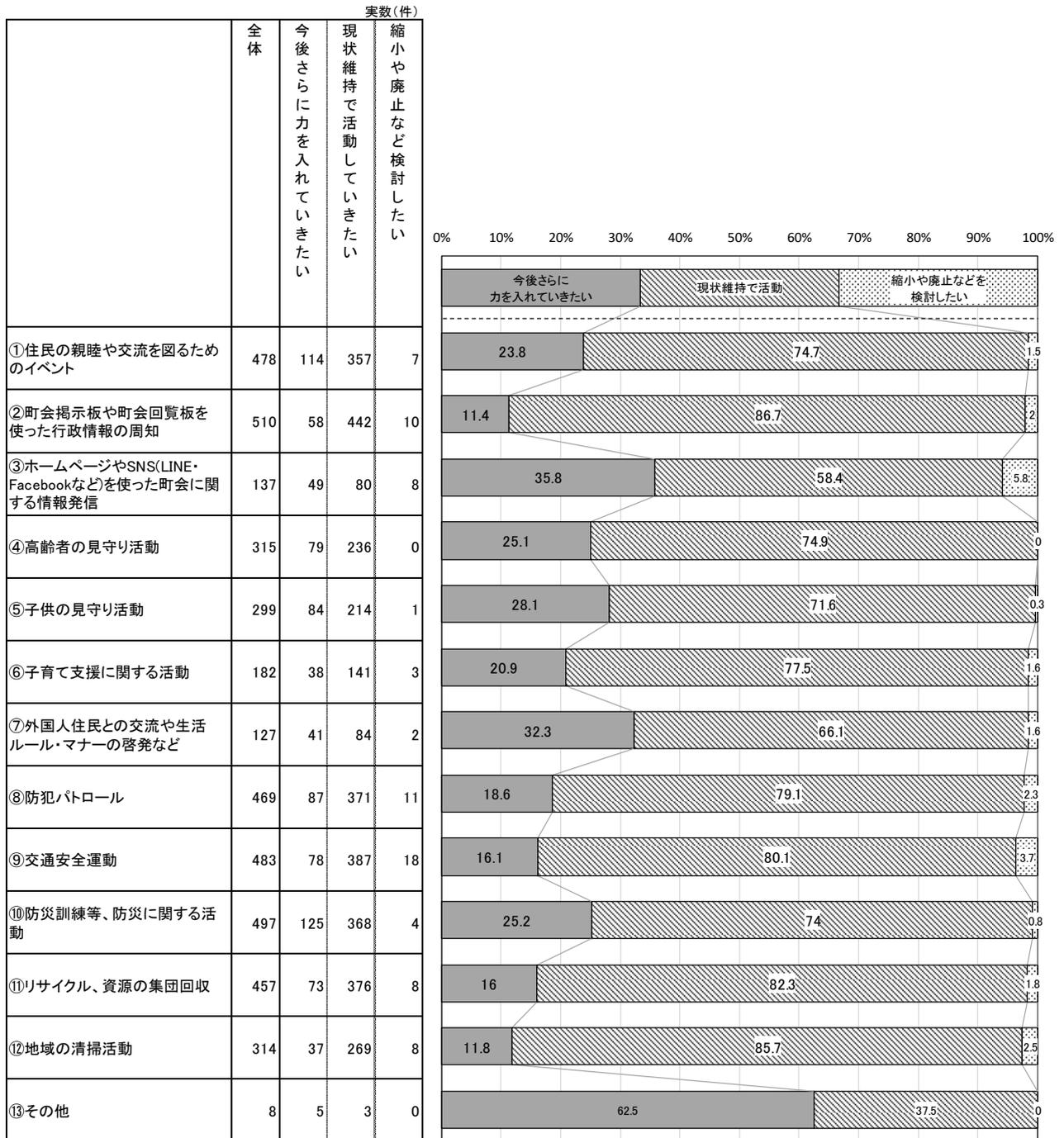
これらのことから、町会活動の活性化において、役員や会員とのコミュニケーション、事業のニーズに合わせた見直しが有効であるということが言える。



Q3-2 下記の活動について、あなたの町会では実施していますか。それぞれの選択肢からあてはまる部分に○を付けてください。

A 実施している場合《今後の方向性について》

「今後さらに力をいれていきたい」活動は、「ホームページやSNSを使った町会に関する情報発信」が35.8%と最も多く、次いで「外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発など」が32.3%となった。



【「その他」の主な内容】

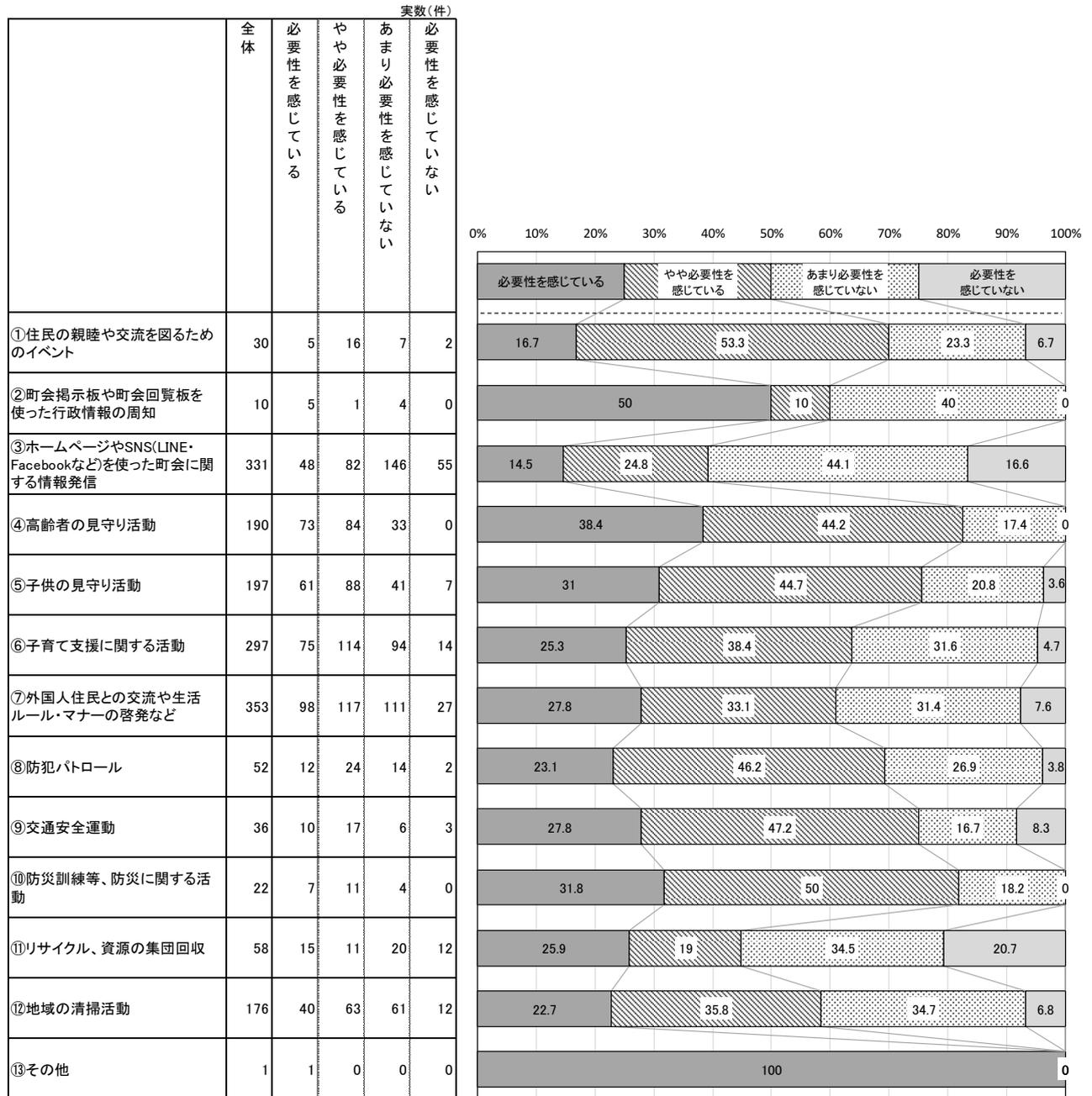
- ・ 加入促進活動

Q3-2 下記の活動について、あなたの町会では実施していますか。それぞれの選択肢からあてはまる部分に○を付けてください。

B 実施していない場合《実施の必要性について》

「必要性を感じている」と「やや必要性を感じている」を合わせた『必要性を感じている傾向にある回答』は、「高齢者の見守り活動」がと 82.6%と最も高く、次いで「防災訓練等、防災に関する活動」が 81.8%となった。

一方、「あまり必要性を感じていない」と「必要性を感じていない」を合わせた『必要性が低いと考えられている活動』は、「ホームページや SNS を使った町会に関する情報発信」が 60.7%と最も多い結果となった。



【「その他」の内容】

- ・ 防犯カメラの設置

Q3-3 町会活動や広報活動に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

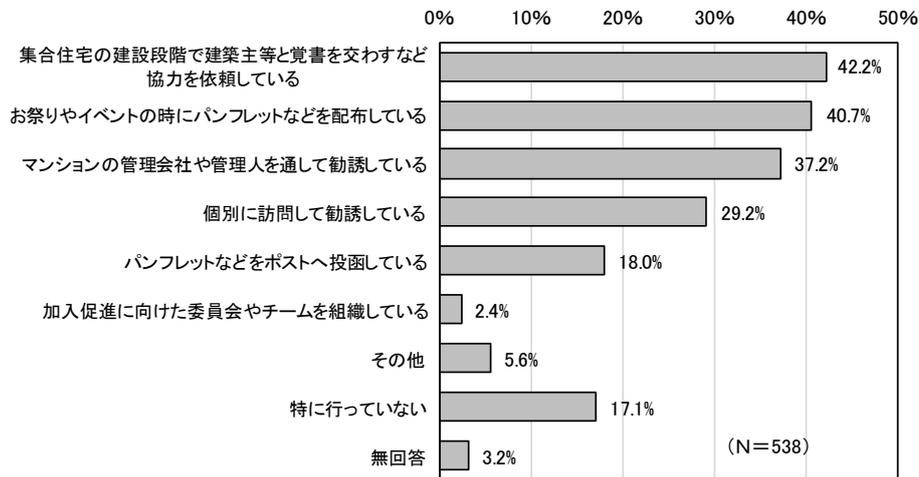
- ・ 回覧板が一軒の家で見える人が限られている。掲示板も見る人が少ない。各戸へのポスティングもマンション等ではゴミとして捨てられている事例が多い。
- ・ 新規役員が少なく、又、既存役員は高齢化。今は良いが、このままでは5年後、10年後は活動困難だと思われます。
- ・ 役員は若手も多く、積極的に活動していて素晴らしいと思います。役員以外の方の参加、次世代にどうつなげていくが課題と思われます。
- ・ 町会自体は小さいですが、近隣の町会と連携し、協力し合っております。イベントなど活動しております。
- ・ 現状の活動で精一杯と感じます。
- ・ 会員間のコミュニケーションを図り、暮らしやすい町づくりを目指すとともに、広報活動については年齢構成が多岐にわたるため”紙”を媒体にしている。
- ・ 5年前より町会の可視化を進めています。その1つとして役員と毎年変わる班長さんとで、かわら版を年2回作って、町会員全世帯に配布しています。活動の内容を広くアピールするのと、皆さんの意見をすくいあげて記事にしています。町会活動は風通しが良くないと参加しづらいつ思いつます。
- ・ 新しい住民も増えていくなか、町会の活動そのものが住民に知られていない。住民の発信手段等、検討する必要があると考じつ。例えば、HP、SNSなどの活用など。
- ・ ラインやフェイスブックの活用は考えるが、責任者(担当者)とどの様にするのかが判らないつ(運営方法など)。個人でやるのではなく団体(町会)として行うことになるので、担当者の選任がむずかしいのではないかと思いつ。
- ・ SNSに頼りすぎである。もっと対面して人と人のつながりを持った方が良い。
- ・ 区から町会への電話・FAX・手紙やパソコンを使ったメールに、回覧板や掲示板もディスプレイ(電光掲示板)を使った掲示板にしていただきたい。
- ・ 大きな問題は人員確保、育成だと思いつます。同じ人ばかり負担がかかつては困りますし、とつて誰もやらない訳にもいきません。マンション住民の方や、企業の方とも協力をお願いして活動していきたくと思いつます。
- ・ 町会活動において参加する人・お手伝いしていただける人が、いつも決まつていようで、広報活動に力を入れて新しい方達を増やす事が大事。
- ・ 町会未加入の方への情報発信の手段として、どのような形が良いのかと感じている。
- ・ 回覧物、掲示板のポスターが多すぎる。重要なものだけにしたい。

4 未加入者の加入促進について

Q4-1 町会未加入者に対して、加入の呼びかけの取組について実施しているものはありますか。(当てはまるもの全てに○)

「集合住宅の建設段階で建築主等と覚書を交わすなど協力を依頼している」が 42.2%と最も多く、次いで「お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している」が 40.7%となった。

全体	ど協力を依頼している	集合住宅の建設段階で建築主等と覚書を交わすなど	お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している	マンションの管理会社や管理人を通して勧誘している	個別に訪問して勧誘している	パンフレットなどをポストへ投函している	加入促進に向けた委員会やチームを組織している	その他	特に行っていない	無回答	上段:実数(件)	下段:割合(%)
											538	227
	100.0	42.2	40.7	37.2	29.2	18.0	2.4	5.6	17.1	3.2		



【「その他」の主な内容】

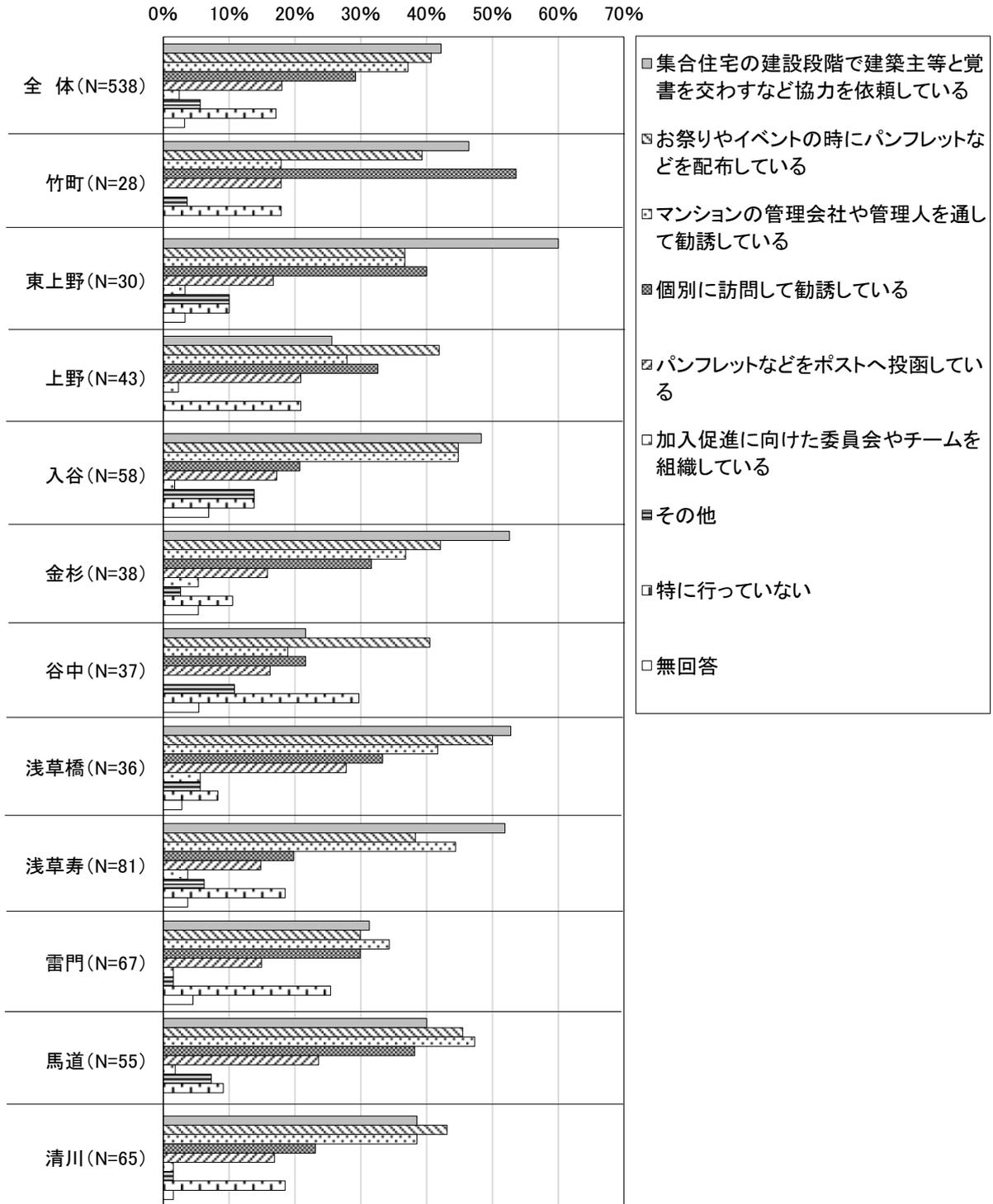
- ・ 町会加入のポスターを掲示している。
- ・ 町会広報誌の配布。
- ・ SNS・フェイスブックページにて広報、情報発信しています。
- ・ 困窮から離脱された方に対しては引き続き町会活動に参加してもらっている。会費を徴収しない、払えるようになったら頂く。

■地区による傾向及び特徴（加入の呼びかけの取組）

竹町地区は「個別に訪問して勧誘している」割合が最も高くなっている。

また、上野地区、谷中地区、清川地区は「お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している」が最も高くなっている。

【地区別】

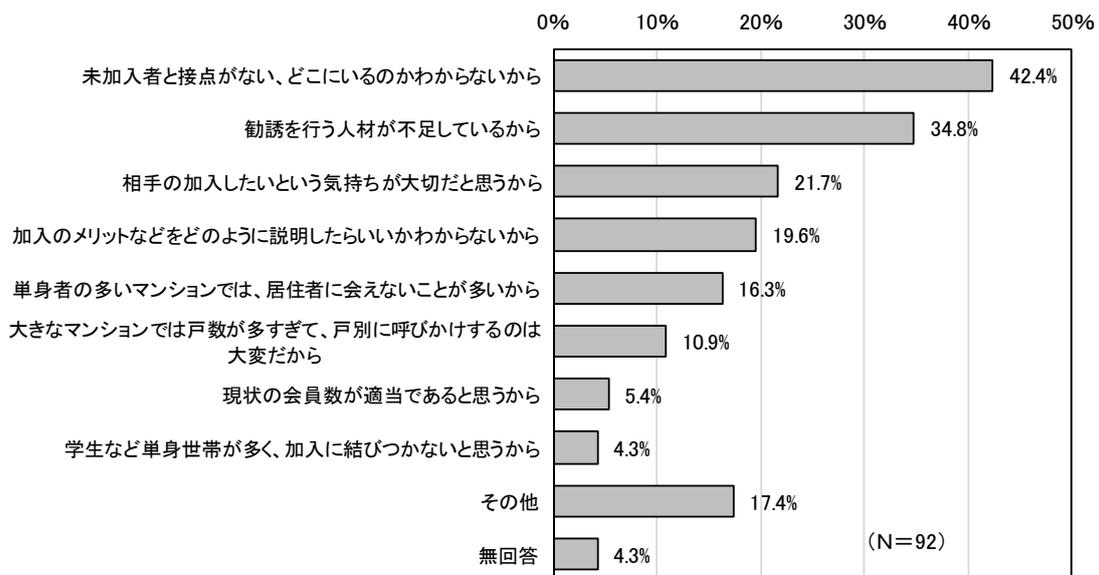


※Q4-1で「③特に行っていない」を回答した方に伺います。

Q4-2 未加入者への加入の呼びかけの取組をしていない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「未加入者と接点がない、どこにいるのかわからないから」が42.4%と最も多く、次いで「勧誘を行う人材が不足しているから」が34.8%となった。

全体	上段:実数(件) 下段:割合(%)										
	未加入者との接点がない、どこにいるのかわからないから	勧誘を行う人材が不足しているから	相手の加入したいという気持ちが大切だと思うから	加入のメリットなどをどのように説明したらいいかわからないから	単身者の多いマンションでは、居住者に会えないことが多いから	大きなマンションでは戸数が多すぎて、戸別に呼びかけするのは大変だから	現状の会員数が適当であると思うから	学生など単身世帯が多く、加入に結びつかないと思うから	その他	無回答	
92	39	32	20	18	15	10	5	4	16	4	
100.0	42.4	34.8	21.7	19.6	16.3	10.9	5.4	4.3	17.4	4.3	



【「その他」の主な内容】

- ・ 無作為に勧誘するとトラブルになる可能性を示唆されるため。
- ・ 町会の役割がとても面倒だと言う人が多く、災害が起きたら区、国が助けてくれる。町会を相手にしたくない。

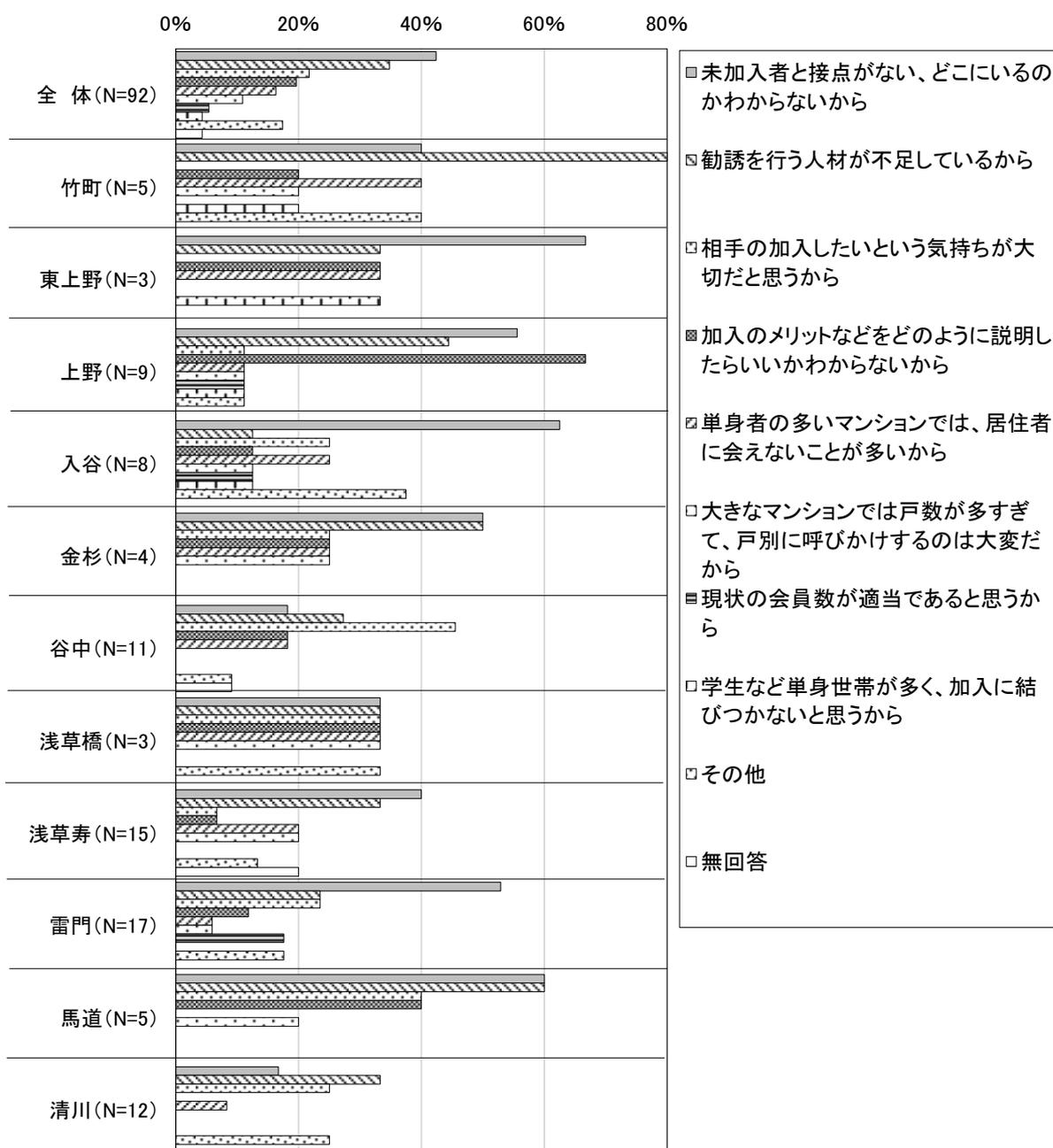
■地区による傾向及び特徴（加入の呼びかけの取組をしていない理由）

最も多くあげられたものとして、「未加入者との接点がない、どこにいるのかわからないから」は東上野地区が66.7%、入谷地区が62.5%、雷門地区が52.9%、浅草寿地区が40.0%となった。「勧誘を行う人材が不足しているから」は竹町地区が80.0%、清川地区が33.3%となった。「相手の加入したいという気持ちが大切だと思うから」は谷中地区が45.5%となった。「加入のメリットなどをどのように説明したらいいかわからないから」は上野地区が66.7%であった。

金杉地区、馬道地区は「未加入者との接点がない、どこにいるのかわからないから」「勧誘を行う人材が不足しているから」が同率で最も多くあげられ、浅草橋地区は回答のあった全ての項目が同率となった。

いずれもサンプル数は少ないが、加入の呼びかけの取組をしていない理由は地区ごとに特徴が出た結果となった。

【地区別】

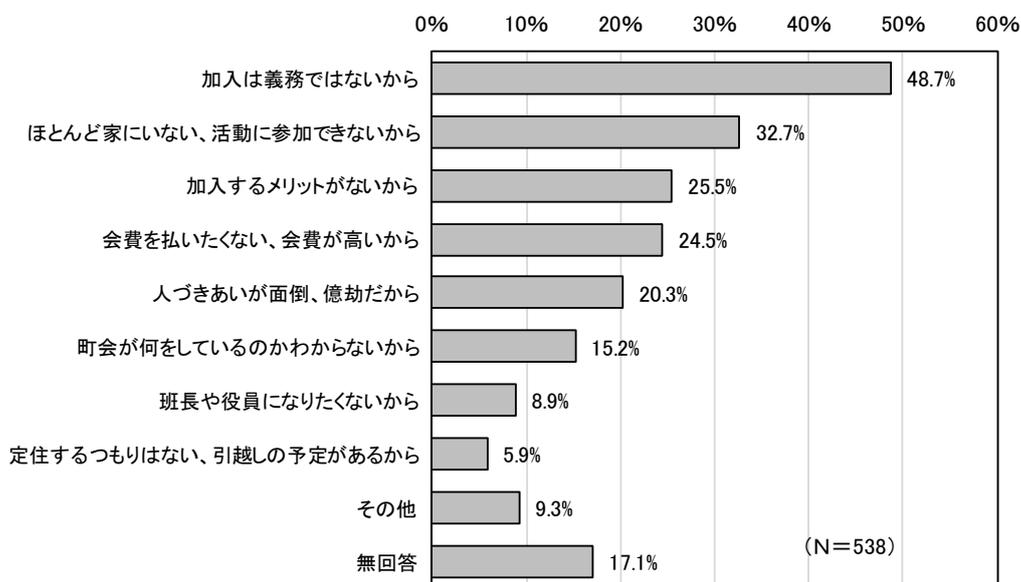


**Q4-3 いままでの加入の呼びかけの中で、加入を断られる理由として挙げられることは何ですか。
(3つまで)**

「加入は義務ではないから」が48.7%と最も多く、次いで「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」が32.7%となった。

「加入するメリットがないから」「会費を払いたくない、会費が高いから」「人づきあいが面倒、億劫だから」もそれぞれ20%以上となった。

全体	上段:実数(件) 下段:割合(%)										
	加入は義務ではないから	ほとんど家にいない、活動に参加できないから	加入するメリットがないから	会費を払いたくない、会費が高いから	人づきあいが面倒、億劫だから	町会が何をしているのかわからないから	班長や役員になりたくないから	定住するつもりはない、引越しの予定があるから	その他	無回答	
538	262	176	137	132	109	82	48	32	50	92	
100.0	48.7	32.7	25.5	24.5	20.3	15.2	8.9	5.9	9.3	17.1	



【「その他」の主な内容】

- ・ 親会社の許諾が得られないため（チェーン店等）。
- ・ 外国人の方が多く、風習がないから。
- ・ 子育てや介護等で時間が無いから。
- ・ 日中、仕事をしているため、活動に参加する余裕がないから。
- ・ 近くの町会で商売をしていて、そこで町会費を払っているの、町会費の二重払いをしたくないとの理由。
- ・ 知り合いがいないから。
- ・ 断られた事がない。
- ・ 理由は不明。

■地区による傾向及び特徴（加入を断られる理由）

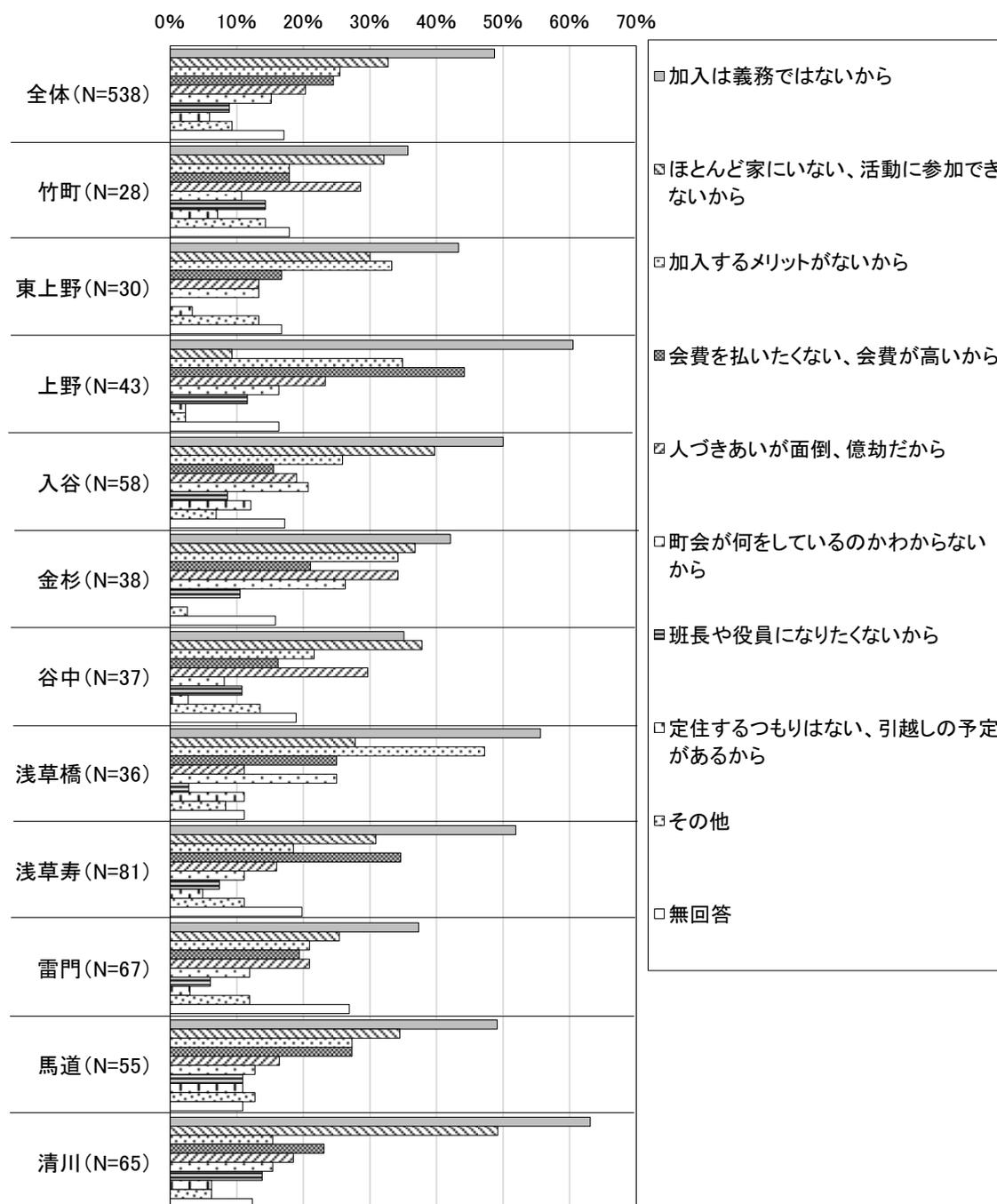
最も多くあげられたものとして、谷中地区が「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」となった以外は全ての地区で「加入は義務ではないから」があげられている。

次いであげられたものとして、「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」は竹町地区が32.1%、入谷地区が39.7%、金杉地区が36.8%、雷門地区が25.4%、馬道地区が34.5%、清川地区が49.2%となった。「加入するメリットがないから」は東上野地区が33.3%、浅草橋地区が47.2%となった。「会費を払いたくない、会費が高いから」は上野地区44.2%、浅草寿地区が34.6%となった。

「加入は義務ではないから」は谷中地区が35.1%であった。

全ての地区において「加入は義務ではないから」「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」という回答が多いことがわかった。

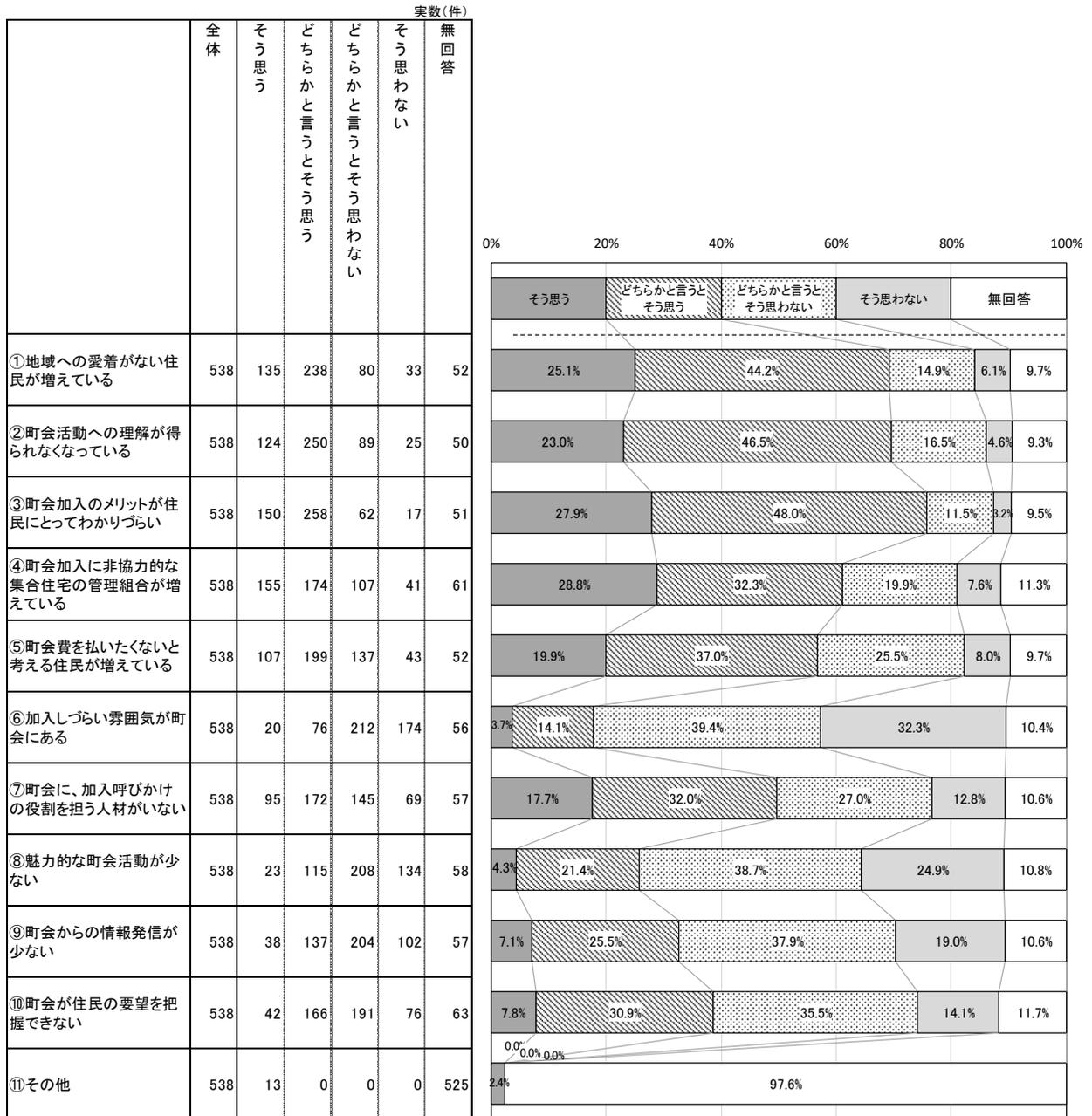
【地区別】



Q4-4 加入が進まない問題点は何かと思いますか。それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。

「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」を合わせた『そう思う傾向にある回答』としては「町会加入のメリットが住民にとってわかりづらい」が75.9%と最も多い結果となった。

地域への愛着がない住民が増えている傾向にある一方で、町会に関する明瞭な情報提供の必要性を感じていることも伺える。



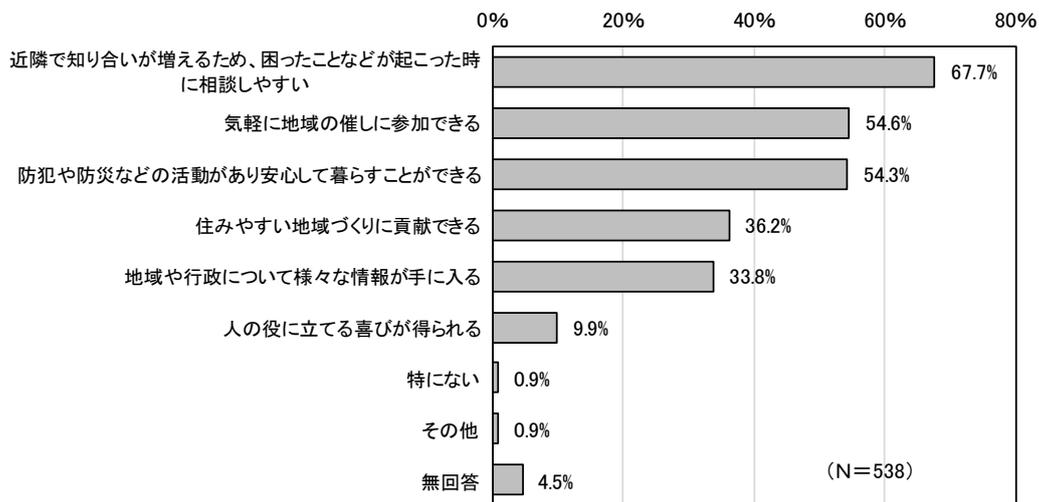
【「その他」の主な内容】

- ・ ビルにテナントが多いのでオーナーの協力がないと加入が難しい。
- ・ 集合住宅、オートロック増加
- ・ 町会に解け込む意識が無い。
- ・ お互いに意見交換できる場が無い。
- ・ 町会名を知らない、会長を知らない。

Q4-5 町会加入の良さやメリットはどのようなことだと思いますか。(3つまで)

「近隣で知り合いが増えるため、困ったことなどが起こった時に相談しやすい」が67.7%と最も多い。次いで「気軽に地域の催しに参加できる」「防犯や防災などの活動があり安心して暮らすことができる」がそれぞれ50%以上となった。

全体	近隣で知り合いが増えるため、困った時に相談しやすい	気軽に地域の催しに参加できる	防犯や防災などの活動があり安心して暮らすことができる	住みやすい地域づくりに貢献できる	地域や行政について様々な情報が手に入る	人の役に立てる喜びが得られる	特にない	上段:実数(件)	
								その他	無回答
538	364	294	292	195	182	53	5	5	24
100.0	67.7	54.6	54.3	36.2	33.8	9.9	0.9	0.9	4.5



【「その他」の主な内容】

- ・ 最大の安全が得られると思う。
- ・ この地に住んで良かったとの実感を共有すること。
- ・ 地域の子供達同士のつきあいもできる。

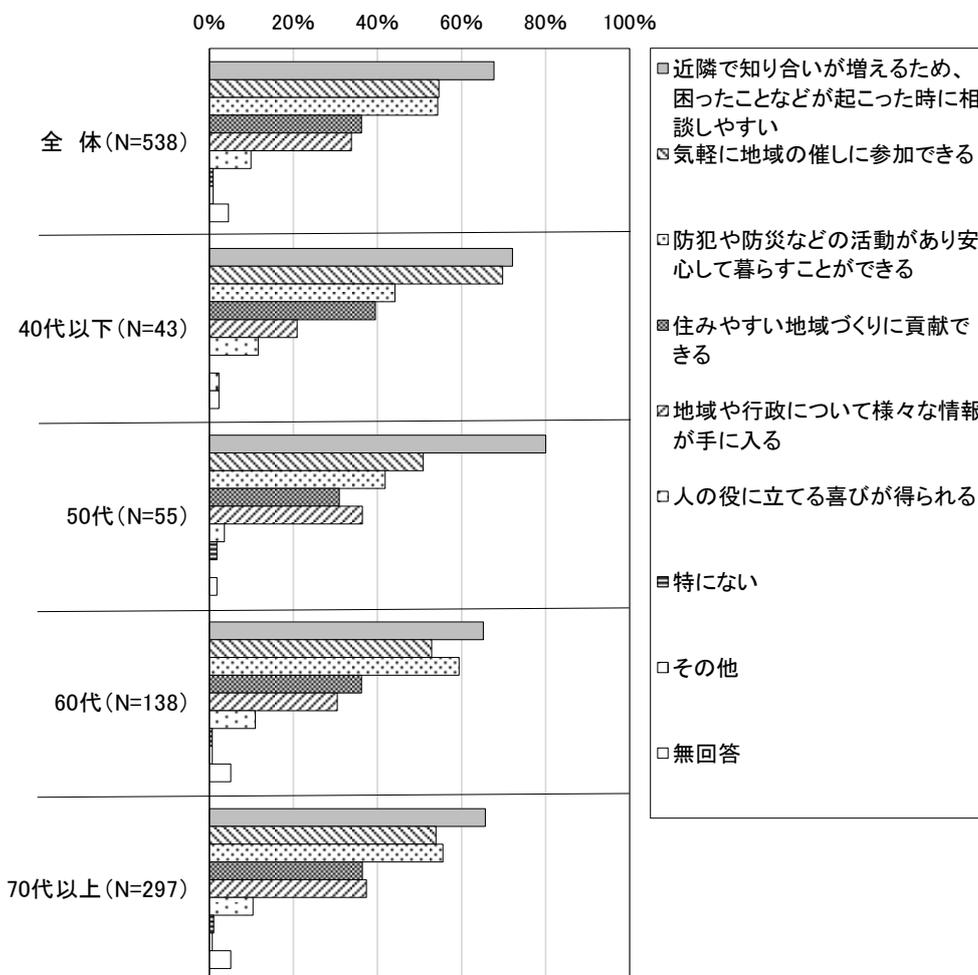
■年代による傾向及び特徴（町会加入の良さやメリット）

全体の傾向では「近隣で知り合いが増えるため、困ったことなどが起こった時に相談しやすい」が最も多い。

次いで40代以下と50代では「気軽に地域の催しに参加できる」が多い一方、60代と70代以上では「防犯や防災などの活動があり安心して暮らすことができる」が多くなっている。

50代と60代を境に、町会加入の良さやメリットの考え方に差がみられる。

【年代別】



Q4-6 未加入者の加入促進に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

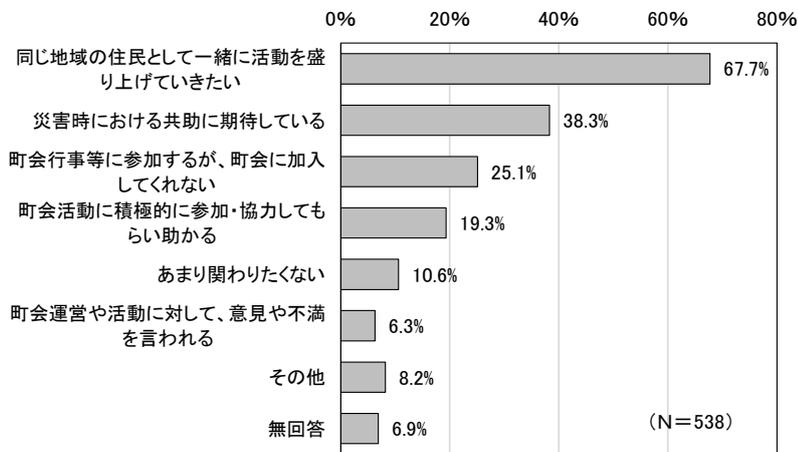
- ・ 町内には多くの企業があります。企業が町会に加入したいと思えるメリットをどう説明していけばよいか、検討する必要があります。
- ・ 入るメリットをうまく提示した方が良いかと思うが、中々うまく伝えられないし、入らない方はつきあいを避けたがっている人もいるので、良い方法が見つかっていない。
- ・ その辺でやっているお祭りやイベントなど「実は町会が協力して成り立っている」という事を知らない人が多い。「実は必要なのだ」と思ってもらえれば良い方向に行くと思うのですが。
- ・ 町会加入のメリットをPR する必要があります。町会でPR 文書を作成している。
- ・ 町会活動の告知、並びに結果報告等をイベント毎に知らせる。
- ・ アピール不足を感じる。町会個々では限度があるので、行政も後押しして欲しい。
- ・ マンションが増え、住んでいる人も分からずオートロックで入っても行けず、加入促進が出来ない。
- ・ 餅つき、盆踊りを行って勧誘している。
- ・ 幼稚園、保育園や小学校で子供を通じて話をすると、加入率は良い。ほかの町会とも、つながりを持って声かけしていくしかないと思います。
- ・ 加入が義務ではないので、誘うにも限度を感じている。
- ・ 最近では、誰にも干渉されたくないというマンション暮らしの者がふえてきていることと、興味のないことには、たとえ少額であれ1 銭も払いたくないというアレルギー反応を示す者もいるため、無理に加入を勧めるよりは門戸を開放して待つしかないと思っている。
- ・ 町会活動に関心な方が多い。
- ・ 町会加入は任意、裁判の判例により、町会に「入らなくて良い」という意見が多くなってきている様に思います。若い人はインターネットの情報を得、特に上記意見の方が多くと思います。
- ・ マンション等の住民の方々と接する機会が少なく、町でお会いしても話すきっかけがつかめない。お年寄りや子供さんと一緒に若い方達には声をかけるように努力しています。
- ・ 仲間や知人がいないと、加入しづらい感覚があると思う。
- ・ 町会加入のメリットを考えて入る方にとって長続きは元々無理で、現実におやめになった方もいらっしやいます。基本は小さいながらもボランティアではないでしょうか。
- ・ 地域でなく、区が全部してくれると思っているみたいだ。
- ・ 町会費を払う事がなくても、町会の行事には子供と参加する人が多く、なぜ払わなければならないのかと思っています。
- ・ 会費の話をする「嫌」な顔をされる事がある。
- ・ 未加入者の方々に、町会活動の情報提供ができるツールを作って行きたいが、人手と予算がない。
- ・ マンションの増加にともない、下町気質の町会と合わないと思込んでいる住民が増えているように感じられる。現状はおおむね加入しているが、今後は未加入者が増加するのではないか。
- ・ マンションの自治会と町会合同の活動が必要だが、最近の災害時における近隣の人との交流が助かっている事を強調して積極的に勧誘し易い。
- ・ 未加入者は少ない
- ・ マンションやアパート以外の戸建てでは 90%以上の加入率です。新しく戸建てを建てられた方や、引っ越されてきた方には町会長と三役、民生委員が、まずご挨拶にうかがい、コミュニケーションをとると加入して下さいます。
- ・ 未加入者が町会という組織にどのような印象があるのか知りたい。
- ・ 是非、他町会の方々がどのように行っているか？また、どのようにすれば効果が得られるか等、教えていただければありがたいと思います。

5 集合住宅及び管理組合との連携について

Q5-1 マンション等の集合住宅の居住者に対してどう感じていますか。(3つまで)

「同じ地域の住民として一緒に活動を盛り上げていきたい」が67.7%と最も多い。次いで「災害時における共助に期待している」が38.3%となった。

全体	一緒に地域活動を盛り上げていきたい	災害時における共助に期待している	町会行事等に参加するが、町会に加入してくれない	町会活動に積極的に参加・協力してもらい助かる	あまり関わりたくない	町会運営や活動に対して、意見や不満を言われる	その他	無回答	上段:実数(件)
									下段:割合(%)
538	364	206	135	104	57	34	44	37	
100.0	67.7	38.3	25.1	19.3	10.6	6.3	8.2	6.9	



【「その他」の主な内容】

- ・ 地域に無関心。
- ・ 居住者と会う事が出来ない。
- ・ 管理人さんとは関われるが（資源回収協力等々）居住者の方とは、他地域から来られた方は特に面識なく、災害発生時にはどのような動きをするべきか、一抹の不安は有る。もっと町内活動に参加して、お互いに「顔が見られる」町人同士になりたいという思いは役員として強い。
- ・ 子供の参加を多くしてもらい、保護者の理解を持ってもらう。
- ・ 加入は期待できない。

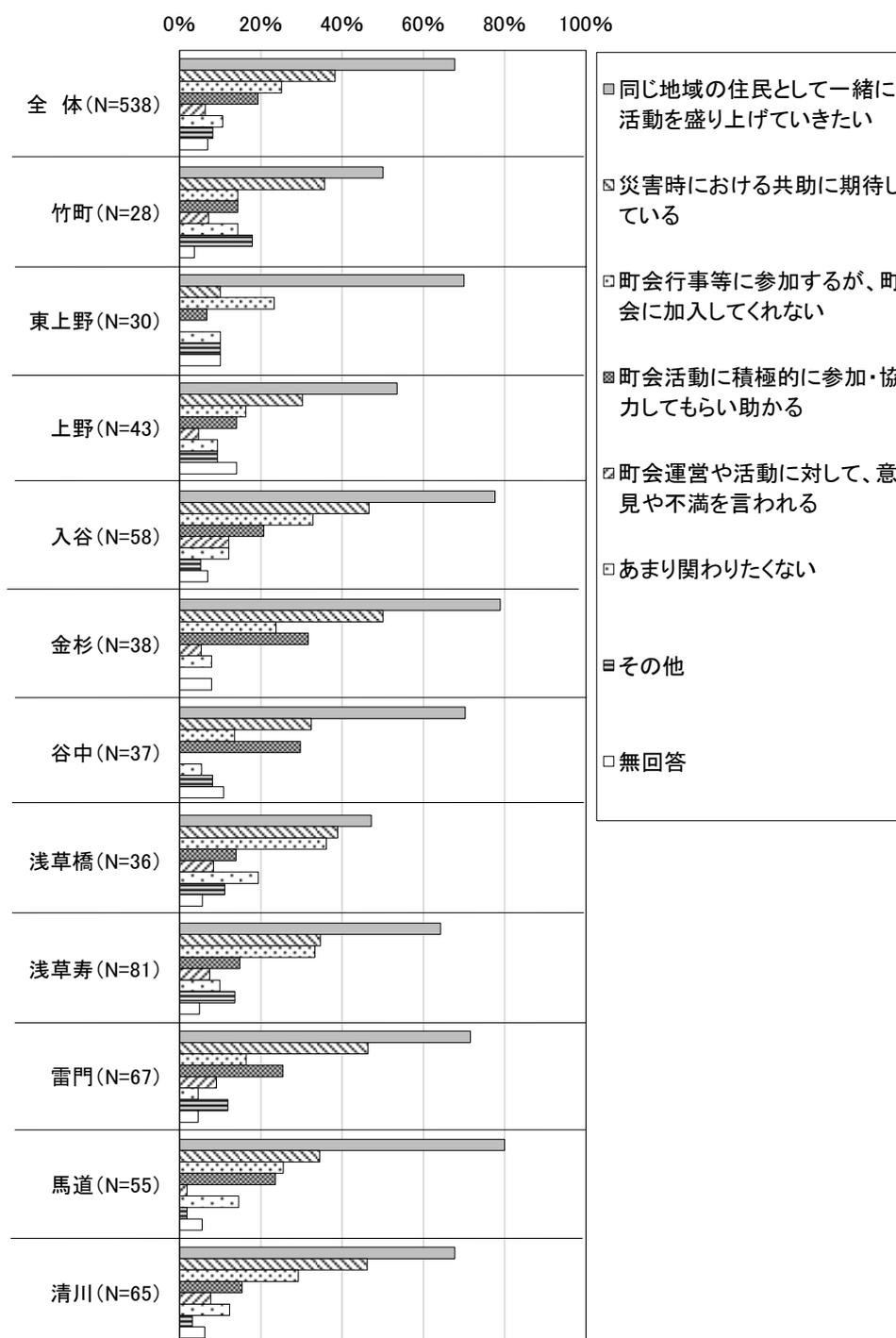
■地区別・年代別による傾向及び特徴（集合住宅の居住者に対して思っていること）

地区別にみると、いずれの地区でも「同じ地域の住民と一緒に活動を盛り上げていきたい」が最も多いが、竹町地区や上野地区、浅草橋地区では約50%程度にとどまっており、他の地区と比べてその意向は高くない。

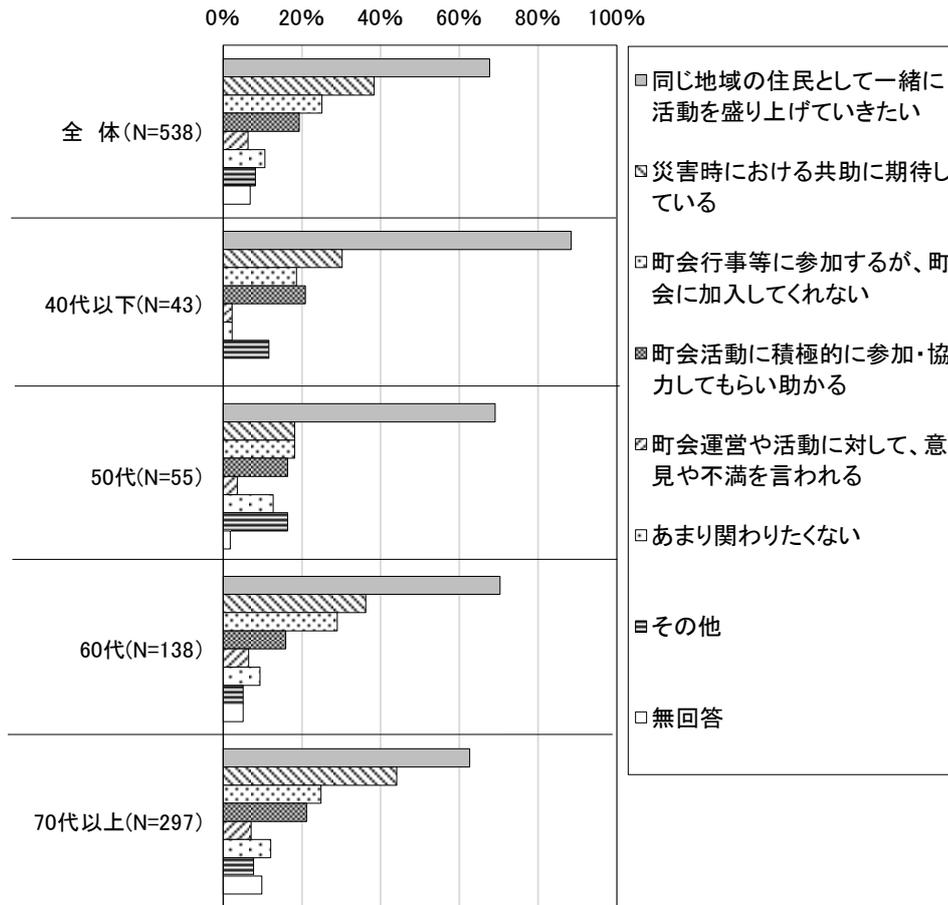
金杉地区や谷中地区、雷門地区では「町会活動に積極的に参加・協力してもらい助かる」が第3位となっており、それぞれ30%程度で他の地区と比べて高い傾向にある。集合住宅の居住者と町会がある程度良好な関係が作られていると考えられる。

年代別にみても、いずれの年代も「同じ地域の住民と一緒に活動を盛り上げていきたい」が最も多く、特に若い世代にその傾向がみられる。70代以上では「災害時における共助に期待している」が比較的高い結果となった。

【地区別】



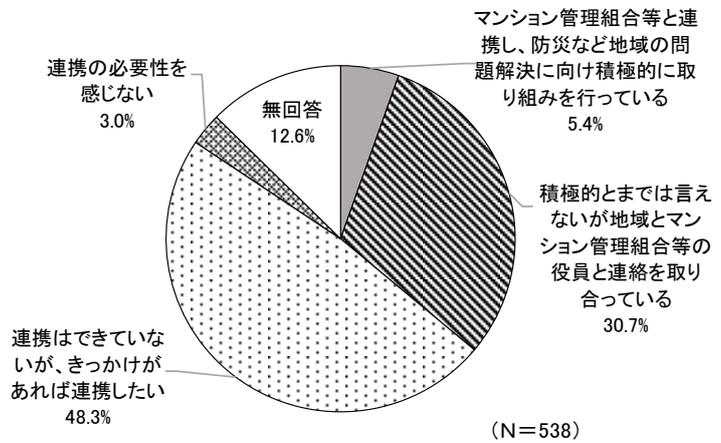
【年代別】



Q5-2 マンション等の集合住宅との連携についてどのような現状ですか。(1つだけ)

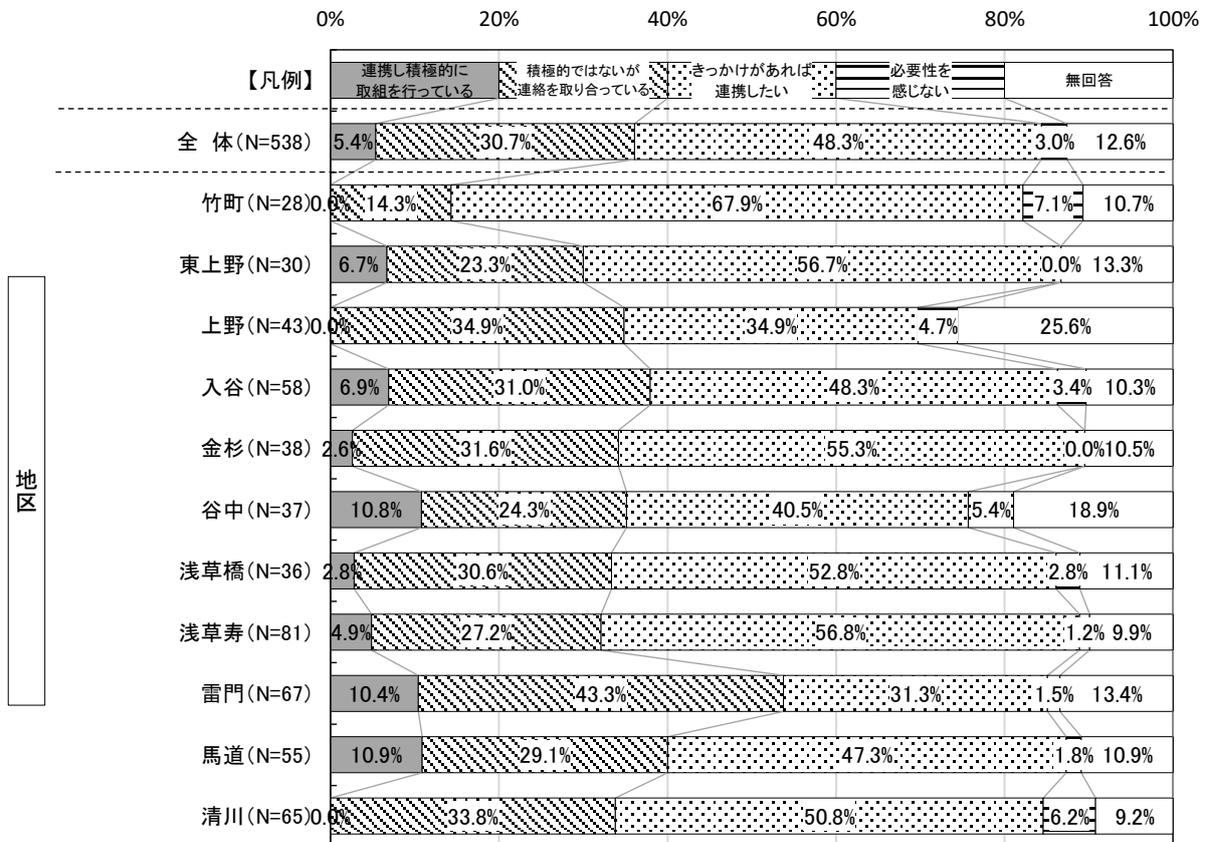
「連携はできていないが、きっかけがあれば連携したい」が48.3%と最も多く、連携を希望する傾向にあることが伺える。

	極防マ絡マ積が連	防災ンシを取マ極あ	マシヨンを取マ極あ	シヨンを取マ極あ	ンシヨンを取マ極あ	シヨンを取マ極あ	ンシヨンを取マ極あ	シヨンを取マ極あ	ンシヨンを取マ極あ			
全体	538	29	165	260	16	68	100.0	5.4	30.7	48.3	3.0	12.6



■地区別による傾向及び特徴（集合住宅との連携について）

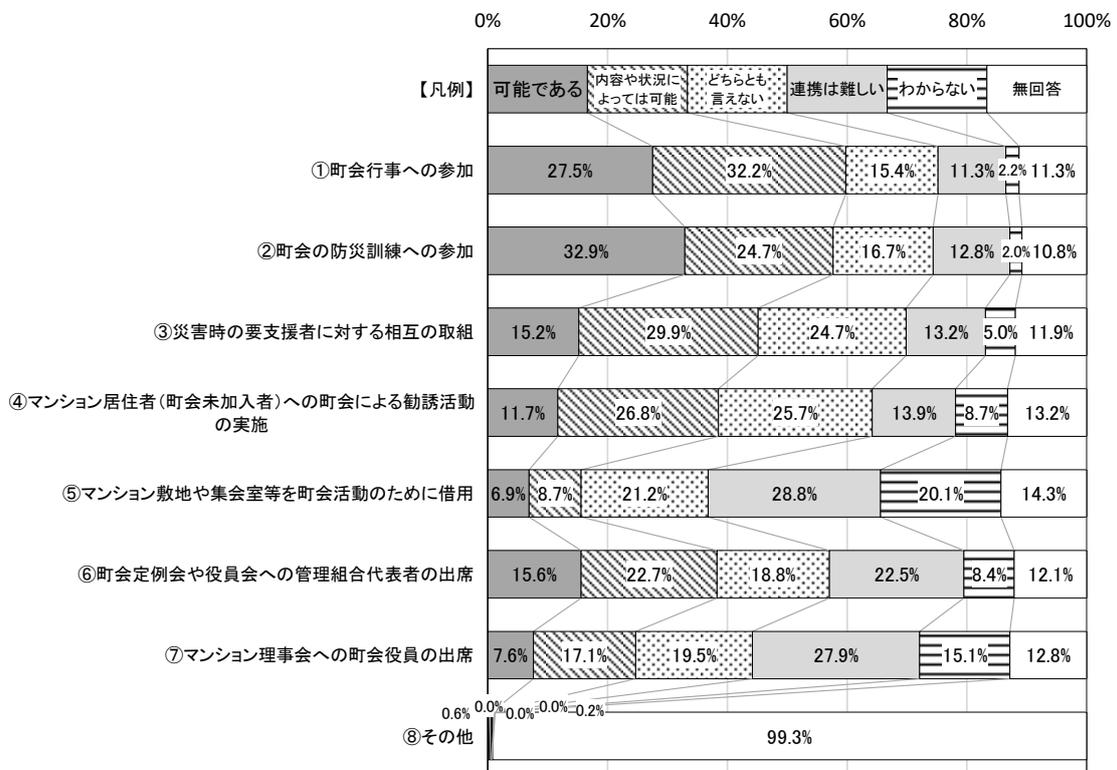
地区別では、雷門地区は他の地区と比べ連携の状況がみられる。竹町地区は「連携はできていないが、きっかけがあれば連携したい」が67.9%と、現在連携は行っていないものの連携の意向は高いことが伺える。



Q5-3 以下のことについて、町会に未加入の管理組合との連携や受入が可能かどうか、それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。

「可能である」活動として、「町会の防災訓練への参加」が 32.9%と最も多い。一方で「連携は難しい」活動として、「マンション敷地や集会室等を町会活動のために借用」が 28.8%と最も多く、次いで「マンション理事会への町会役員の出席」が 27.9%となった。

	全体	上段: 実数(件) 下段: 割合(%)					
		可能である	内容や状況によつては可能	どちらとも言えない	連携は難しい	わからない	無回答
①町会行事への参加	538	148	173	83	61	12	61
	100.0	27.5	32.2	15.4	11.3	2.2	11.3
②町会の防災訓練への参加	538	177	133	90	69	11	58
	100.0	32.9	24.7	16.7	12.8	2.0	10.8
③災害時の要支援者に対する相互の取組	538	82	161	133	71	27	64
	100.0	15.2	29.9	24.7	13.2	5.0	11.9
④マンション居住者(町会未加入者)への町会による勧誘活動の実施	538	63	144	138	75	47	71
	100.0	11.7	26.8	25.7	13.9	8.7	13.2
⑤マンション敷地や集会室等を町会活動のために借用	538	37	47	114	155	108	77
	100.0	6.9	8.7	21.2	28.8	20.1	14.3
⑥町会定例会や役員会への管理組合代表者の出席	538	84	122	101	121	45	65
	100.0	15.6	22.7	18.8	22.5	8.4	12.1
⑦マンション理事会への町会役員の出席	538	41	92	105	150	81	69
	100.0	7.6	17.1	19.5	27.9	15.1	12.8
⑧その他	538	3	0	0	0	1	534
	100.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2	99.3

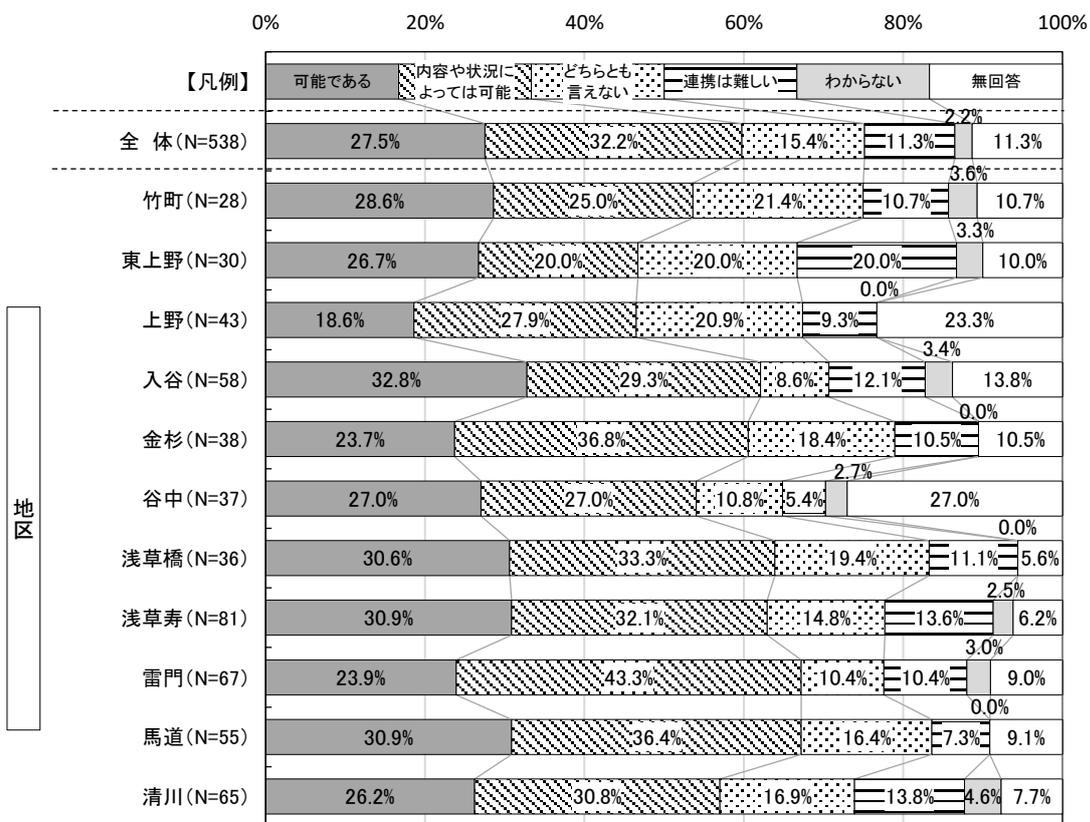


【「その他」の主な内容】

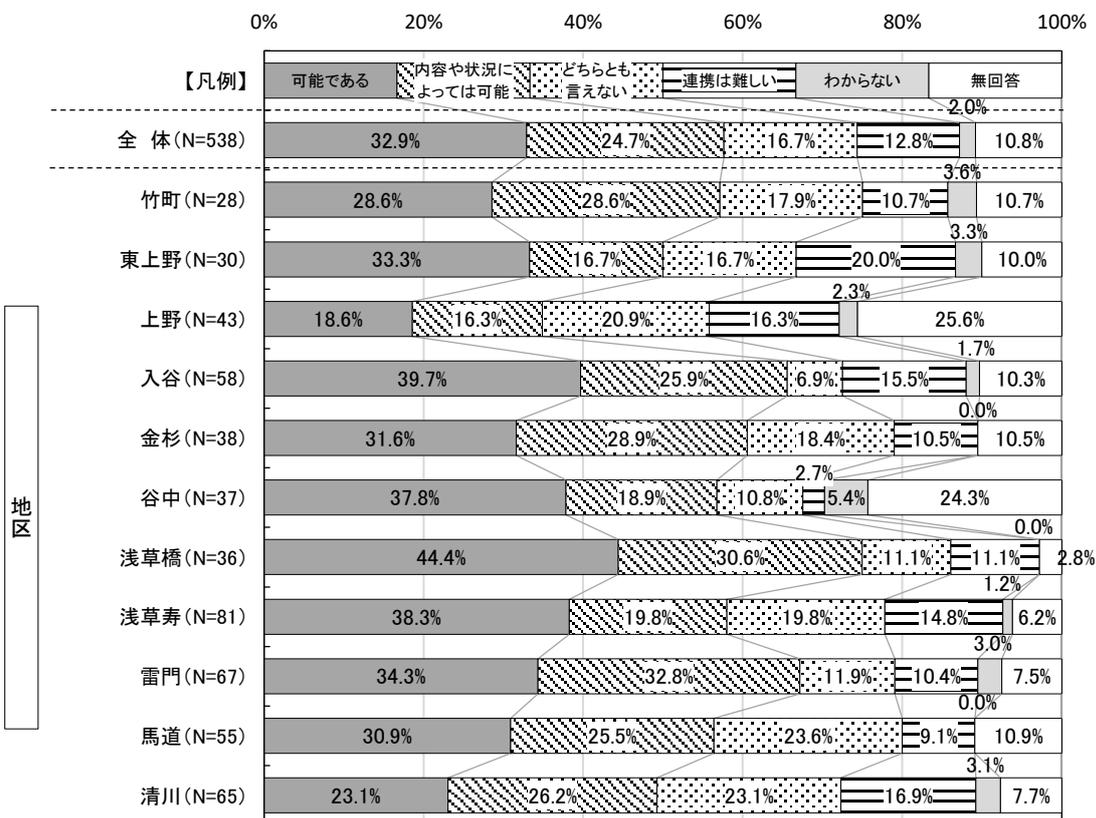
- ・ 町会会館の貸し出し

それぞれの項目について、各地区の意向は以下のとおりである。

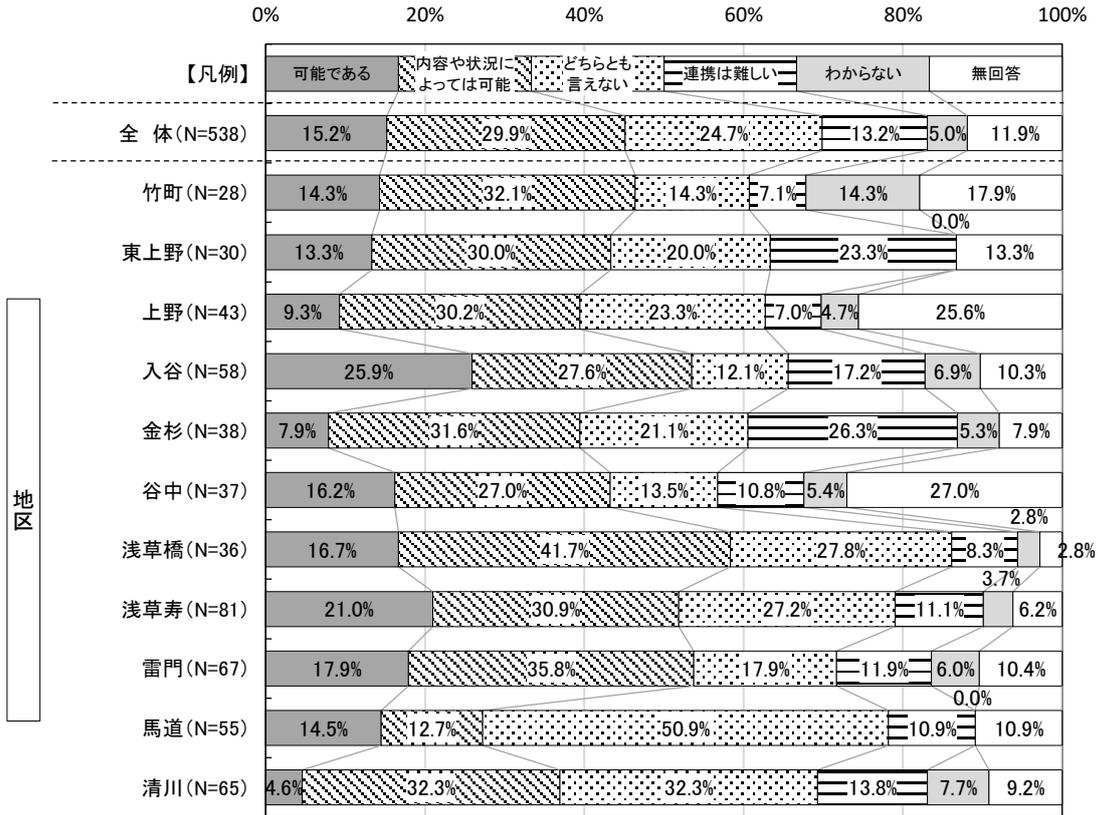
①町会行事への参加（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



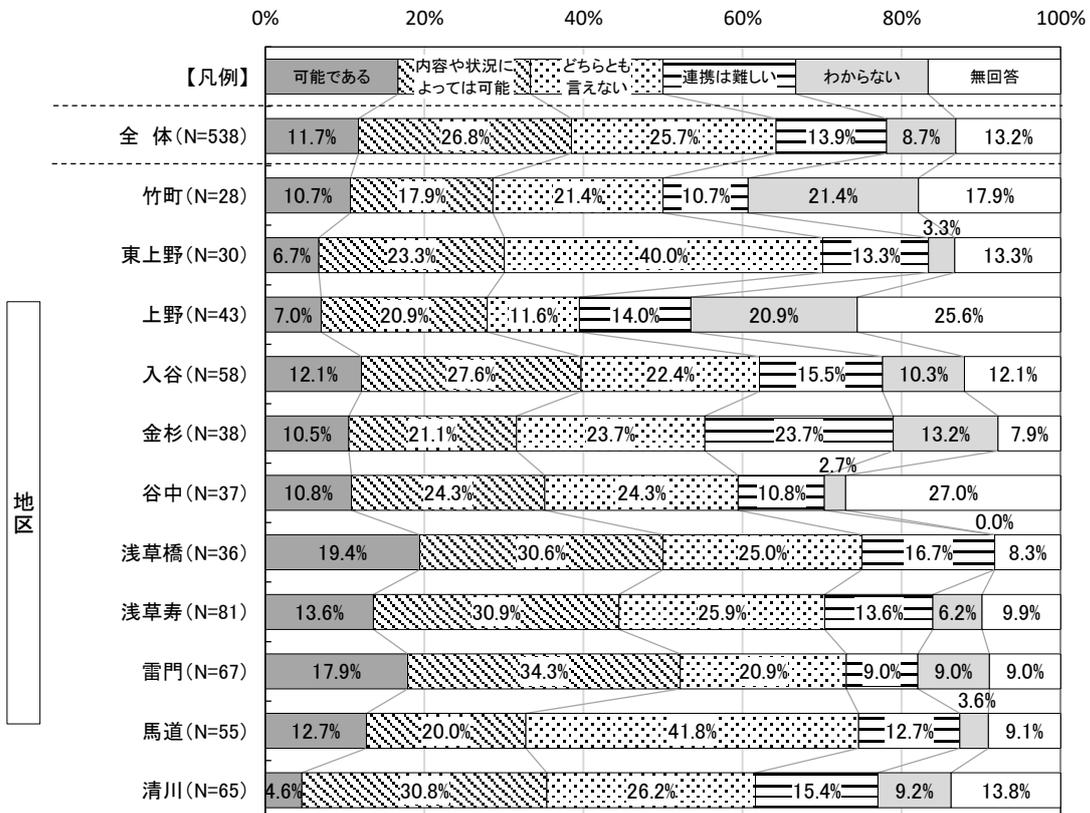
②町会の防災訓練への参加（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



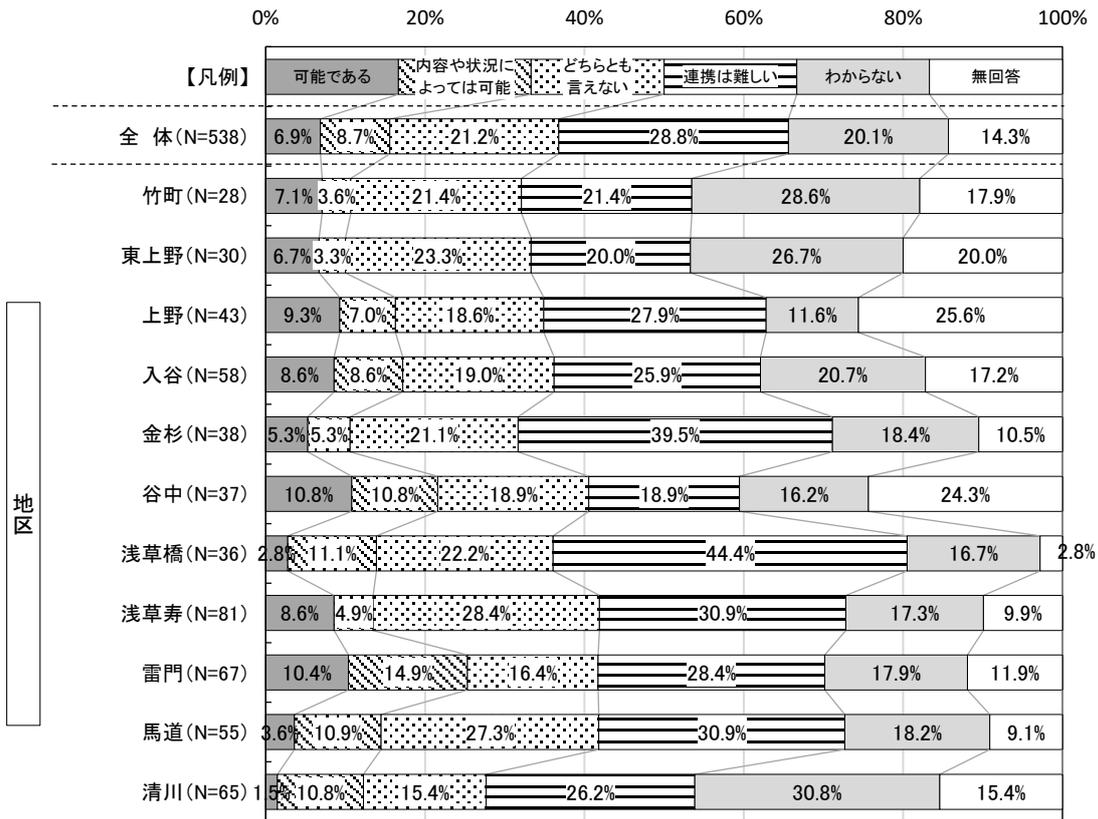
③災害時の要支援者に対する相互の取組（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



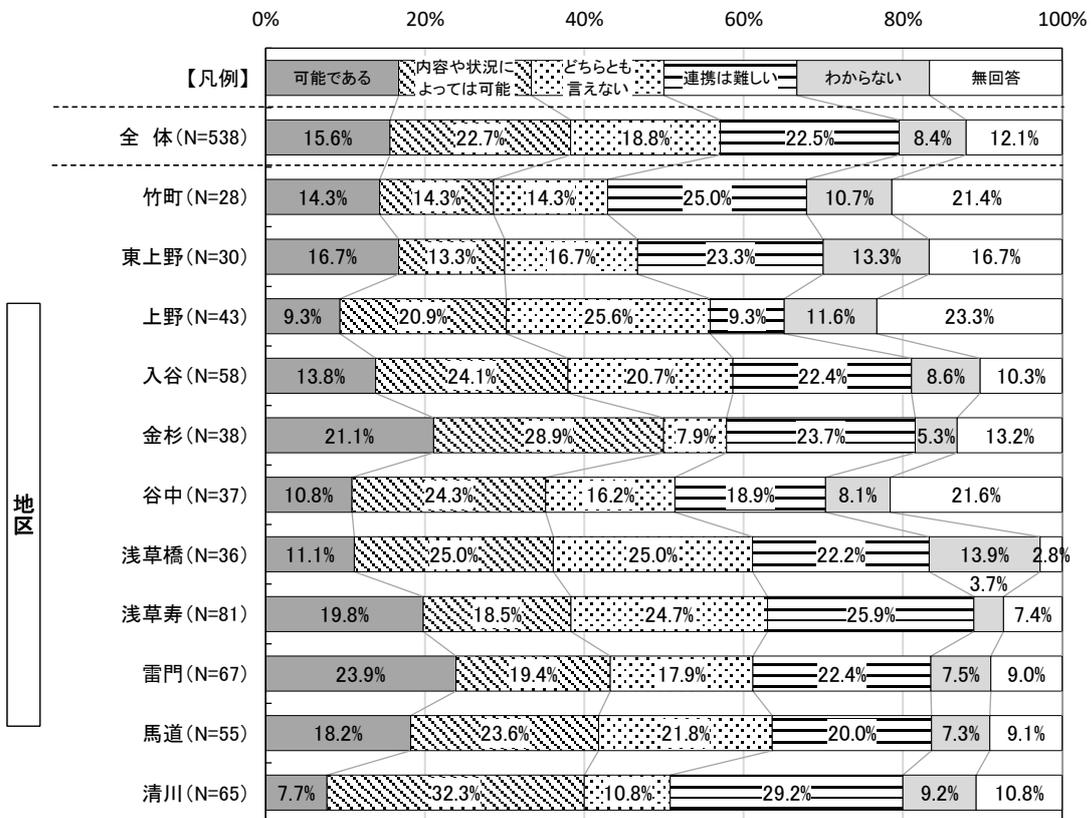
④マンション居住者（町会未加入者）への町会による勧誘活動の実施（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



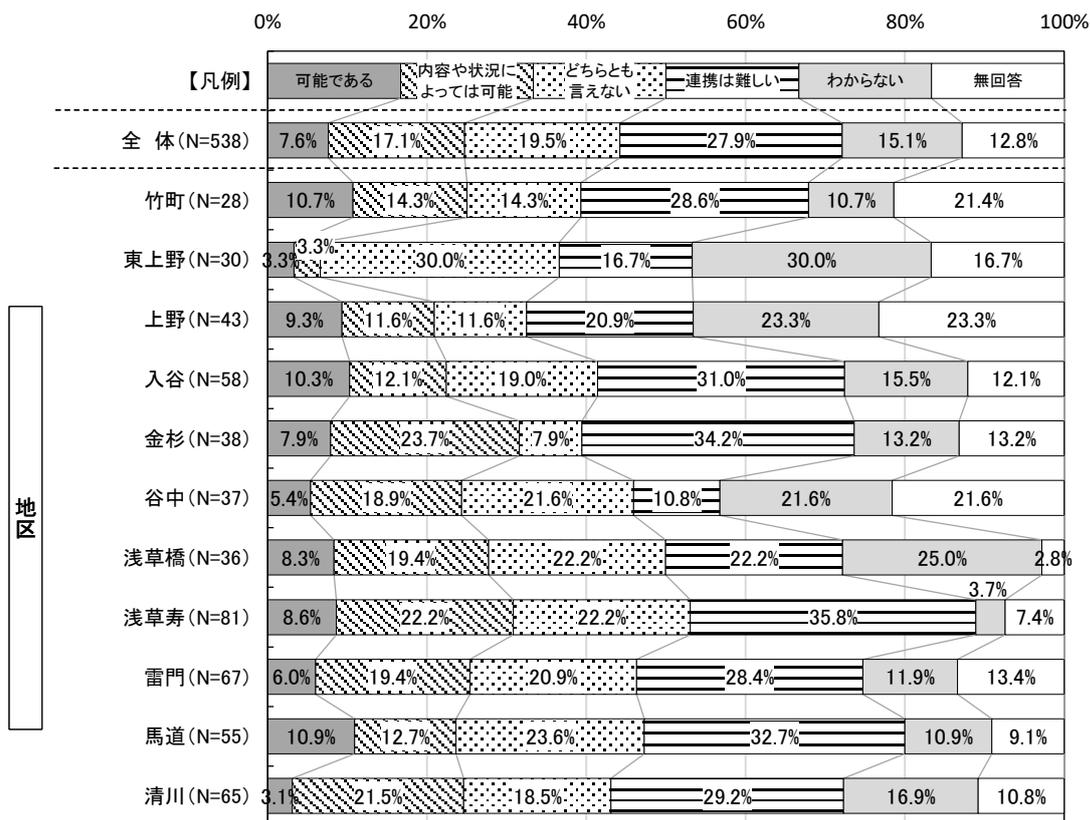
⑤マンション敷地や集会室等を町会活動のために借用（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



⑥町会定例会や役員会への管理組合代表者の出席（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



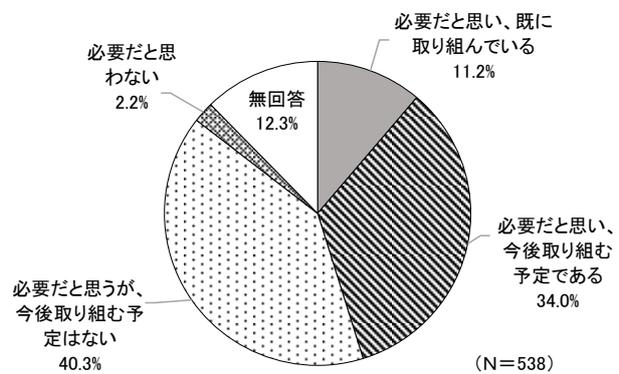
⑦マンション理事会への町会役員の出席（町会に未加入の管理組合との連携や受入の可能性）



Q5-4 マンション等集合住宅との防災共助の取組についてどのように思いますか。(1つだけ)

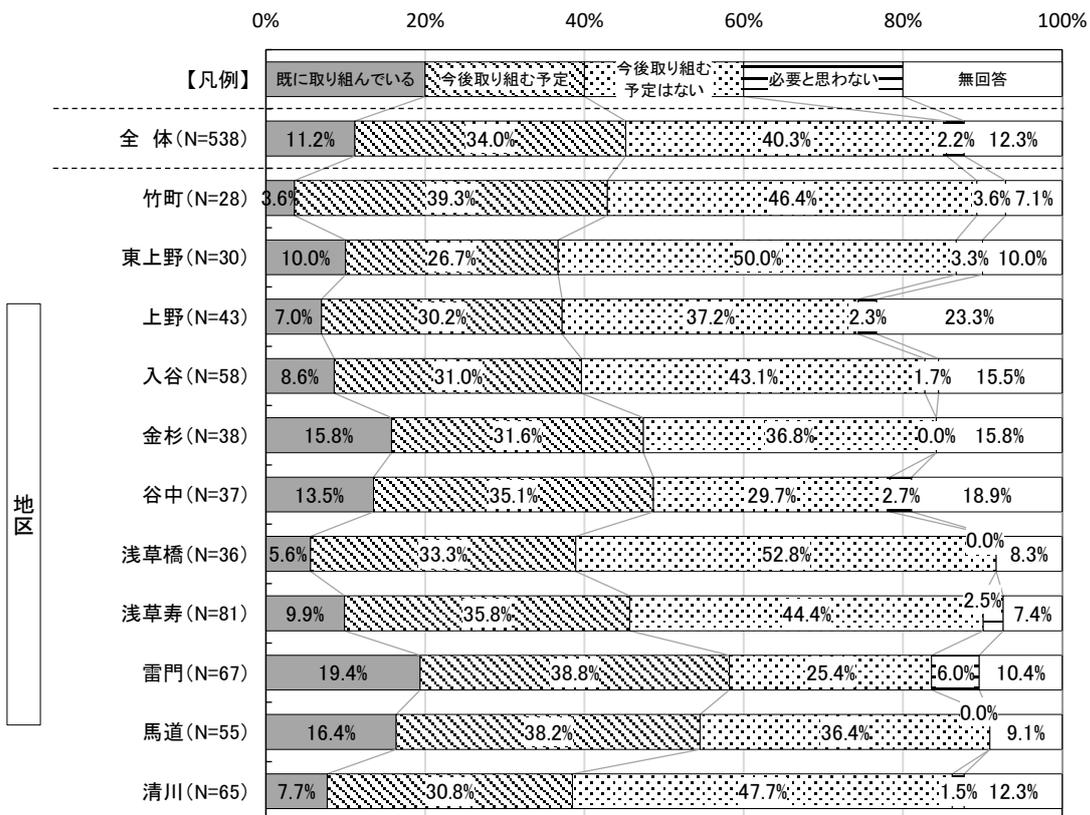
「必要だと思いが、今後取り組む予定はない」が40.3%と最も多い。次いで「必要だと思いが、今後取り組む予定である」が34.0%となった。

全体	必要だと思いが、 取り組んでいる	必要だと思いが、 取り組む予定である	必要だと思いが、 取り組む予定はない	必要だと思わない	無回答	上段:実数(件)		下段:割合(%)			
538	60	183	217	12	66	100.0	11.2	34.0	40.3	2.2	12.3



■地区別による傾向及び特徴（集合住宅との防災共助の取組の必要性や状況）

「必要だと思いが、既に取り組んでいる」町会は、雷門地区（19.4%）や馬道地区（16.4%）、金杉地区（15.8%）、谷中地区（13.5%）と、全体（11.2%）よりも多い。一方、竹町地区（3.6%）や浅草橋地区（5.6%）は既に取り組んでいる町会は少ない傾向にある。



Q5-5 マンション等集合住宅及び管理組合との連携に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

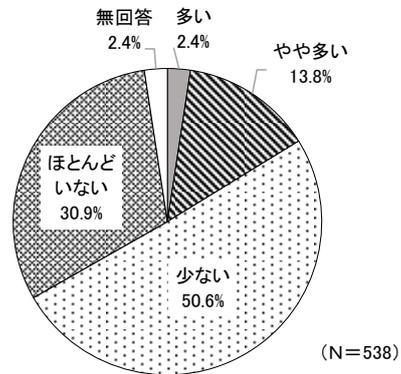
- ・ 管理組合があるマンションは窓口が1つで協力をお願いしやすいが、管理業務委託のマンションは個別の交渉がしづらい。
- ・ 意見交換は持続的に行っていくべきと考える。
- ・ 町会主催の防災訓練や地域合同の訓練などの日時を集合住宅への周知を積極的にはかり、参加を呼びかける必要がある、一時避難場所や備蓄品についてもしっかりと説明できる。
- ・ マンションやホテルが増加してきているので、代表者の町会役員への参加が大切と思いました（意識の共有のため）。
- ・ マンション自治会自体が一つの町会だと自分は思っているのに、更なる連携についてはとても難しい問題だと感じております。
- ・ マンション持ち主が又貸しをしていたり、管理会社があるのか無いのか実態が掴めないところもある為、連携をとるのは難しいと思います。
- ・ 特に水害に対しての取組を期待している。マンション管理組合へ水害時の垂直避難への協力をお願いしたい。
- ・ 分譲マンションを作ってくださいと、建設の話が出る度にお願いしています。末永く居住していただき、一緒に地域内交流をして活動したいです。
- ・ 管理組合として町会との窓口をしてくれるか、又は個別に町会役員が勧誘等をしてよいか？どちらかならば良いが、窓口もしてくれず中に入らせてもくれない様なのが多いと感じる。これではどうにもならない。
- ・ マンションの中には参加・協力して下さる方もいます。イベントに招き入れ、町会に協力してもらえる様に努力していきます。
- ・ 一部のマンションとはとても連携が取れていて若い方々の参加が増えました。
- ・ 集合住宅にも賃貸や買取り等いろいろなパターンがあり、どこにお話しすればよいのか分からないものもある。また最近はワンルームマンションが多く、長期間住むことを前提としていないため、どうしても積極的に加入することとは考えづらく、集金管理も大変難しい。
- ・ 町会の行事等は回覧板を通して伝達しており、内容により参加してもらっています。
- ・ 町会理事会にはマンション居住の方も、個人の資格で参加してもらっている。
- ・ マンションの管理組合とでは無く、各々の住人が町会に加入している。
- ・ 町会費は納入して頂いているが、町会役員になってくれる人は少ない。連絡を取っても会議への出席は、なかなかしてもらえない。
- ・ 祭礼や、縁日、防災訓練等々、掲示板や回覧板で周知しているが、無関心な管理組合が多い。管理人との付き合いは良好である。
- ・ 理事メンバーや管理組合代表者の情報がない。

6 外国人住民との関係について

Q6-1 町会区域内に外国人住民はどのくらいいますか。(1つだけ)

「少ない」が50.6%と最も多い。次いで「ほとんどいない」が30.9%となった。

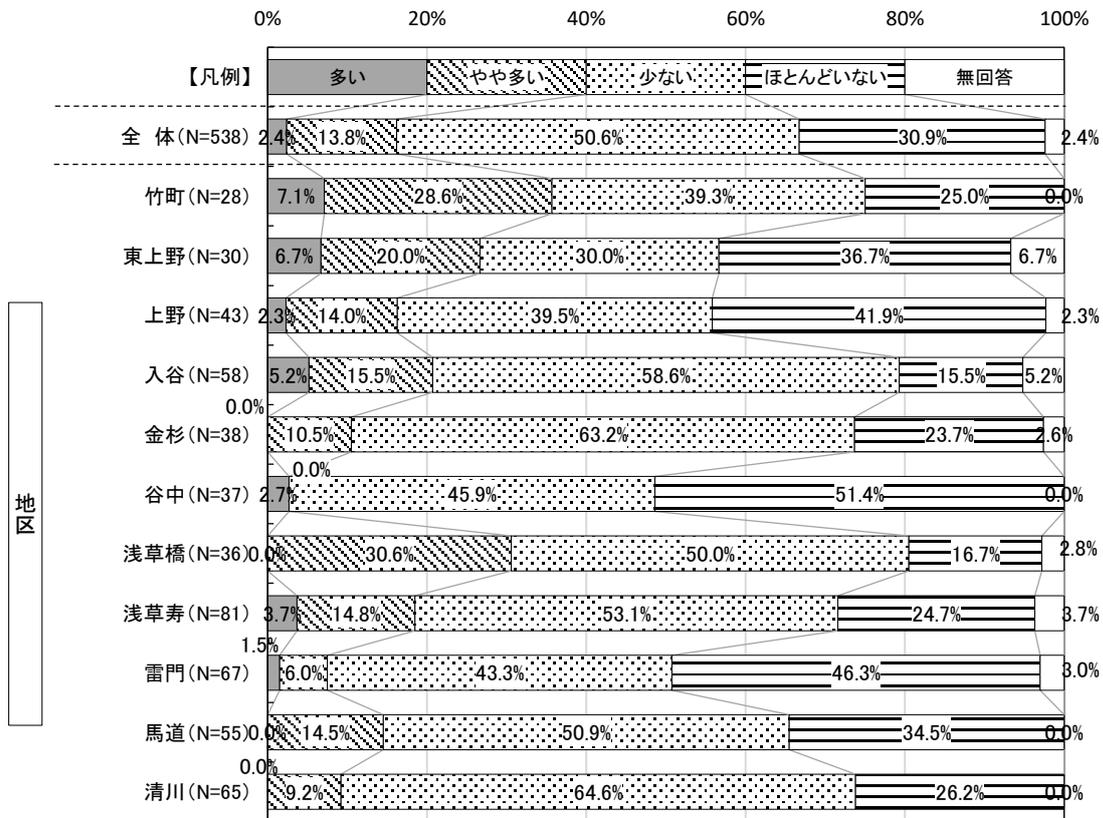
全体	上段:実数(件)					無回答
	多い	やや多い	少ない	ほとんどいない	無回答	
538	13	74	272	166	13	
100.0	2.4	13.8	50.6	30.9	2.4	



■地区別による傾向及び特徴（外国人住民の状況）

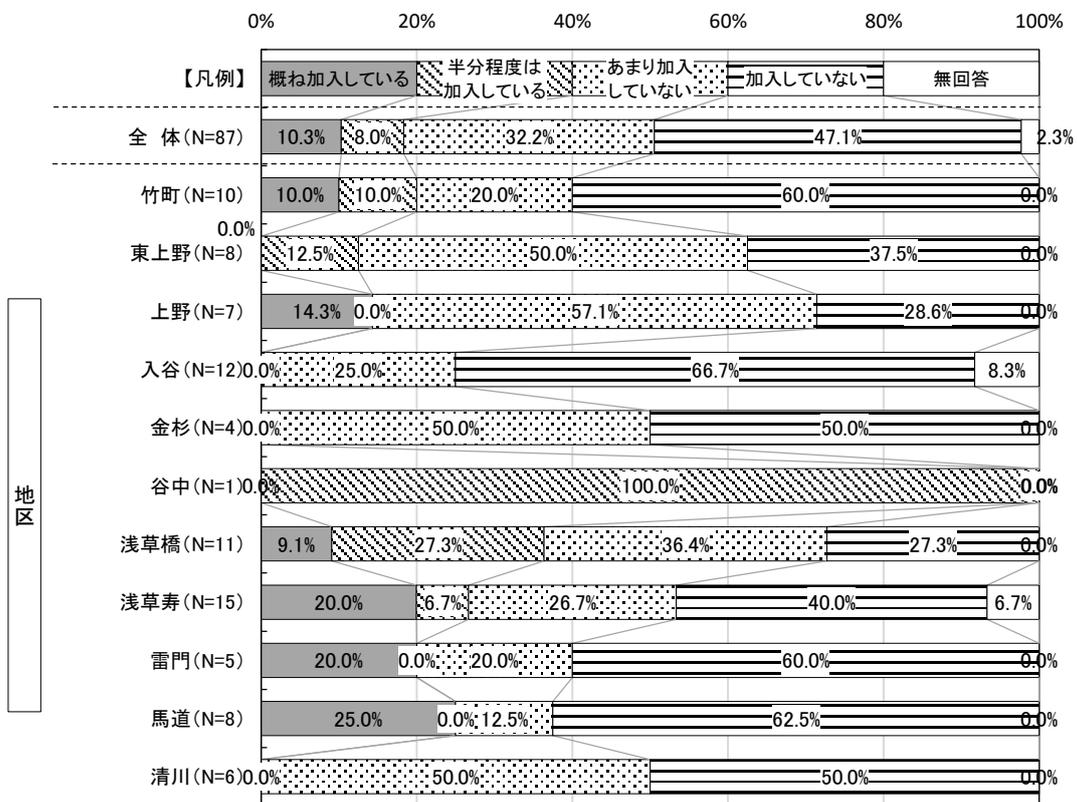
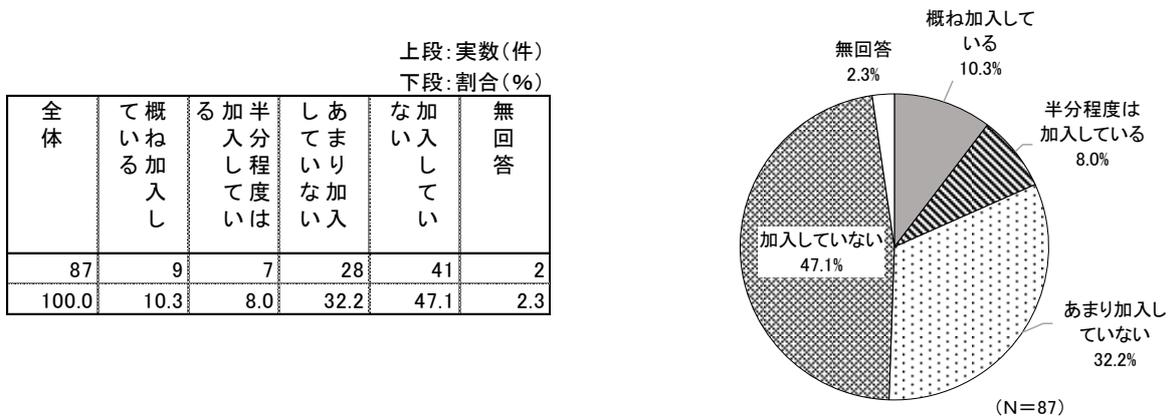
外国人住民が「多い」と「やや多い」の合計では、竹町地区で35.7%、浅草橋地区で30.6%となっており、他の地区より多いと感じている人が多い。

一方、谷中地区では、「少ない」「ほとんどいない」の合計が97.3%と、外国人住民は多くないと感じている状況である。



※Q6-1で「①多い」または「②やや多い」を回答した方に伺います。
 Q6-2 町会に外国人住民は加入していますか。(1つだけ)

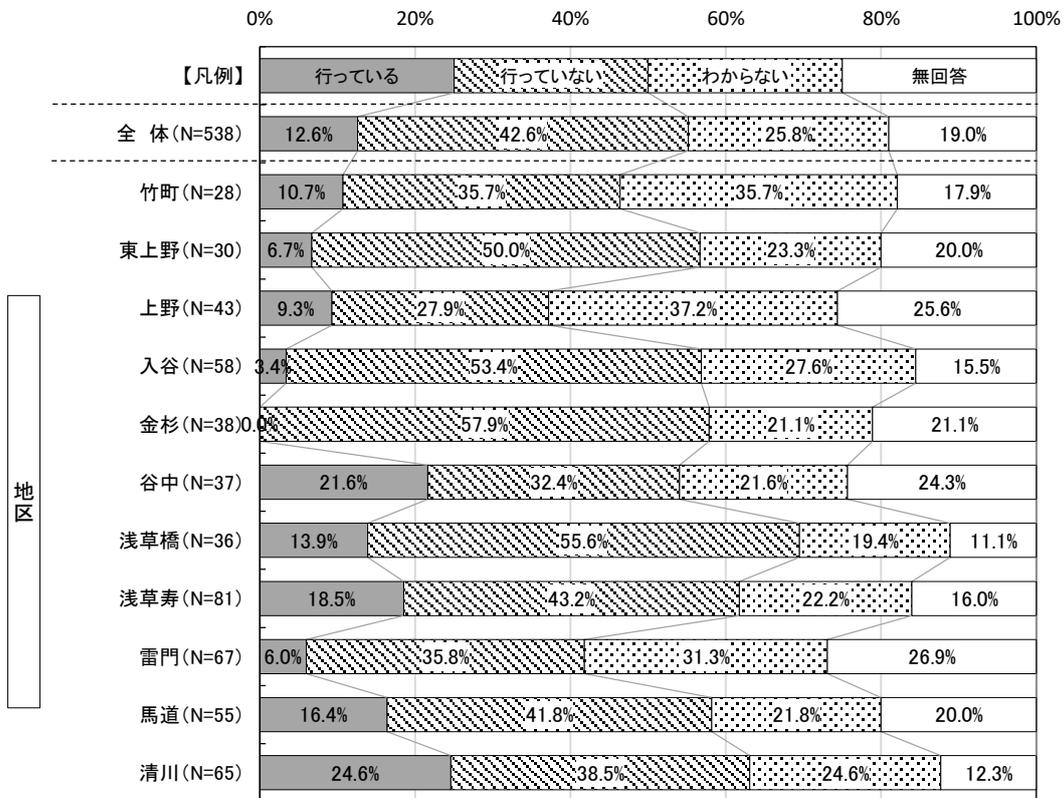
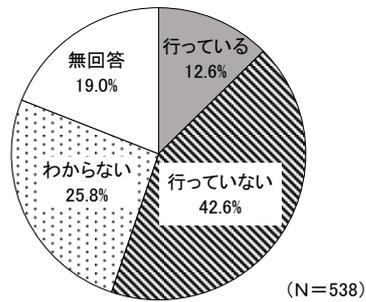
「加入していない」が47.1%と最も多い。次いで「あまり加入していない」が32.2%となった。



Q6-3 町会区域内に居住する外国人に対して、町会加入の勧誘を行っていますか。(1つだけ)

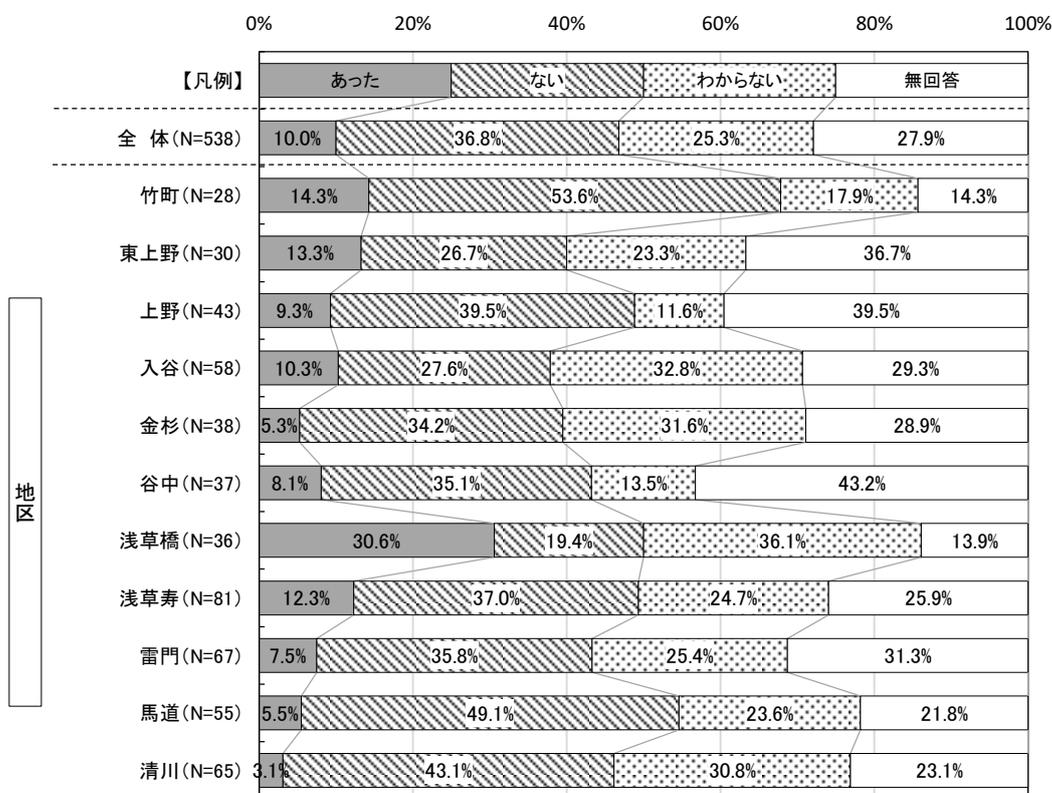
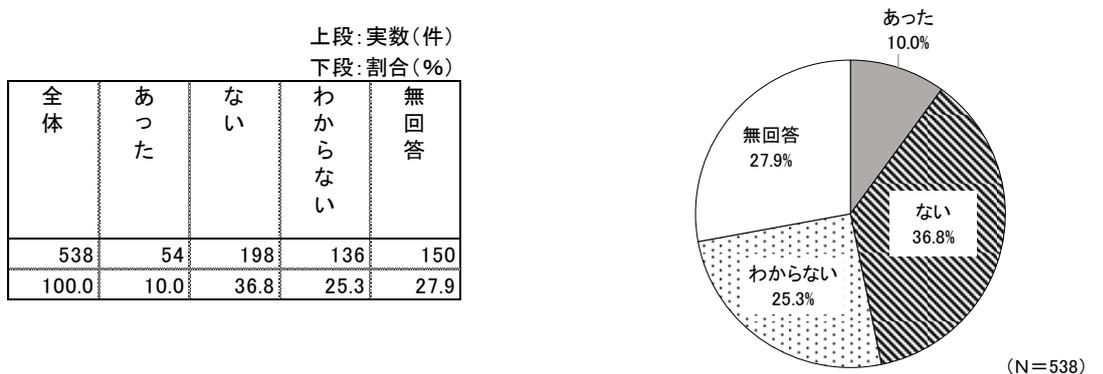
「行っていない」が42.6%と最も多い。次いで「わからない」が25.8%となった。

全体	上段:実数(件)			
	行っている	行っていない	わからない	無回答
538	68	229	139	102
100.0	12.6	42.6	25.8	19.0



Q6-4 町会区域内に居住する外国人に関するトラブルはありましたか。(1つだけ)

「ない」が36.8%と最も多い。「あった」は10.0%となった。



※Q6-4で「①あった」を回答した方に伺います。

Q6-5 具体的にどのようなトラブルがありましたか。

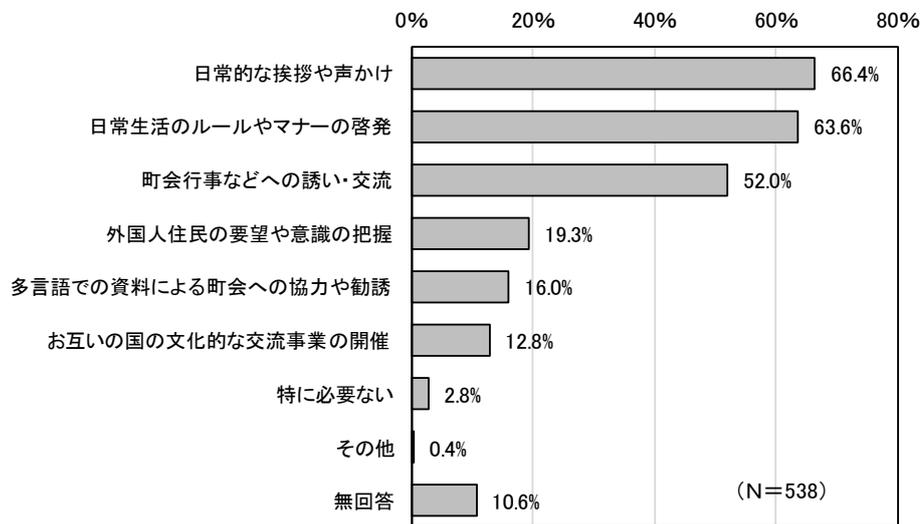
※主要内容を抜粋

- ・ 建物と建物の間へのゴミの投棄や指定日以外のゴミの投棄等のトラブル。
- ・ 夜間の騒音
- ・ 民泊のトラブル
- ・ 日本で居住ルールなど理解頂く事が必要です、町会費徴収の意味など外国人でもさまざまにマナーなど解る人はトラブル無く支払って下さっています。

Q6-6 今後外国人住民が増えてくることが予想される中、町会で取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

「日常的な挨拶や声かけ」が 66.4%と最も多い。次いで「日常生活のルールやマナーの啓発」が 63.6%となった。外国人住民に対して、日頃から接点を持ち、日常的な生活ルールの周知に取り組むべきであると考えられていることが伺える。

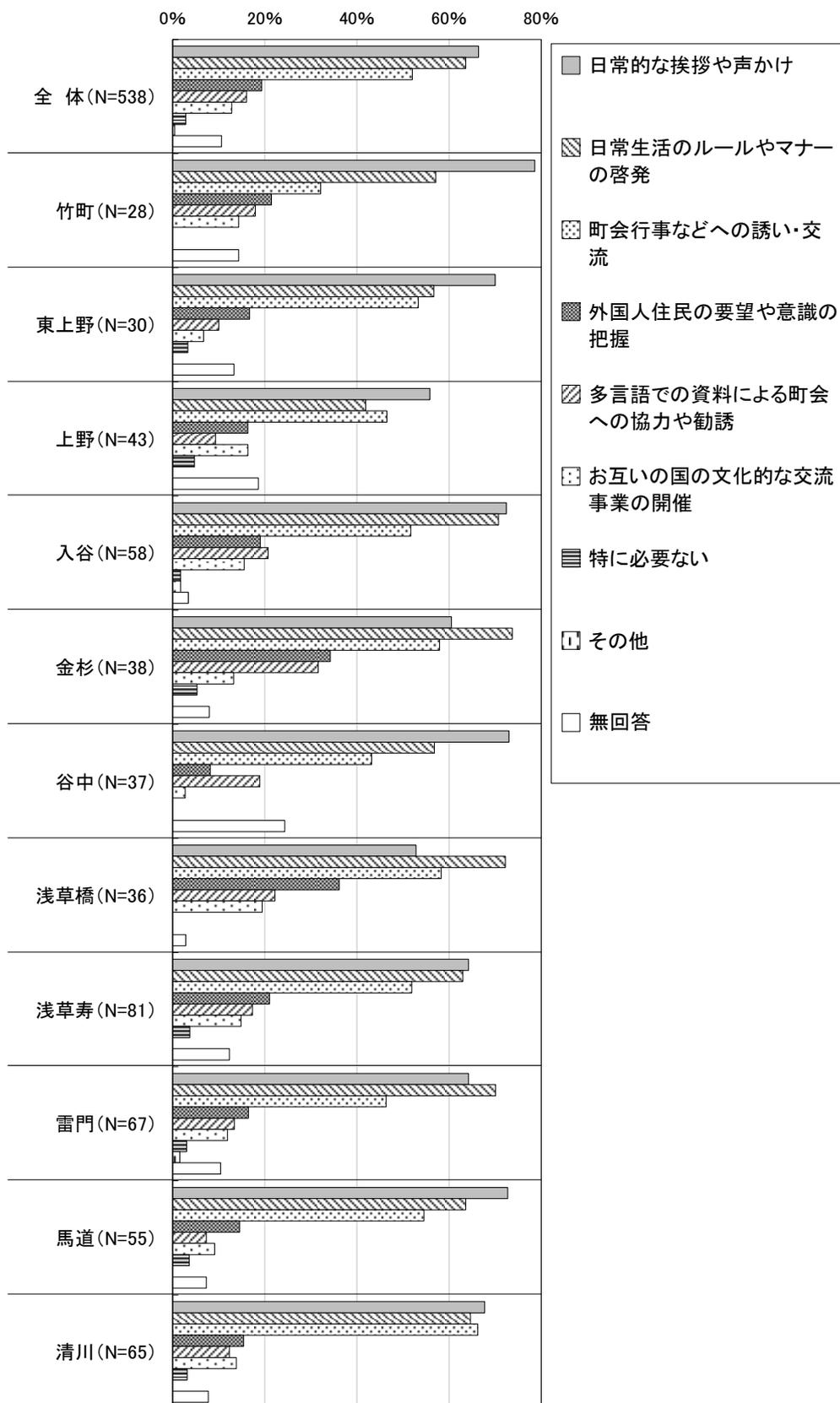
全体	日常的な挨拶や声かけ	日常生活のルールやマナーの啓発	町会行事などへの誘い・交流	外国人住民の要望や意識の把握	多言語での資料による町会への協力や勧誘	催的な交流事業の開催	お互いの国の文化的な交流事業の開催	特に必要ない	その他	無回答	上段:実数(件)	下段:割合(%)
	357	342	280	104	86	69	15	2	57	538	100.0	
	66.4	63.6	52.0	19.3	16.0	12.8	2.8	0.4	10.6			



■地区別による傾向及び特徴（今後町会で取り組むべき外国人住民への取組）

金杉地区と浅草橋地区、雷門地区では、「日常的な挨拶や声かけ」より、「日常生活のルールやマナーの啓発」が高くなっている。

【地区別】



Q6-7 外国人住民との関係に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

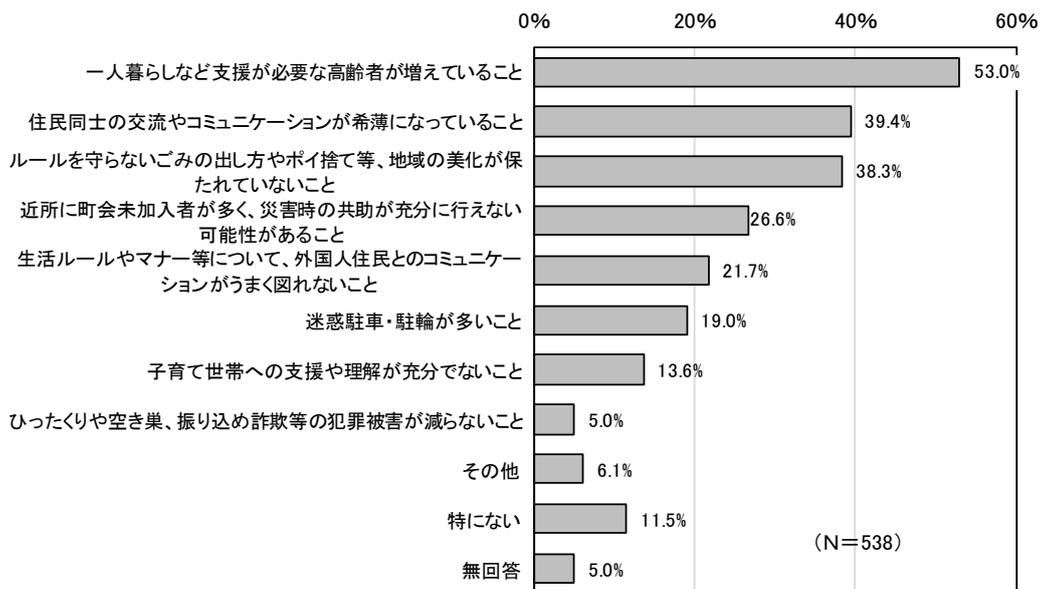
- ・ 習慣の違いの理解。
- ・ ゴミ出し等、トラブルがあるので日常的な会話が必要。
- ・ 排他的な考えを持たず、平等に接する。
- ・ もともと国により、生活環境や文化・思想等が違っているため、いきなり同一住居区に引っ越して来たからといって、町会のルールを厳守させると言っても難しいので、慣れてくれるのを待つしかないのかなと思っている。
- ・ 「郷に入っては郷にならえ」、日本のルールを守っていただき、きちんと挨拶のかわせるお付き合いをしたいです。基本的な事柄を御理解いただいた上で、町会にも加入していただければ良いと思います。
- ・ 外国人の多数の方が出資し合って町内で店を出しました。町会加入やマナーの件は担当部部長が対応をしていますが、これからの時代、増えていくと思います。日本で店を展開するという事は、言葉は通じると思いますが、生活ルールやマナー等について、どの様に対応すべきか？これからの問題です。
- ・ 文化とマナーの違いで、日ごろの生活習慣が気になる事がある。
- ・ マンション等に住んでいる人は実態が把握できない。シェアハウスや民泊の場所では旅行者ばかりですので、町会とは無関係となるので、管理者(会社)と話が出来るようにしたい。
- ・ 外国人住民のコミュニティの情報がないため、対応が個人レベルになっている。
- ・ 誰がどこに住んでいるかわからない。集合住宅にいる事が多いと思う。何人かもわからない。
- ・ 民泊や語学の学校があり、不特定多数の人がいる。住んでいるかどうかもわからず、町会への理解はしてもらいにくい。
- ・ 住民は少ないが、民泊などや外国からの日本語学校の寮生が多くなってきている。せっかくなのでお祭りとかは見たい。
- ・ ご挨拶程度で、こちらから町会行事への参加をもっとアピールすれば良い。
- ・ 町会の行事に参加してほしい。
- ・ 生活習慣の違いで、おどろく所もありますが、仲良く生活しています。
- ・ 数は少ないのですが家族で居住。言葉も今では、子供から覚えるのでしょうが、すっかりお話が通じます。生活習慣の違いは許容し合い、町会民としてしっかり生活なさっています。町会活動参加可能な件は声かけし合い(特に子供と)参加できるよう welcome の気持ちでいます！！
- ・ 祭の時など積極的な参加をされて感謝しています。行事に関して解らない事や、参加希望があれば、十分受け入れ可能です。どうぞお気軽にご相談下さい。
- ・ 募金のお願いや気持ちよく協力していただいています。日常の挨拶もきちんとして下さいます。
- ・ 信頼関係を築き、お互いに協力し合うことが大切だと感じています。
- ・ 現在は把握していないが、今後増えると思う。交流の機会を作り共に活動ができるようにしていきたい。
- ・ 外国人と話すには英会話が出来たらと思いますので、簡単な英会話教室を作ってほしいです。
- ・ 今後、外国人が居住する場合は積極的にコンタクトをとるようにしたい。
- ・ 言葉の壁を取り除くように努力したいので他国の言葉で町会活動が説明出来るパンフレットを作成してほしい。
- ・ 当町会付近はインドの方々がいらっしゃるがアプローチの方法や伝え方のアドバイスを行政に求めたい。
- ・ 日本人が遠慮して見て見ぬふりをしてはいけないと思っている。

7 町会運営に関する問題点について

Q7-1 町会区域内の地域の問題点はありますか。(当てはまるもの全てに○)

「一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること」が53.0%と最も多い。次いで「住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること」「ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと」がそれぞれ30%以上となり、地域内のコミュニティや環境美化に対する問題意識が他に比べて高いことが伺える。

全 体	上段:実数(件) 下段:割合(%)										
	一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること	住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること	ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと	近所に町会未加入者が多く、災害時の共助が充分に行えない可能性があること	生活ルールやマナー等について、外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと	迷惑駐車・駐輪が多いこと	子育て世帯への支援や理解が不十分でないこと	ひったくりや空き巣、振り込め詐欺等の犯罪被害が減らないこと	その他	特にない	無回答
538	285	212	206	143	117	102	73	27	33	62	27
100.0	53.0	39.4	38.3	26.6	21.7	19.0	13.6	5.0	6.1	11.5	5.0



【「その他」の主な内容】

- ・ 居住者の減少。
- ・ 民泊やホテルが林立し、賃貸マンションで定住が少なくなる事が最大の将来の不安です。
- ・ マンションはもとより民泊のような所に住む方達のマナー、ルールが気がかり。
- ・ 自転車の無謀運転が多く、危険を感じる。
- ・ 野良猫へのえさやり。
- ・ 商売目当てで町はどうでもよいという考えの人が出店してきている。

Q7-2 Q7-1 で○を付けたもののうち、特に重要だと思う問題は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

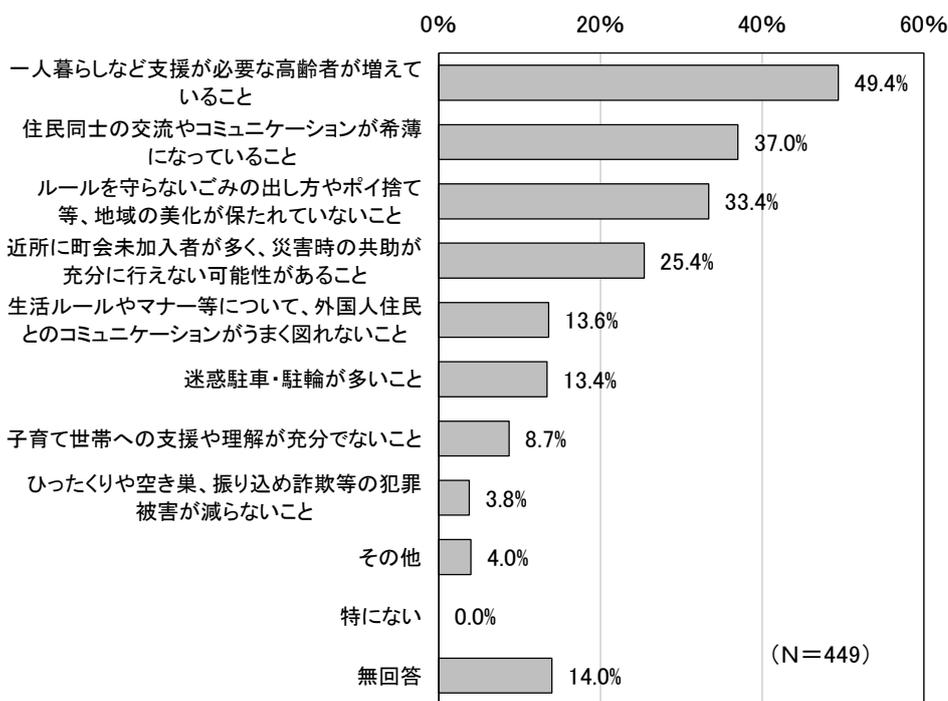
「一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること」が49.4%と最も多い。次いで「住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること」「ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと」がそれぞれ30%以上となった。

年代別にみると、最も多くあげられたものとして、40代以下は「近所に町会未加入者が多く、災害時の共助が充分に行えない可能性があること」、50代は「住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること」、60代と70代以上は「一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること」となった。

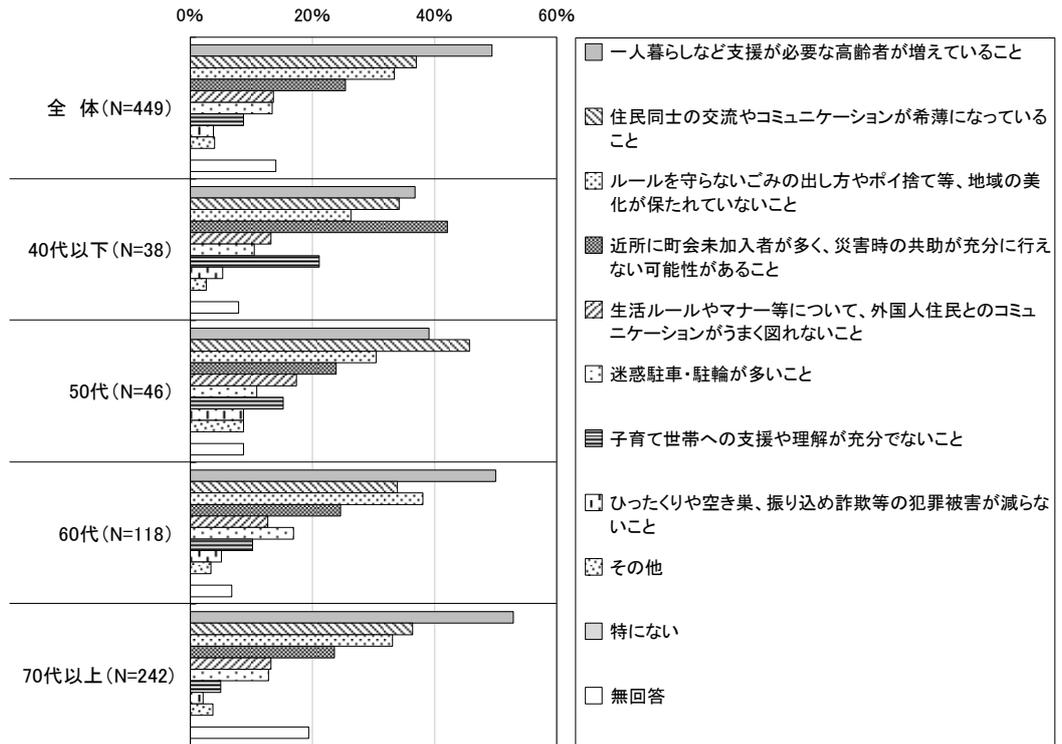
地区別にみると、竹町地区、東上野地区、上野地区では「ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと」が最も多くあげられた。

全 体	が一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること	住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること	ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと	近所に町会未加入者が多く、災害時の共助が充分に行えない可能性があること	外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと	生活ルールやマナー等について、外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと	迷惑駐車・駐輪が多いこと	子育て世帯への支援や理解が充分でないこと	ひったくりや空き巣、振り込み詐欺等の犯罪被害が減らないこと	その他	上段:実数(件) 下段:割合(%)	
											特 に な い	無 回 答
449	222	166	150	114	61	60	39	17	18	0	63	
100.0	49.4	37.0	33.4	25.4	13.6	13.4	8.7	3.8	4.0	0.0	14.0	

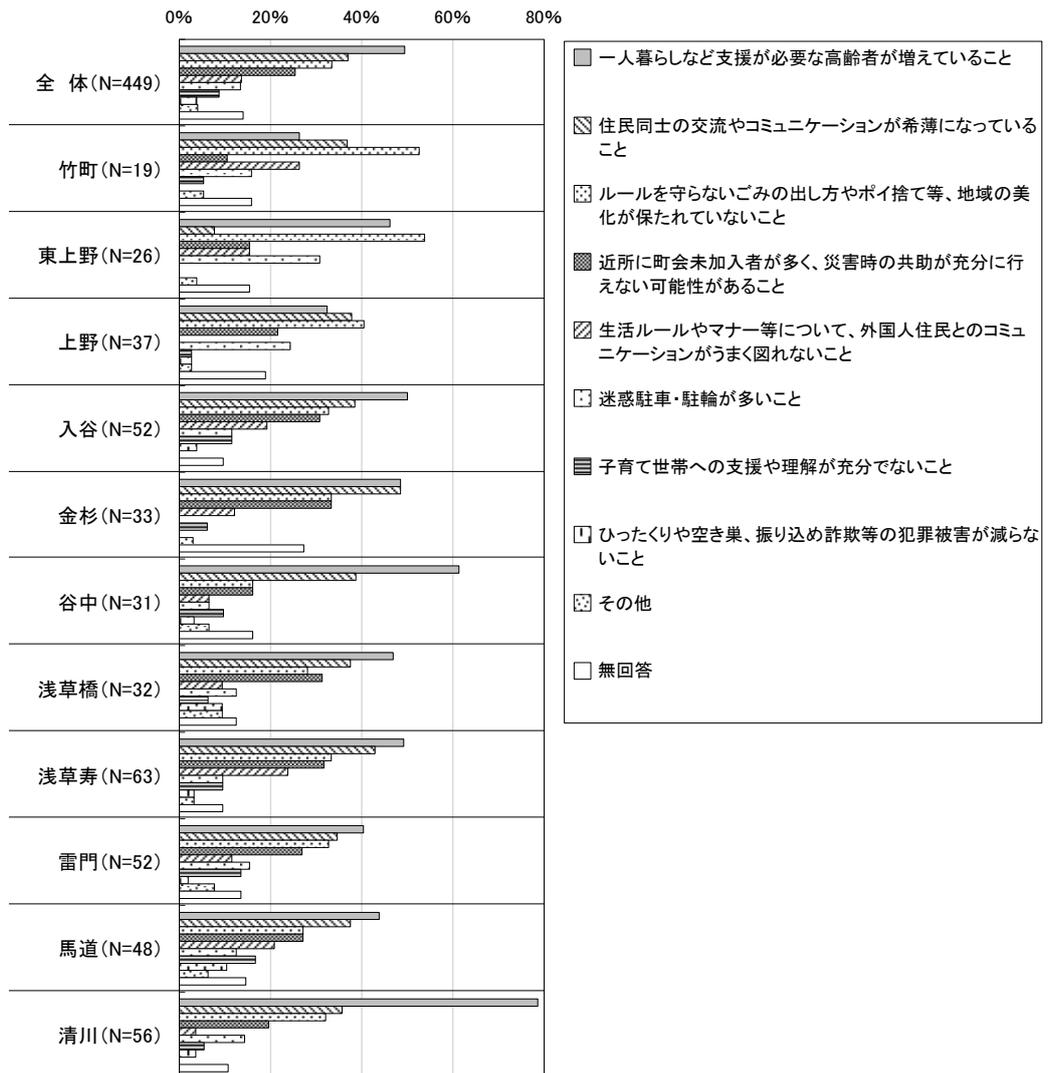
※Q7-1で「特にない」及び「無回答」と回答した者は除く。



【年代別】



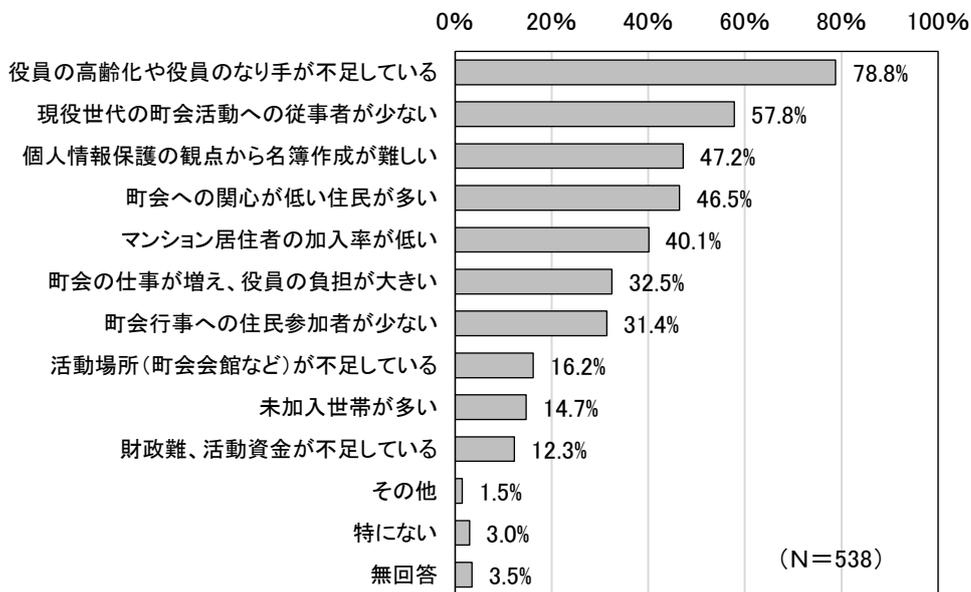
【地区別】



Q7-3 町会の運営に関する問題点はありますか。(当てはまるもの全てに○)

「役員の高齢化や役員のなり手が不足している」が78.8%と最も多い。次いで「現役世代の町会活動への従事者が少ない」が57.8%となり、現役世代を含めた次の町会運営の担い手となる人材が少ないことが問題となっていることが伺える。

全 体	役員の高齢化や役員のなり手が不足している	現役世代の町会活動への従事者が少ない	個人情報保護の観点から名簿作成が難しい	町会への関心が低い住民が多い	マンション居住者の加入率が低い	町会の仕事が増え、役員の負担が大きい	町会行事への住民参加者が少ない	活動場所(町会会館など)が不足している	未加入世帯が多い	財政難、活動資金が不足している	その他	特にない	無回答	上段:実数(件)		下段:割合(%)											
														538	424	311	254	250	216	175	169	87	79	66	8	16	19



【「その他」の主な内容】

- ・ 防災倉庫が不足。
- ・ 町会業務が属人化しており、可視化されていない。
- ・ 個人情報保護法の為、必要な情報が入って来ない。高齢者、新入学児童等。

Q7-4 Q7-3 で○を付けたもののうち、特に重要だと思う問題は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

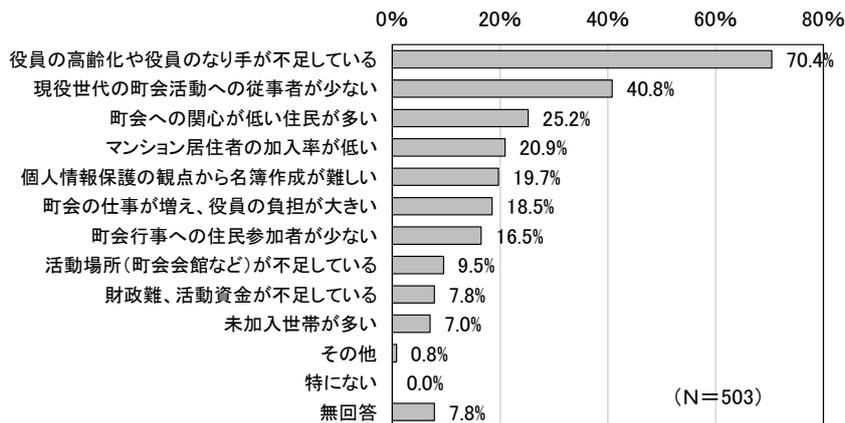
「役員の高齢化や役員のなり手が不足している」が70.4%と最も多い。次いで「現役世代の町会活動への従事者が少ない」が40.8%となった。

年代別にみると、「役員の高齢化や役員のなり手が不足している」「現役世代の町会活動への従事者が少ない」が多い結果となった。また、50代では「町会への関心が低い住民が多い」が他の年代より高い。

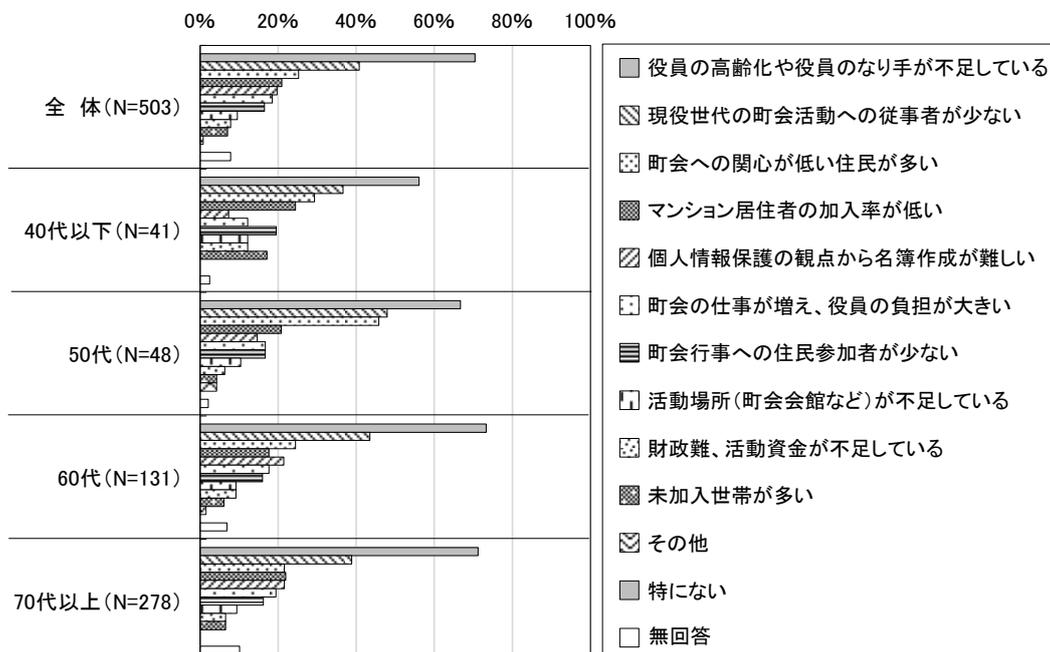
地区別にみると、全ての地区で「役員の高齢化や役員のなり手が不足している」が最も多くあげられ、次いで「現役世代の町会活動への従事者が少ない」が多いが、浅草橋地区のみ「マンション居住者の加入率が低い」があげられた。

全 体	上段:実数(件) 下段:割合(%)													
	役員の高齢化や なり手が不足 している	現役世代の 町会活動への 従事者が少 ない	町会への関 心が高い住 民が多い	マンシ ョン住 居者の 加入率 が低い	難点 から 名簿 作成 が難 しい	大い な 個人 情報 保護 の観 点が 重い	町会 の仕 事が 増え 、役 員の 負担 が大 きい	参加 者 が少 ない 住 民	活動 場所 が不 足し てい る	財 政 難 、活 動資 金 が不 足し てい る	未 加 入 世 帯 が 多 い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
503	354	205	127	105	99	93	83	48	39	35	4	0	39	
100.0	70.4	40.8	25.2	20.9	19.7	18.5	16.5	9.5	7.8	7.0	0.8	0.0	7.8	

※Q7-3で「特にない」及び「無回答」と回答した者は除く。



【年代別】

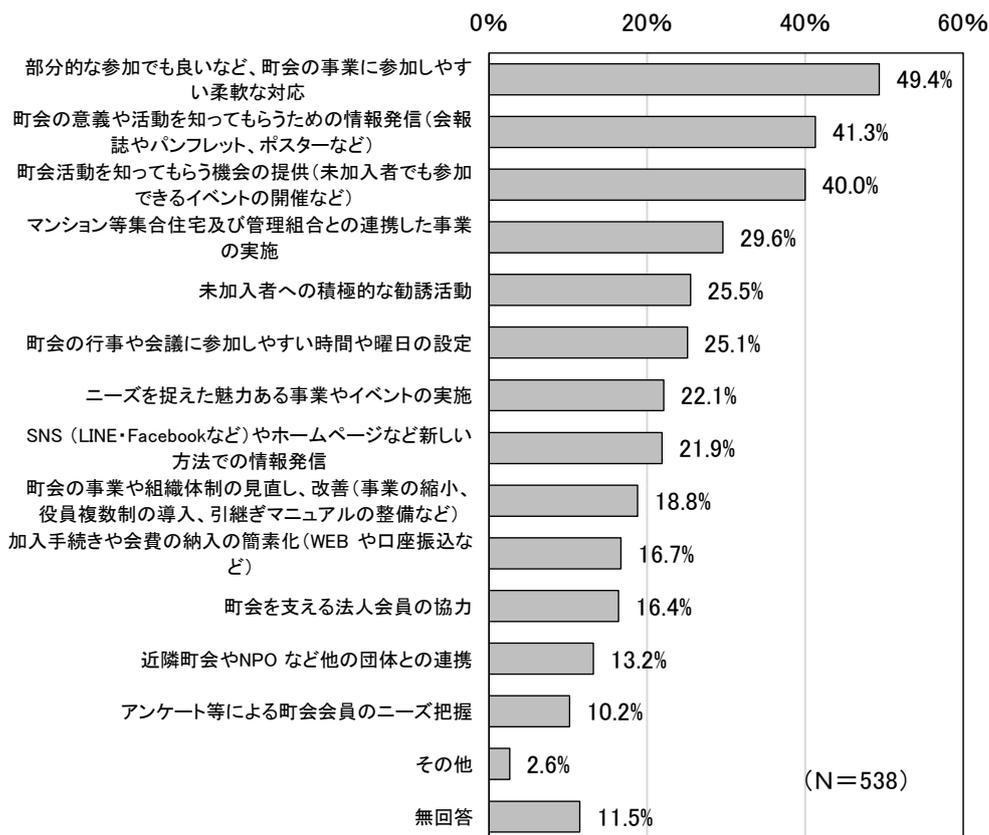


Q7-5 町会が抱える問題の解決のために町会としてどのような取組が必要だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

「部分的な参加でも良いなど、町会の事業に参加しやすい柔軟な対応」が49.4%と最も多い。次いで「町会の意義や活動を知ってもらうための情報発信」「町会活動を知ってもらう機会の提供」がそれぞれ40%以上となった。

事業への参加のしやすさや、町会活動を知ってもらうための情報発信が必要であると考えられていることが伺える。

全 体	上段:実数(件) 下段:割合(%)														
	部分的な参加でも良いなど、町会の事業に参加しやすい柔軟な対応	町会の意義や活動を知ってもらうための情報発信(会報誌やパンフレット、ポスターなど)	町会活動を知ってもらう機会の提供(未加入者でも参加できるイベントの開催など)	マンション等集合住宅及び管理組合との連携した事業の実施	未加入者への積極的な勧誘活動	町会の行事や会議に参加しやすい時間や曜日の設定	ニーズを捉えた魅力ある事業やイベントの実施	SNS(LINE・Facebookなど)やホームページなど新しい方法での情報発信	町会の事業や組織体制の見直し、改善(事業の縮小、役員複数制の導入、引継ぎマニュアルの整備など)	加入手続きや会費の納入の簡素化(WEB や口座振込など)	町会を支える法人会員の協力	近隣町会やNPO など他の団体との連携	アンケート等による町会会員のニーズ把握	その他	無回答
538	266	222	215	159	137	135	119	118	101	90	88	71	55	14	62
100.0	49.4	41.3	40.0	29.6	25.5	25.1	22.1	21.9	18.8	16.7	16.4	13.2	10.2	2.6	11.5



【「その他」の主な内容】

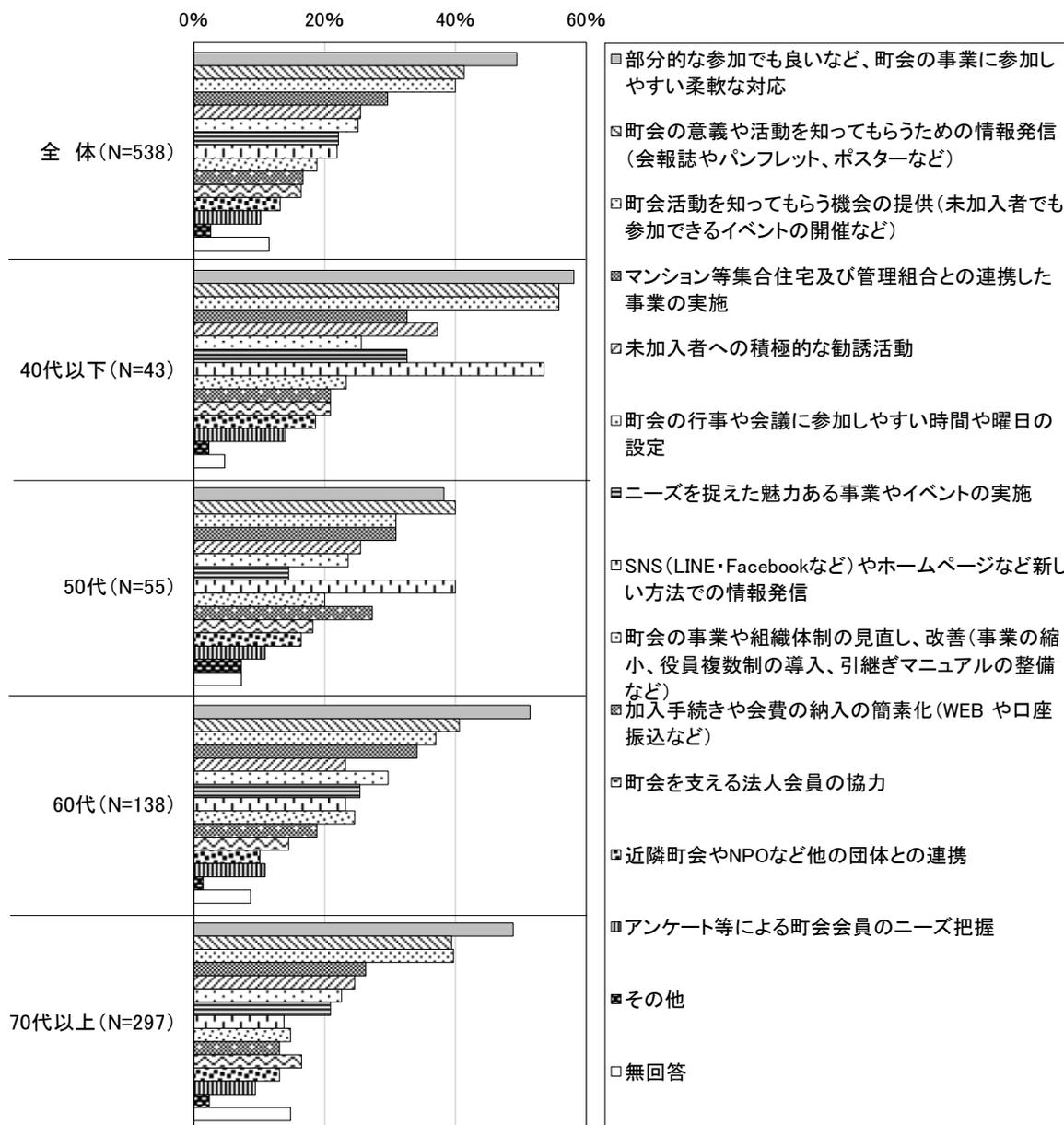
- ・ 町会のある意義の理解と浸透。
- ・ 町会内のコミュニケーションを図る事。
- ・ 現役世代を役員にするうえで、官公庁の会合を昼でなく夜にするなど一考してほしい。

■年代による傾向及び特徴（問題解決のために必要な町会の取組）

各年代で「部分的な参加でも良いなど、町会の事業に参加しやすい柔軟な対応」が最も多くあげられる中、50代のみ「町会の意義や活動を知ってもらうための情報発信（会報誌やパンフレット、ポスターなど）」が最も多くあげられた。

また、40代以下と50代では、「SNS（LINE・Facebookなど）やホームページなど新しい方法での情報発信」も他の年代に比べると突出している結果となった。

【年代別】



Q7-6 町会運営の問題点に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 町会への加入も問題ですが、役員の成り手の高齢化。
- ・ 町会員の高齢化や在住の町会員の減少による、現町会役員の個人に対する負担の多さが、今後新しい事に取り組むのは難しいかと思われる。
- ・ 人不足、高齢化、活動の数、その為の人的・金銭的負担が多い。
- ・ 若い人に参加してもらいたいのは現実ですが、第一線で働いている人の参加を呼びかけるのは難しいです。これからの人のための基礎作りをして参加しやすい場所にしていこうと思っています。
- ・ 元々、若者が少ないが、役員となれば更に少ない。高齢化し過ぎで私は都会の限界集落のように感じています。若返りしなければいけないのだが、町会にもいづれ一定数でも定年制を導入していかなければ、問題の慢性化は解決できないと思う。
- ・ 町会活動が何故必要で何故大事なのかをもう一度考えて、話し合い、将来への展望を計っていかねばと強く感じています。
- ・ 会社員などお勤めの方の場合、時間を取りにくく役員の成り手にもなりにくい。短時間の参加でも運営の支障にならない体制が必要。
- ・ マンションが増えたので、代表の人が1人でも出席してくれたら良いと思う。
- ・ 運営部（部長—副部長—部員）の長年の固定化は柔軟性がなくなっていく。その欠点を防止改善するためには全員参加型の町会運営が必要だと思う。そのために、若返りが急務です。
- ・ 昔からのやり方のままで変わらずにいて、無駄な出費も多いと思う。
- ・ 今のところ、大きな地震や台風による被害などおきていませんが、そのような事態になった場合、今の役員体制では十分な救助、支援ができないと思います。その為にも、日頃の町会活動に参加できなくても、いざという時のために活動できる人達の（30代～50代）組織が作られるといいなと思っています。
- ・ 少子・高齢化の問題で地域活動(共助)の必要性を感じる。
- ・ 一番に必要なことは、防災対策・安心安全な暮らしができる街づくり、町内で防災対策と訓練を積極的にしていくこと。町内に誰が住んでいるかは把握できていないので加入者の促進。
- ・ 町会としては様々なイベント企画で未加入者の区別なく参加を呼びかけているつもりだが、町会というだけで拒否されるとどうしてもその先に進めない。
- ・ 知ってもらうきっかけ作りが不足している。人も不足しており、きっかけ作りも難しくなっている。
- ・ 地域の住民同士のコミュニケーション不足、人間関係が希薄になっている。
- ・ 町会を理解してもらうためには、百聞は一見に如かずのごとく実際参加してもらうことが一番手っ取り早いと思うが、小さな町会は、財政的にも人材的にも余裕がないので、興味を引くようなイベントを度々開催することも出来ないのも、よその町会と比較論で言われると厳しいところがある。
- ・ 町会は福祉団体ではありません。住民全員で良い町にして行こうと努力すべきです。
- ・ 運営自体はむしろ良くできていると感じています。これからの時代をどうしていくか、考え方を変えていく事も必要かなと思っています。
- ・ 今までの古い運営方法を見直し、今風の時代にあった町会にならなくてはいけないと思う。
- ・ 人がいなくなれば町は消滅します。どうすれば活性化できるか、どうすれば維持していけるか。そして、無理な負担を無くすか。それを考える時間も体力も余裕も欲しいです。
- ・ これからの時代、新しい情報源として SNS (LINE・Facebook など) が必要かもしれませんが、使用できない人もいますので、それに頼るのはどうかと思います。町会は会社や学校ではな

いので、もっと人と人のつながりを大事にする事で役員人数を増員させ、各自の負担を下げ、皆で地域を盛り上げる対策を考える事が大事だと思います。

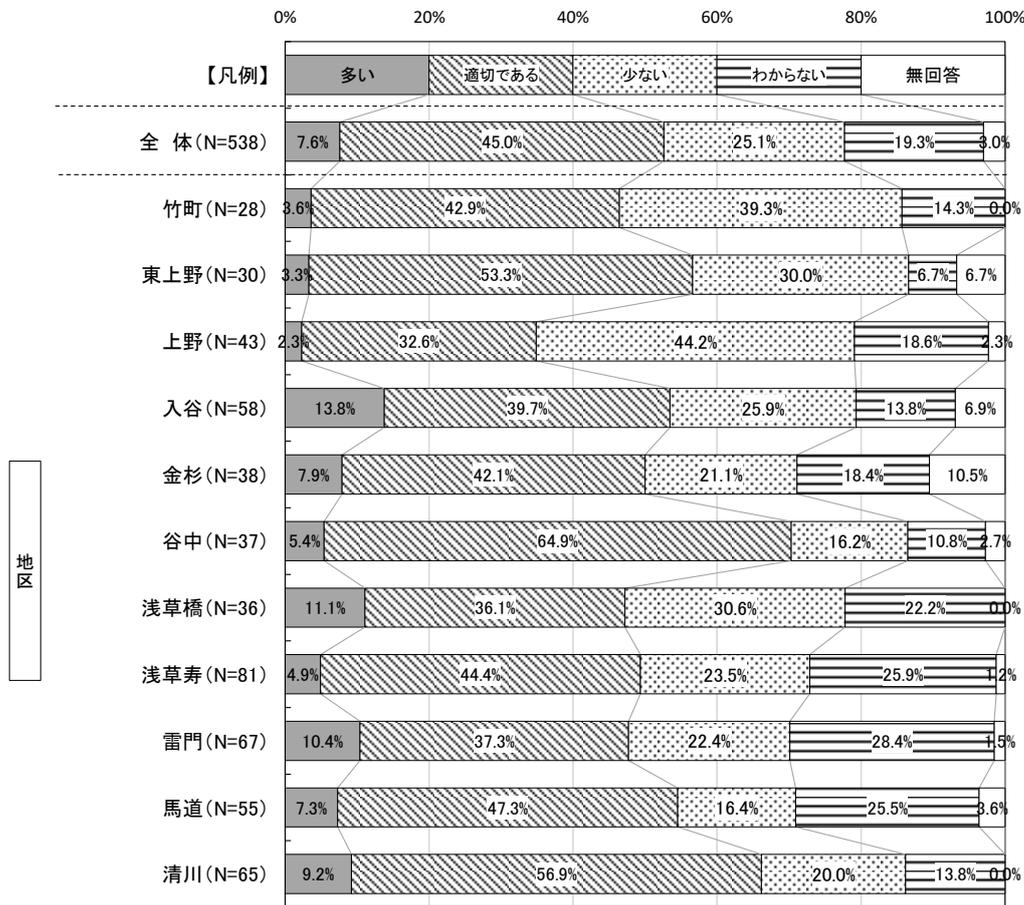
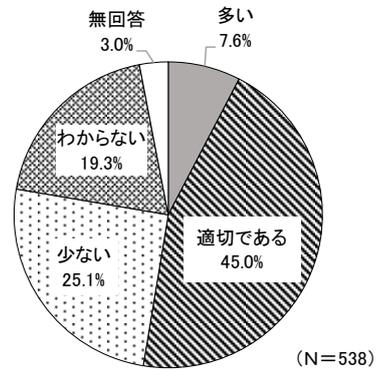
- 町会業務のマニュアル化。
- IT を積極的に活用し、負担をへらす事が肝要。
- 町会員や役員に無理のない運営。
- 町会費等の集金の簡素化。
- 班長さんは高齢者でも、子育て中でも、仕事をもっているにも出来るように工夫しています。役員・班長の他にイベントボランティアスタッフを確保し、1人の仕事量が少なくすむように気をつけています。会議に参加しなくても情報は若い人なら SNS で伝えます。
- 昔からの住民が多く、組織としては安定していると思うが、マンション・アパート、また新築が増え、新しい住民が旧住民のつながりに入りにくい雰囲気をつくらないよう、気をつけていきたい。
- 常時使える町会会館があれば、町会運営が活性化すると思える。町会の役員会が年 1~2 度しか開催することが出来ない。開催場所の確保が難しい。
- 町会の役員会や行事等、日程が決まっている事は、協力的ですが、日程が決まっていない突然の活動には、ほとんど出てこられない方が多く、町会の活動が思う様にならない時がたびたびある。

8 町会の規模や再編等について

Q8-1 町会を運営する上で、現在の町会区域の世帯数についてどのように思いますか。(1つだけ)

「適切である」が45.0%と最も多い。

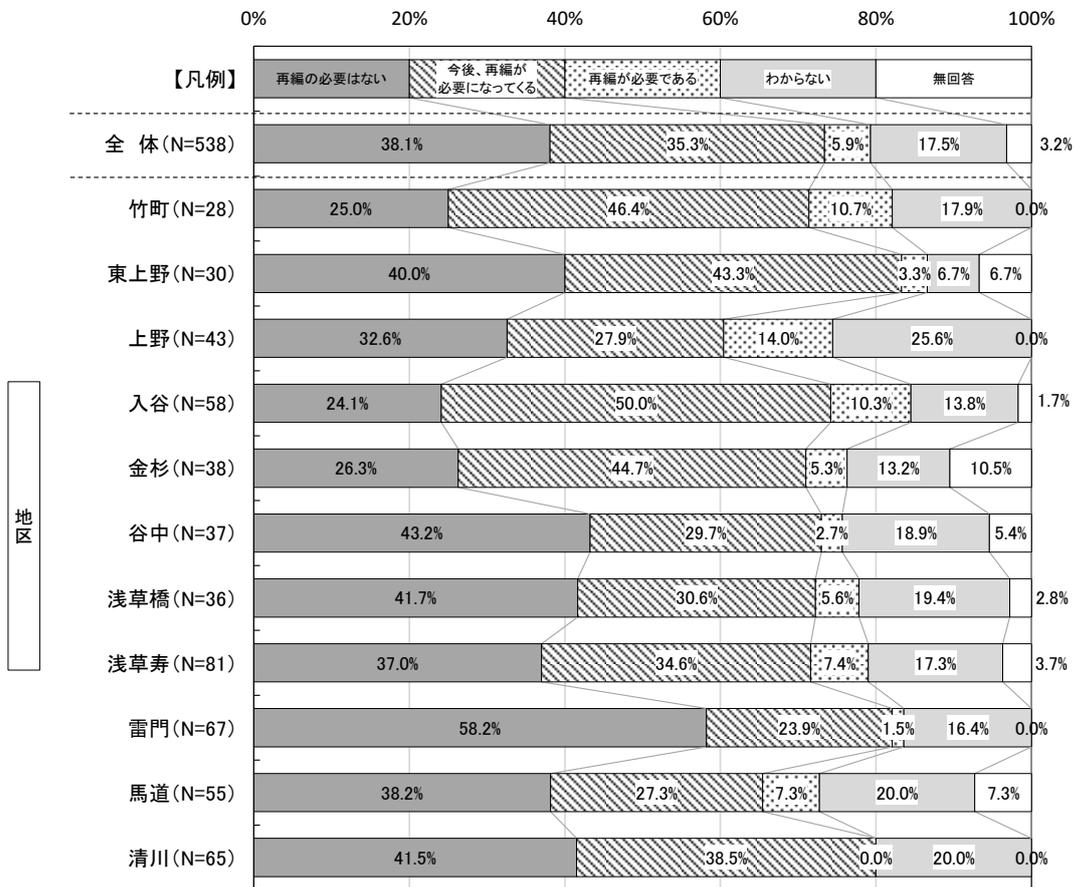
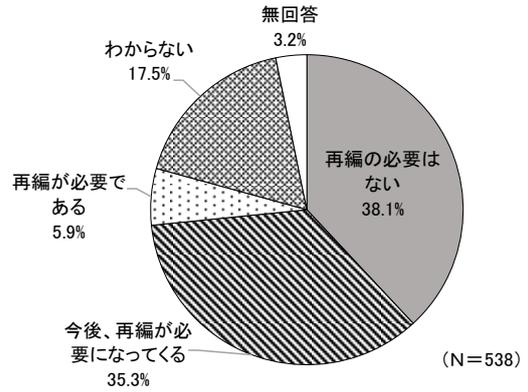
全体	上段:実数(件)					無回答
	多い	適切である	少ない	わからない	無回答	
538	41	242	135	104	16	
100.0	7.6	45.0	25.1	19.3	3.0	



Q8-2 町会の再編（合併や分割）についてどのようにお考えですか。（1つだけ）

「再編の必要はない」が38.1%と最も多い一方で、「再編が必要である」「今後、再編が必要になってくる」の合計は41.2%となっている。

全体	は再編の必要	なが今 つ必要 て要、 くに再 編	で再 あ編 るが必 要	わ か ら な い	無 回 答
538	205	190	32	94	17
100.0	38.1	35.3	5.9	17.5	3.2



Q8-3 町会の規模や再編等に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 老後、安心して住み続けられるまちづくりに関心があり、民生委員をしています。町会の活動や運営は荷が重いと感じています。リーダーシップを発揮できる人材を核に様々なグループと共存する。町会費を払っていなくとも、町会の一員としてふれあいつつコミュニケーションを深めていって欲しいです。いざという時に、スムーズに協力し助け合えるように！！
- ・ 世帯数が少なくても、役員数、行事は他町会と同数の行事、役員を出さなくてはならない事は大変です。
- ・ 世帯数が少ないので、運営(資金)は大変だが、少ないため親密さはあると思う。
- ・ 役員になる人がいなくなると、どこかと合併せざるを得ないと思うが、町会の歴史が途絶えるのはつらい。
- ・ 町会区域の世帯数は適切ですが、新たに役員になってくれる若い方々がいません。このままでは将来的に町会運営は成り立たないと思われまので、再編はやむを得ないでしょう。
- ・ 現在の町会の区割は適当と思うが、町会内にホテルが増え、地域住民が減少傾向にある。
- ・ 世帯数は多いが動ける人が少ない。
- ・ 世帯数が多いので町会会員を増やしたい。
- ・ 地区(竹町地区、上野地区といった)の関係や氏神様(神社)の関係もあるので難しい。
- ・ どの町会も同じ問題、悩みを抱えていると思うので、合併を恐れず、推進していくべきと感じる。しかし、神社氏子の問題で、合併先の選択肢が限られる。
- ・ 集合住宅が増え、世帯数が増したが町会入会は少ない！です。町会運営をしていく上で、役員不足が出てくると合併や分割を考慮しなければいけない時が来るのではと感じてはいます。
- ・ 世帯数が少なく、だからといって他町会との合併が必要と思うと、長時間その町会特有の色、又は雰囲気があり、中々その違いを一つにするには今の年代の者としては難しいと思う。将来的には効率的活動が主体となれば考えられなくもないと思うが...。生まれて以来、この地を離れた事のない人の町会意識は良くも悪くも「我が町会意識」強く保守的である。
- ・ 再編しても負担が増えるのではやる必要がない。
- ・ マンションの方も代表者位は町会の役員に入っていただく。大きな建物となると小さな町会位の軒数があるため現在の役員だけでは民意と言えない。
- ・ 再編(合併)より連携活動の推進が必要と感じる。
- ・ 規模が小さい事は明らかだが、イベント(祭り)のための人手不足のために再編する必要はないと思う。
- ・ 再編しても今までの町会のやり方の違いで対立が出てまとまりづらと思う。
- ・ 町会のそれぞれの長い間築いてきたやり方があるのでなかなか再編は難しいと思います。
- ・ 再編にするにしても、各町会で町会行事、町会費、お祭りなど運営の違いを擦り合わせていくのは、非常に困難なことだと思う。
- ・ 高齢化により、人口減が見込め、町会運営を持続できなくなると思われる為、今後再編は必要だと思われま。
- ・ 区内には、大小様々な町会があるので、再編等にあたっては、目標をよく吟味して検討すべきであると思っている。(例：①イベント事業を拡大したい。②人材不足を解消したい。③活動資金を確保したい。)
- ・ 町会の規模や再編ではなく、それにみあった活動をしてくれる役員がいるかどうかではないでしょうか。
- ・ 本町会は運営しやすい人数と思うが、極端に少ない事例をみていると再編も必要ではないかと思う。
- ・ 今の町会を残したい。町名も本当に大切。合併や分割はしたくない。歴史ある町会、町名

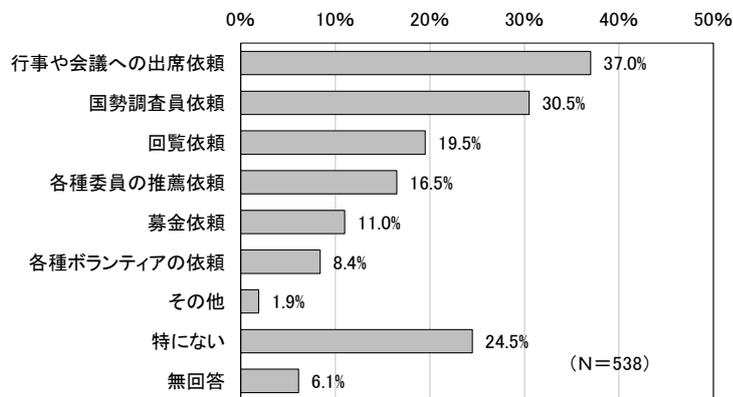
- 町会の合併は全く望んでおりません。しかし、最悪の場合も想定して考えておくことは必要だと思います。
- 長い歴史で町会のテリトリーは成立しているので新興都市と違い、再編は必要ない。
- 私達の町会はマンションが多く作られているので再編は必要ないと思います。どうマンションの方々と向き合っていくかが課題だと感じています。
- 町会も若い人達にとって魅力がないと参加してもらえない。いかに興味を持ってもらえるか、そこを考える必要がある。
- 台東区の現在の人口流入の状態がいつまで続くのか将来的な見通しが困難。人口が減少する様になれば運営体制を変えなければならなくなると思います。
- 町会の規模については、適切かどうかはわかりませんが、近隣町会も活動的には同じようなことを行っていると思われ、上手に手分けしたり、または合同でやれることは合同で行ない、効率的な活動ができればよいと思います。
- 世帯数の少ない町会は隣接町と合併して防災活動などを行った方がよいと思う。

9 行政への要望について

Q9-1 行政（区役所、警察、消防等）からの依頼業務で特に負担になっているものは何ですか。（2つまで）

「行事や会議への出席依頼」が37.0%と最も多い。次いで「国勢調査員依頼」が30.5%となった。

全 体	の 出 席 や 会 議 へ	類 国 勢 調 査 員 依 頼	回 覧 依 頼	薦 各 種 委 員 の 推 薦 依 頼	募 金 依 頼	テ 各 種 ボ ラ ン チ ア の 依 頼	そ の 他	特 に な い	無 回 答	上段:実数(件)
										下段:割合(%)
538	199	164	105	89	59	45	10	132	33	
100.0	37.0	30.5	19.5	16.5	11.0	8.4	1.9	24.5	6.1	



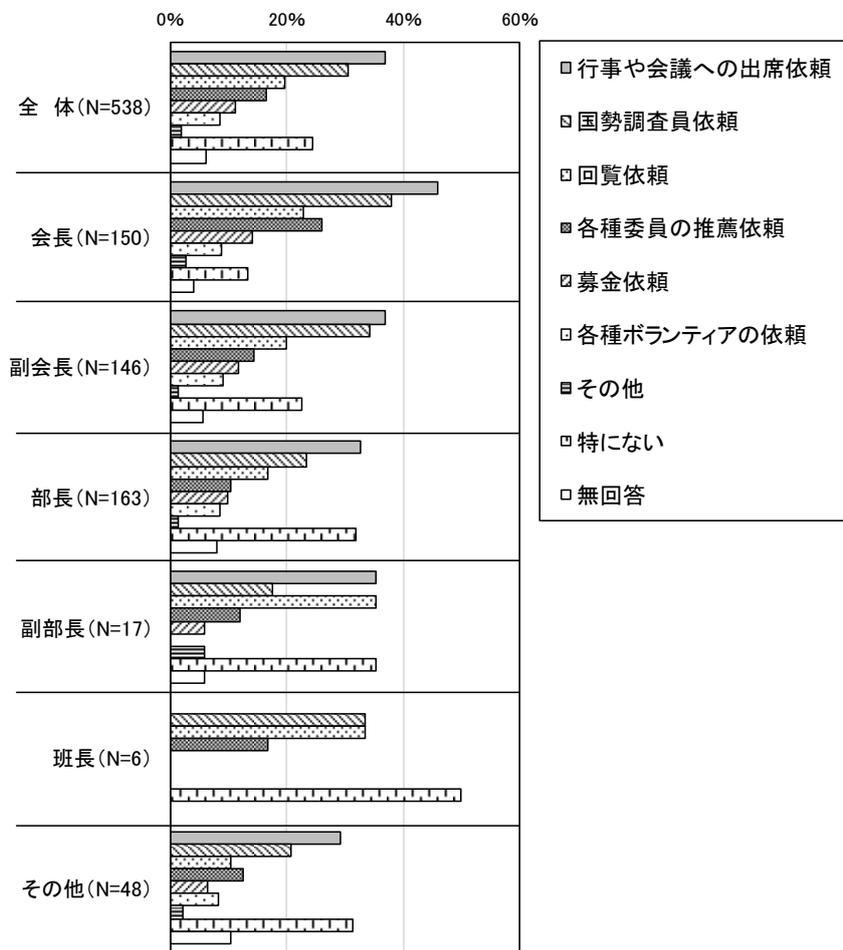
【「その他」の主な内容】

- ・ 区からの掲示ポスター依頼
- ・ 災害時要支援者名簿の扱い、組織的にサポートが必要なのに、情報の共有が禁じられている。
- ・ 避難所運営の主体として期待されているのに訓練や教育がおざなり。
- ・ 現在位はやむをえないと思う。

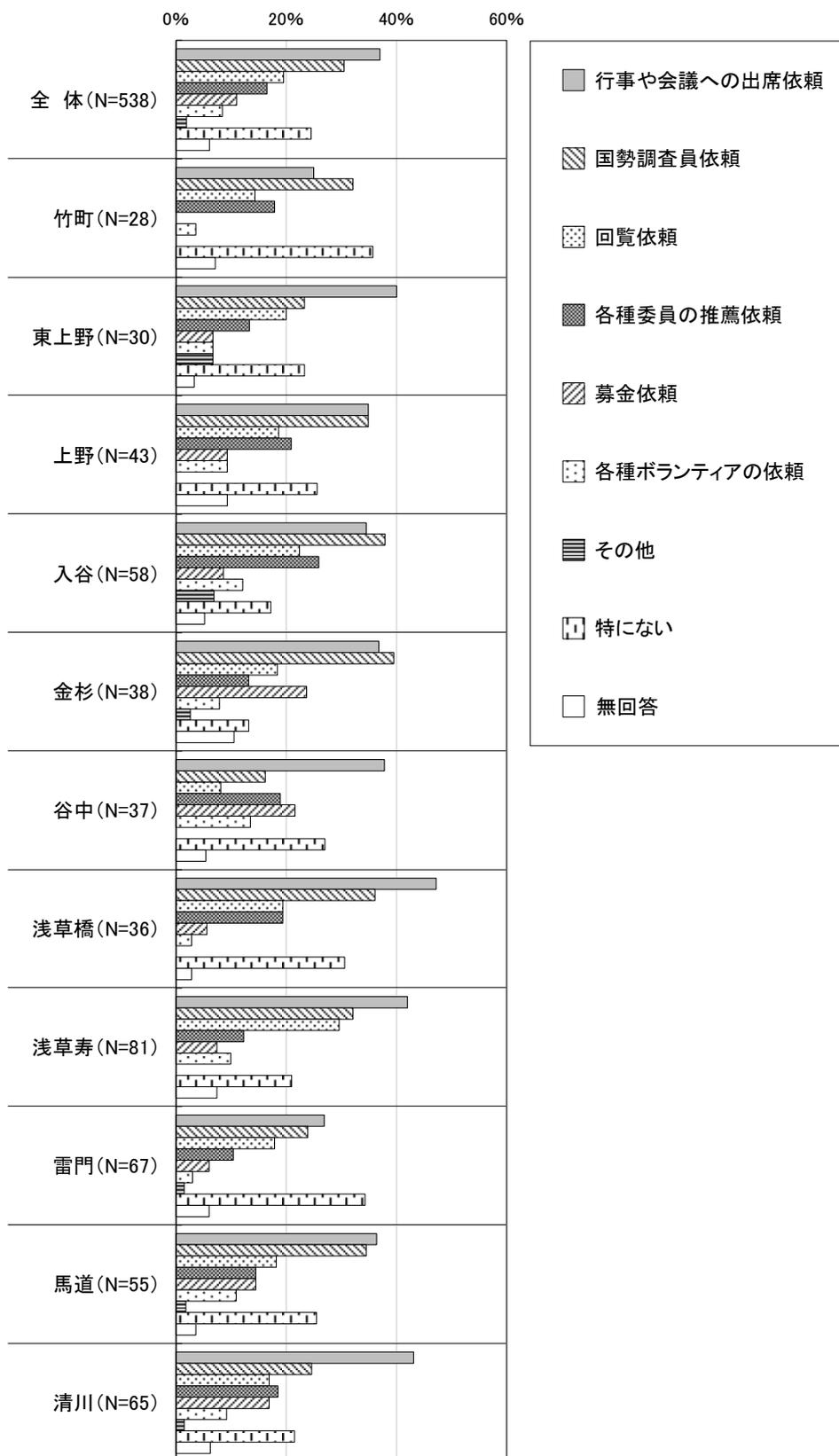
■町会での役職・地区別による傾向及び特徴（行政からの依頼業務で特に負担になっているもの）

町会での役職で見ると、部長や副部長、班長などは「特にない」が多くなる傾向にある。一方、会長や副会長は、「行事や会議への出席依頼」や「国勢調査員依頼」の負担が大きく感じている。
地区別では、竹町地区や雷門地区では「特にない」が多い。

【町会での役職別】



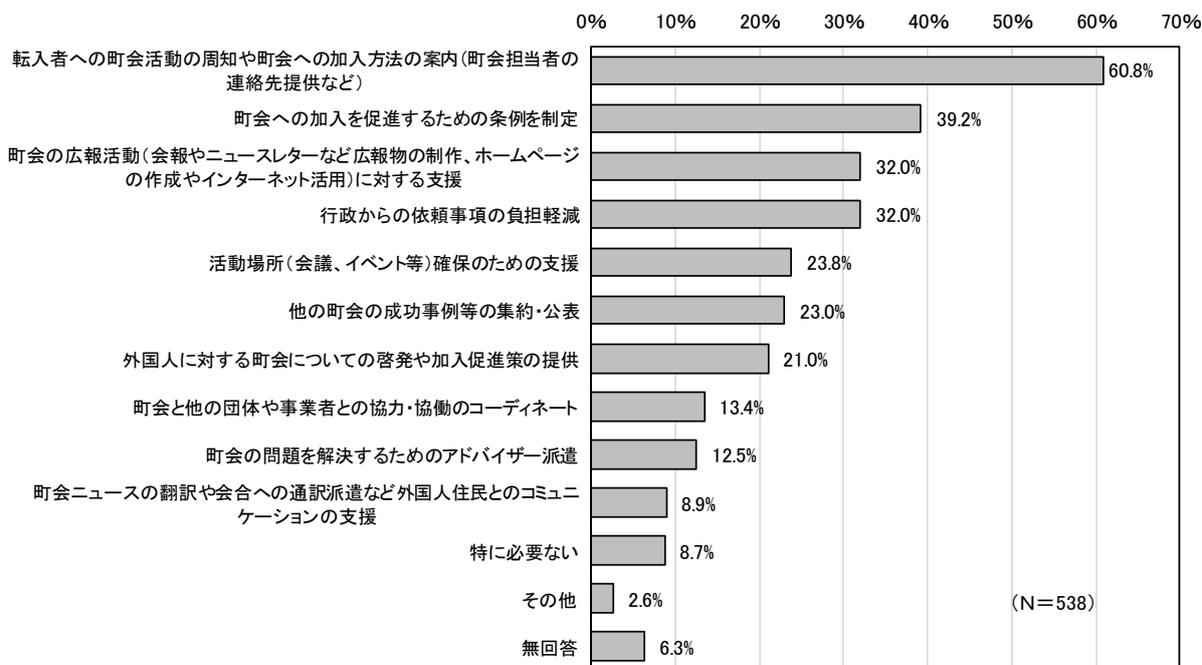
【地区別】



Q9-2 町会への加入促進や町会活動の活性化のために、行政にどのような施策や支援を期待しますか。(当てはまるもの全てに○)

「転入者への町会活動の周知や町会への加入方法の案内」が60.8%と最も多い。次いで「町会への加入を促進するための条例を制定」が39.2%となった。

全体	転入者への町会活動の周知や町会への加入方法の案内(町会担当者への連絡先提供など)	町会への加入を促進するための条例を制定	町会の広報活動(会報やニュースレターなど広報物の制作、ホームページの作成やインターネット活用)に対する支援	行政からの依頼事項の負担軽減	活動場所(会議、イベント等)確保のための支援	他の町会の成功事例等の集約・公表	外国人に対する町会についての啓発や加入促進策の提供	町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート	町会の問題を解決するためのアドバイザー派遣	町会ニュースの翻訳や会合への通訳派遣など外国人住民とのコミュニケーションの支援	特に必要ない	その他	無回答	上段:実数(件)		下段:割合(%)	
														538	327	211	172
	100.0	60.8	39.2	32.0	32.0	23.8	23.0	21.0	13.4	12.5	8.9	8.7	2.6	6.3			



【「その他」の主な内容】

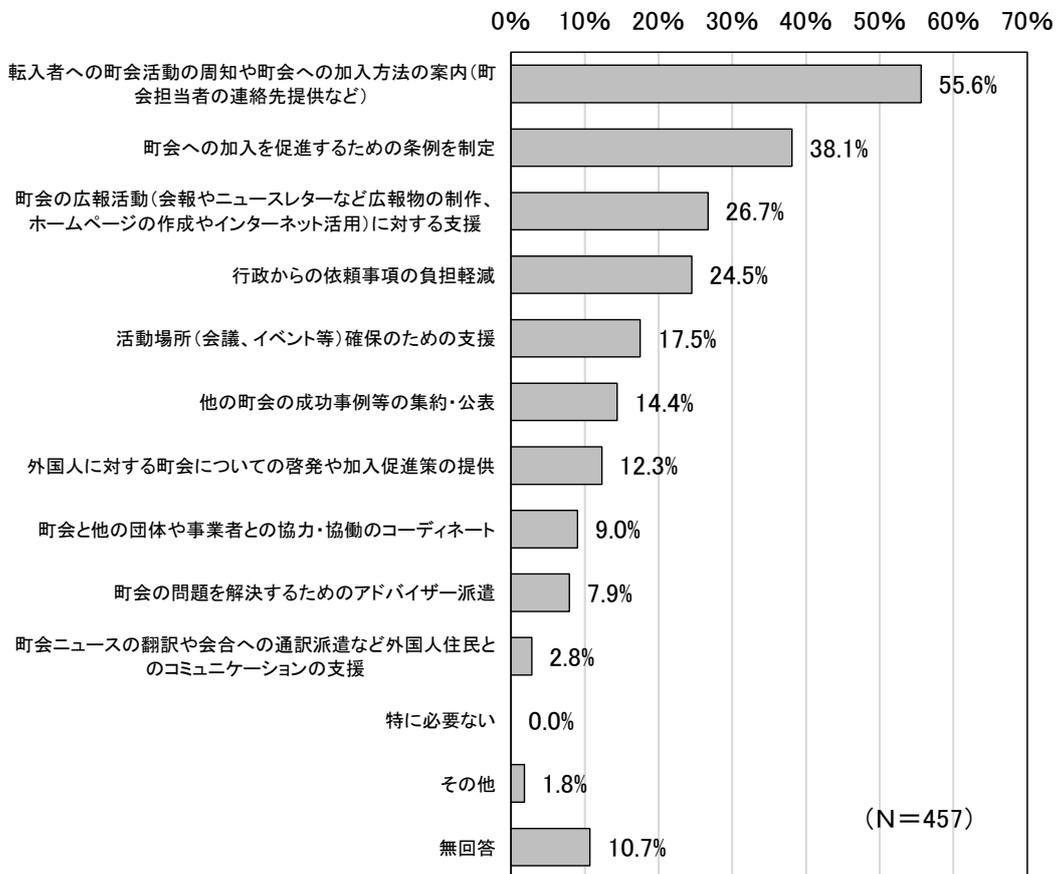
- ・ 防犯カメラの設置は行政で行なっていただきたい。
- ・ 平日昼の会議ばかりで出席可能者が限られています。
- ・ 町会内で行なえる講演等が出来る様になったら良いと思う。講師や派遣等。
- ・ 現時点では支障はありませんが、いろいろな問題が出て来た時に行政にアドバイス・支援をお願いします。
- ・ 個人情報 that 得られない、町会内の名簿等作成困難。
- ・ 防災に本腰を入れてほしい。

Q9-3 Q9-2 で○を付けたもののうち、特に期待する施策や支援は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

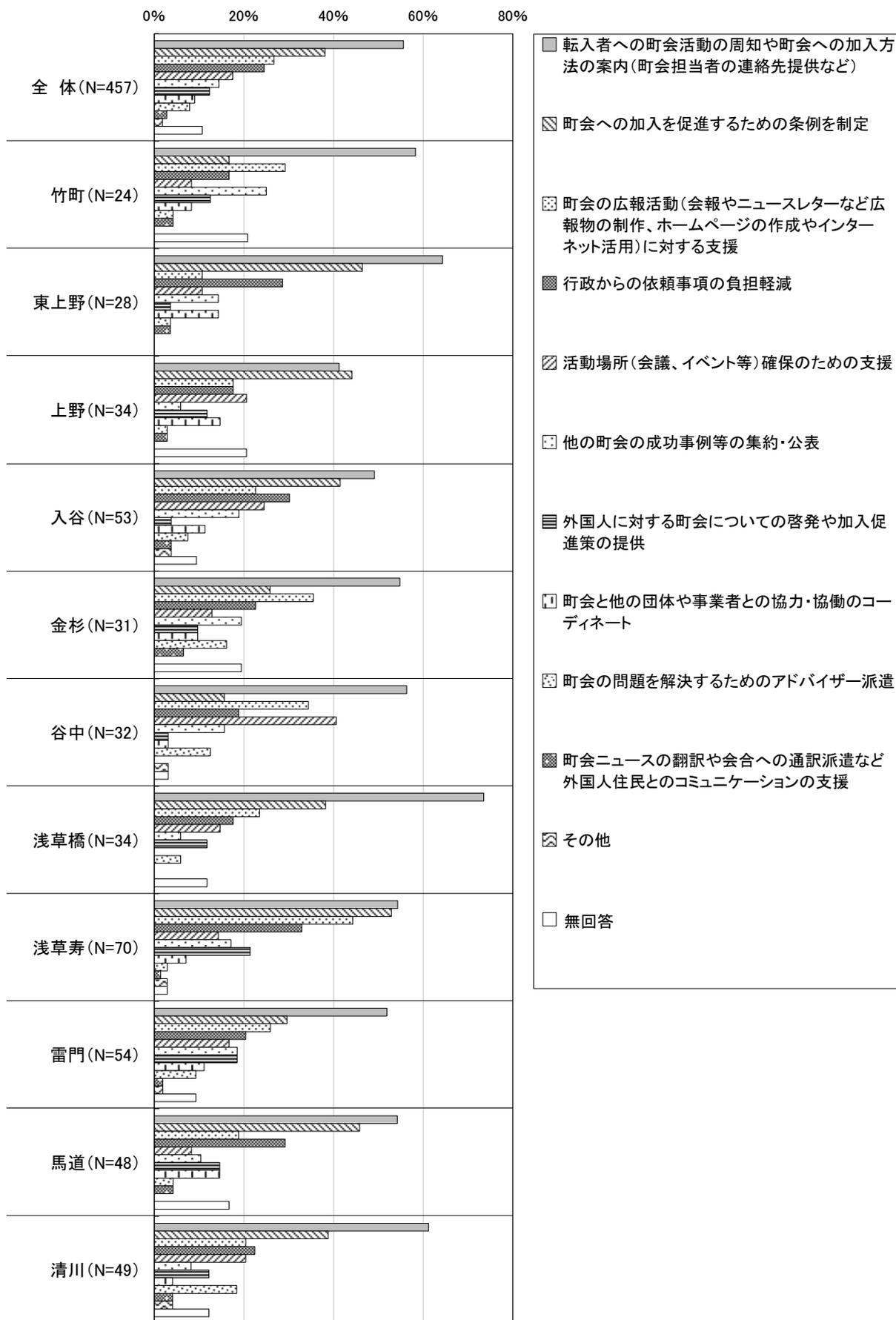
「転入者への町会活動の周知や町会への加入方法の案内」が55.6%と最も多く、Q4-2の未加入者への加入の呼びかけを行っていない理由で最も多くあげられた「未加入者と接点がない、どこにいるのかわからない」という要因があることが伺える。次いで「町会への加入を促進するための条例を制定」が38.1%となった。

全体	上段: 実数(件)													下段: 割合(%)
	転入者への町会活動の案内(町会担当者の連絡先提供など)	町会への加入を促進するための条例を制定	町会の広報活動(会報やニュースレターなど広報物の制作、ホームページの作成やインターネット活用)に対する支援	行政からの依頼事項の負担軽減	活動場所(会議、イベント等)確保のための支援	他の町会の成功事例等の集約・公表	外国人に対する町会についての啓発や加入促進策の提供	町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート	町会の問題を解決するためのアドバイザー派遣	町会ニュースの翻訳や会合への通訳派遣など外国人住民とのコミュニケーションの支援	特に必要ない	その他	無回答	
457	254	174	122	112	80	66	56	41	36	13	0	8	49	
100.0	55.6	38.1	26.7	24.5	17.5	14.4	12.3	9.0	7.9	2.8	0.0	1.8	10.7	

※Q9-2で「特に必要ない」及び「無回答」と回答した者は除く。



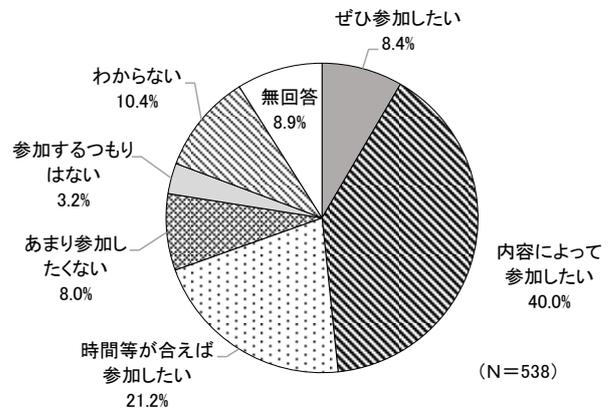
【地区別】



Q9-4 今後、町会活性化に向けた事業（活動支援や講演、情報交換の機会など）があった場合、参加したいと思いますか。（1つだけ）

「内容によって参加したい」が40.0%と最も多い。次いで「時間等が合えば参加したい」が21.2%となった。

全体	い ぜ ひ 参 加 し た	参 加 し た よ う に は	時 間 等 が 合 え ば	た ま ま 参 加 し た あ ま り は な い	参 加 す る つ も り は な い	わ か ら な い	無 回 答	上段:実数(件)
								下段:割合(%)
538	45	215	114	43	17	56	48	
100.0	8.4	40.0	21.2	8.0	3.2	10.4	8.9	

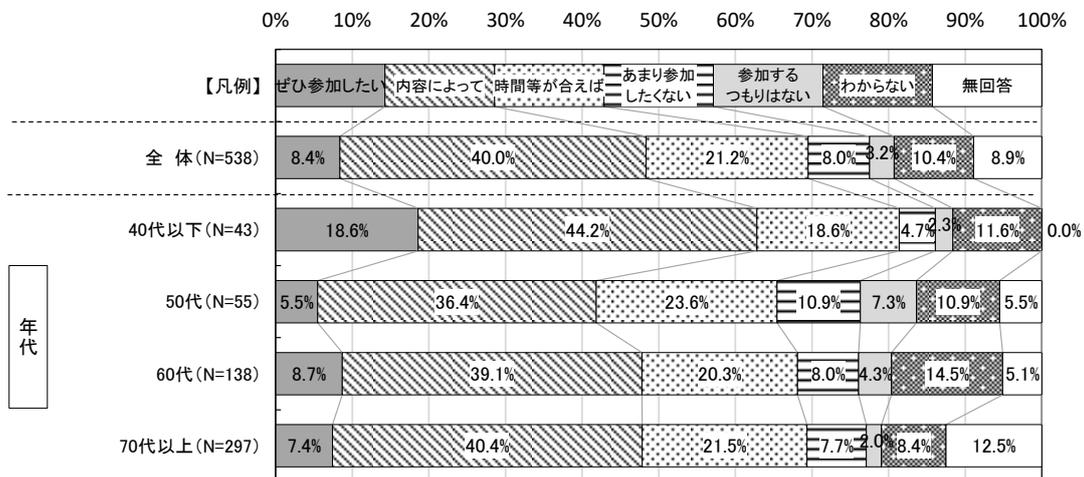


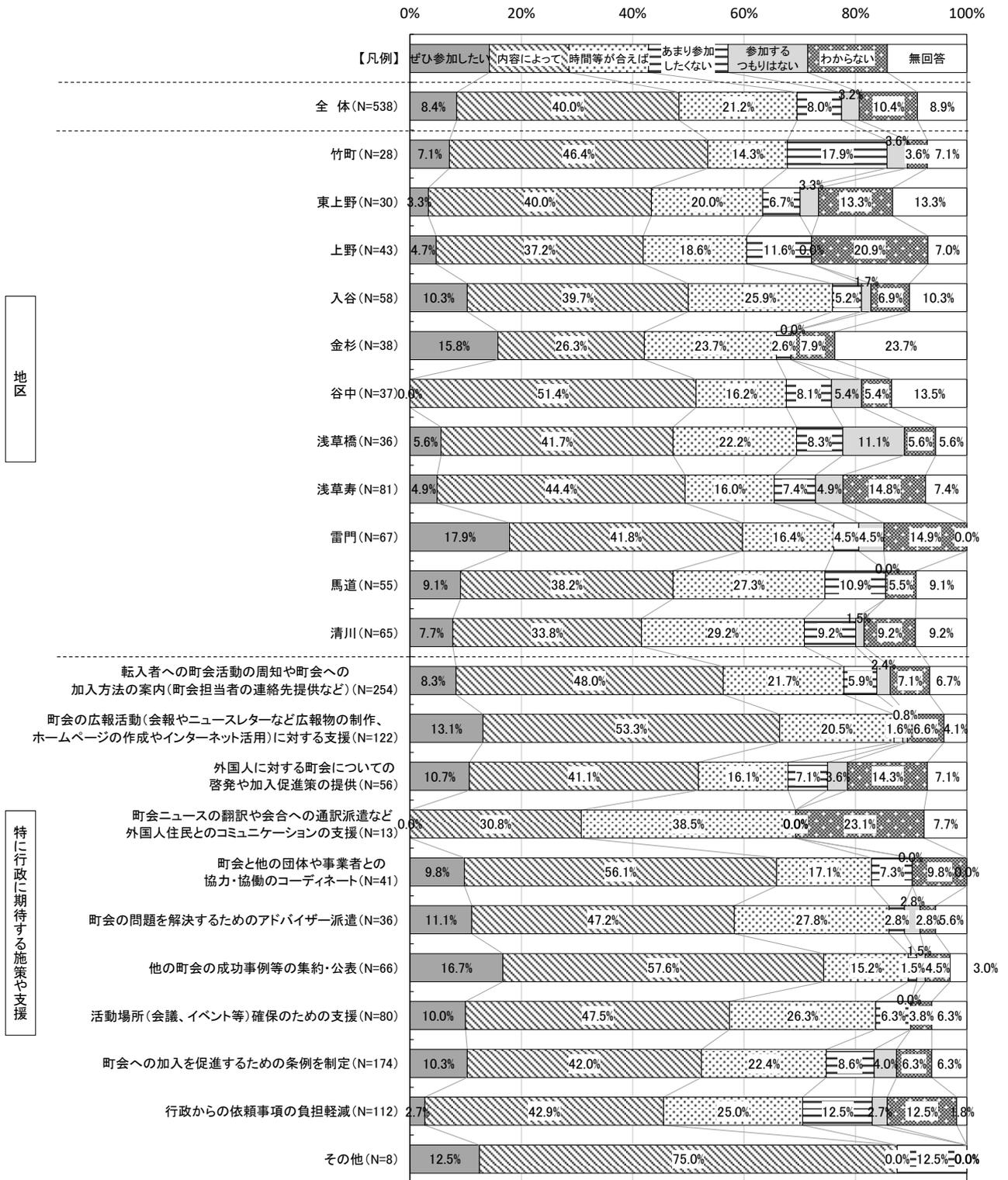
年代・地区・特に行政に期待する施策や支援からの傾向及び特徴（町会活性化事業への参加意向）

年代別では、40代以下で参加意向が比較的高くなっている。

地区別では、内訳にばらつきはあるものの、どの地区も6割以上は条件が合えば参加の意向があることが伺える。

特に行政に期待する施策や支援において「他の町会の成功事例等の集約・公表」「町会の広報活動に対する支援」「町会の問題を解決するためのアドバイザー派遣」を選択した人は参加意向が高くなっている。





※Q9-4で「①ぜひ参加したい」「②内容によって参加したい」「③時間等が合えば参加したい」と回答した方に伺います。

Q9-5 どのような内容の事業に参加したいですか。希望する事業やアイデアなどをご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ このアンケートにもとづいた議題で役所と町会員との協議の場が欲しい。
- ・ 町内会のイベントが少ないので他町会での成功例と失敗例を聞きたい。特に失敗例が重要。
- ・ 町会住民を対象にした防災訓練等の実施。
- ・ 町会の役員が減っているので、どうしたら少ない人数で町会運営をすれば良いか聞きたいと思う。
- ・ ①町会業務のマニュアル化、業務の棚卸し→可視化②町会 HP、SNS 等のデジタル発信について③集合住宅居住者とのコミュニケーション
- ・ 町会活性化は新規役員の勧誘にあると思うので、どの様にしたら計れるか知りたい。情報交換の機会など具体的にどの様にすれば良いかの指導のお願い。
- ・ 町会加入促進の為に、具体的にどの様な事を実施しているか。事業内容をプランアップする為に、他町会の事業見学を開いてみたい。区ホームページで各町会の年間スケジュール閲覧できれば参考になると思うので検討願います。
- ・ 町会同士の交流事業・意見交換会。
- ・ 町会名簿の作り方、活用方法、新しい町会規約の実例、敬老の日の上手な行事の企て方。夏休みの町会レクリエーション、子どもの皆さんとの楽しい行事の実例等紹介。
- ・ 外国人とのコミュニティを増やす様なイベント。
- ・ 町会の IT 化に向けたアドバイザーによるご講演等。
- ・ 活性化している町会のモデルケースの紹介など。
- ・ 災害時に起こりやすいトラブルなどや、その防止方法を講演してもらいたい(被災者の経験をもとにした話)。
- ・ マンションの住民など、町会行事に参加頂くための事案。
- ・ 地域の若手町会役員と地域選出の区議会議員で地域の問題を共有化してみたい。
- ・ 町会未加入者に対する勧誘について、他町会の具体的な手法を学びたい。
- ・ 町会の広報活動の支援。

Q9-6 行政への要望やご意見等ございましたら、ご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 現在のところ満足している。台東区の場合、秋葉原から上野の昭和通り沿いと清川地区等、あまりにも地域性が違うので、地域特性を考えた行政サービスが欲しい。
- ・ 若い人が台東区に居住できるような政策。
- ・ 外国人が(住民でなくても) 増えてきているので、その対策が必要だと思います。
- ・ 町会が防災・防犯、福祉等の身近な行政からの発信場所である事を未加入の人や外国人に行政から伝えてほしい。
- ・ 町会の広報活動に資する支援をお願いしたい。
- ・ 経費削減には外部からの指導が必要だと感じている。
- ・ 地震による被害、台風による被害などに対応するため、防災活動を積極的に町会で行なっていくために、災害時での対応、発生後の対応などについての指導を行ってほしい。毎年、町会として基本的な防火・防災訓練（AED、スタンドパイプ、消火器の使用など）行っていますが、高齢者やお子様たちの避難誘導、また避難会場での救助活動の方法など、具体的な指導をもっと行ってほしい。（机上での講演、説明会でもかまいません）
- ・ 町会単体での活動はなかなかの労力を必要とするため「地区」での活動を支援(企画)して頂きたい。(防火・防災訓練・避難訓練等)
- ・ 自然災害・人的災害に際しての迅速な情報伝達、対応を強く要望します。普段の生活とは違う局面で、町会が機能するのに力を貸してほしい。
- ・ 行政側からの町会に対して、お願い、依頼が多くなって来ていると思うので、負担を軽減して欲しい。でないと役員の成り手がいなくなると思います。
- ・ 回覧物・掲示物が多い。また募金活動なども負担が大きい。
- ・ ポスターの用紙のサイズの統一。
- ・ 町会役員を参加させる講演や、会合を減らしてください！
- ・ 会議の開催時間を週末か夜間をお願いしたいです。仕事の休暇願を出さずに出席できますので。
- ・ 町会の方々に町会組織がどのように役に立っているのか？災害時等には町会組織はどのような役割があり、どのようなことをするのか？などを町会の方々にご理解いただき、参加していただけるように手本となるような他町会の状況などをお知らせ願えるとありがたい。
- ・ 区内における各町会の情報を紹介して頂きたい。役員会での状況報告が行えるから。
- ・ もっとその地域に入り、同じ住民と同じ様に活動して欲しい。
- ・ 祭礼があるためもあり、町会役員は祭礼を中心にまとまり、活動も円滑だと考えます。従って活性化のための支援等は特に必要ないと考えます。むしろ、電柱の地中下をはじめ、地域のインフラの整備のため、行政の立場からしかできない支援、指導に期待します。

10 その他

Q10-1 その他、町会の運営及び活動に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 祭礼・敬老祭・運動会・餅つき大会と長年の伝統行事(活動)がありますが最近は役員の高齢化にともない青少年部の活躍の場が増えつつあります。まだ少人数ですので何度も広報活動を繰り返して、若返りを図る必要がある。そして、防災、子育てなどでも若い女性の意見が反映されるようになれば。
- ・ 私の町会に関しては、活動・会合等の出席は全て町会長お一人にお願いして、町内会の連絡等(配布物を含む)は全て町会事務所にお願いしている現状です。私自身の反省も込めて、町会員全員が一つの気持ちで、自分の町会を盛り立てて行く努力をしないと何十年後かには町会そのものが消滅してしまう心配がある。
- ・ 区から、実質的に女性部、防犯、防火、青少年など役割をあたえられる事で、各役員が必要になってしまう。ゼロベースで必要不可欠なものだけにして行かないと町会組織が立ち行かなくなる。
- ・ 私の住んでいる町会は規模はそれ程大きくはないですがわりと恵まれていると思います。ただ、マンションの問題はたくさんあります。しかし、しっかりとした町会運営をして地域の人々に喜んでもらえ、安心して住めるところにするべく努力しております。
- ・ 地域柄、お祭りを中心に町会活動が行われていますが、町会の会員が多く参加してコミュニケーションを図るにはとても良い機会になっています。お子さんと共に、若い世代のお父さん、お母さんと接することも多く、町会員同士が知り合うことができます。役員は、比較的年齢が高いとしても、これから町会活動を担う若い世代の人達とのふれ合いが多くなるイベント等の企画でみんなで協力し合える町会活動を進めたいと思っています。
- ・ 台東区に住んでいて良かったとつくづく思っています。町の中に価値観の共有できる人がたくさん居ると思える事が本当に幸せだと思います。無理に強制して町会を加入して欲しいなど一つも考えません。加入して一緒に愛する町を、ふるさとを作りいと思う方々に加入していただき、共にならば努力していきたいです。
- ・ 運営活動するにも何時も同じ人達、結局一人でいくつもの役を引き受ける事となる。若い人達に町会に参加してもらうにはどうしたら良いか？曜日、時間等を考慮の上、行事等も考えていかななくてはならないのではと思います。以前は家で仕事をしている人が多かったのですが、現在は勤める人が多くなり、平日の昼は何をするにも難しい状態です。
- ・ まず女性部や青年部という身近なところで、活動を理解してもらい、参加しやすい状況を工夫し、加入者を増やす事も重要と考える。今後、町会の合併など再編を避ける為にも個々が忙しい日常の中、地域の為に時間を作ることが大切だとこのアンケートに回答しながら改めて考えさせられました。
- ・ 町会には、色々な形があります。しかし、安全安心を共有する町会のあり方は、昔からかわらないはず。そこで町会活動の基本となるものとして今、求められるのは町会としてのコミュニケーションを取れる様にする具体的な方法(システム)ではないでしょうか。皆が関心を持つ防災を中心に集まりを作る事が最短の道だと思います。区長を中心として今ある防災団と町会のかかわっている関係協力団体、全てを集めた区民全体、隅々まで連絡が届く(防災のスピーカー放送でない)訓練を各町会に出来る様、区の条例をつくるべきだと思います。区民全員と災害時に区内に居る方(外国の方等)全ての人々の安全安心の基本となる様に、又、町会への活性化の刺激となる様なシステムの構築をお願い致します。
- ・ 高齢化に伴い、町会の行事への積極的参加が増えるとも思えない。地域の見守りのような役目を担いつつ何かの時は結束できる良好な近隣関係がのぞまれると思います。
- ・ 町会と行政が密になって行動することです。

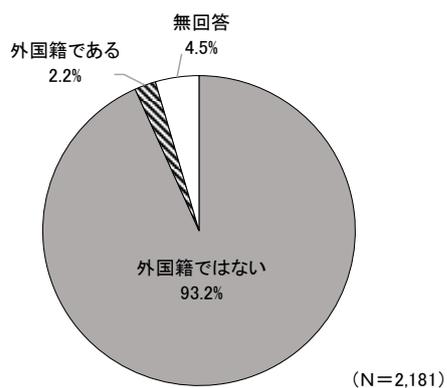
- ・ 行政から町会へ依頼する件数が多く、役員の不満が増加しています。この状況が続くと町会の会員をひき受ける人はいなくなります。改善願います。
- ・ 北部・南部など地域によりできることが違うので、町会への依頼を一律にしないでほしい。(例：一町会何人)
- ・ 新しく台東区民になる方々に対して、町会の必要性和大切さを区から伝えて欲しいです。これから災害が多くなるので、避難所の運営も含め、町会というものの重要性を一緒に伝えて欲しいです。
- ・ 町会の独自の取組みや、その地域の歴史(なりたち)などを町外の方々に発表できる機会があれば、我町の魅力をアピールする事ができます。行政が各町会情報を発信することにより、関心のない方々の心にとまるものが生じるかもしれません。そうする事によって、我町の魅力を考じれば、加入者も増えていくのではと思います。(行政のきっかけづくり)
- ・ 区からの配布物も今後データ化してはどうか？全部は無理にしても重要なものはデータでD.L、出来ればSNSで共有できると思います。
- ・ 回覧板は現在20%くらいしか見ていない。町内各角々に小さな掲示板などを設置して告知する(高齢者用)、SNSで告知する(若者用)など発信したい！！
- ・ 会長(特に現役世代)の仕事量が多すぎる。会長でなく副会長出席を積極的に計って欲しい。例えば、副会長会議など、次世代育成。
- ・ 時の流れの中で昔と今では、町会の存在意義が変化していると思う。しかし、近隣の人達とのつながりや関りを持つ事は必要で、関りを全くしないでこの地域に暮らして行く事は出来ないと思う。
- ・ 地域に貢献しようとする人がいないので、町会に対しての意識を今後いかに持って頂けるか？課題が多いと思います。
- ・ 現状、特に重大な問題は無いが、今は小さい問題が今後拡大していくのではないかと懸念されています。
- ・ 最近は60代はもちろん、70才以上の方でも働いている方が多くなっているため、短時間、短時間でも参加できる活動が何かあればと思います。
- ・ テナントが多い為、町会員の勧誘に行っても”メリットがない”という回答が多く、ほかの町会ではどう対応しているのか教えてほしい。
- ・ 町会の世帯数の大半がマンション住人です。コミュニケーションを図っていますが、いまうまくいっていないのが現状です。町会行事に積極的に参加してもらえる方法を考案していきたい。アドバイスを乞う！
- ・ 2ヶ月に1回、地域で行なう老人会の運営をしていますが、足腰が悪くなった、弱くなった高齢者でも楽しんで集える内容など模索して行っています。なにか良い案ございますか。
- ・ 個人情報保護法などがあり、町会名簿の作成について意見の分かれるところだと感じています。他町会様はどのように解決されているのか？教えていただけるとありがたい。
- ・ 安心・安全な町作りの為、町会活動は大いに必要と思う。しかしながら、個人情報保護法の為、町会内の世帯の情報が一切入って来ず、敬老や新入学等の祝いも出来ない。警察や消防は災害時に近隣の協力を要請するが、うまく対応出来ず困っている。
- ・ 世代交代していく為には、必要不可欠な人材確保、及び、町会員の増加が組織として必要なため、そういった事への行政からのアドバイザー派遣やセミナーなどをやっていただき、地域のコミュニティを存続できるようにしたいと思います。

IV 区民向けの調査

1 回答者自身について

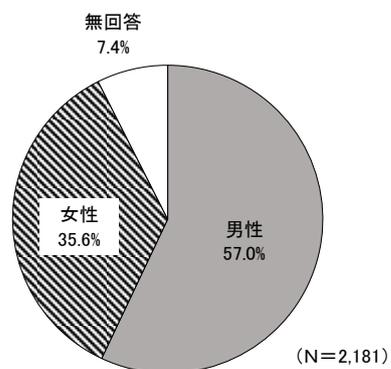
(1) 国籍

	上段:実数(件)		
	下段:割合(%)		
全体	外国籍ではない	外国籍である	無回答
2,181	2,033	49	99
100.0	93.2	2.2	4.5



(2) 性別

	上段:実数(件)		
	下段:割合(%)		
全体	男性	女性	無回答
2,181	1,244	776	161
100.0	57.0	35.6	7.4

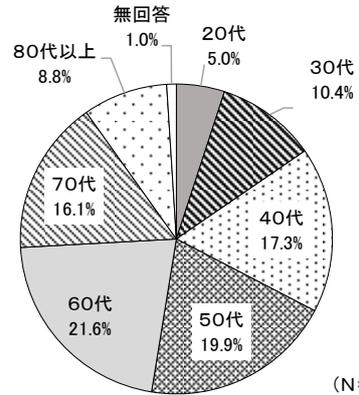


(3) 年代

60代が21.6%と最も多い。次いで、50代が19.9%となっている。

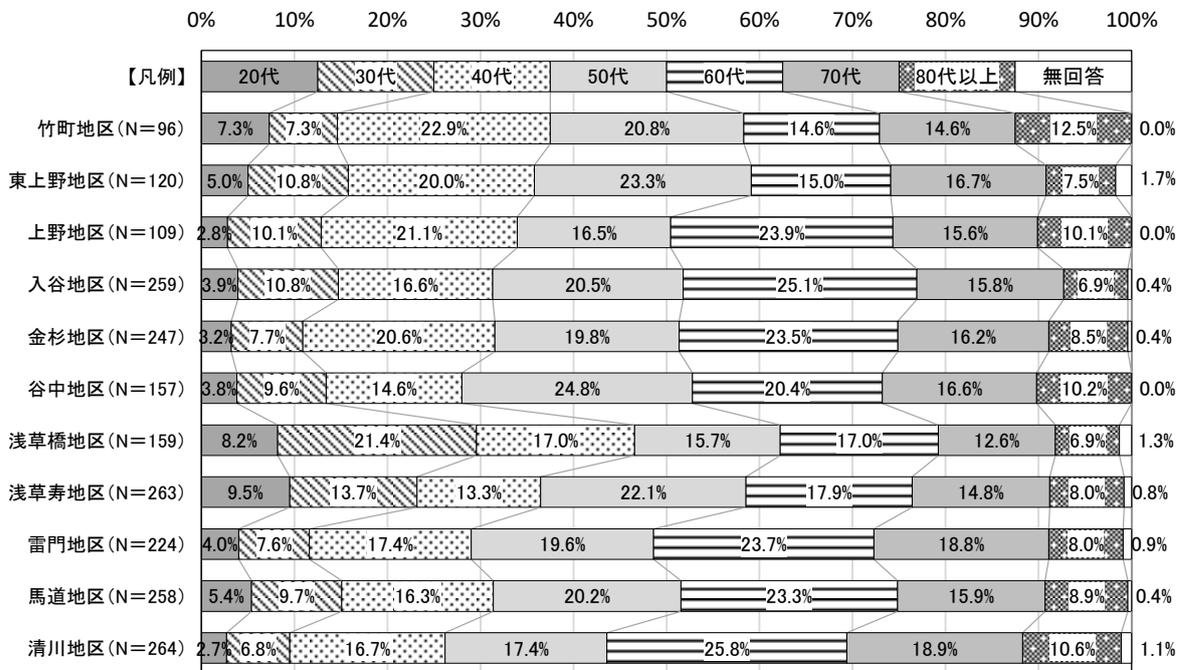
地区別にみると、浅草橋地区は、40代以下が46.6%であり、特に30代が21.4%と若い世代が多い。

全体	上段:実数(件)								無回答
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上		
2,181	109	226	378	433	471	351	191	22	
100.0	5.0	10.4	17.3	19.9	21.6	16.1	8.8	1.0	



(N=2,181)

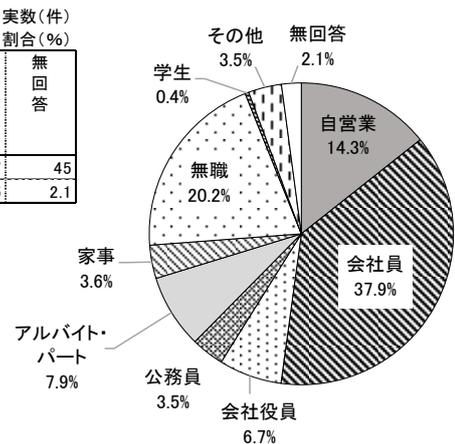
【地区別】年代内訳



(4) 職業

「会社員」が37.9%と最も多い。

全体	上段:実数(件)										無回答
	自営業	会社員	会社役員	公務員	アルバイト	家事	無職	学生	その他		
2,181	312	826	147	76	172	78	440	8	77	45	
100.0	14.3	37.9	6.7	3.5	7.9	3.6	20.2	0.4	3.5	2.1	

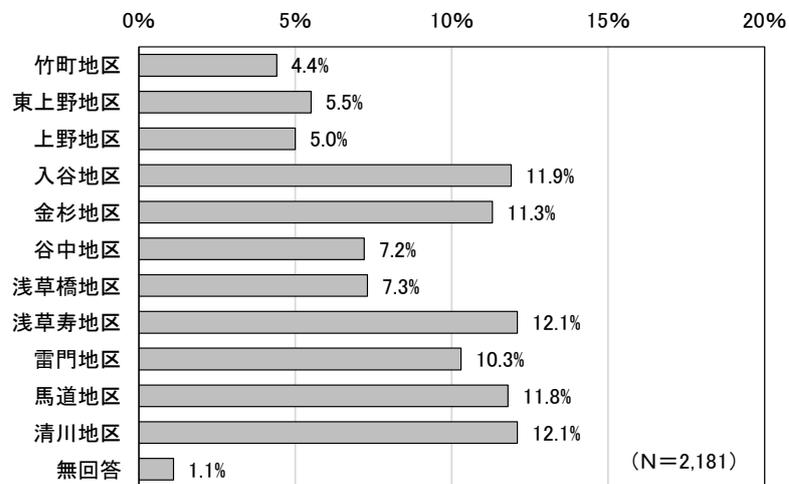
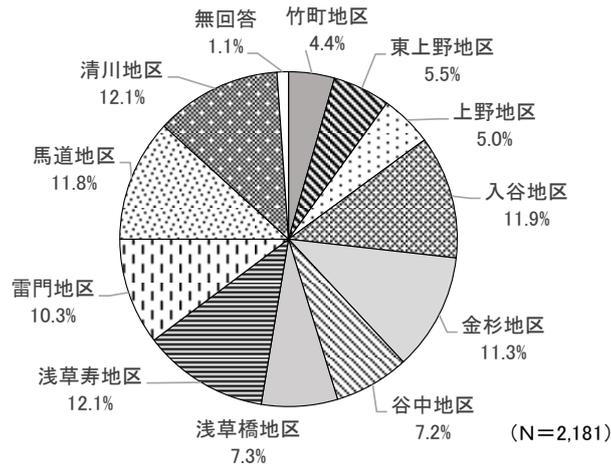


(N=2,181)

(5) 現在の居住地

I-第2章1(2)の区の地区別人口割合とほぼ同様の割合となった。

全体	竹町地区	東上野地区	上野地区	入谷地区	金杉地区	谷中地区	浅草橋地区	浅草寿地区	雷門地区	馬道地区	清川地区	無回答	上段:実数(件)
													下段:割合(%)
2,181	96	120	109	259	247	157	159	263	224	258	264	25	
100.0	4.4	5.5	5.0	11.9	11.3	7.2	7.3	12.1	10.3	11.8	12.1	1.1	

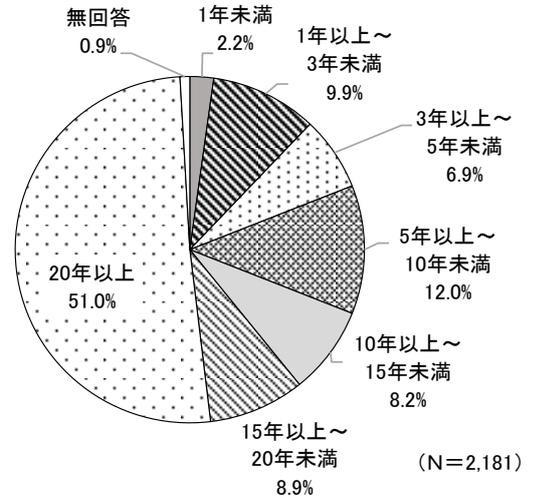


(6) 現在住んでいる住居の居住年数

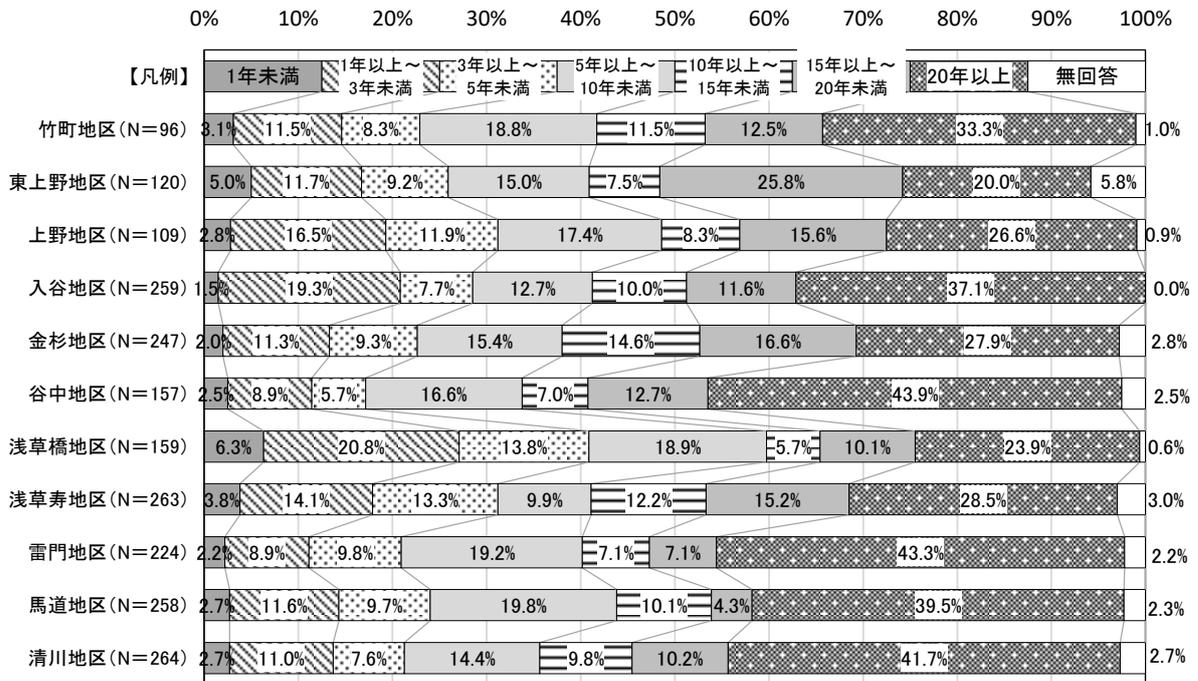
現在の住まいの居住年数は、「20年以上」が51.0%と最も多い。

地区別にみると、浅草橋地区は居住年数「5年未満」が40.9%となっている。

全体	上段: 実数(件)								無回答
	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上	無回答	
2,181	48	216	151	262	178	194	1,112	20	
100.0	2.2	9.9	6.9	12.0	8.2	8.9	51.0	0.9	



【地区別】居住年数内訳

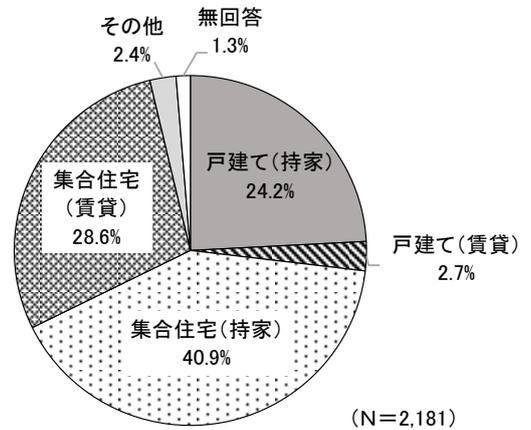


(7) 現在の住居形態

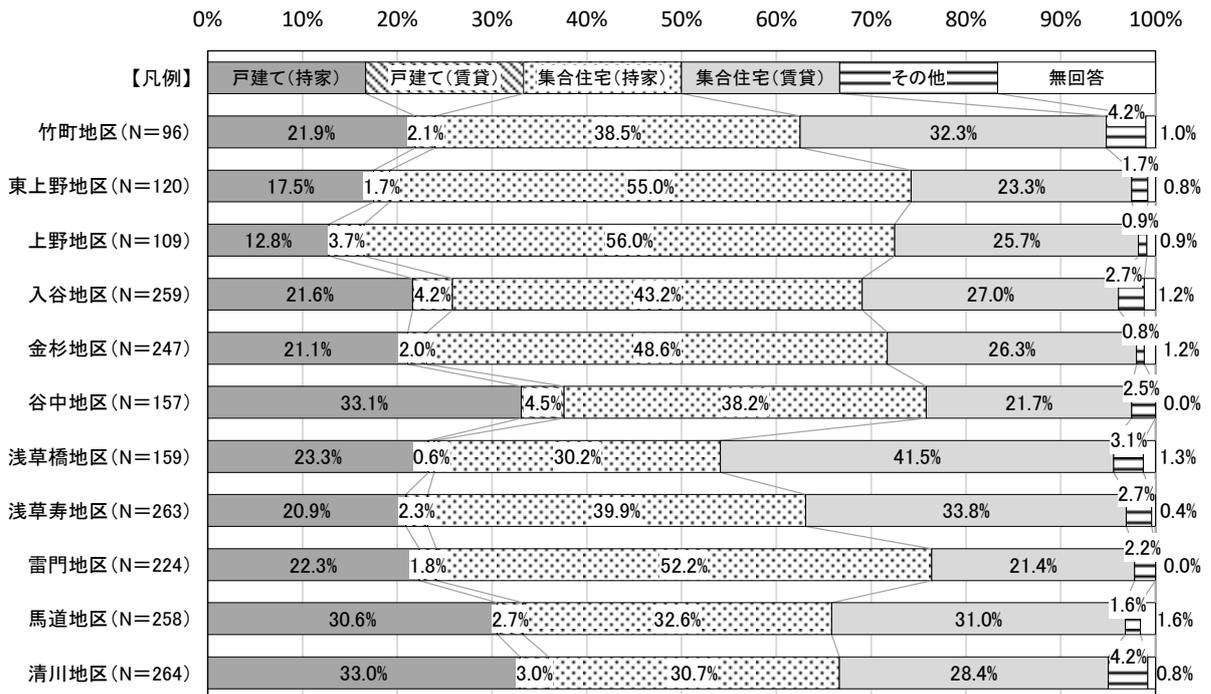
現在の住居形態は、「戸建て（持家・賃貸）」が26.9%、「集合住宅（持家・賃貸）」が69.5%と、集合住宅が7割を占めている。

地区別でみると、「戸建て（持家・賃貸）」は谷中地区（37.6%）が最も多い。一方、「集合住宅（持家・賃貸）」は上野地区（81.7%）が最も多い。浅草橋地区では、集合住宅でも賃貸が41.5%と多くなっている。

全体	戸建て (持家)	戸建て (賃貸)	集合住宅 (持家)	集合住宅 (賃貸)	上段:実数(件)		下段:割合(%)						
					その他	無回答	その他	無回答					
2,181	528	58	892	623	52	28	100.0	24.2	2.7	40.9	28.6	2.4	1.3



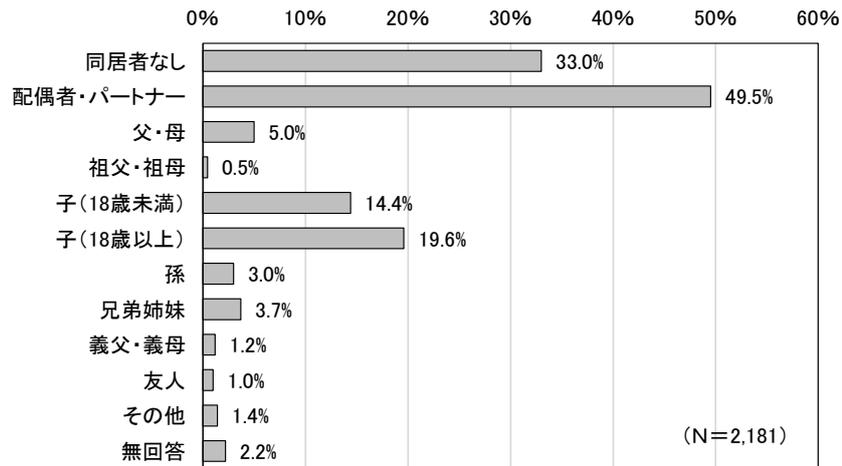
【地区別】住居形態内訳



(8) 同居者

「配偶者・パートナー」が49.5%と最も多い。次いで、「同居者なし」が33.0%となっている。

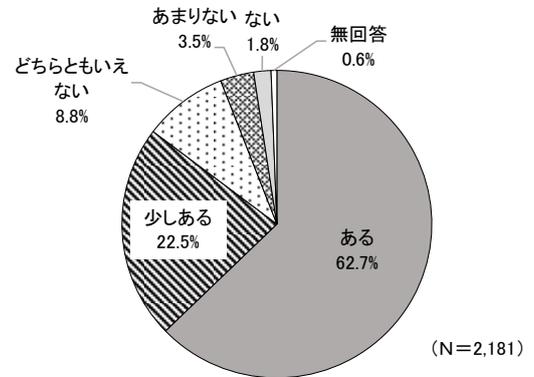
全体	同居者なし	配偶者・パートナー	父・母	祖父・祖母	未成年(18歳未満)	子(18歳以上)	孫	兄弟姉妹	義父・義母	友人	その他	無回答	上段: 実数(件)		下段: 割合(%)										
													実数(件)	割合(%)	実数(件)	割合(%)									
2,181	719	1,080	109	10	315	428	65	80	27	21	31	47	2,181	33.0	49.5	5.0	0.5	14.4	19.6	3.0	3.7	1.2	1.0	1.4	2.2



Q1-2 現在お住まいの地域に愛着はありますか。

「ある」「少しある」と回答した『地域への愛着がある回答者』は85.2%となっており、8割半ばが地域への愛着を感じている。

全体	上段:実数(件)						無回答
	ある	少しある	どちらとも言えない	あまりない	ない	無回答	
2,181	1,368	491	192	76	40	14	
100.0	62.7	22.5	8.8	3.5	1.8	0.6	



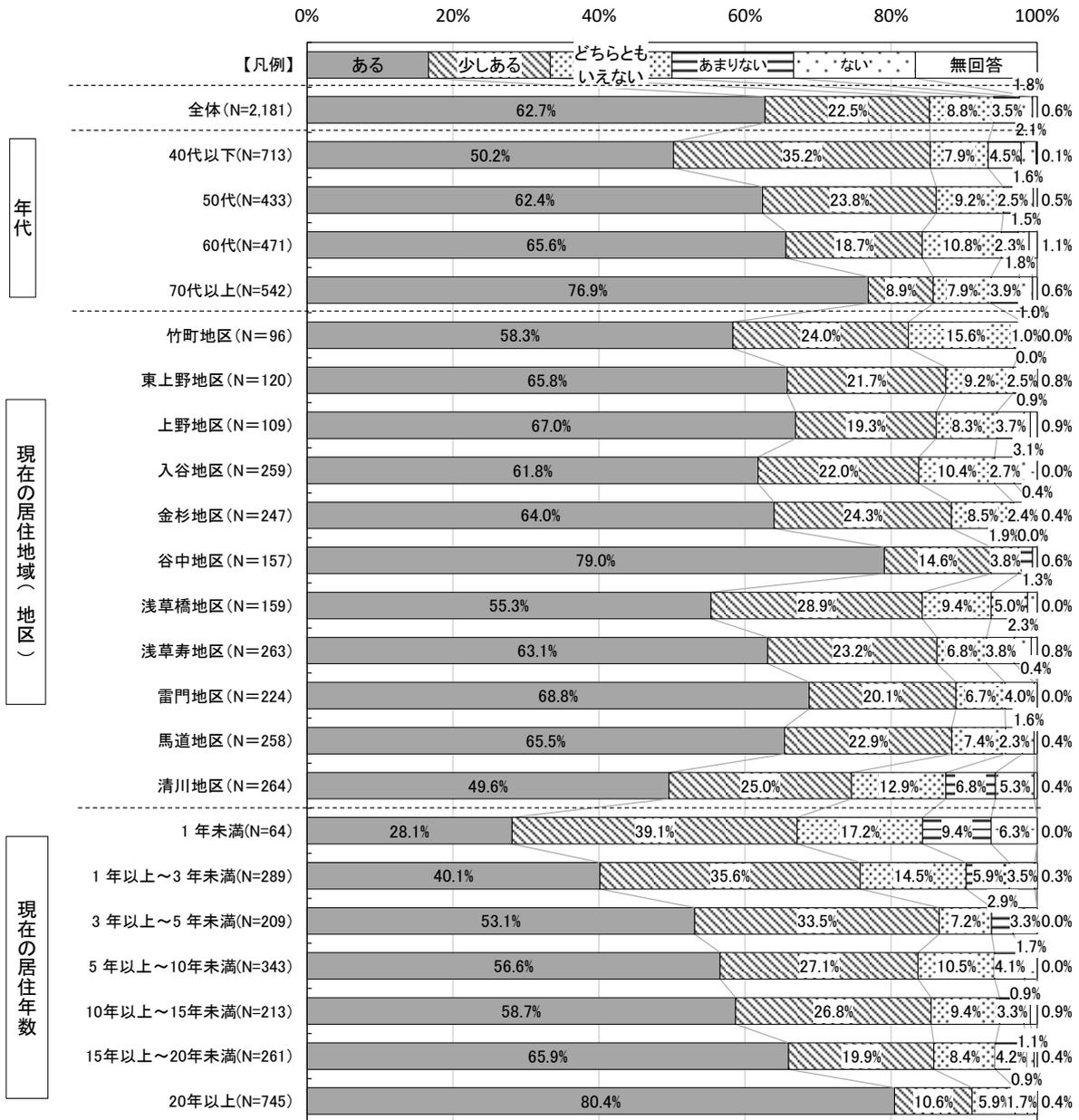
【各回答の主な理由】

- 「ある」「少しある」と回答した理由
 - ・ 街の雰囲気や利便性が良い
 - ・ 生まれ育ったまち・長年住んでいるまちだから
 - ・ 人が良いまちだから
- 「どちらとも言えない」と回答した理由
 - ・ 住んで間もないから
 - ・ 地域・近所との交流がない
 - ・ 転居の可能性があるから
- 「あまりない」「ない」と回答した理由
 - ・ 地域・近所との交流がない
 - ・ 住む場所へのこだわりがない
 - ・ 住んで間もないから

■年代・地区・居住年数別の傾向及び特徴（地域への愛着）

年代別で見ると、いずれの年代区分でも「ある」「少しある」の合計が8割以上であり、年代が高くなるにつれて地域への愛着が「ある」が多くなっている。

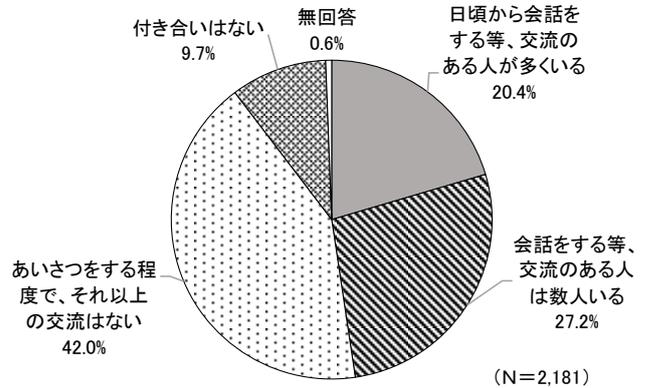
地区別では、谷中地区が「ある」「少しある」の合計が最も高く93.6%となっている。



Q1-3 あなたのご近所付き合いについて、あてはまるものをお選びください。(1つだけ)

近所付き合いの度合いは、「あいさつをする程度で、それ以上の交流はない」が42.0%と最も多い。

全体	上段:実数(件)					下段:割合(%)					
	人が多く交流している	日頃から会話をする人	交流のある人は数人	交流はないが、それ以上の程	度いさつをする程	あいさつはない	付き合いはない	無回答			
2,181	446	594	917	212	12	100.0	20.4	27.2	42.0	9.7	0.6



■国籍・年代・地区・居住年数・住居形態・町会加入状況による傾向及び特徴（ご近所付き合い度合い）

全体では「付き合いはない」人は9.7%であるが、外国籍の人は、「付き合いはない」が28.6%と日本人よりも地域の中で近所付き合いが少ない状況となっている。

年代別では、年齢が高くなるほど近所付き合いが多くなる傾向にあり、40代以下では2割が「付き合いはない」と回答している。

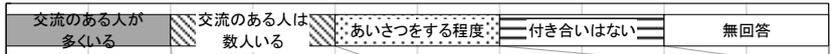
また、居住年数においても、年数が長くなるほど近所付き合いが多くなる傾向となっている。

住居形態でみると、戸建ては近所付き合いが多いが、集合住宅は「交流のある人が多くいる」と回答した人が戸建てと比較して三分の一となっている。

町会の加入状況でみると、「加入している」回答者はある程度近所付き合いがある中、「加入していない」回答者は「交流のある人が多くいる」が町会に加入している人と比較して四分の一となっており、近所付き合いが少ない状況となっている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【凡例】



国籍

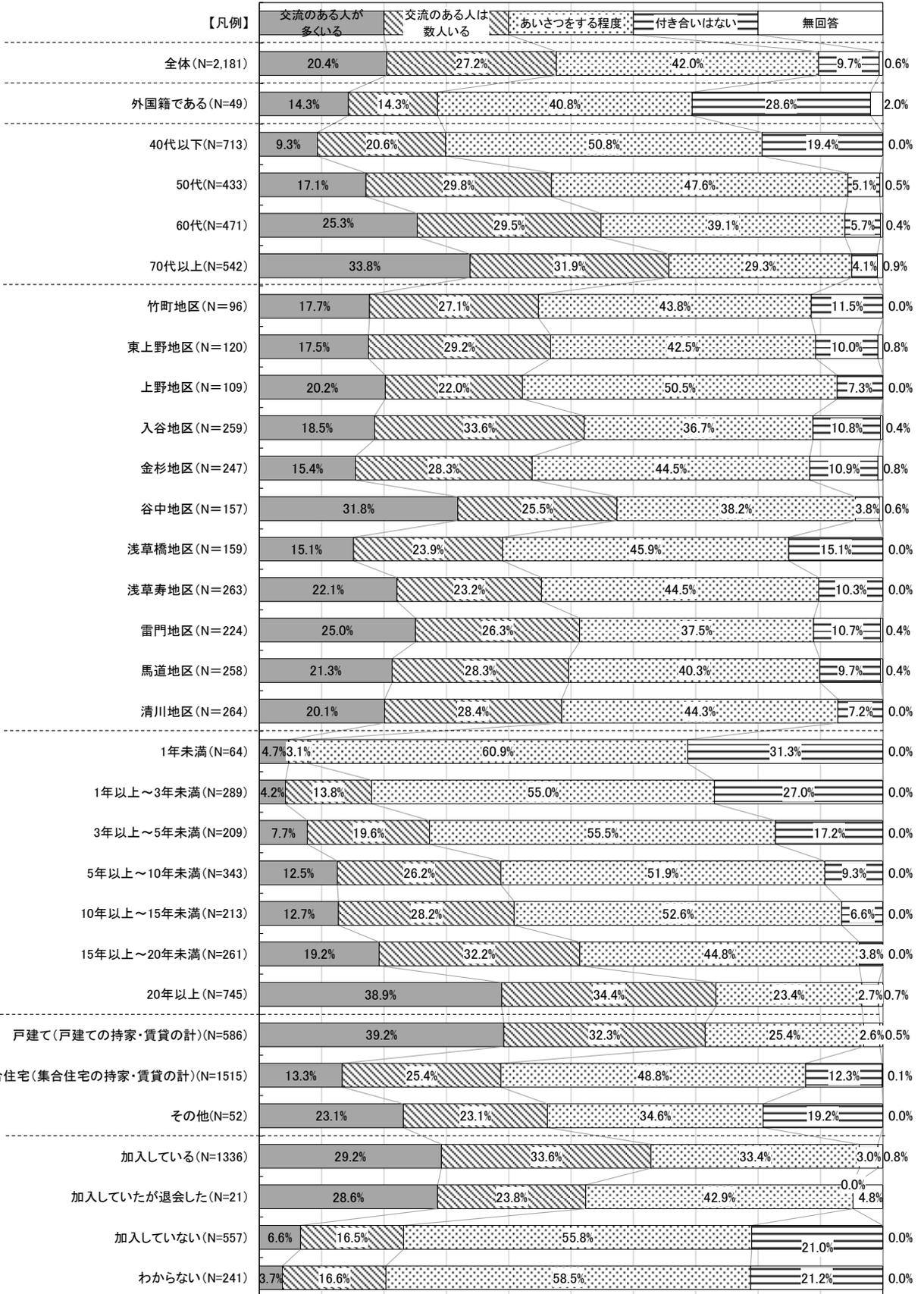
年代

現在の居住地(地区)

現在の居住年数

住居形態

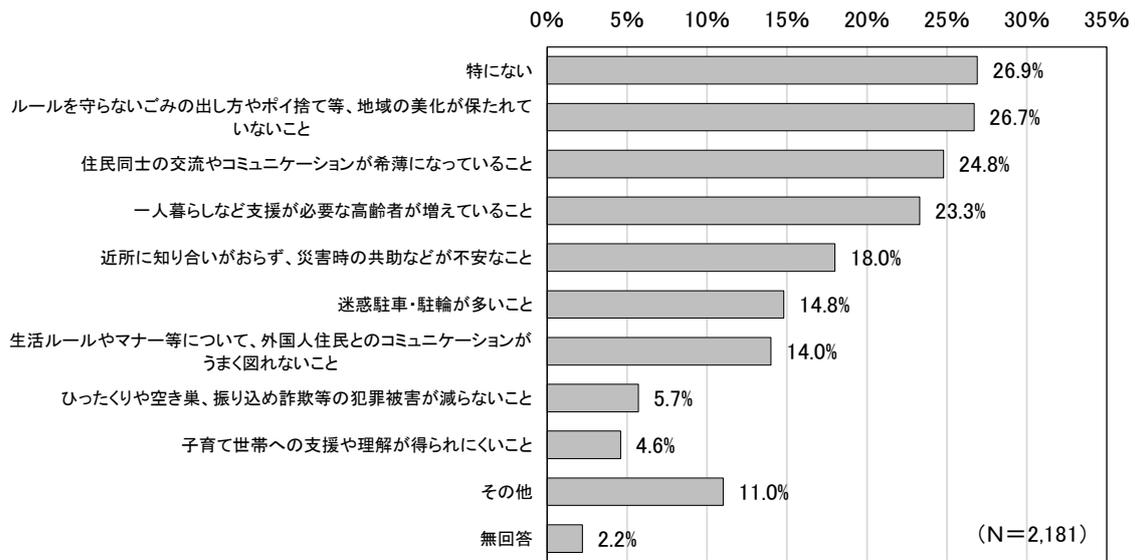
町会への加入状況



Q1-4 現在お住まいの地域で、心配だと思うことや問題と感ずることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

地域での心配や問題と感ずることとして、「特にない」が最も多い(26.9%)。次いで、「ごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化(26.7%)」「住民同士の交流の希薄化(24.8%)」「支援が必要な単身高齢者の増加(23.3%)」となっている。

	上段:実数(件)										
	下段:割合(%)										
全体	特にない	ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと	住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること	一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること	近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと	迷惑駐車・駐輪が多いこと	生活ルールやマナー等について、外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと	ひったくりや空き巣、振り込め詐欺等の犯罪被害が減らないこと	子育て世帯への支援や理解が得られないこと	その他	無回答
2,181	587	583	540	509	393	322	305	124	101	239	48
100.0	26.9	26.7	24.8	23.3	18.0	14.8	14.0	5.7	4.6	11.0	2.2



【「その他」の主な回答】

- ・ 観光客が増え、マナーや治安が悪化していること
- ・ マンション・ホテルの建設が増えていること

■年代・地区・住居形態・町会加入状況別による傾向及び特徴（地域での心配や問題）

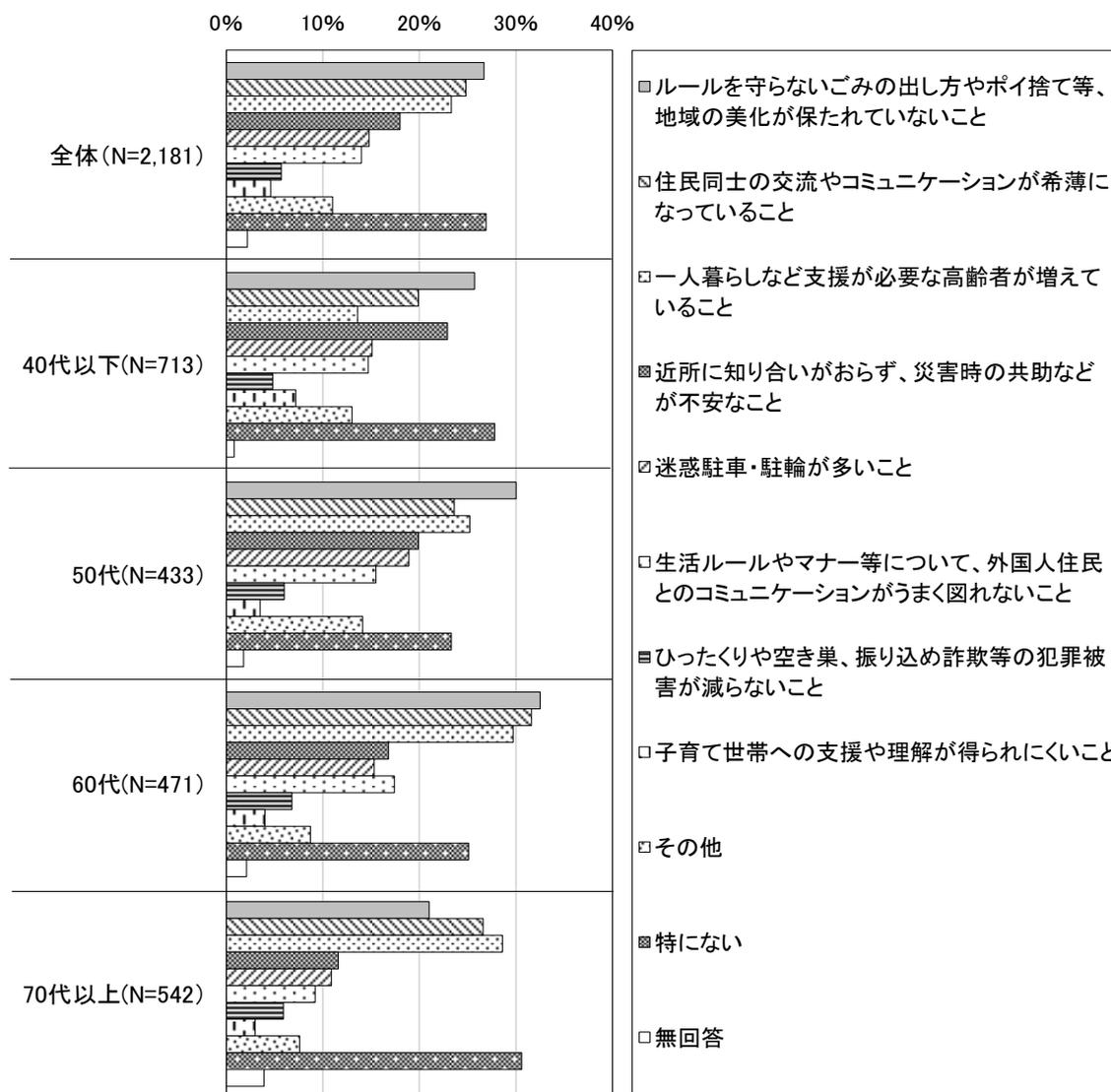
年代別では、40代以下は「近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと」に対する問題意識が他の世代と比べて高い。一方、50代以上になると「一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること」への意識が高くなっている。

地区別では、竹町地区と入谷地区が「ごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化」への問題意識が高い。東上野地区と清川地区では「支援が必要な単身高齢者の増加」が高くなっている。

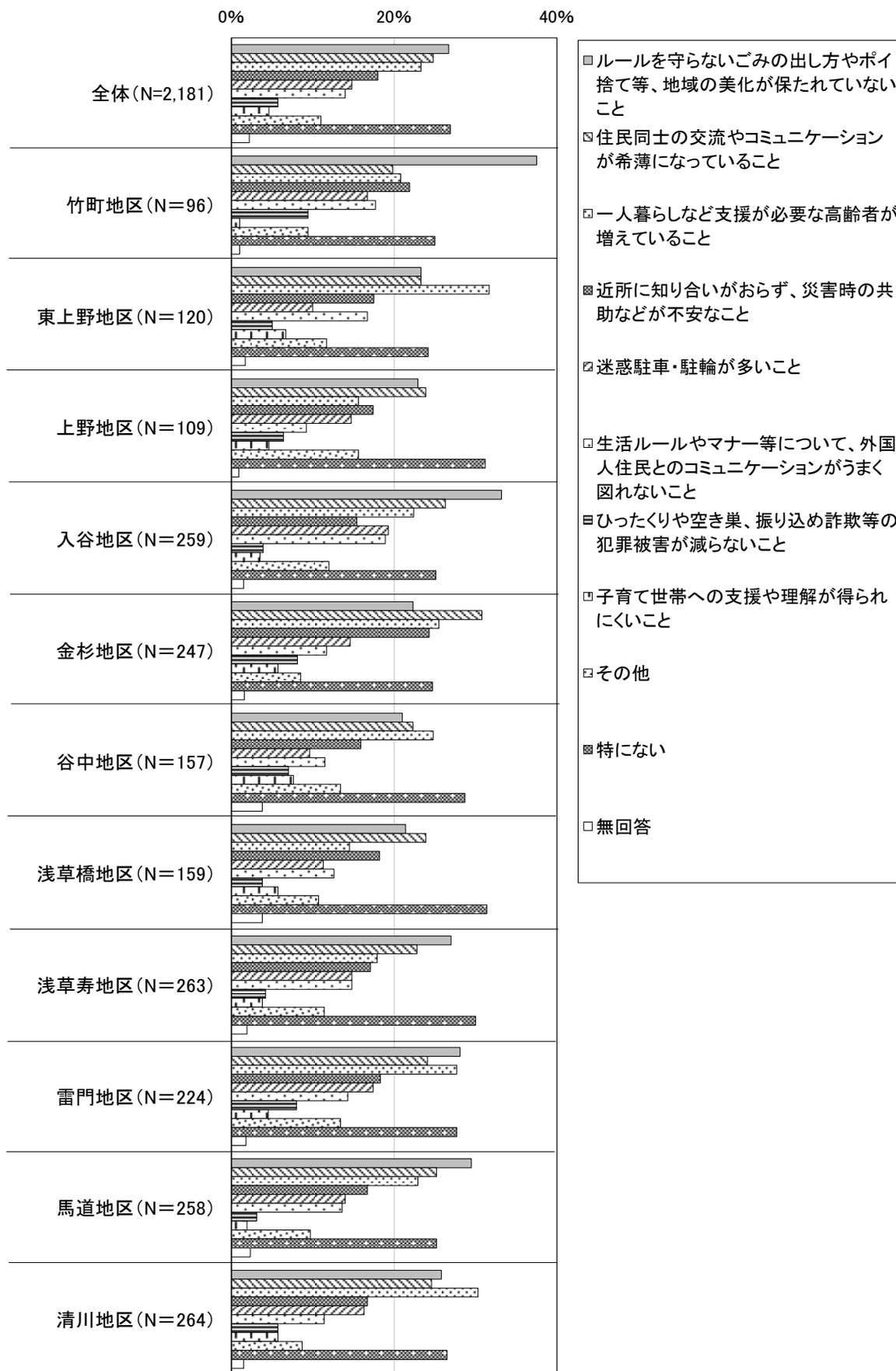
住居形態でみると、集合住宅（持家・賃貸）では「近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと」が戸建て（持家・賃貸）より多い。

町会加入状況別では、「加入していない」「わからない」では「近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと」が「加入している」より多い。

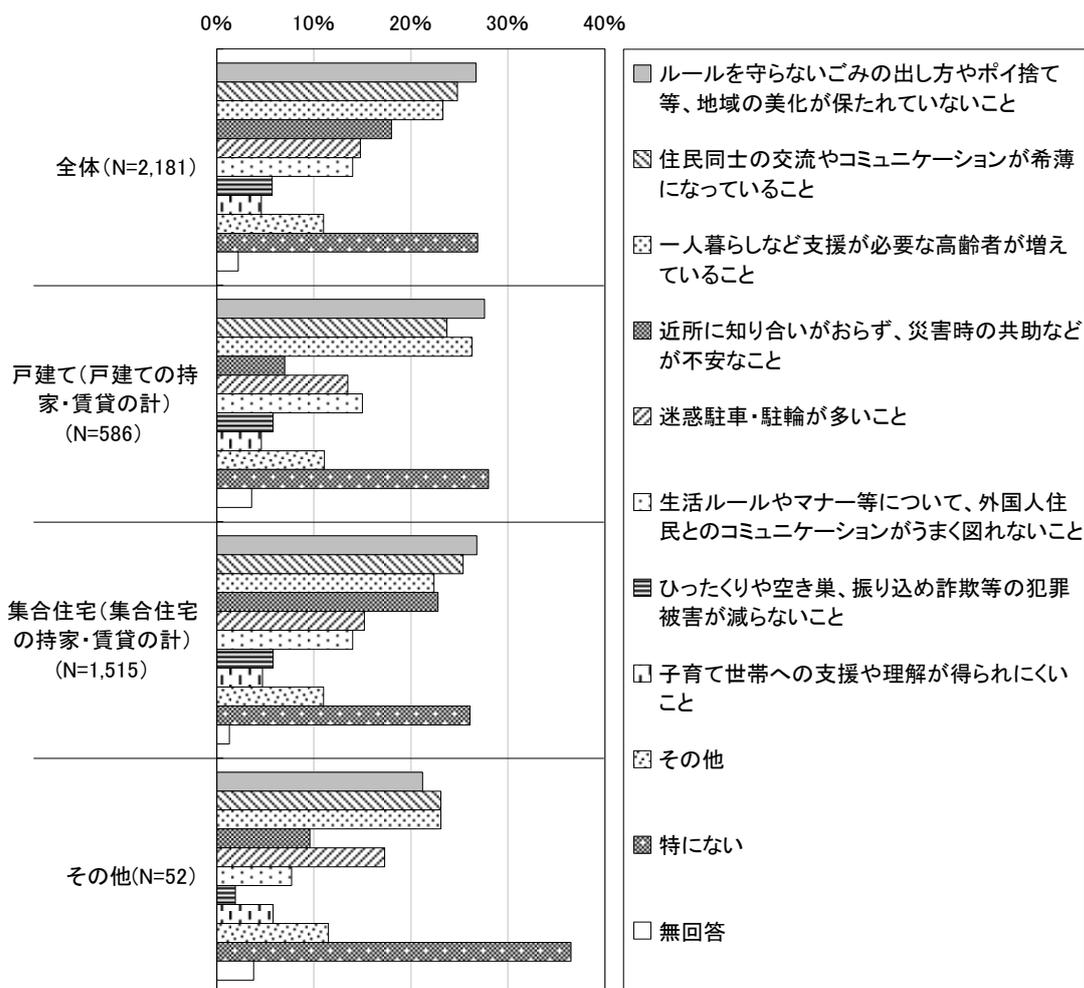
【年代別】



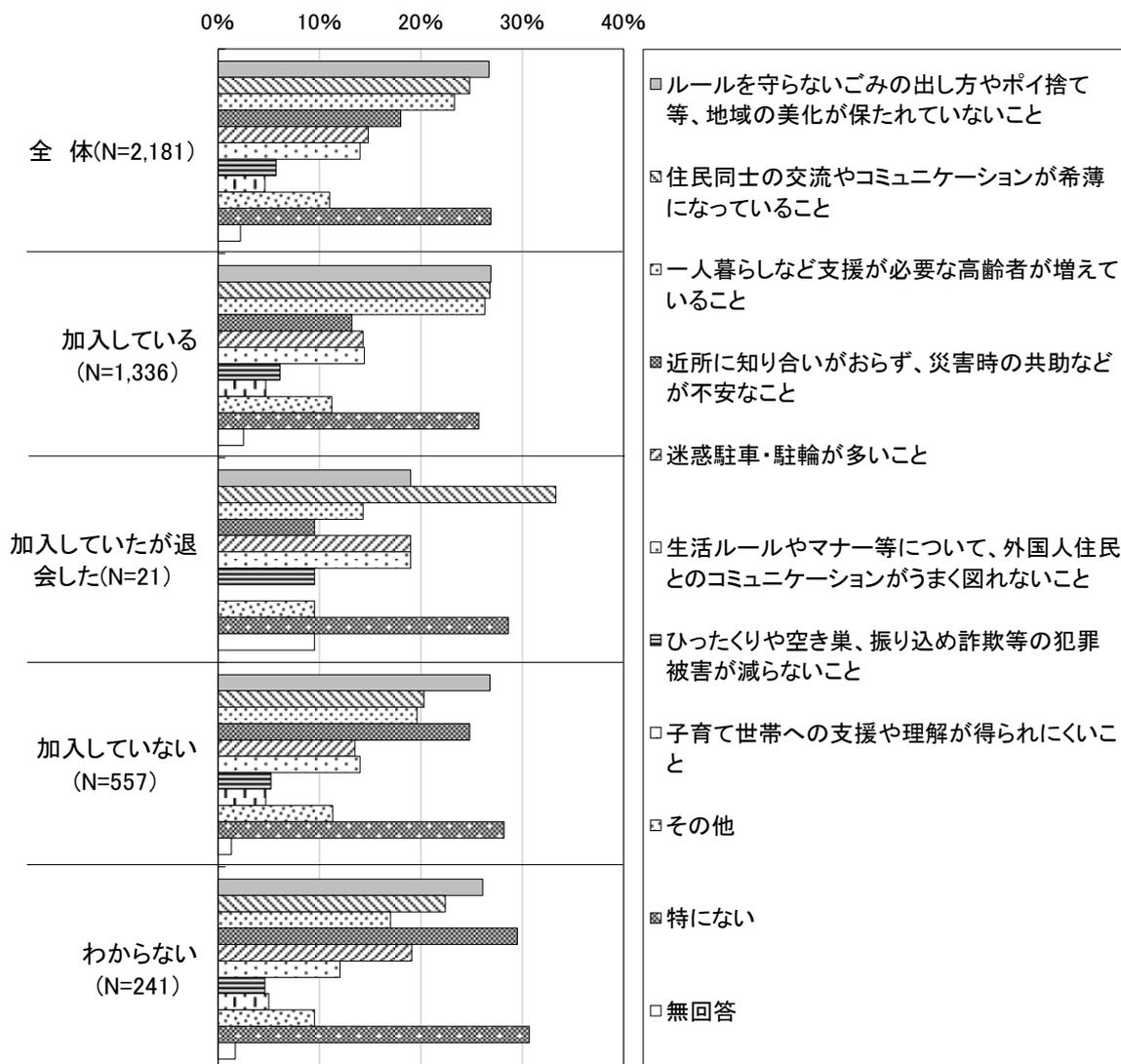
【地区別】



【住居形態別】



【町会加入状況別】

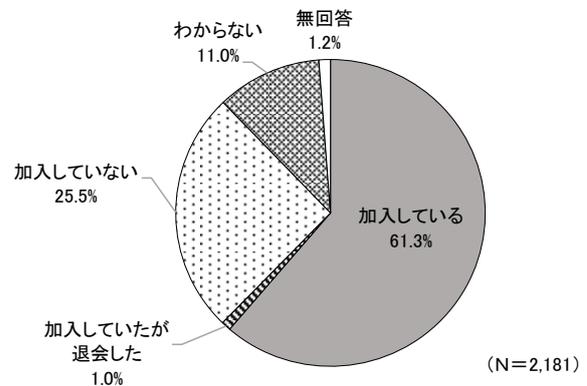


2 町会の加入について

Q2-1 あなたは現在のお住まいで町会に加入していますか。(1つだけ)

「加入している」が61.3%、「加入していない」が25.5%となっている。

全体	加入している	が加入して退会した	加入していない	上段:実数(件) 下段:割合(%)	
				わからない	無回答
2,181	1,336	21	557	241	26
100.0	61.3	1.0	25.5	11.0	1.2



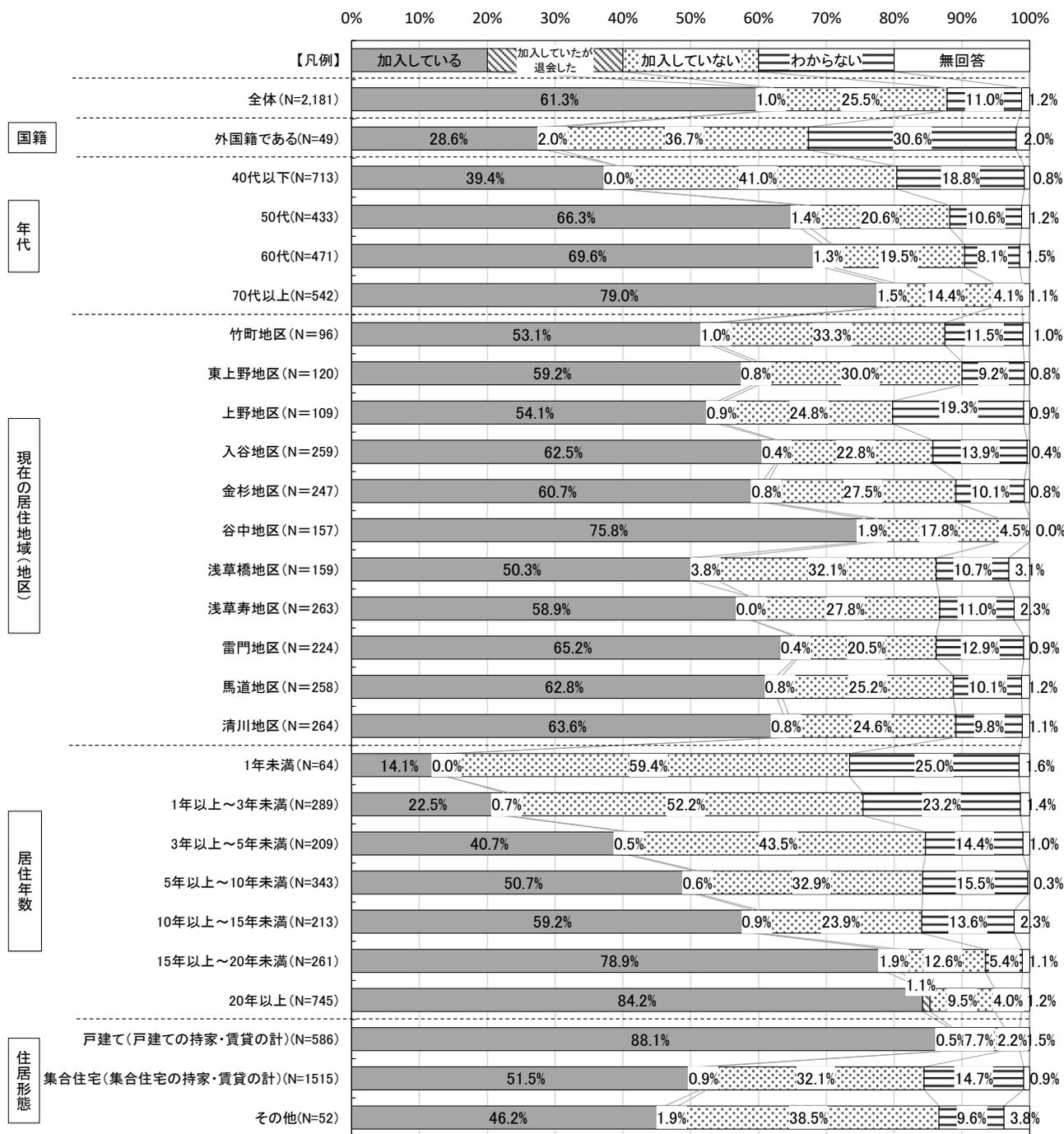
■国籍・年代・地区・居住年数・住居形態による傾向及び特徴（町会加入状況）

外国籍の人は、日本人と比較して「加入している」の割合が二分の一以下となっている。

年代別で見ると、年代が高くなるにつれて、「加入している」が多くなっており、70代以上ではほぼ8割となっている。

地区では、谷中地区が最も多く75.8%が加入している。浅草橋地区と竹町地区は「加入している」が半数程度である。

住居形態では、戸建て（持家・賃貸）は88.1%が「加入している」と回答している。一方、集合住宅（持家・賃貸）は「加入している」が51.5%に留まっている。なお、参考に記載したとおり、戸建て・集合住宅ともに「持家」の方が「賃貸」よりも「加入している」との回答が多い。



【参考】

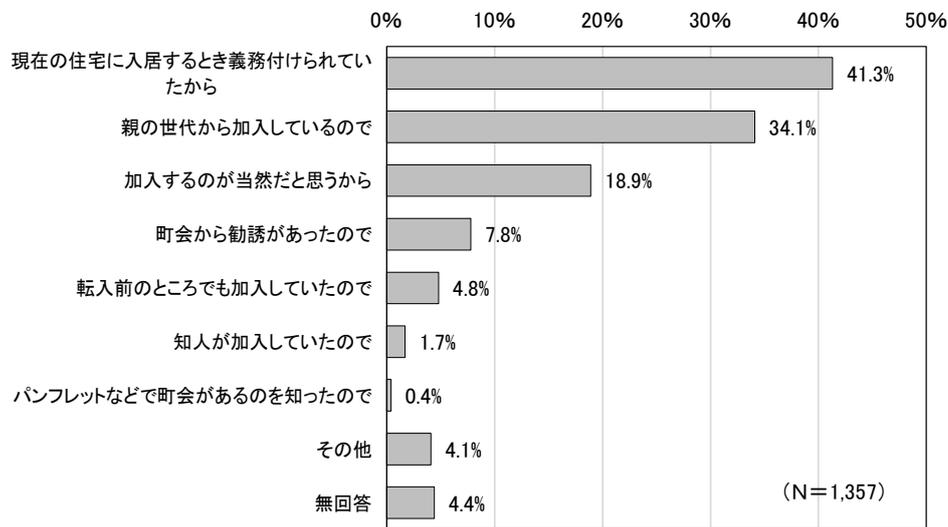
	加入している	加入していたが退会した	加入していない	わからない
戸建て(持家)	91.9%	0.6%	4.7%	1.1%
戸建て(賃貸)	53.4%	0.0%	34.5%	12.1%
集合住宅(持家)	73.7%	0.9%	14.3%	10.3%
集合住宅(賃貸)	19.7%	0.8%	57.5%	20.9%

※Q2-1で「①加入している」または「②加入していたが退会した」と回答した方に伺います。

Q2-2 町会に加入したきっかけは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

町会に加入したきっかけとして、「現在の住宅に入居するとき義務付けられていたから」が41.3%と最も多い。次いで、「親の世代から加入しているのが当然だ」とが34.1%となっている。

全体	上段:実数(件)									
	たとき義務付けられている	現在の住宅に入居している	親の世代から加入している	思うから加入するのが当然だ	町会から勧誘があった	転入前のところでも加入していた	知人が加入していた	会館があるのを知った	パンフレットなど	その他
1,357	561	463	257	106	65	23	6	56	60	
100.0	41.3	34.1	18.9	7.8	4.8	1.7	0.4	4.1	4.4	



【「その他」の主な回答】

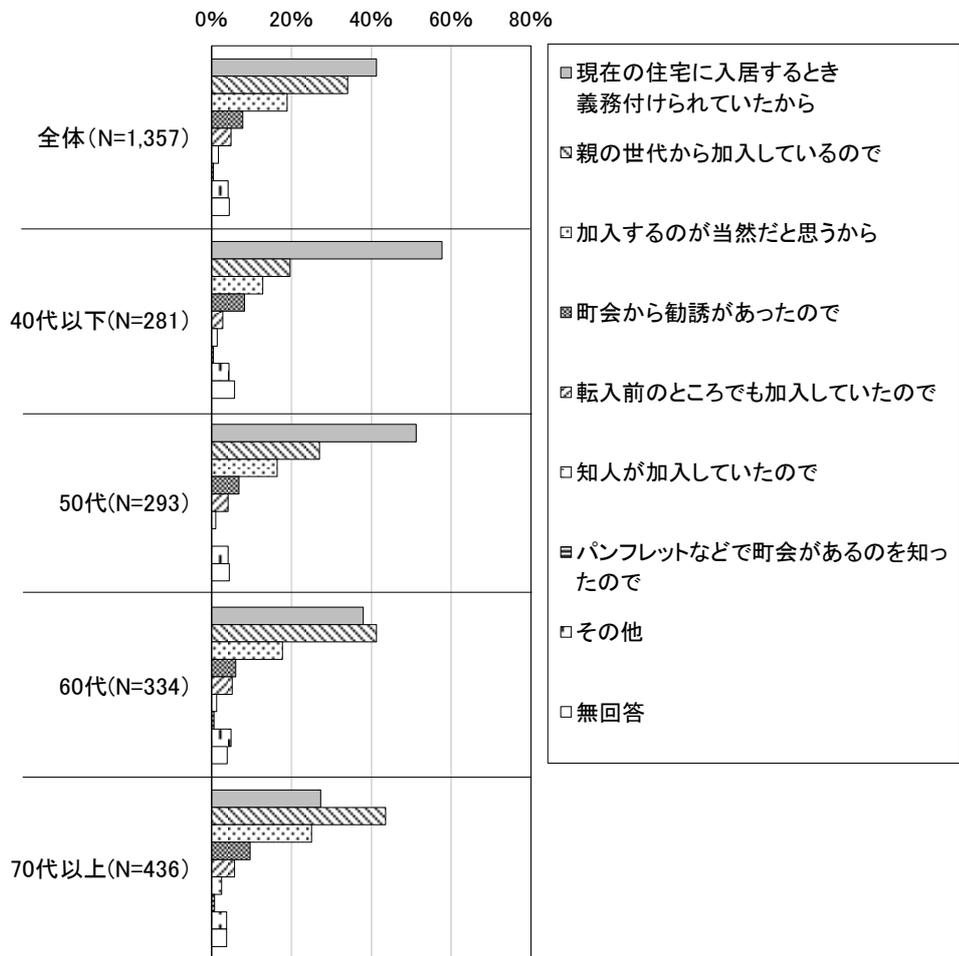
- ・ 地域との結びつきを得るため
- ・ まちに貢献したいため
- ・ マンションで加入しているため

■年代による傾向及び特徴（加入のきっかけ）

年代別で見ると、年代が低くなるほど「義務付けられていたから」の傾向が強く、年代が高くなるにつれて「親の世代から加入しているの」の割合が高くなっており、60代以上では「親の世代から加入しているの」の回答割合が「義務付けられていたから」を上回っている。

なお、グラフにはないが「町会から勧誘があったので」と回答した20代は18.8%、30代は12.9%であり、他の年代と比較して高くなっている。このことから、加入促進のための町会からの勧誘の必要性が伺える。

【年代別】

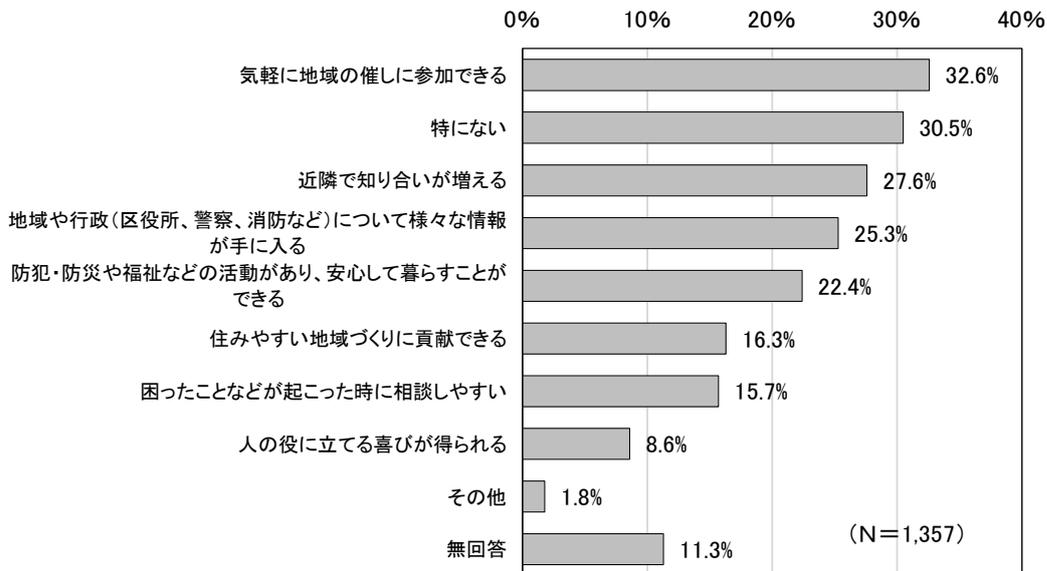


※Q2-1で「①加入している」または「②加入していたが退会した」と回答した方に伺います。

Q2-3 町会に加入していて良かったことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「気軽に地域の催しに参加できる(32.6%)」が最も多く、次いで「特にない」が30.5%、「近隣に知り合いができる」が27.6%と続いている。

全体	気軽に地域の催しに参加できる	特にない	近隣で知り合いが増える	地域や行政(区役所、警察、消防など)について様々な情報が手に入る	防犯・防災や福祉などの活動があり、安心して暮らすことができる	住みやすい地域づくりに貢献できる	困ったことなどが起こった時に相談しやすい	人の役に立てる喜びが得られる	その他	無回答	上段:実数(件)	下段:割合(%)									
											1,357	442	414	374	343	304	221	213	117	24	154



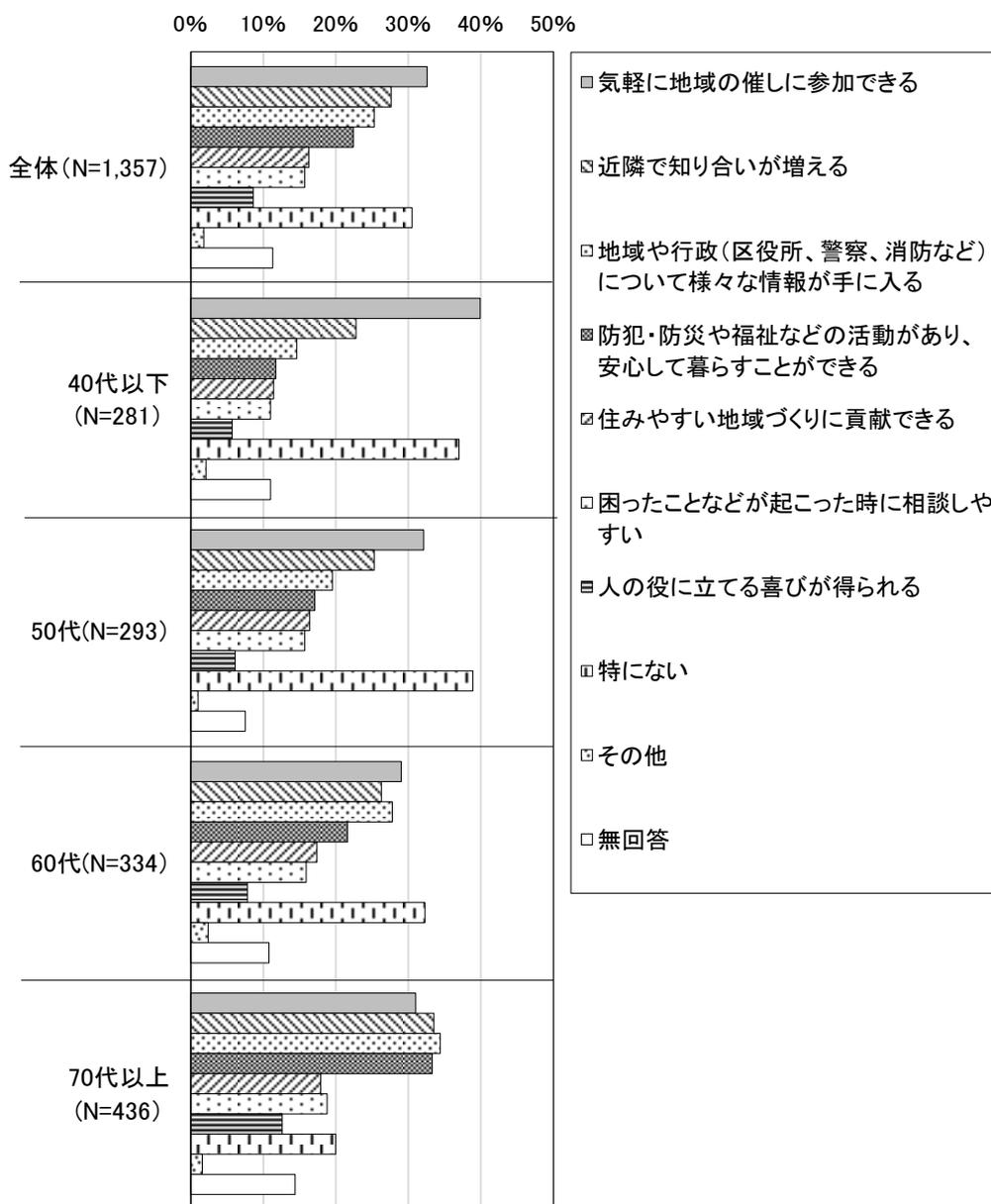
【「その他」の主な回答】

- ・ イベント等が楽しい
- ・ 子育てのコミュニティのきっかけとなった

■年代による傾向及び特徴（町会に加入していて良かったこと）

年代別では、「特にない」を除き、40代以下では「気軽に地域の催しに参加できる」が突出して最も多いが、60代70代になると「気軽に地域の催しに参加できる」のほか、「近隣で知り合いが増える」、「地域や行政について様々な情報が手に入る」、「防犯・防災や福祉などの活動があり、安心して暮らすことができる」、「住みやすい地域づくりに貢献できる」の回答も多くなっている。

【年代別】

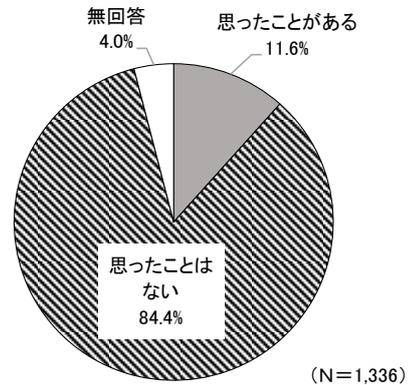


※Q2-1で「①加入している」と回答した方に伺います。

Q2-4(1) これまで町会を退会しようと思ったことはありますか（1つだけ）。

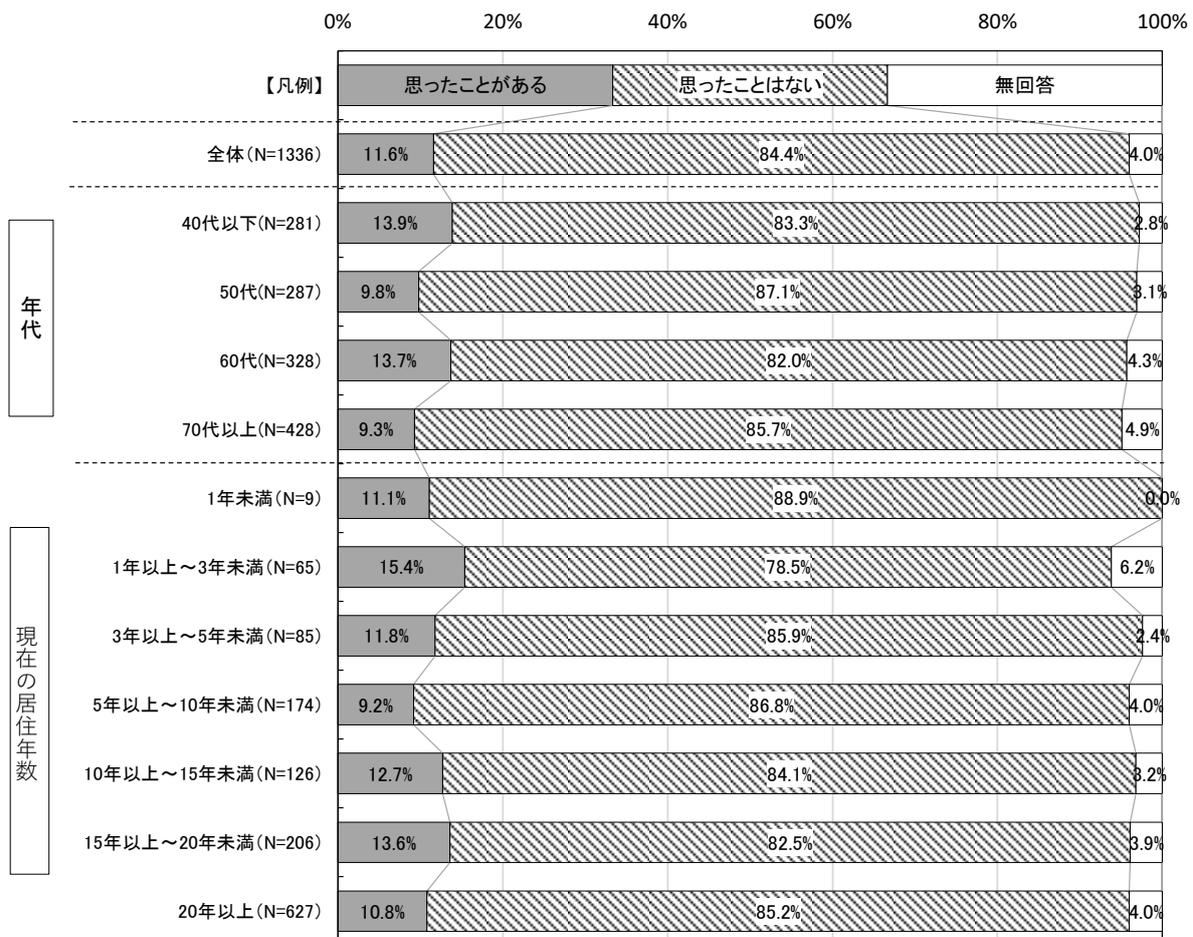
町会の退会について「思ったことはない」が84.4%となっている。

全体	上段:実数(件)		無回答
	あったことが	なかったことは	
	下段:割合(%)		
1,336	155	1,128	53
100.0	11.6	84.4	4.0



■年代・居住年数による傾向及び特徴（退会の検討有無）

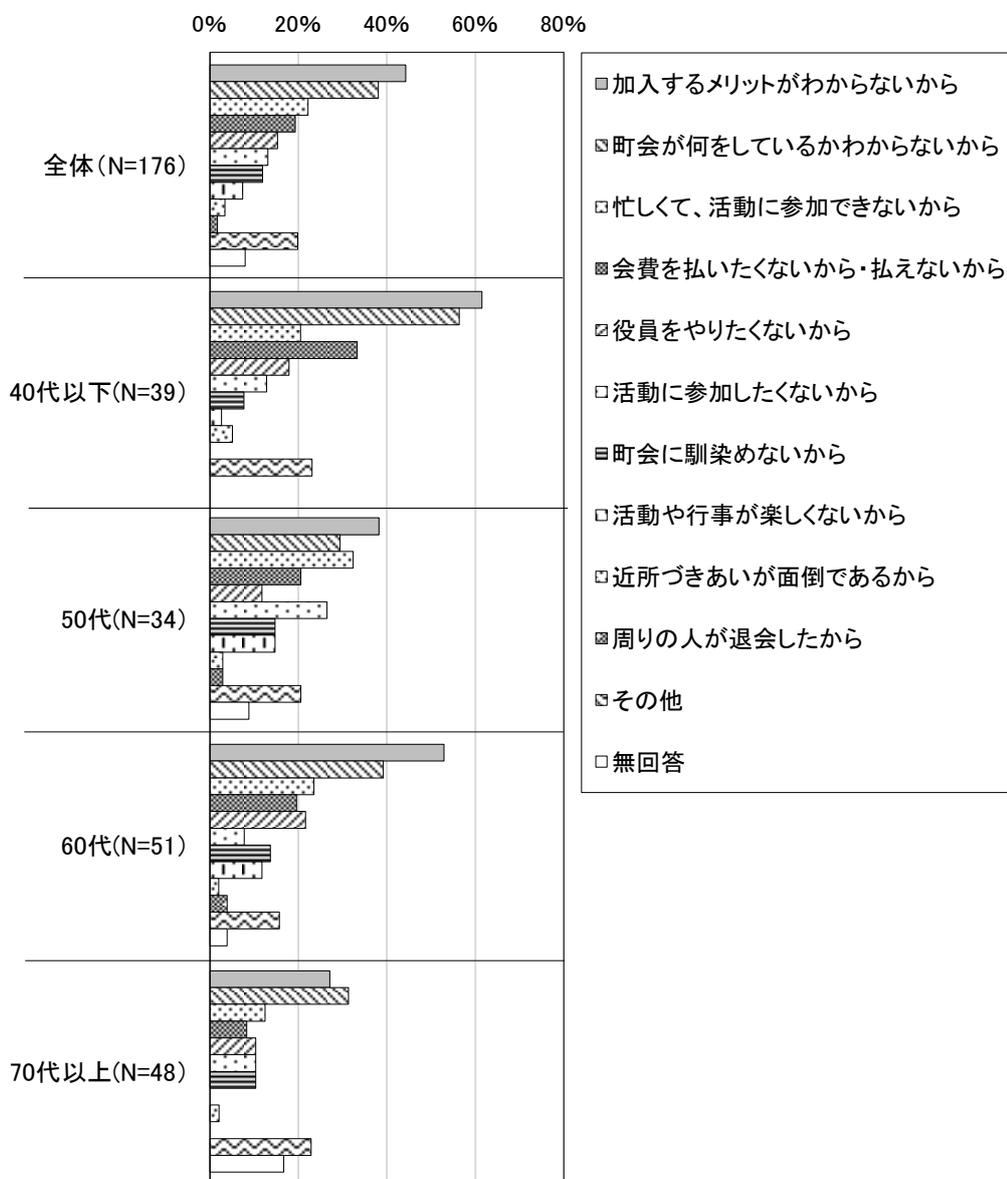
年代別では、退会しようとして「思ったことがある」が40代以下と60代で全体の傾向より上回っている。居住年数では、「1年以上～3年未満」の人が「思ったことがある（15.4%）」と他の年数と比べて高い。



■年代による傾向及び特徴（退会の理由）

40代以下では、「加入するメリットがわからないから」と「町会が何をしているかわからないから」が50%を超え、他の年代と比べても多い。特に若い世代においては、町会のメリットや町会活動の情報発信が重要であると言える。

【年代別】

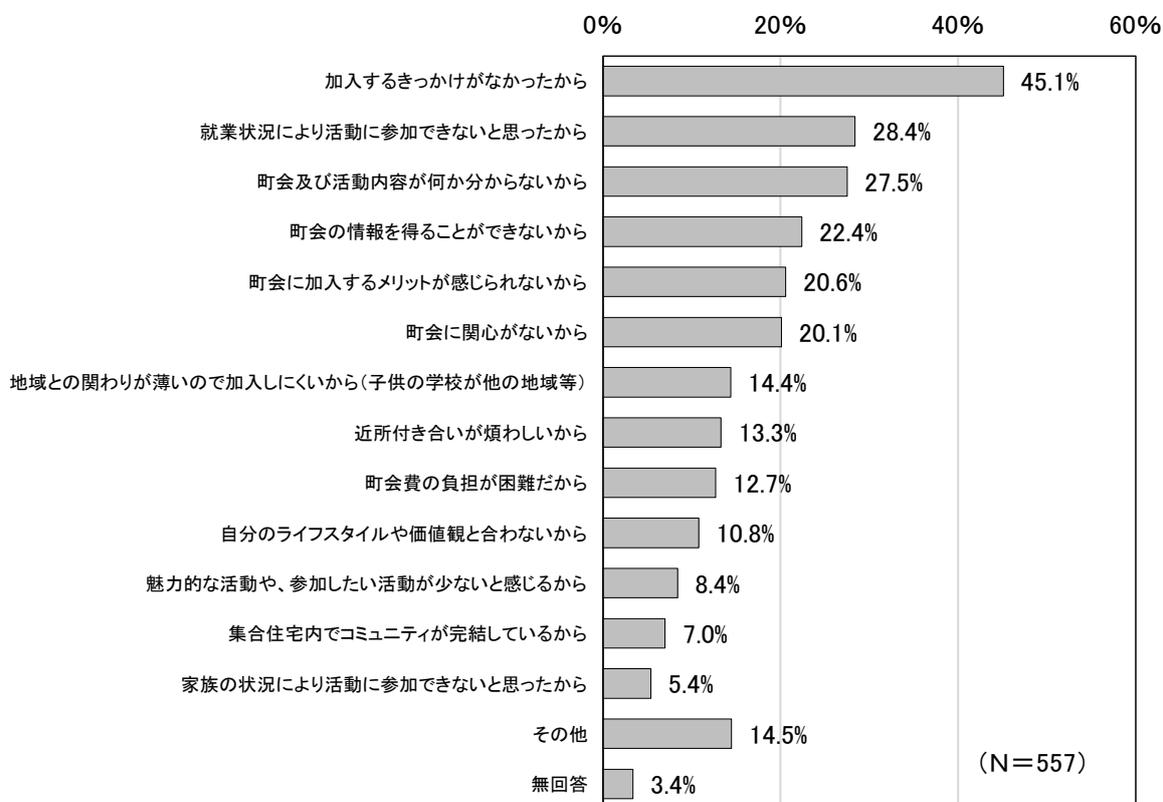


※Q2-1で「③加入していない」と回答した方に伺います。

Q2-5 町会に加入していない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

町会に加入しない理由として、「加入するきっかけがなかったから」が45.1%と最も多い。

全体	加入するきっかけがなかったから	就業状況により活動に参加できないと思ったから	町会及び活動内容が何か分からないから	町会の情報を得ることができないから	町会に加入するメリットが感じられないから	町会に関心がないから	地域との関わりが薄いので加入しにくいから(子供の学校が他の地域等)	近所付き合いが煩わしいから	町会費の負担が困難だから	自分のライフスタイルや価値観と合わないから	魅力的な活動や、参加したい活動が少ないと感じるから	集合住宅内でコミュニティが完結しているから	家族の状況により活動に参加できないと思ったから	上段:実数(件) 下段:割合(%)	
														その他	無回答
557	251	158	153	125	115	112	80	74	71	60	47	39	30	81	19
100.0	45.1	28.4	27.5	22.4	20.6	20.1	14.4	13.3	12.7	10.8	8.4	7.0	5.4	14.5	3.4



【「その他」の主な回答】

- ・ 加入の仕方が分からない
- ・ 町会があることを知らない
- ・ 加入誘致がないから
- ・ 健康上の問題により活動参加が難しいため

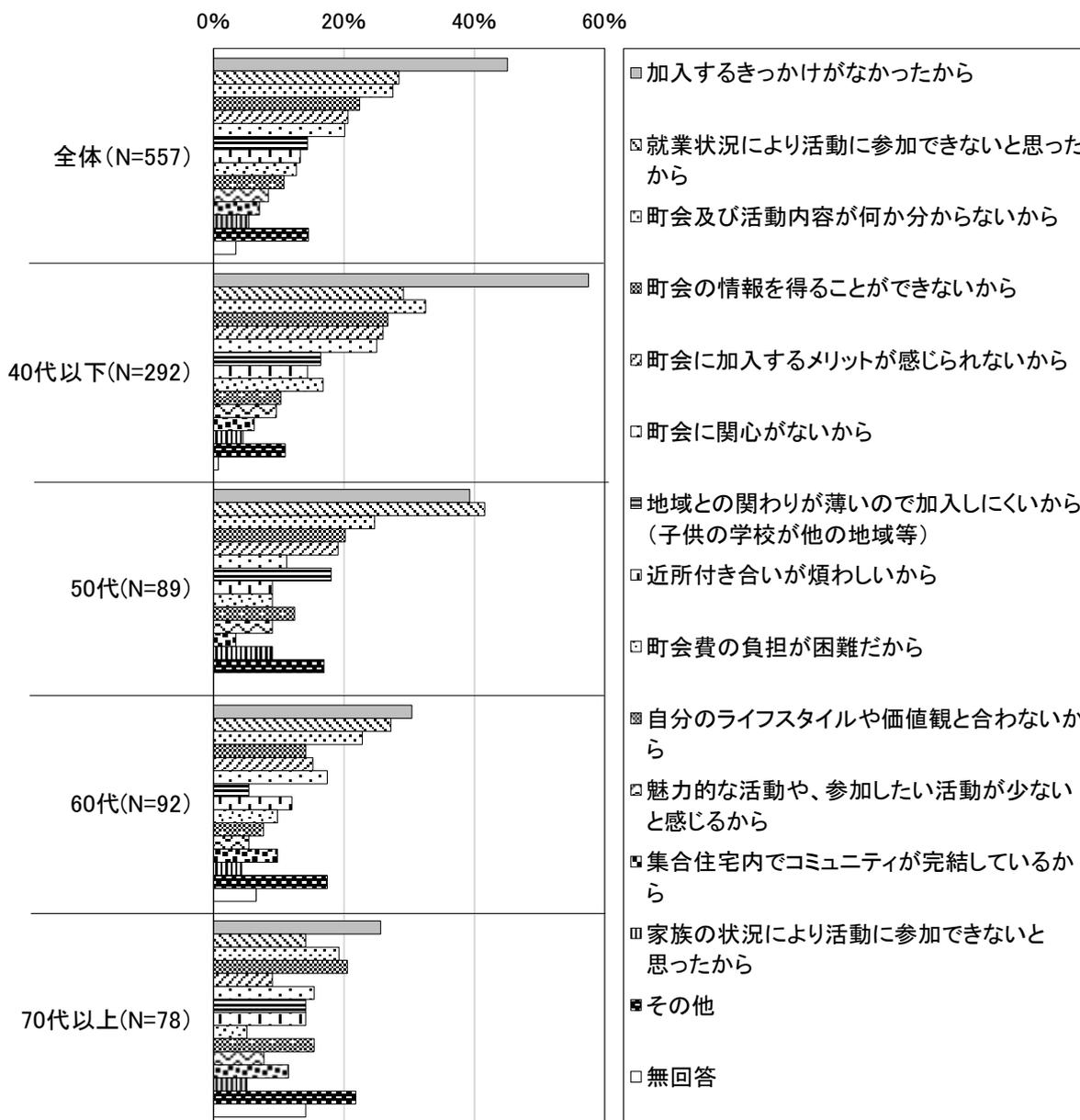
■年代・住居形態による傾向及び特徴（町会に加入していない理由）

年代別にみると、「加入するきっかけがなかったから」の回答は、年代が若いほど多く、40代以下で57.5%となっている。一方、50代では「就業状況により活動に参加できないと思ったから」が41.6%と、「加入するきっかけがなかったから」を上回っている。

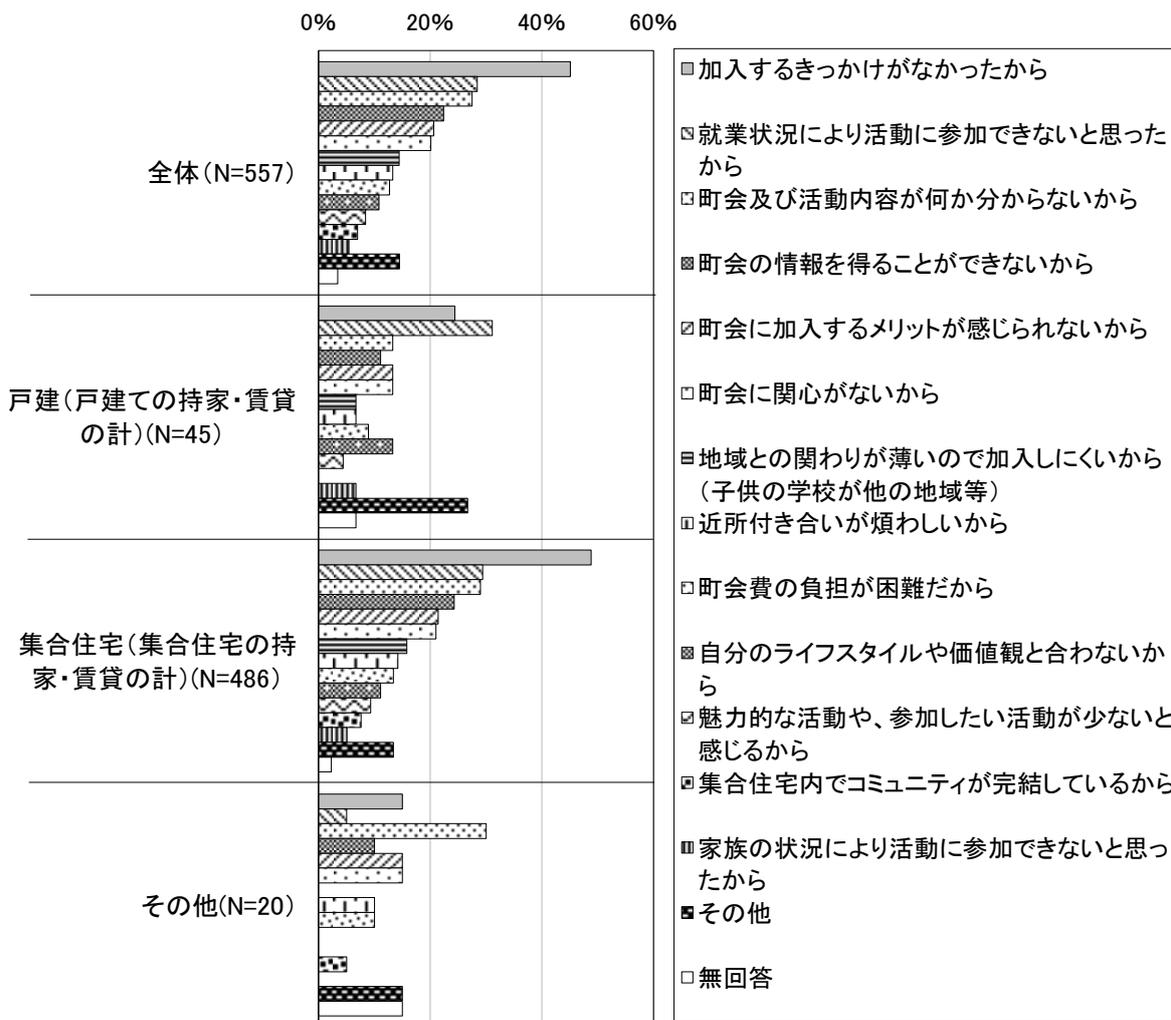
若い世代に対しては、町会活動を発信しながらきっかけをつくっていくことが町会への加入促進に求められると考えられる。

住居形態別でみると、集合住宅の回答者は、「加入するきっかけがなかったから」が最も多い理由となっている。集合住宅の加入促進においては加入のきっかけづくりが重要であると考えられる。

【年代別】



【住居形態別】

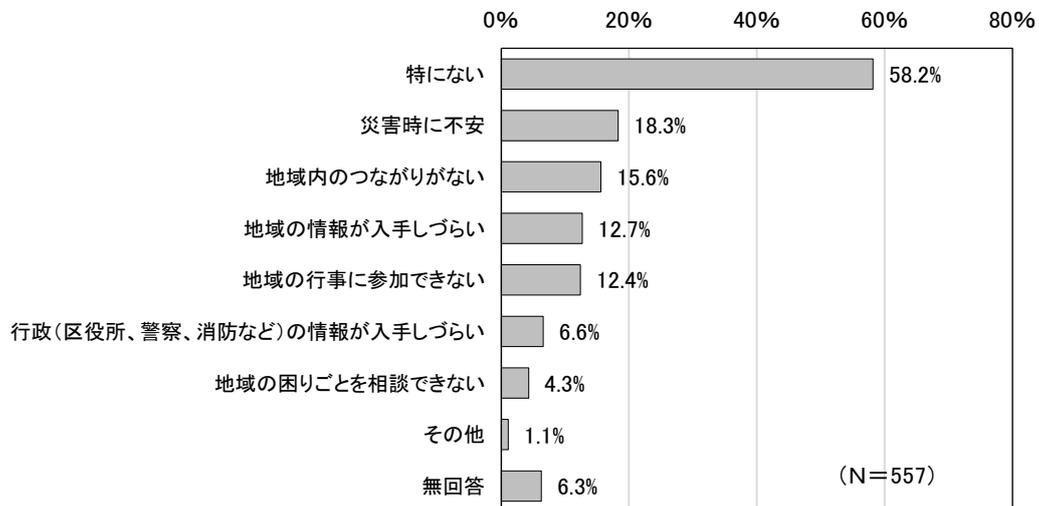


※Q2-1で「③加入していない」と回答した方に伺います。

Q2-6 町会に加入していませんが困ることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

町会に加入していませんが困ることは、「特にない」が58.2%と最も多い。

全体	特にない	災害時に不安	地域内のつながりがない	地域の情報が入手しづらい	地域の行事に参加できない	行政(区役所、警察、消防など)の情報が入手しづらい	地域の困りごとを相談できない	その他	無回答
557	324	102	87	71	69	37	24	6	35
100.0	58.2	18.3	15.6	12.7	12.4	6.6	4.3	1.1	6.3



【「その他」の主な回答】

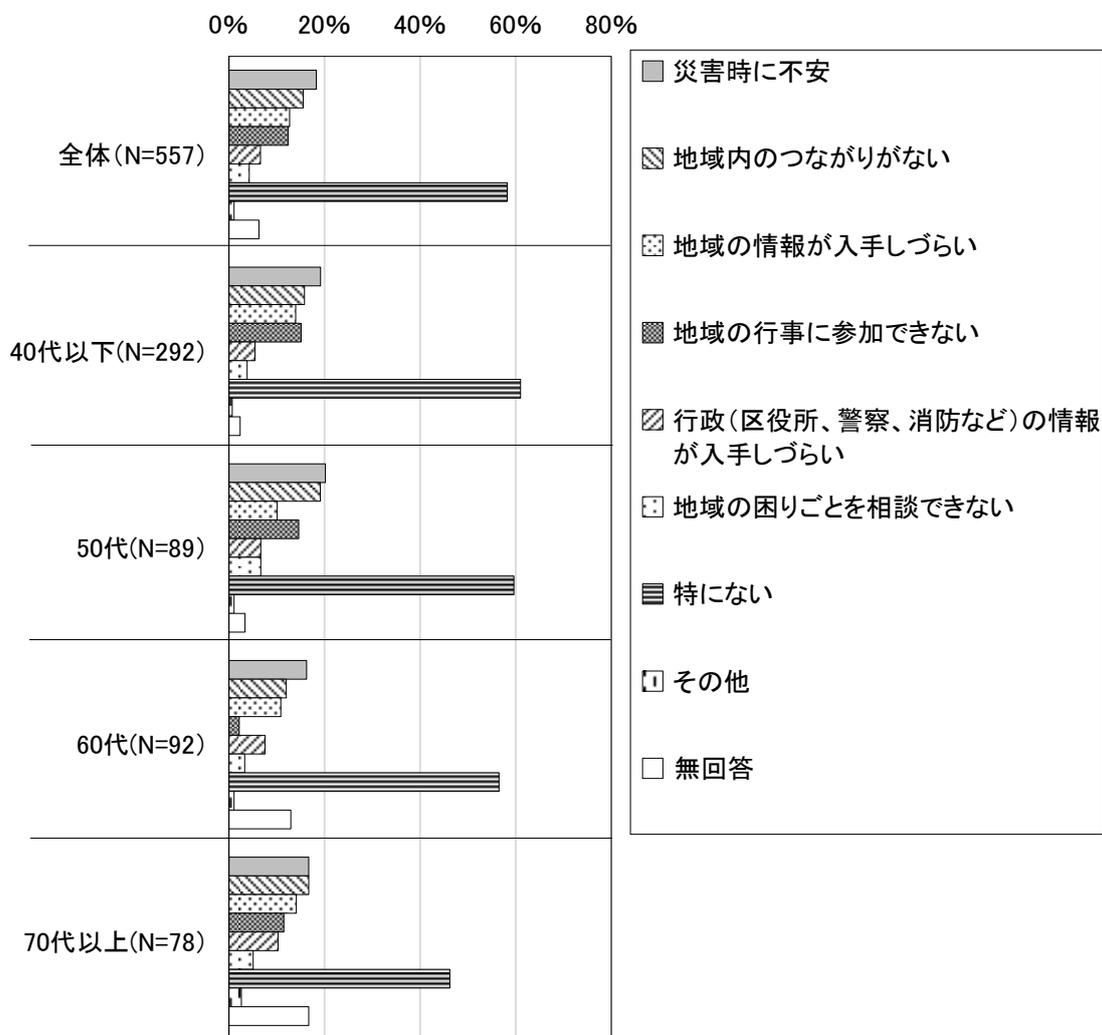
- ・今はあまり困っていないが、高齢になった時に不安

■年代別による傾向及び特徴（町会に加入していなくて困ること）

年代別で見ると、「特にない」を除くと、全ての年代で「災害時に不安」が最も多い。

また、グラフにはないが20代では「地域の行事に参加できない（19.3%）」、80代以上では、「地域内のつながりがない（30.4%）」と続いており、年代ごとに特徴が表れている。

【年代別】

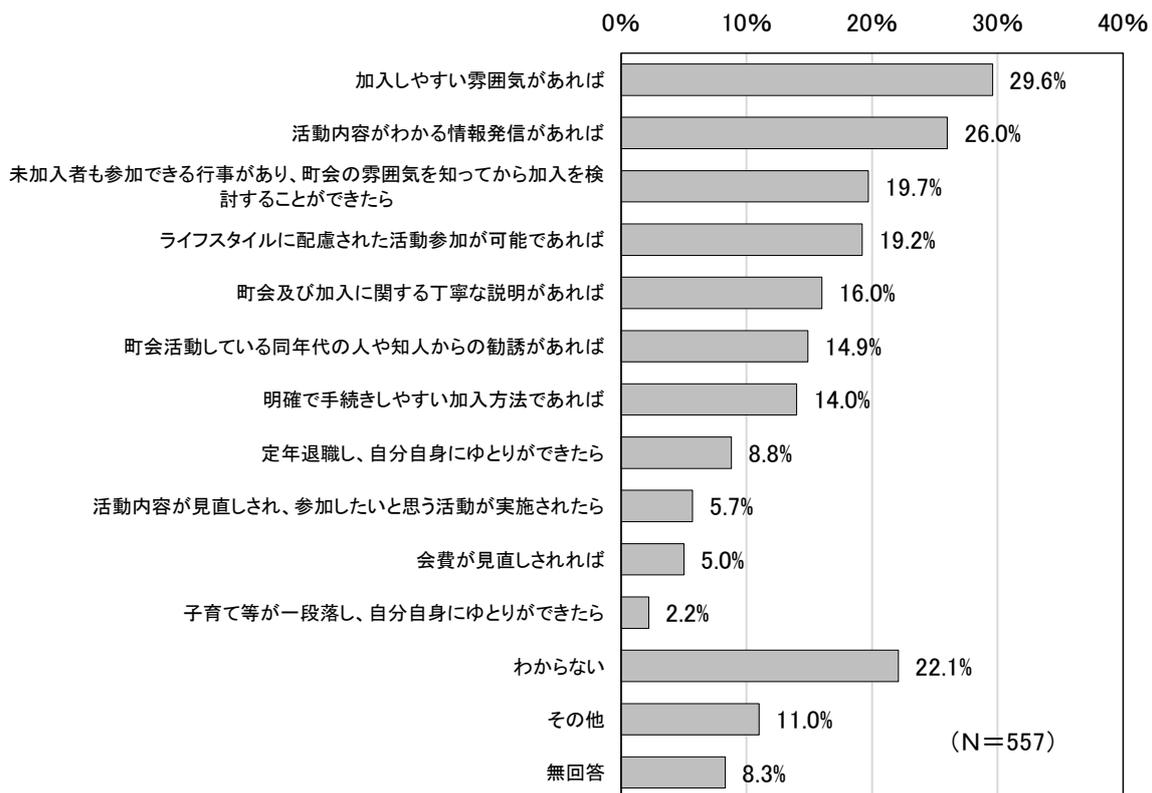


※Q2-1で「③加入していない」と回答した方に伺います。

Q2-7 どのような状況・条件があれば町会への加入を検討しても良いと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

町会に加入する状況や条件は、「加入しやすい雰囲気があれば」が29.6%、「活動内容がわかる情報発信があれば」が26.0%となっている。

全体	加入しやすい雰囲気があれば	活動内容がわかる情報発信があれば	未加入者も参加できる行事があり、町会の雰囲気を知ってから加入を検討することができた	ライフスタイルに配慮された活動参加が可能であれば	町会及び加入に関する丁寧な説明があれば	町会活動している同年代の人や知人からの勧誘があれば	明確で手続きしやすい加入方法であれば	定年退職し、自分自身にゆとりができた	活動内容が見直しされ、参加したいと思う活動が実施された	会費が見直しされれば	子育て等が一段落し、自分自身にゆとりができた	わからない	上段:実数(件)	
													その他	無回答
557	165	145	110	107	89	83	78	49	32	28	12	123	61	46
100.0	29.6	26.0	19.7	19.2	16.0	14.9	14.0	8.8	5.7	5.0	2.2	22.1	11.0	8.3



【「その他」の主な回答】

- ・ 長期的に住むことが決まったり、結婚や子供が生まれるなどのきっかけがあれば
- ・ 参加したい時だけ参加できるような、強制のない自由なスタイルなら

■年代・住居形態による傾向及び特徴（町会に加入する状況や条件）

年代別にみると、40代以下では「加入しやすい雰囲気があれば（37.7%）」が最も多く、年代が若いほど高くなる傾向にある。

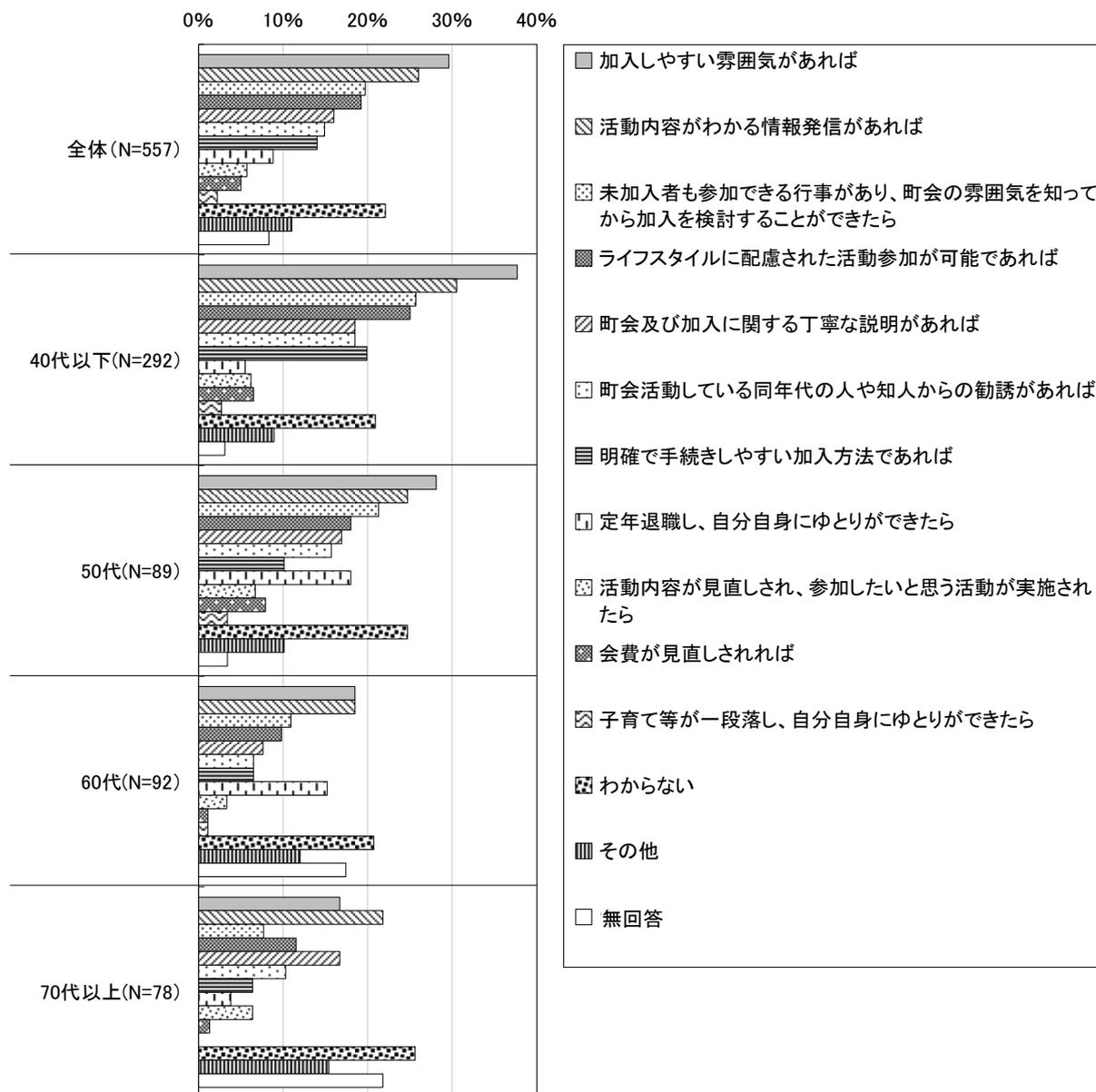
また、40代以下では、そのほか、「活動内容がわかる情報発信があれば」「ライフスタイルに配慮された活動参加が可能であれば」が他の年代と比べ高くなっている。

そのため、若い世代の町会への加入を促すためには、加入しやすい雰囲気づくりと、それらを含めた町会活動の内容を若い世代に届くように発信することが求められる。加えて、若い世代のライフスタイルに合わせた町会活動への参加の形態など、町会活動の運営方法の工夫も求められる。

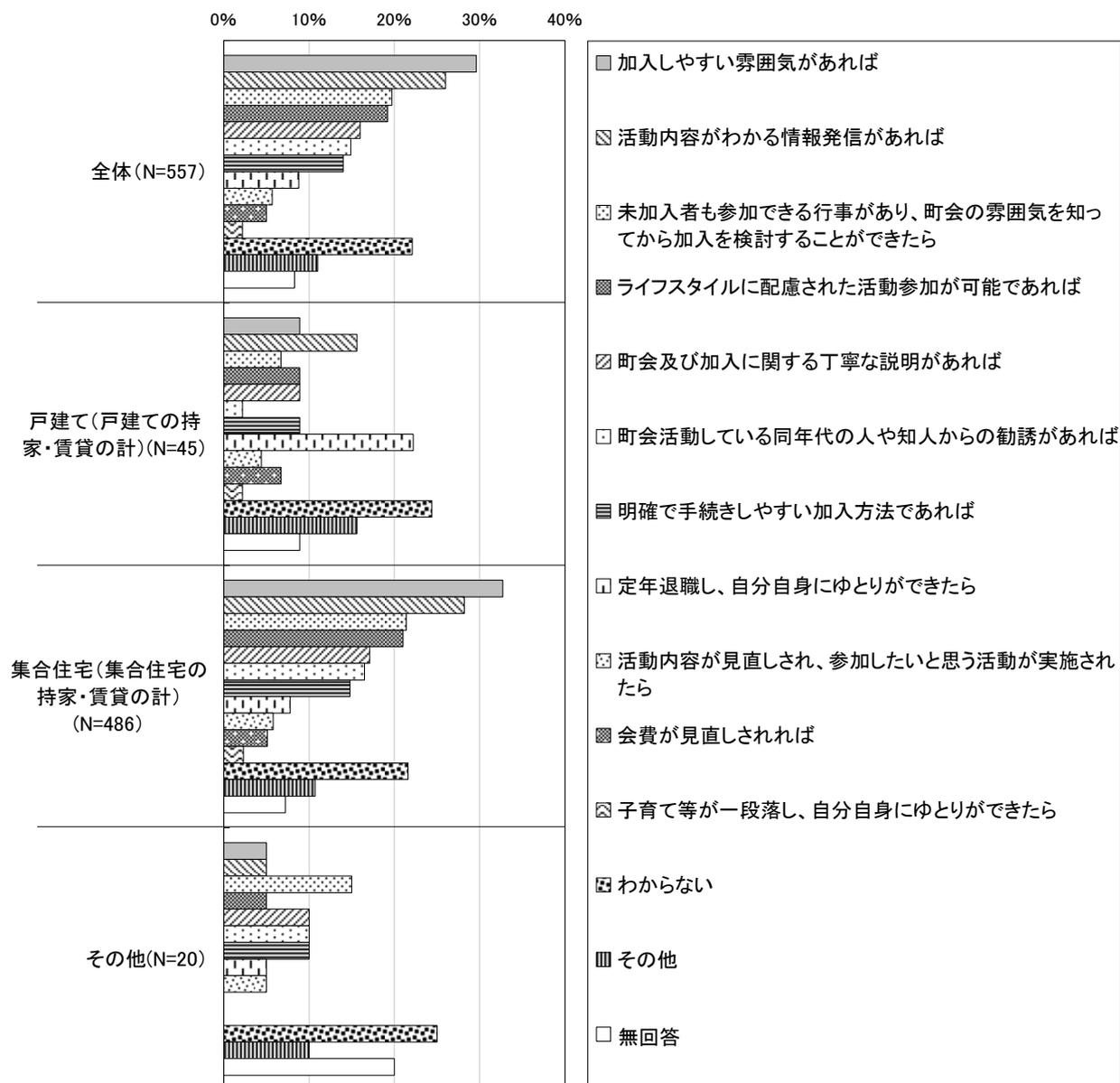
住居形態別では、戸建て（持家・賃貸）は、回答者数は少ないものの、「定年退職し、自分自身にゆとりができたなら」が多く、加入しやすい雰囲気や活動内容がわかる情報発信などの条件ではなく、自身の状況による意向となっている。

一方、集合住宅（持家・賃貸）は、全体の傾向と同様で、「加入しやすい雰囲気があれば」や「活動内容がわかる情報発信があれば」が上位となっている。

【年代別】



【住居形態別】



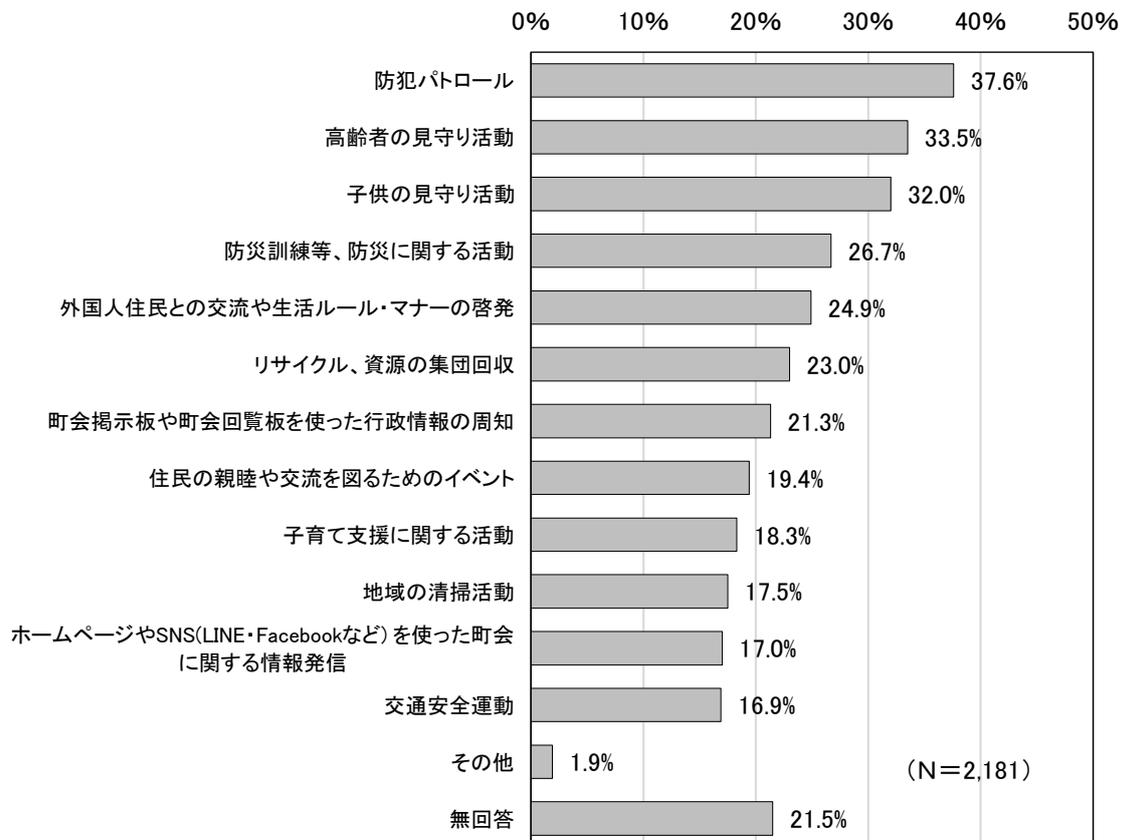
3 町会の活動について

Q3-1(1) 主な町会活動の事例の中であなたが特に力を入れてほしいと思う活動に○を付けてください。(いくつでも)

町会活動で特に力を入れてほしい活動は、「防犯パトロール」が37.6%と最も多い。次いで、「高齢者の見守り活動」、「子供の見守り活動」となっている。

また、「防犯パトロール」「防災訓練等、防災に関する活動」も上位にあげられていることから、「防犯・防災」にもニーズがあると言える。

	上段:実数(件) 下段:割合(%)													
全体	防犯パトロール	高齢者の見守り活動	子供の見守り活動	防災訓練等、防災に関する活動	外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発	リサイクル、資源の集団回収	町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知	住民の親睦や交流を図るためのイベント	子育て支援に関する活動	地域の清掃活動	ホームページやSNS(LINE・Facebookなど)を使った町会に関する情報発信	交通安全運動	その他	無回答
2,181	819	730	697	582	543	501	464	423	400	382	371	368	42	470
100.0	37.6	33.5	32.0	26.7	24.9	23.0	21.3	19.4	18.3	17.5	17.0	16.9	1.9	21.5



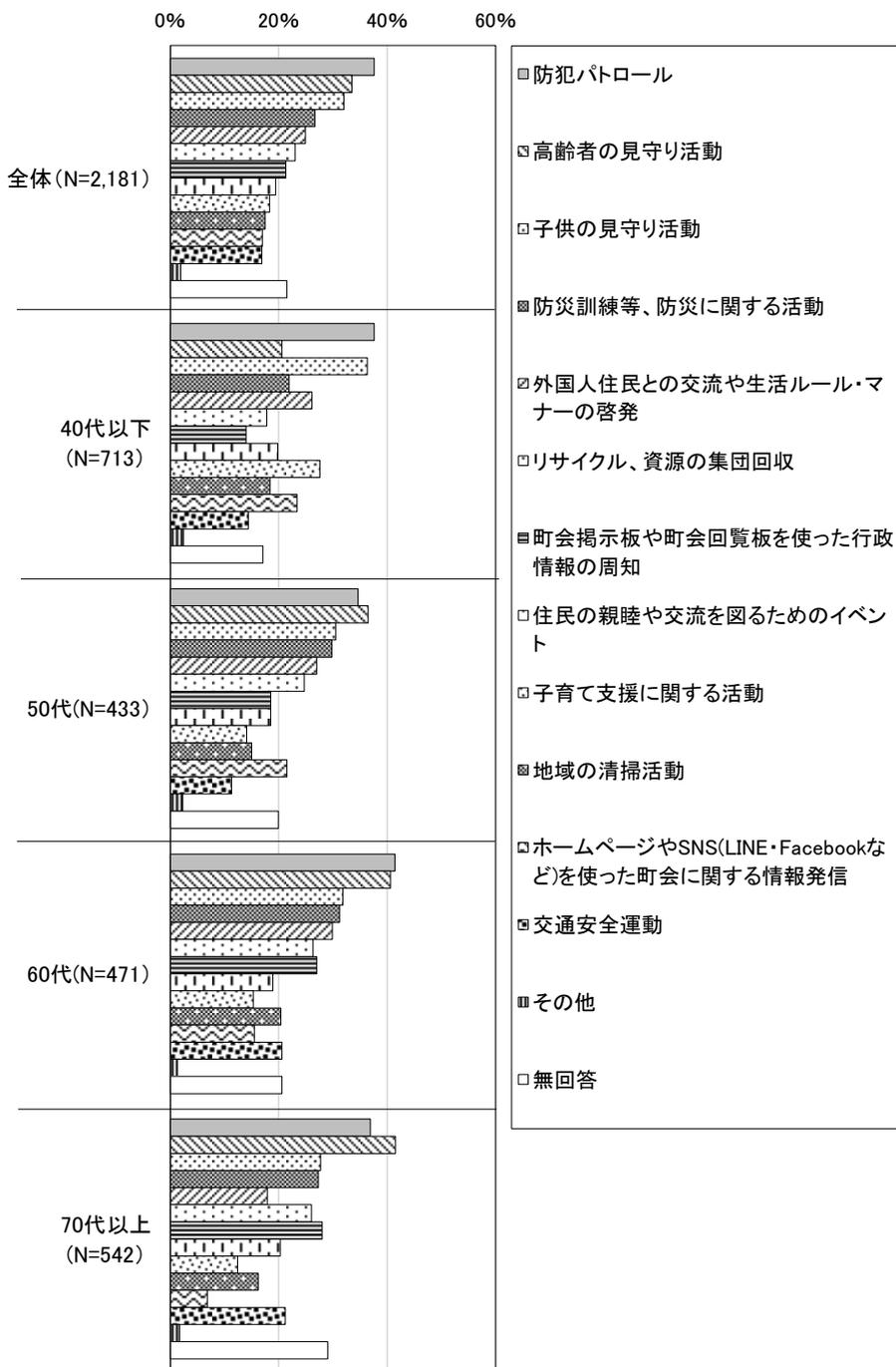
■年代による傾向及び特徴（町会活動で特に力を入れてほしい活動）

年代別では、いずれの年代も「防犯パトロール」が多いものの、その他の活動については傾向が異なっている。

40代以下では「高齢者の見守り活動」よりも「子供の見守り活動」が高くなっている。一方、50代以上になると「高齢者の見守り活動」が多くなり約40%の回答割合となっている。

「ホームページやSNS(LINE・Facebookなど)を使った町会に関する情報発信」をみると、40代以下と50代では20%以上の一定のニーズがあることがわかる。

【年代別】

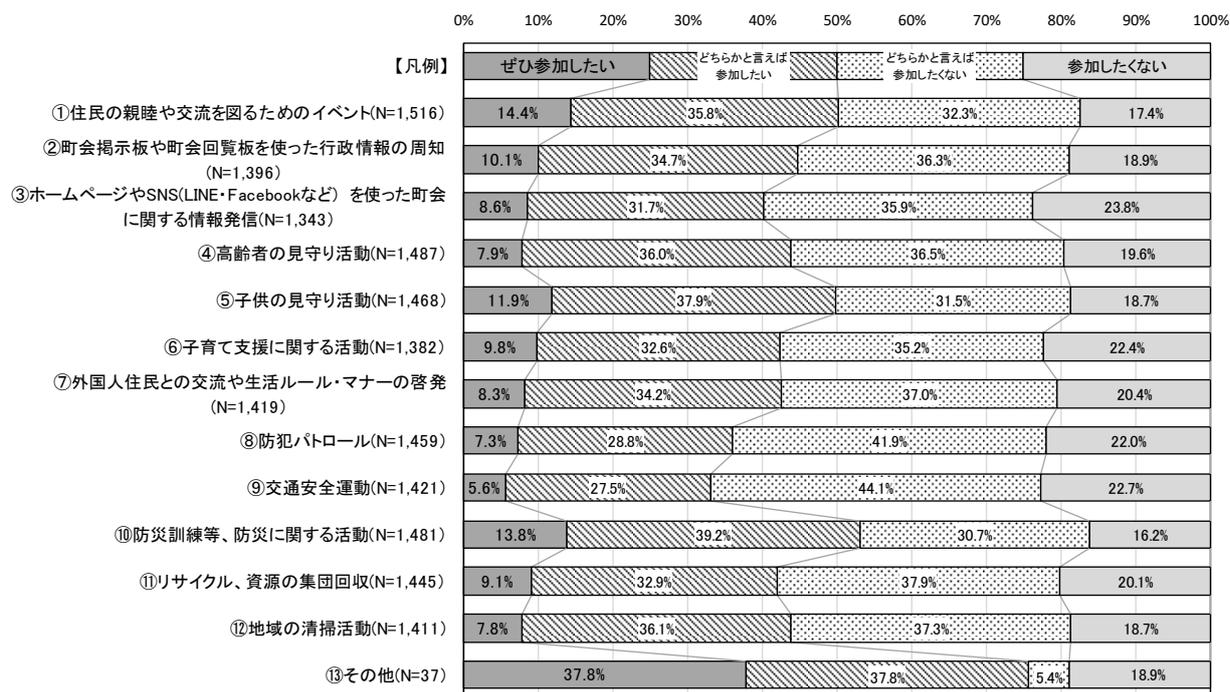


Q3-1(2) 町会加入・未加入に関わらず、主な町会活動の事例の中であなた自身もそれぞれの活動に参加してみたいと思うか、全ての項目について、あてはまる部分に○を付けてください。

「ぜひ参加したい」「どちらかと言えば参加したい」を合わせた『参加意向がある活動』としては、「防災訓練等、防災に関する活動」「子供の見守り活動」の割合が多い。

「どちらかと言えば参加したくない」「参加したくない」を合わせた『参加意向のない活動』としては、「防犯パトロール」「交通安全運動」の割合が高く、Q3-1(1)で把握した高いニーズがある一方で、参加意向の低い活動であることが伺える。

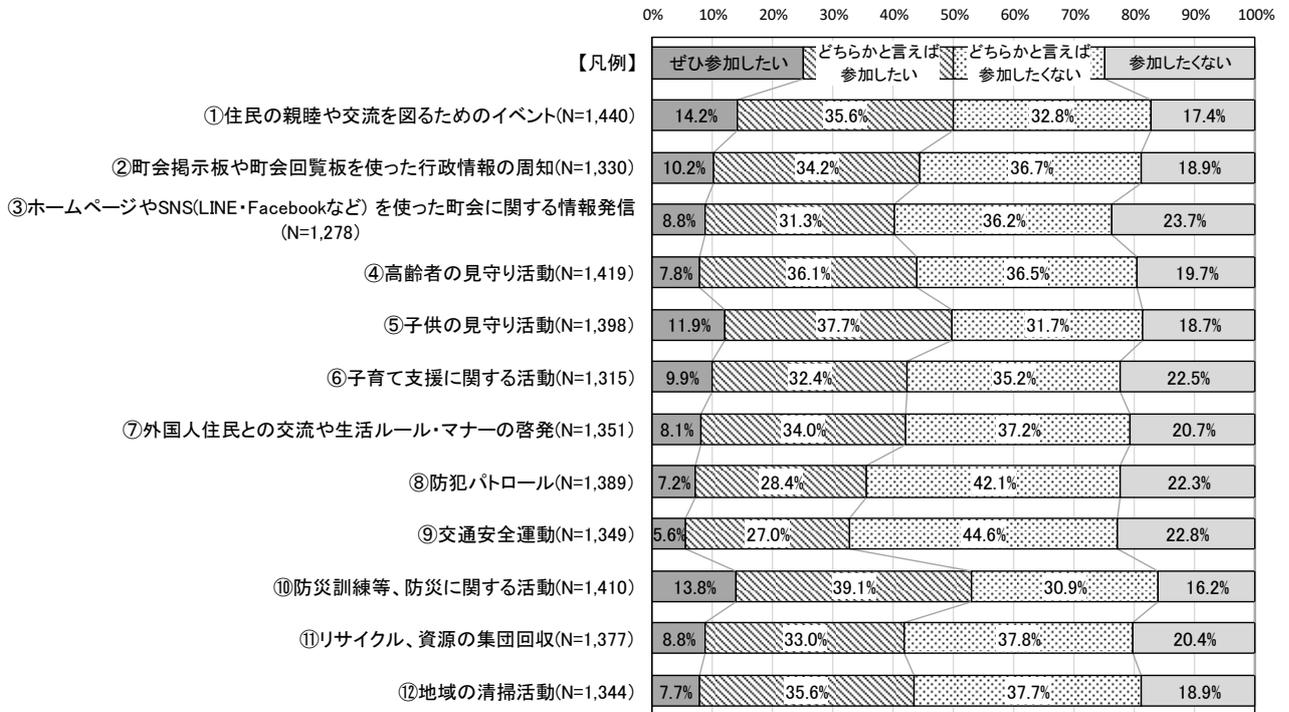
	上段:実数(件) 下段:割合(%)				
	全体	ぜひ参加したい	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言えば参加したくない	参加したくない
①住民の親睦や交流を図るためのイベント	1,516 100.0	219 14.4	543 35.8	490 32.3	264 17.4
②町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知	1,396 100.0	141 10.1	484 34.7	507 36.3	264 18.9
③ホームページやSNS(LINE・Facebookなど)を使った町会に関する情報発信	1,343 100.0	115 8.6	426 31.7	482 35.9	320 23.8
④高齢者の見守り活動	1,487 100.0	117 7.9	536 36.0	543 36.5	291 19.6
⑤子供の見守り活動	1,468 100.0	175 11.9	556 37.9	463 31.5	274 18.7
⑥子育て支援に関する活動	1,382 100.0	136 9.8	451 32.6	486 35.2	309 22.4
⑦外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発	1,419 100.0	118 8.3	486 34.2	525 37.0	290 20.4
⑧防犯パトロール	1,459 100.0	106 7.3	420 28.8	612 41.9	321 22.0
⑨交通安全運動	1,421 100.0	80 5.6	391 27.5	627 44.1	323 22.7
⑩防災訓練等、防災に関する活動	1,481 100.0	205 13.8	581 39.2	455 30.7	240 16.2
⑪リサイクル、資源の集団回収	1,445 100.0	131 9.1	475 32.9	548 37.9	291 20.1
⑫地域の清掃活動	1,411 100.0	110 7.8	510 36.1	527 37.3	264 18.7
⑬その他	37 100.0	14 37.8	14 37.8	2 5.4	7 18.9



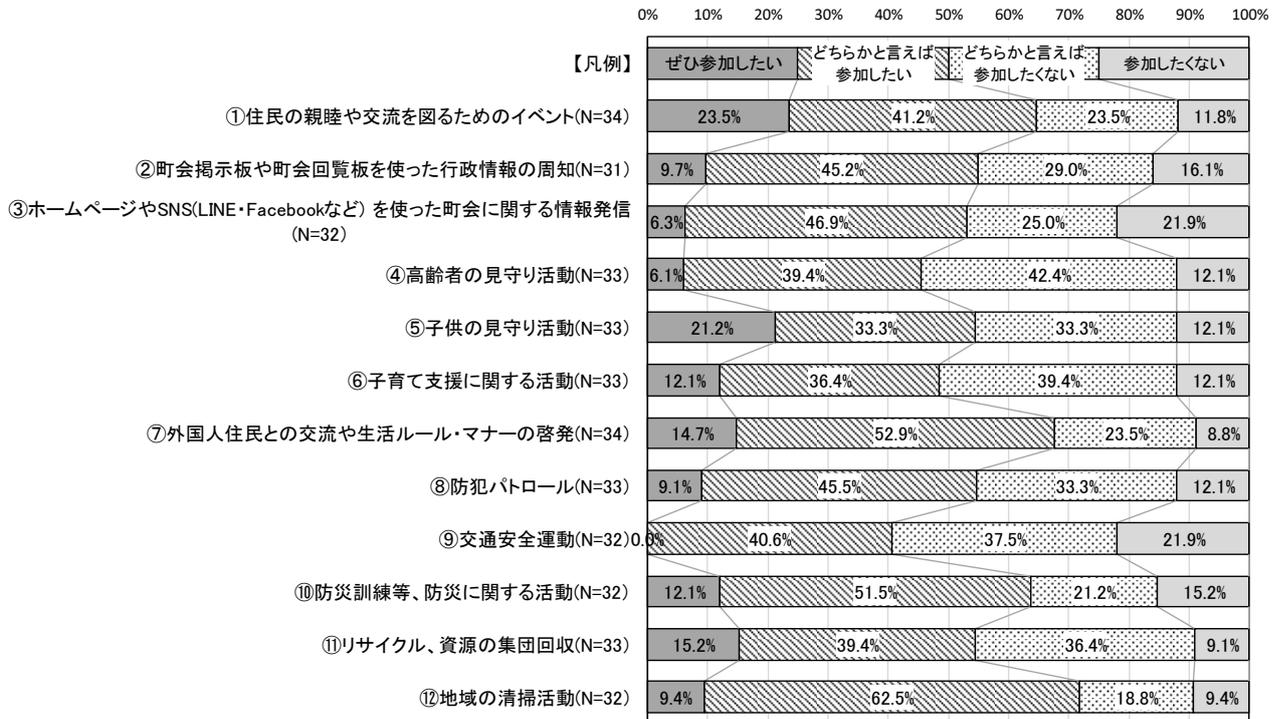
■国籍による傾向及び特徴（参加してみたい町会活動）

国籍別でみると、日本国籍では「防災訓練等、防災に関する活動」「住民の親睦や交流を図るためのイベント」「子供の見守り活動」に参加したい意向がみられる。一方、外国籍では、「住民の親睦や交流を図るためのイベント」「外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発」「地域の清掃活動」が高くなっている。

【国籍別：外国籍ではない】



【国籍別：外国籍である】



【参考】「外国籍ではない」と「外国籍である」の参加したい活動の上位

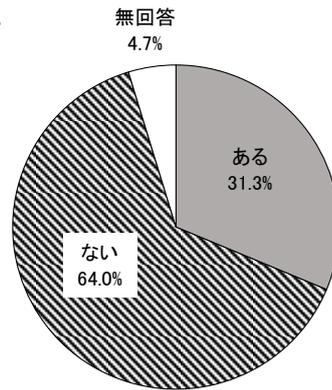
	外国籍ではない	外国籍である
第1位	防災訓練等、防災に関する活動	住民の親睦や交流を図るためのイベント
第2位	住民の親睦や交流を図るためのイベント	外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発
第3位	子供の見守り活動	地域の清掃活動
第4位	高齢者の見守り活動	子供の見守り活動 防災訓練等、防災に関する活動
第5位	町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知	※同率

※「ぜひ参加したい」を2点、「どちらかと言えば参加したい」を1点として点数化

Q3-2 町会活動に参加したことはありますか。

町会活動の参加経験として「ない」が64.0%となっている。

全体	上段: 実数(件)		
	ある	ない	無回答
2,181	683	1,396	102
100.0	31.3	64.0	4.7



(N=2,181)

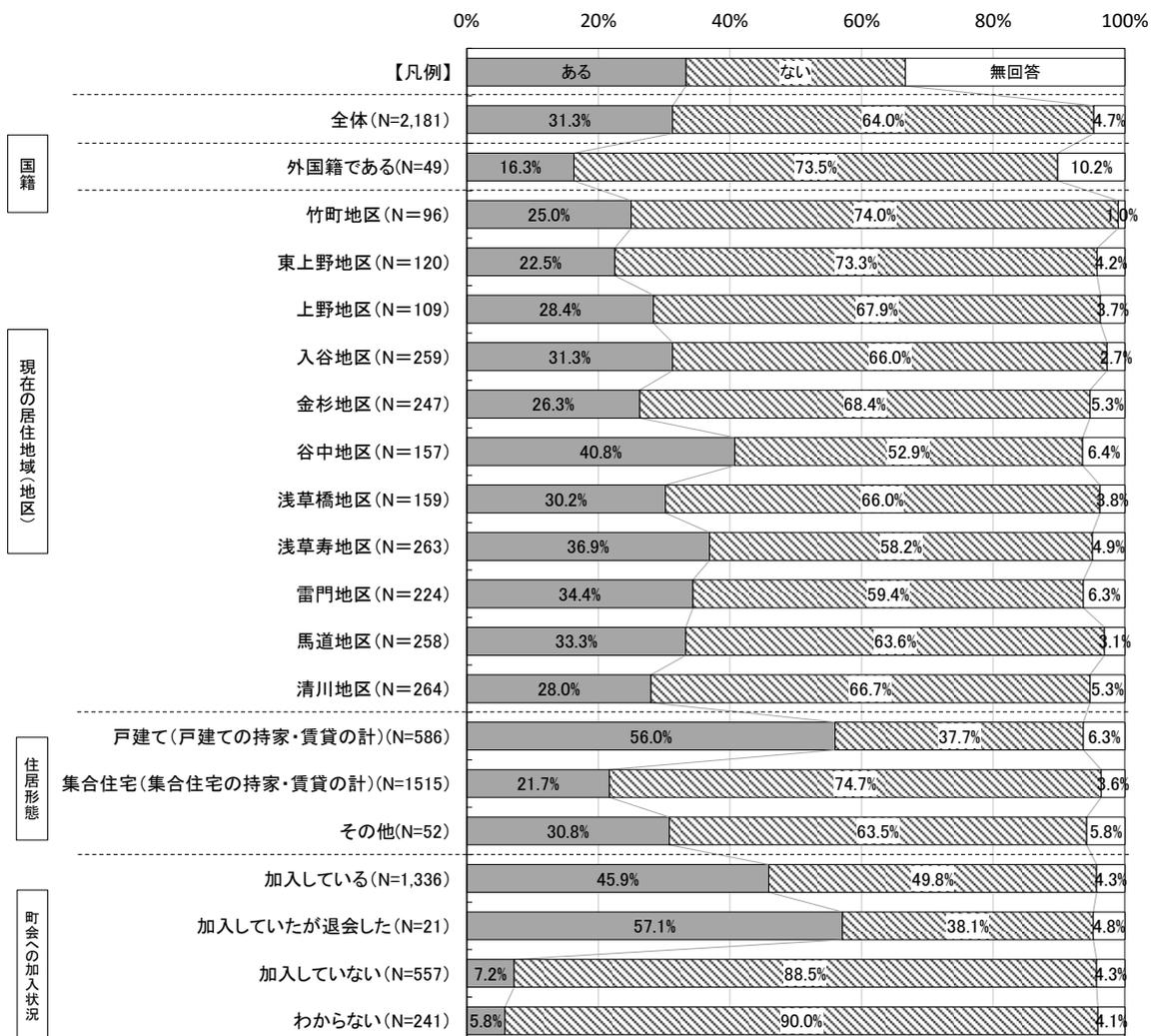
■ 国籍・地区・住居形態・町会加入状況による傾向及び特徴（町会活動への参加経験）

町会活動への参加経験の割合は、外国籍の人は日本人と比較して「ある」が二分の一程度となっている。

地区別では、谷中地区（40.8%）が最も多く、東上野地区（22.5%）が最も少ない。

住居形態では、戸建て（持家・賃貸）は「ある」が56.0%の一方、集合住宅（持家・賃貸）は「ない」が74.7%となっている。

町会加入状況別にみると、町会に加入している人も「ある」が45.9%、「ない」が49.8%となっている。

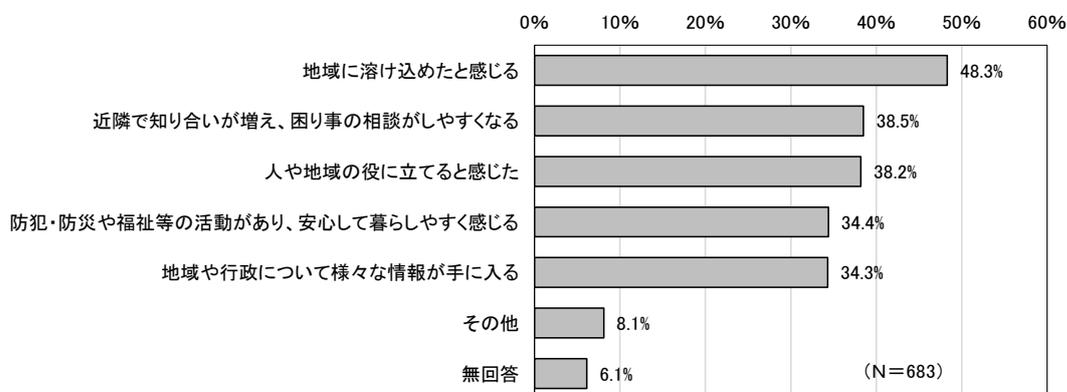


※Q3-2で「①ある」と回答した方に伺います。

Q3-3 町会活動に参加してよかったことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

町会活動に参加してよかったこととして、「地域に溶け込めたと感じる」が48.3%と最も多い。

	上段:実数(件)							
	下段:割合(%)							
全体	地域に溶け込めたと感じる	近隣で知り合いが増え、困り事の相談がしやすい	人や地域の役に立っていると感じた	防犯・防災や福祉等の活動があり、安心して暮らしやすいと感じる	地域や行政について様々な情報が手に入る	その他	無回答	
683	330	263	261	235	234	55	42	
100.0	48.3	38.5	38.2	34.4	34.3	8.1	6.1	



【「その他」の回答】

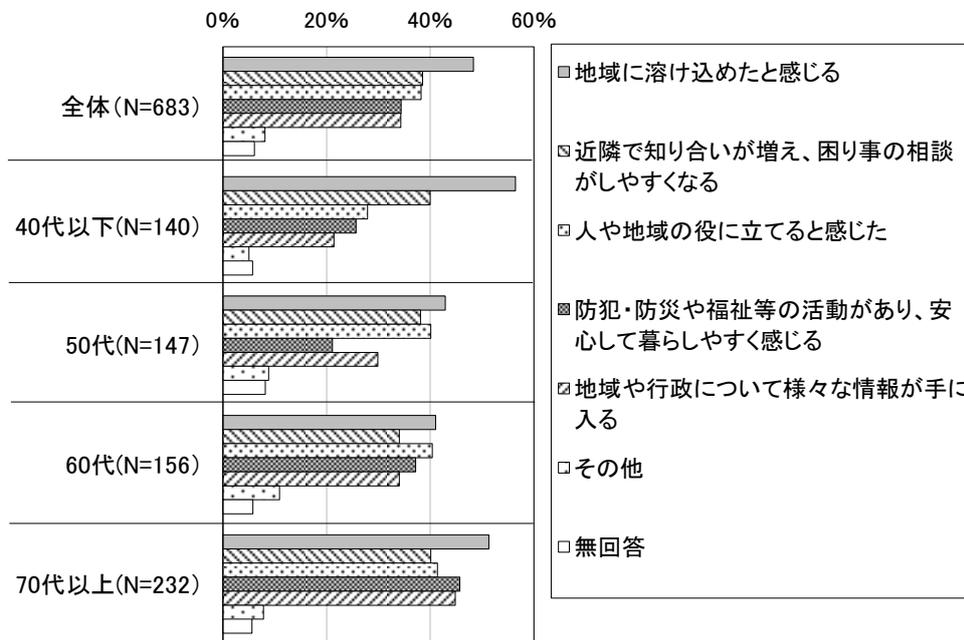
- ・ 地域の雰囲気分かる
- ・ 活動に楽しく参加することが出来た
- ・ 特に良かったことはない

■年代・町会加入状況による傾向及び特徴（町会活動に参加して良かったこと）

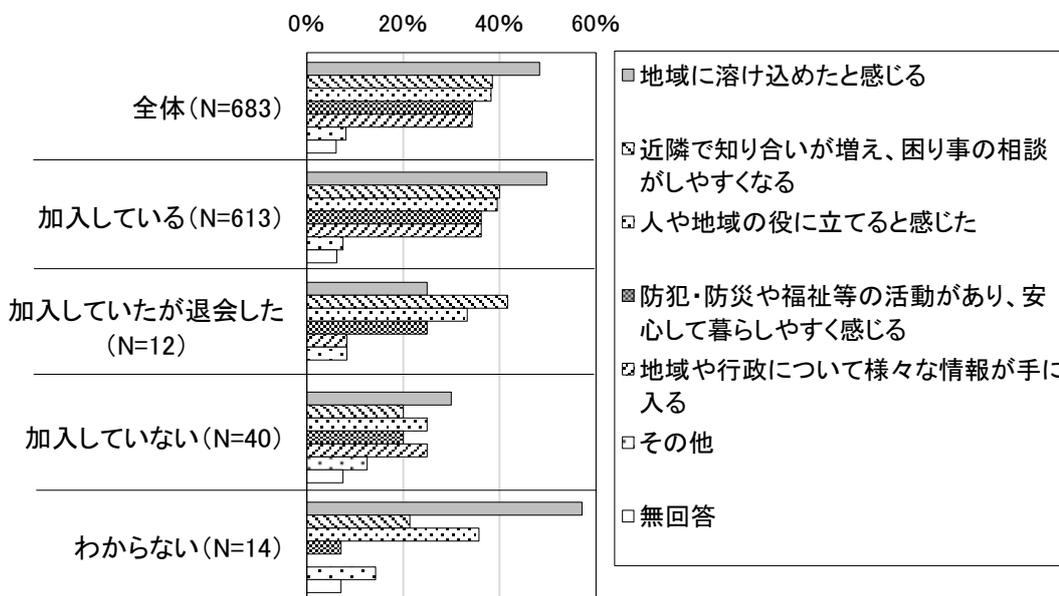
40代以下では、「地域に溶け込めたと感じる」が最も高くなっているが、50代以上になると、「人や地域の役に立てると感じた」が高くなる傾向にある。

町会に加入していない人でも、活動に参加した30%が地域に溶け込めたと感じており、地域の一員としての意識を享受してもらうことが加入促進につながると考えられる。

【年代別】



【町会加入状況別】

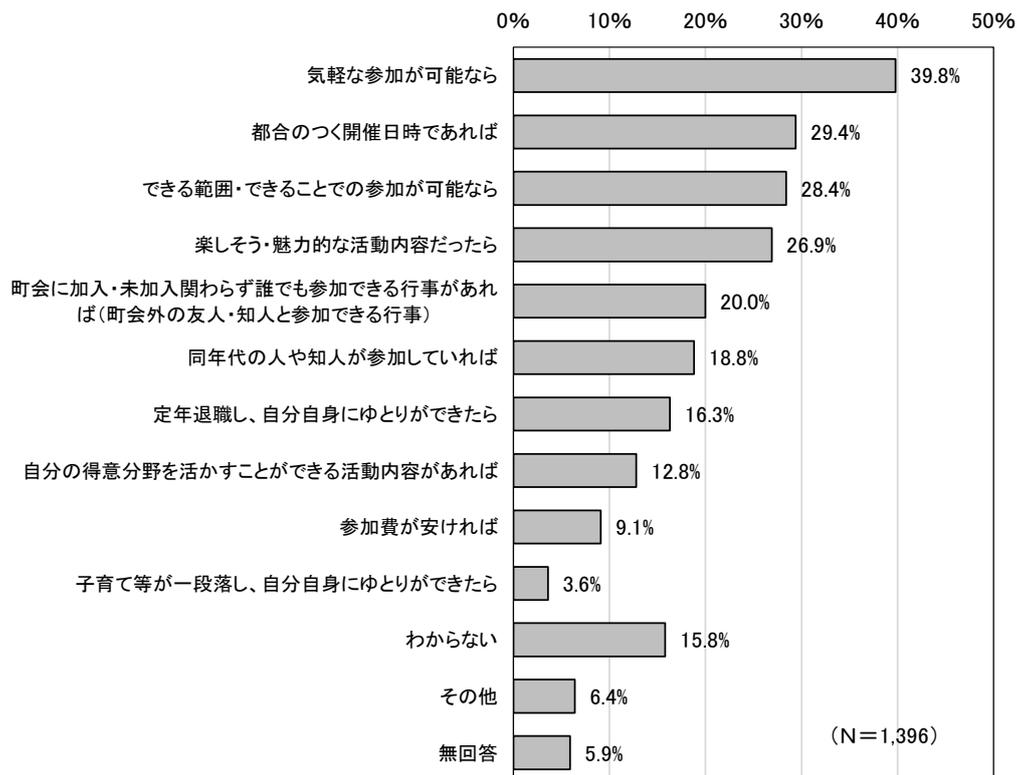


※Q3-2で「㊟ない」と回答した方に伺います。

Q3-4 今後、どのようなきっかけや条件があれば町会活動に参加したいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

町会活動への参加のきっかけや条件として、「気軽な参加が可能なら」が39.8%と最も多い。次いで、「都合のつく開催日時であれば」が29.4%、「できる範囲・できることでの参加が可能なら」が28.4%となっている。

	上段: 実数(件) 下段: 割合(%)													
全体	気軽な参加が可能なら	都合のつく開催日時であれば	できる範囲・できることでの参加が可能なら	楽しそう・魅力的な活動内容だったら	町会に加入・未加入関わらず誰でも参加できる行事があれば(町会外の友人・知人と参加できる行事)	同年代の人や知人が参加していれば	定年退職し、自分自身にゆとりができたなら	自分の得意分野を活かすことができる活動内容があれば	参加費が安ければ	子育て等が一段落し、自分自身にゆとりができたなら	わからない	その他	無回答	
	1,396	555	410	396	375	279	263	228	178	127	50	220	90	83
	100.0	39.8	29.4	28.4	26.9	20.0	18.8	16.3	12.8	9.1	3.6	15.8	6.4	5.9



【「その他」の主な回答】

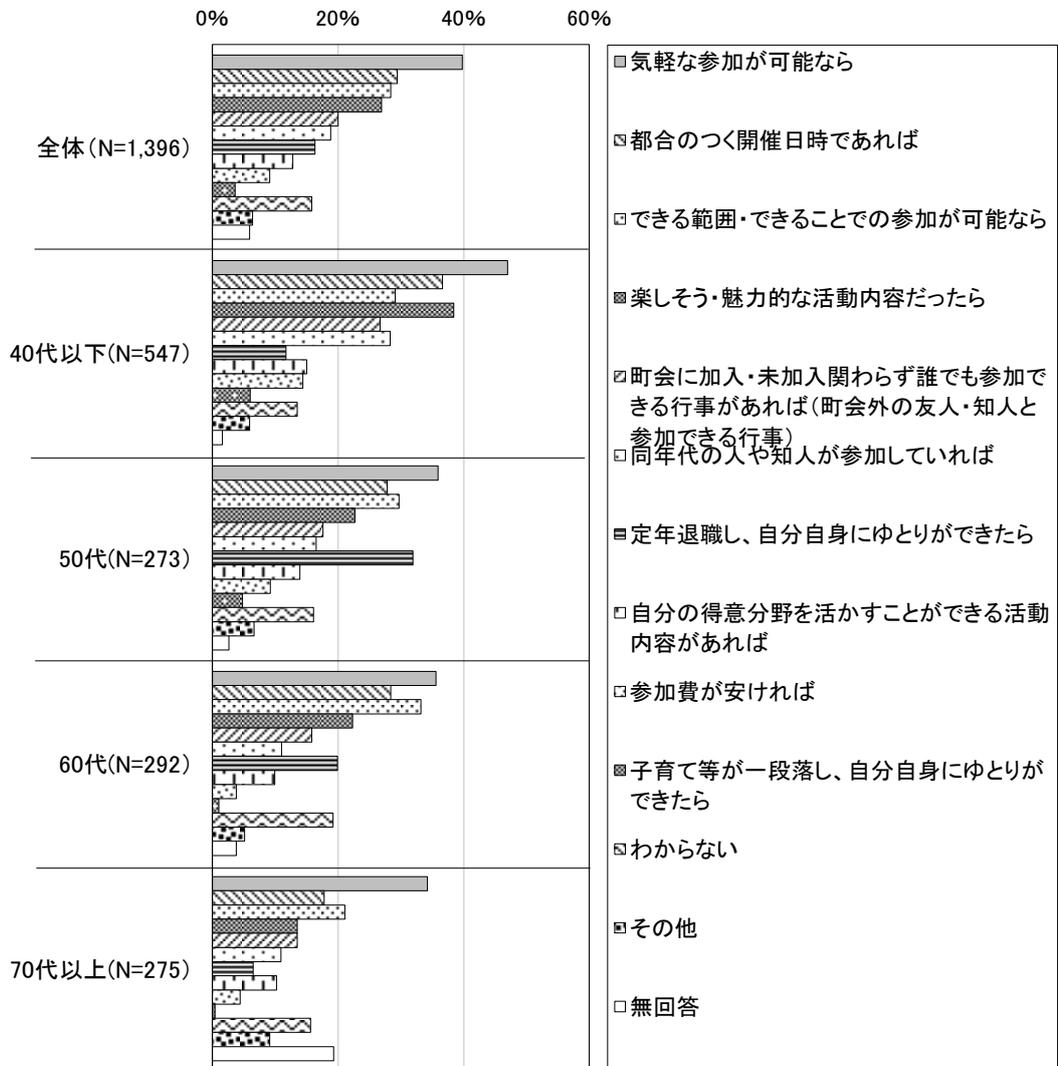
- ・ きっかけや情報があれば
- ・ 災害時訓練
- ・ 母国語が活用できるイベント

■年代による傾向及び特徴（町会活動に参加したいと思うきっかけや条件）

全体の傾向と同様で、いずれの年代においても「気軽な参加が可能なら」が高いが、40代以下の回答は、他の年代と比べて高い。「楽しそう・魅力的な活動内容だったら」及び「同年代の人や知人が参加していれば」も他の年代と比べて40代以下では高くなっている。

50代では、「気軽な参加が可能なら」に次いで、「定年退職し、自分自身にゆとりができたなら」が高く、定年後に関わってもらうための関係づくりを進めることが大切であると考えられる。

【年代別】

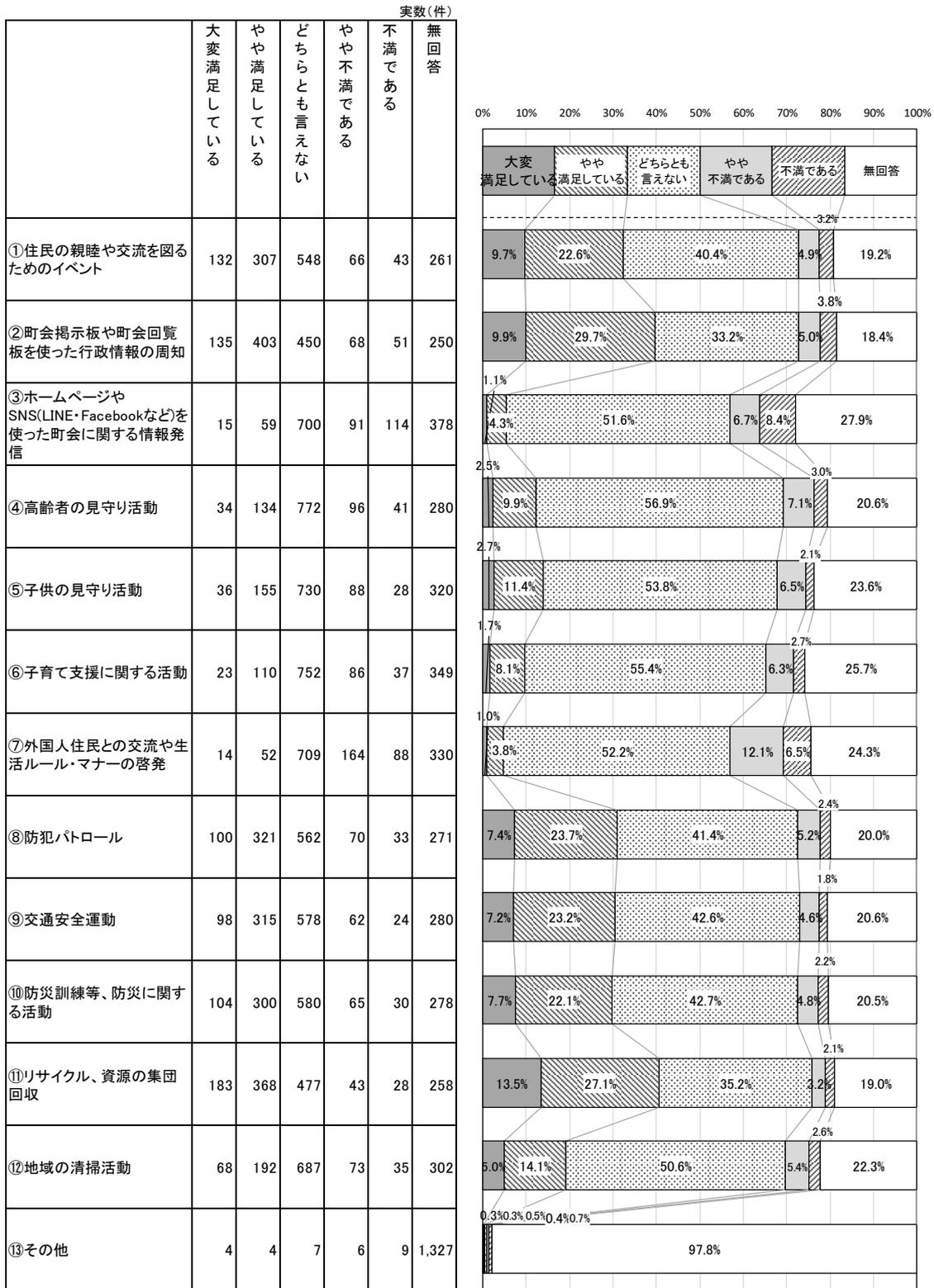


※「現在町会に加入している方」「町会に加入していたが退会した方」に伺います。

Q3-5(A) 町会活動に関して、町会の活動にどのくらい満足しているか、活動の満足度に○を付けてください。

「大変満足している」「やや満足している」を合わせた『満足傾向にある』回答としては、「町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知」「リサイクル、資源の集団回収」があげられている。

「やや不満」と「不満」の不満傾向にある活動としては、「外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発（計 18.6%）」「ホームページや SNS を使った町会に関する情報発信（計 15.1%）」があげられている。

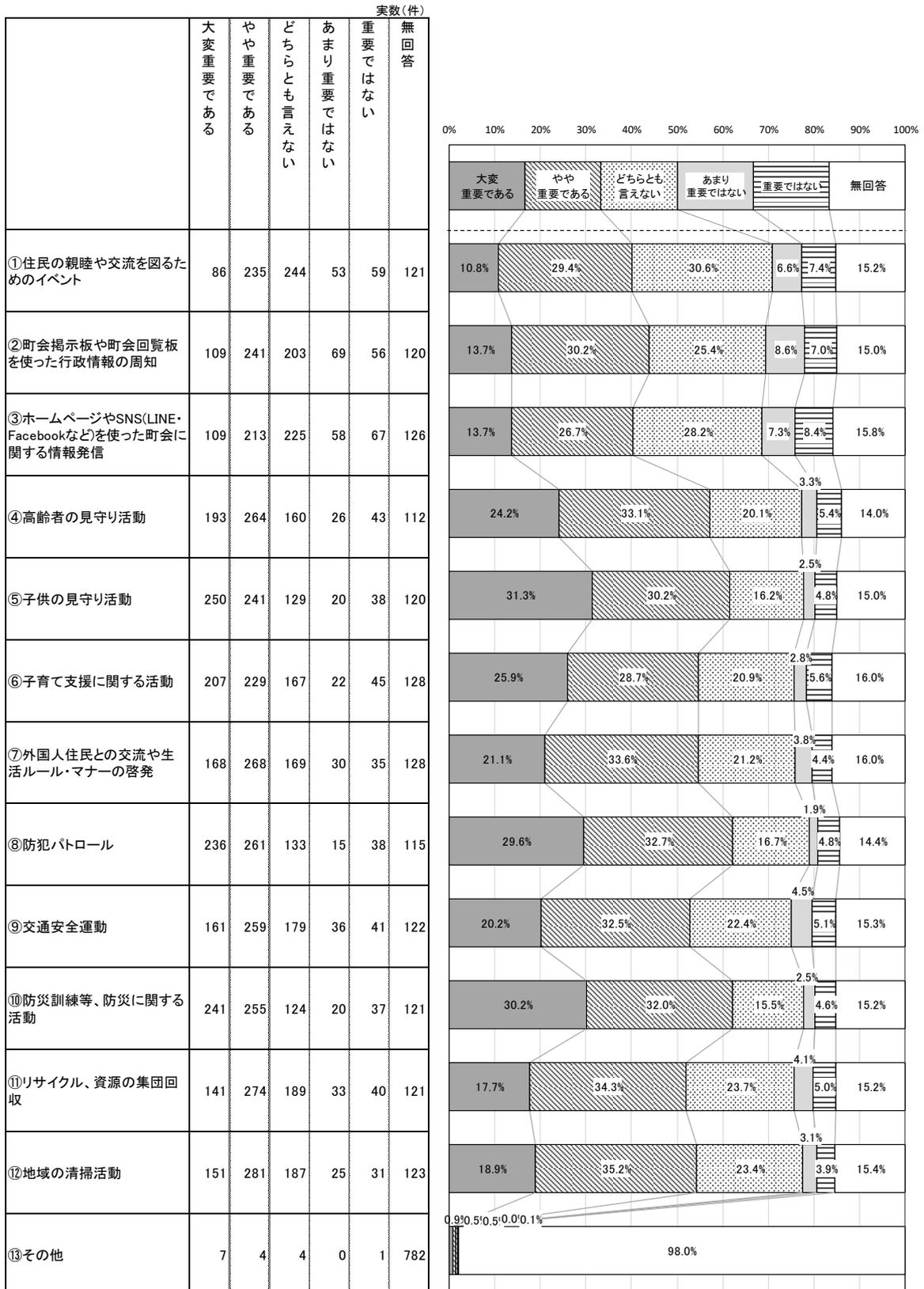


(N=1,357)

※「現在町会に加入していない方」「町会に加入しているか分からない方」に伺います。

Q3-5(B) 町会活動に関して、どのくらい重要な活動だと思うか、活動の重要度に○を付けてください。

「大変重要である」は、「子供の見守り活動」が31.3%と最も多い。また、「大変重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要度の高い活動』としては、「防犯パトロール」、「防災訓練等、防災に関する活動」が上位になっている。

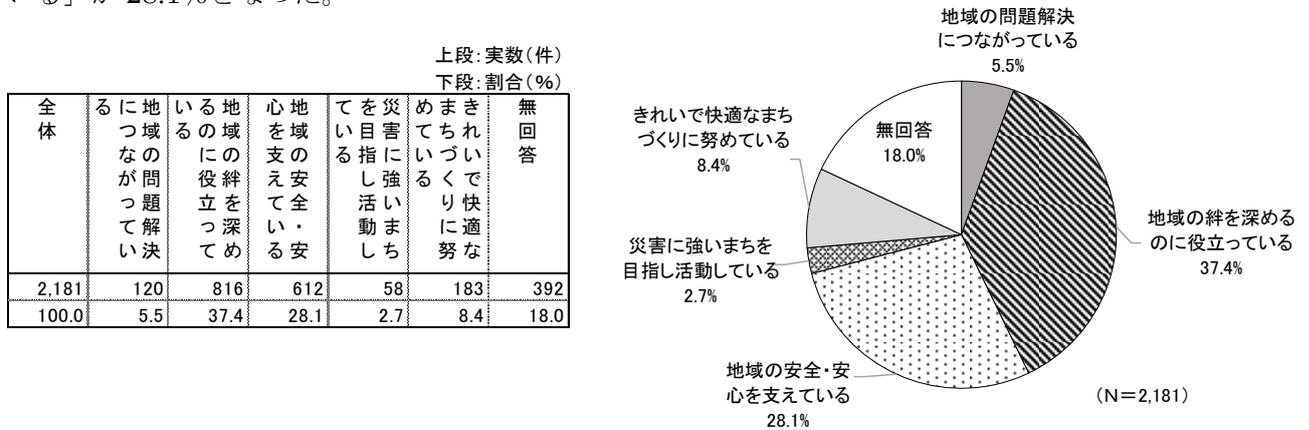


(N=798)

4 町会に対するイメージや問題について

Q4-1 町会について、あなたのイメージに近いものをお選びください。(1つだけ)

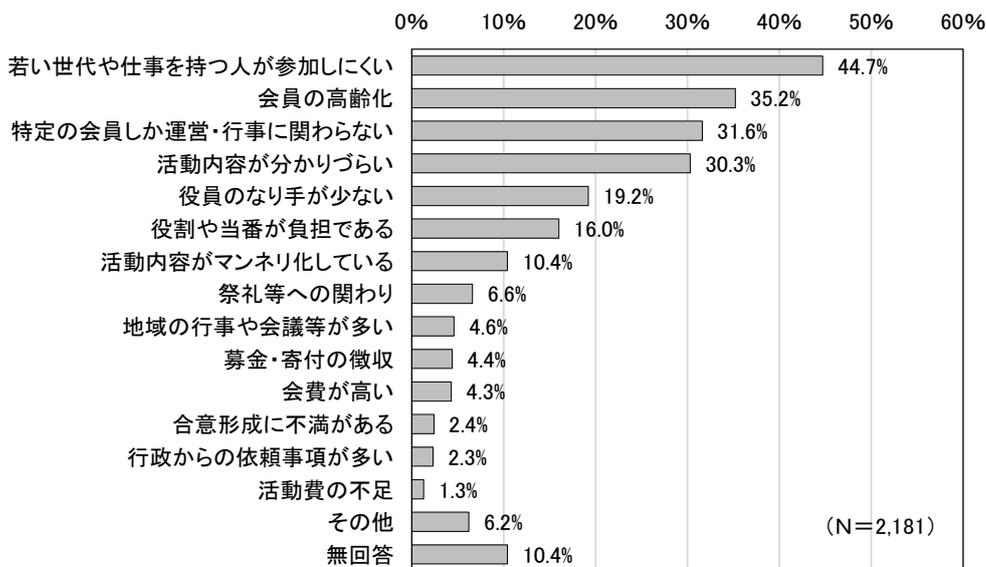
「地域の絆を深めるのに役立っている」が 37.4%と最も多い。次いで、「地域の安全・安心を支えている」が 28.1%となった。



Q4-2 町会活動の問題点と思うものは何ですか。(3つまで)

「若い世代や仕事を持つ人が参加しにくい」が 44.7%で最も多い。次いで、「会員の高齢化」「特定の会員しか運営・行事に関わらない」「活動内容が分かりづらい」がそれぞれ 30%以上となった。

	若い世代や仕事を持つ人が参加しにくい	会員の高齢化	特定の会員しか運営・行事に関わらない	活動内容が分かりづらい	役員・当番が少ない	役割や当番が負担である	活動内容がマンネリ化している	祭礼等への関わり	地域の行事や会議等が多い	募金・寄付の徴収	会費が高い	合意形成に不満がある	行政からの依頼事項が多い	活動費の不足	その他	無回答
上段:実数(件)	974	767	689	661	418	350	227	143	101	95	93	52	50	28	135	227
下段:割合(%)	44.7	35.2	31.6	30.3	19.2	16.0	10.4	6.6	4.6	4.4	4.3	2.4	2.3	1.3	6.2	10.4



【「その他」の回答】

- ・ 町会参加の方法や町会費の用途等の情報発信不足
- ・ 活動に参加しにくい雰囲気がある

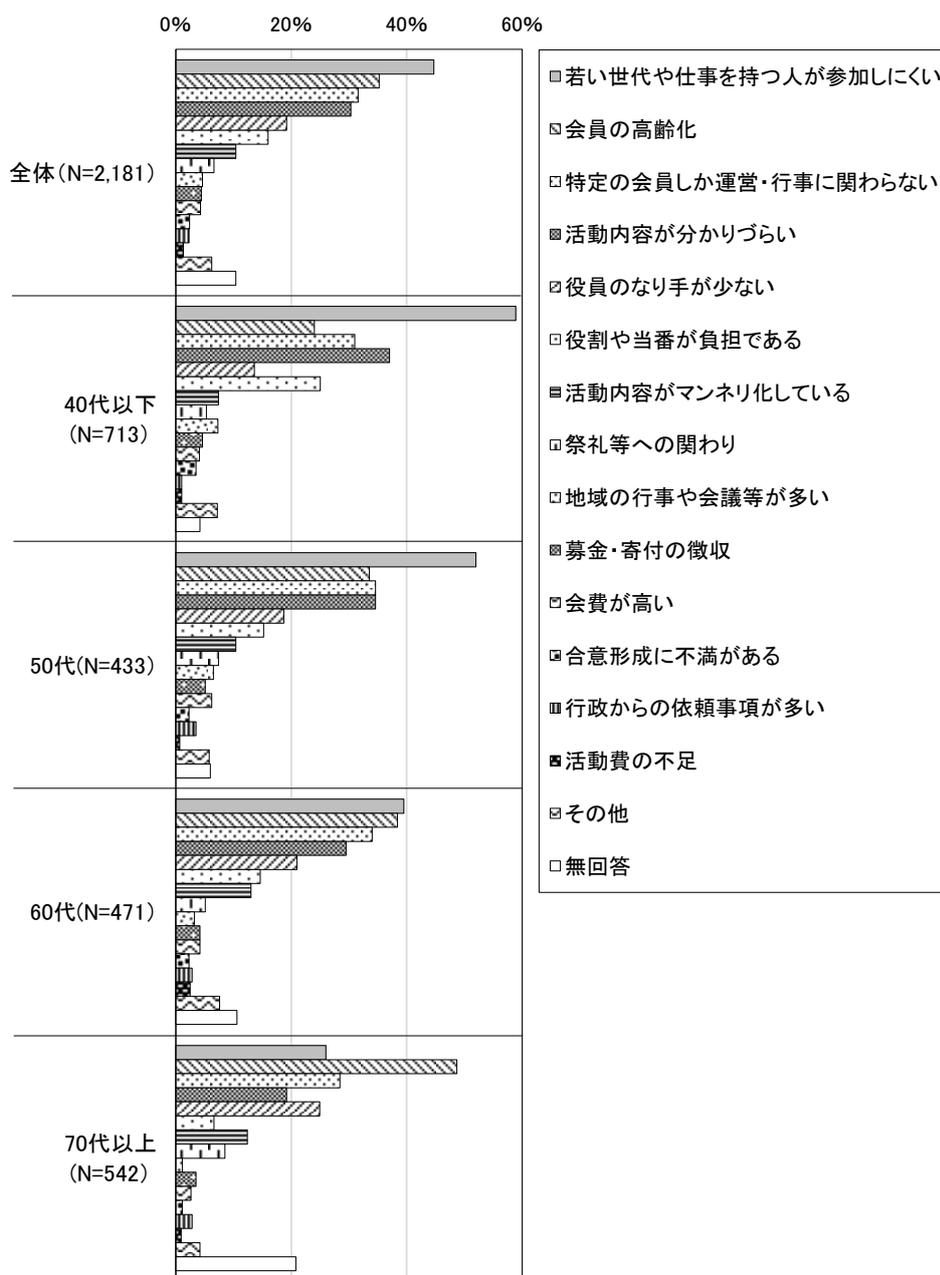
■年代・町会活動への参加経験による傾向及び特徴（町会活動の問題点）

年代別では、「若い世代や仕事を持つ人が参加しにくい」は若い世代ほど高く、40代以下では58.9%となっている。40代以下では、次いで、「活動内容が分かりづらい」が高くなっている。

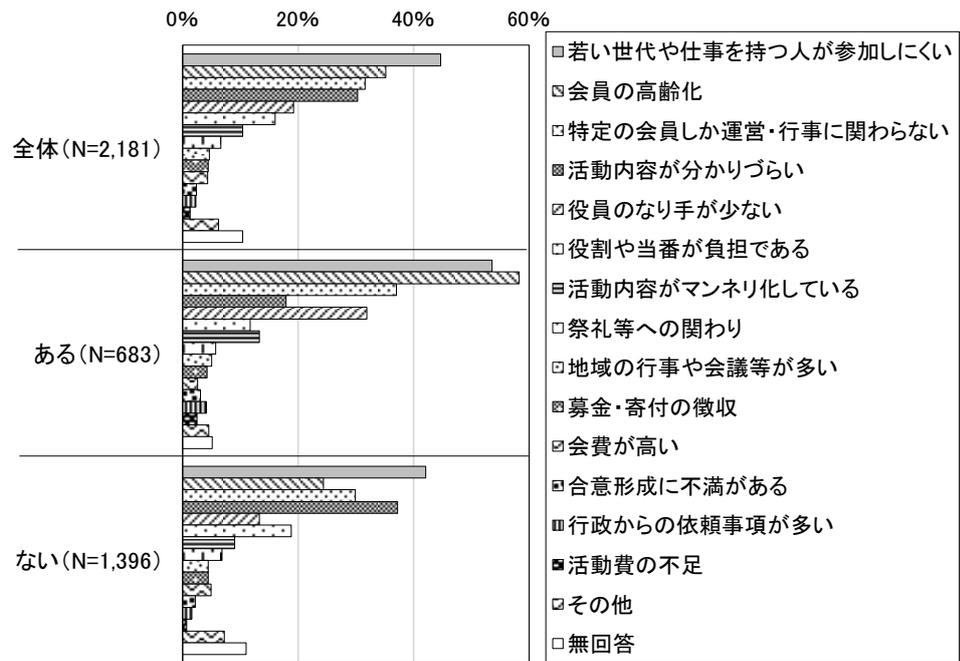
一方で、特に70代以上では「会員の高齢化」が最も高くなっている。

町会活動に参加したことがある回答者は、「会員の高齢化（58.3%）」が最も高く、次いで、「若い世代や仕事を持つ人が参加しにくい（53.6%）」となっている。活動に参加した中でも半数以上は参加しにくいと感じている。また、活動への参加経験がある人となない人との間で「会員の高齢化」「活動内容が分かりづらい」「役員のなり手が少ない」「役割や当番が負担である」の回答に差がみられた。

【年代別】



【町会活動の参加経験】



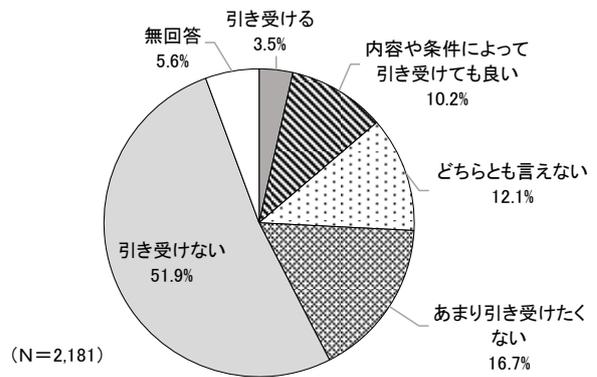
5 町会役員について

※町会に未加入の方も、町会に加入していると仮定してご回答ください。

Q5-1 もし次年度の町会役員（〇〇部長など）の依頼を受けたらあなたは引き受けますか。（1つだけ）

町会役員の依頼に対して、「引き受けない」が51.9%と最も多い。次いで、「あまり引き受けたくない」が続き、役員を引き受けたくない傾向にある回答が7割近くとなっている。

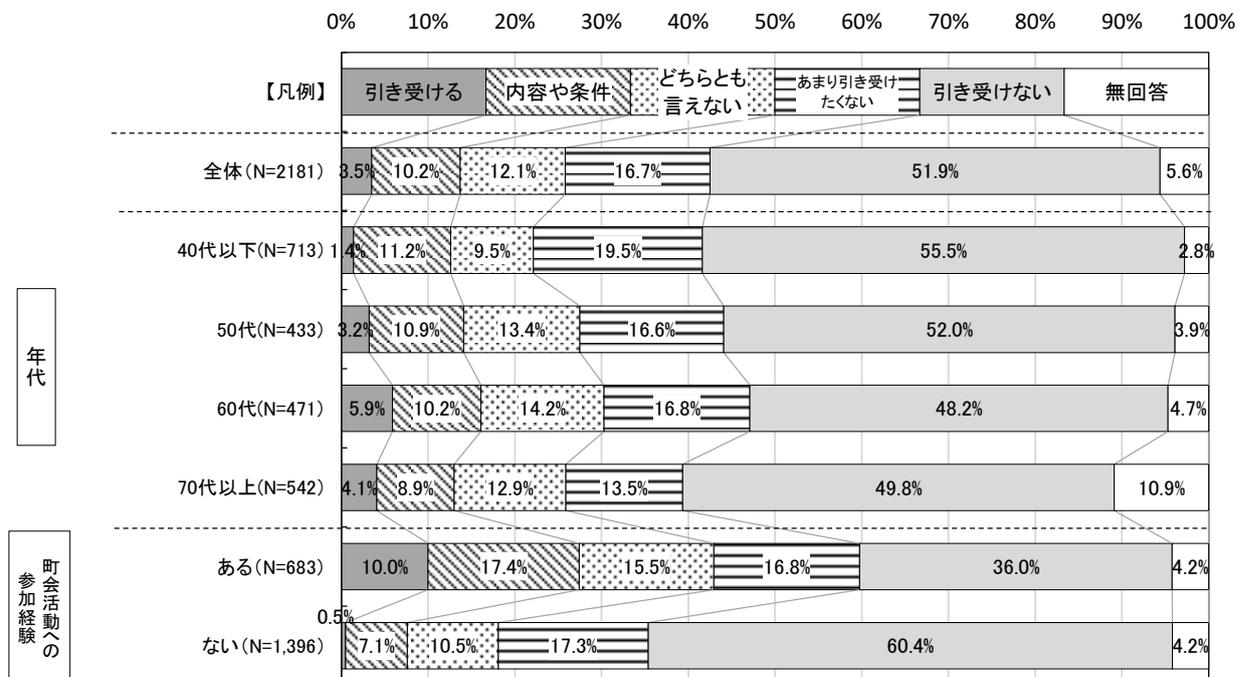
全体	上段:実数(件)						下段:割合(%)					
	引き受ける	内容や条件によってもって良い引き受け	どちらとも言えない	あまり引き受けたくない	引き受けない	無回答	引き受ける	内容や条件によってもって良い引き受け	どちらとも言えない	あまり引き受けたくない	引き受けない	無回答
2,181	76	223	264	365	1,131	122	3.5	10.2	12.1	16.7	51.9	5.6



■年代・活動参加経験による傾向及び特徴（役員の引き受け意向）

年代別では、「引き受ける」及び「内容や条件によってもって良い引き受け」は40代以下で12.6%、50代で14.1%、60代で16.1%と割合的に少ないものの、その意向は少なからずあることがわかる。

町会活動に参加したことがある人では、「引き受ける（10.0%）」「内容や条件によってもって良い（17.4%）」と3割近くが役員を引き受ける可能性がある。役員の担い手の育成には、まず町会活動への参加を促すことが重要であると考えられる。

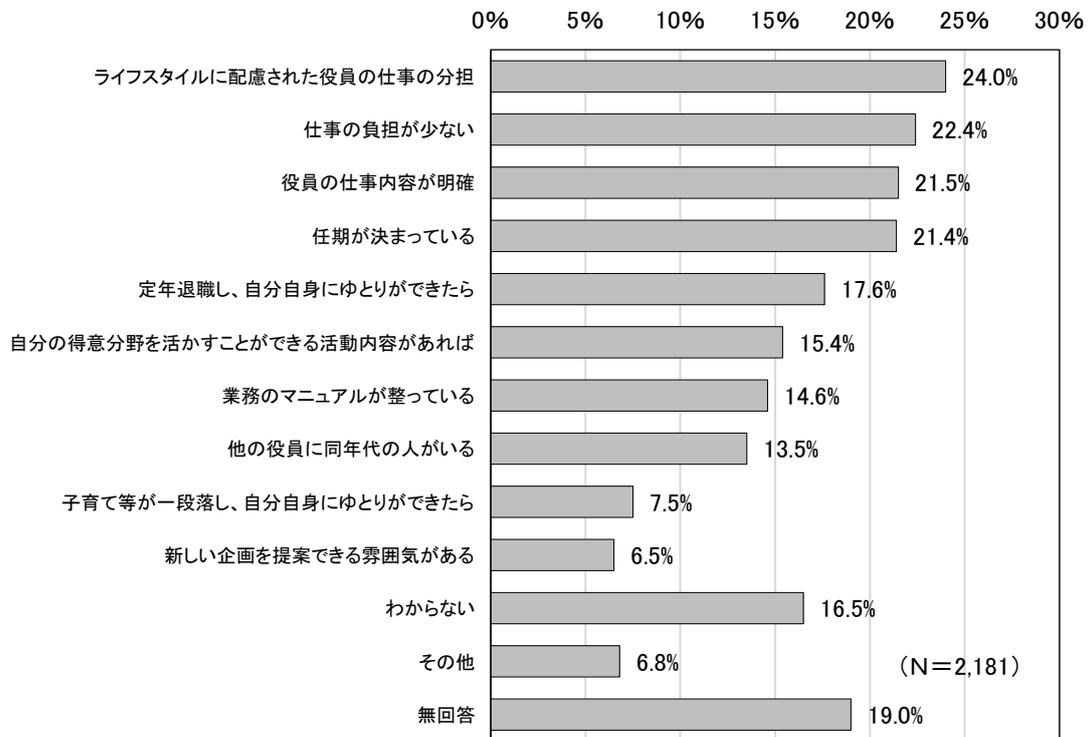


※町会に未加入の方も、町会に加入していると仮定してご回答ください。

Q5-2 町会役員を引き受けても良いと感じる条件や状況は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

町会役員を引き受ける際の条件等として、「ライフスタイルに配慮された役員の仕事分担」が24.0%と最も多い。次いで、「仕事の負担が少ない」「役員の仕事内容が明確」「任期が決まっている」がそれぞれ20%以上となった。

全体	の慮分 担され た役 員の 仕 事 配	ラ イ フ ス タ イ ル に 配 慮 さ れ た 役 員 の 仕 事 分 担	仕 事 の 負 担 が 少 な い	確 役 員 の 仕 事 内 容 が 明 確	任 期 が 決 ま っ て い る	ら 身 に 定 年 退 職 し 、 自 分 自 身 に ゆ と り が で き た ら	動 内 容 が あ れ ば 自 分 の 得 意 分 野 を 活 か す こ と が で き る 活 動 内 容 が あ ら ば	整 業 務 の マ ニ ュ ア ル が 整 っ て い る	人 他 の 役 員 に 同 年 代 の 人 が い る	り 子 育 て 等 が 一 段 落 し 、 自 分 自 身 に ゆ と り が で き た ら	新 し い 企 画 を 提 案 で き る 雰 囲 気 が あ る	わ か ら な い	上段:実数(件)	下段:割合(%)	
													その他	無回答	
2,181	524	489	469	467	383	335	318	295	164	141	360	148	415		
100.0	24.0	22.4	21.5	21.4	17.6	15.4	14.6	13.5	7.5	6.5	16.5	6.8	19.0		



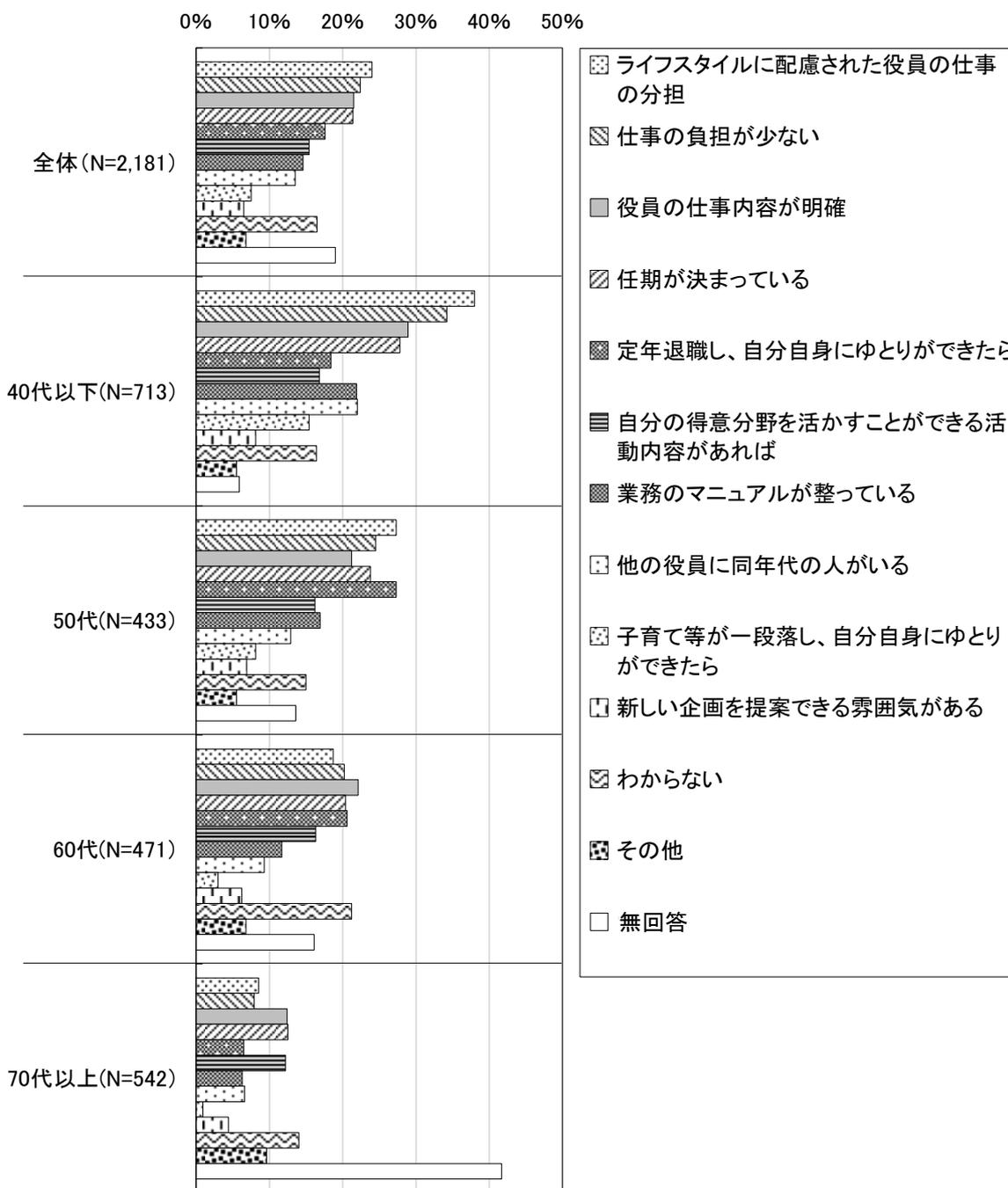
【「その他」の回答】

- ・ 自身の健康次第
- ・ 人間関係が良好であれば
- ・ 役員や町会活動への意義が感じられれば

■年代による傾向及び特徴（町会役員を引き受けても良いと感じる条件や状況）

40代以下では「ライフスタイルに配慮された役員の仕事の分担（38.0%）」「仕事の負担が少ない（34.2%）」、50代は「ライフスタイルに配慮された役員の仕事の分担（27.3%）」「定年退職し、自分自身にゆとりができたなら（27.3%）」、60代は「役員の仕事内容が明確（22.1%）」が上位となっている。

【年代別】



6 その他

Q6-1 町会の運営及び活動に関して、ご意見などお書きください。

※主な内容を抜粋

- ・ 町会活動のおかげで、地域の安全・安心はあると思う
- ・ とても活発な活動に魅力を感じる
- ・ 入居時から町会長に町会への参加を呼びかけられ自然と町会活動に参加することができた。町会長には感謝している。
- ・ 町会と地域住民とのつながりは今後さらに重要・必要なものになると思う。
- ・ 自分も協力できることがあれば参加したいと思う。
- ・ 町会の祭りやラジオ体操等、子どもと一緒に楽しんでいる。いつかゆとりが出来たら、同じ町内にいるママ友と町会活動に参加しようねと話している。
- ・ 町会役員の高齢化もあり、今後の成り行きに不安がある。
- ・ 役員の担い手不足が深刻だが、まずは新規の行事参加者を増やして若い世代を取り込んでいくことが大切だと考える。
- ・ 行事等のマニュアルがなく、経験や記憶が頼りとなり新人は十分活動ができない。
- ・ 町会に携わることが自由にできて仲間で固まらない開放された町会運営が良い。
- ・ 集合住宅が増えているので、町会の役割も変わってきていると思う。大きな変革が急務と思う。
- ・ 町会活動や消防団など興味はあるが、マンション住まいのため自ら手を挙げ参加するのはハードルが高い。やや強引なぐらいに誘われれば是非参加したい。
- ・ 災害時等に「避難」だけでなく、住民に「●●できる人は●●してほしい」というような指示書があれば、身内の安否確認後、自分の得意分野なら動ける。
- ・ 行政の出先機関のような活動は少なくして、住民の生活に直結した活動を民主的に行ってほしい。
- ・ 役員のみ活動が多く、運営の工夫や活動方法の検討が成されていないと思う。小中学校の保護者と協力して、各活動を運営する必要があると考えている。
- ・ 行事が時代のニーズに合っているか精査し、活動の可視化を図ってほしい。
- ・ 役員が高齢化して世代交代できないのは、防災面からも不安。
- ・ 町会でやっている仕事を全て把握できる方はあまりいないのではないかと思う。まずはそれを洗い出し、役員が負担に感じない程度の役割分担をみんなで考えることが第一かと思う。
- ・ 町会活動の周知と説明会を積極的に行ってほしい。
- ・ 町会の存在、いつどこで誰がどんな活動をしているのか全く分からない。
- ・ 情報開示にもっと力を注ぐべきだと思う。
- ・ 町会に加入しているが、どんな活動をしていて、どのようなタイミングで参加していいのか分からない。
- ・ 町会費の収支や使い道が分からない。
- ・ 少しでも町会に関わるきっかけがあれば、住んでいる者として楽しく暮らせるものだと思う。
- ・ 参加が難しい人々が参加しやすい、意見が取り入れやすいなどの工夫があれば、その恩恵を受けた人々がリタイヤした後に積極的に参加するようになり、良い循環が生まれると思う。
- ・ 単身者が負担少なく気軽に参加できる活動があると良い。
- ・ 隣近所に誰が住んでいるのか分からない状況の中で、町会が橋渡しの役目になってもらえたらと思う。防犯や災害支援の観点から「遠くの親戚より近くの他人」が実感できる活動や雰囲気であれば、ぜひ参加したいと思う。
- ・ 一部の人だけでなく、町会全体で活動していけたら、もっと良くなると思う。
- ・ 若い人が参加できる仕組みがあると良い。

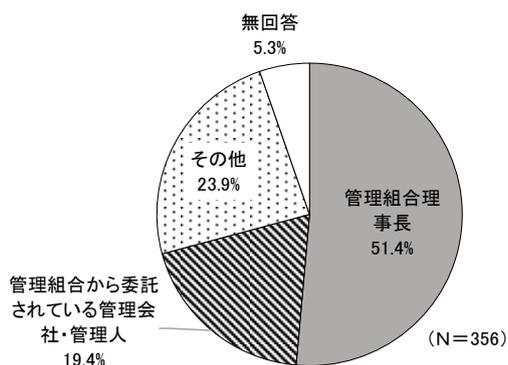
- ・ 災害発生の時住民がどうしたら安全に避難できるか1人でも多く助かるかの対策を町会で構築し、住民に咄嗟のときの行動をどうするか指導しておいてほしい。
- ・ みんなが意見を出しやすく活動を改善していけるものでなければ多くの参加は見込めないと思う。災害時の地域の共助は今後重要であると思う、しかし、行政の仕事を町会に押し付けるようなことはすべきでない。
- ・ 防災や避難訓練をしていただけるとありがたい。台風19号では、荒川や隅田川の氾濫が非常に心配で、ハザードマップを調べてみたが、台東区のほぼ全域の避難先が上野公園になっていたの、区民が一斉に非難すると道が混んで避難できない、二次災害など起きるのではないかと感じた、そんな時、町会・町会同士のつながりもあって避難できると心強いと思った。
- ・ 子どもがいない家は地域とのコミュニケーションを深めづらい。
- ・ 外国人の方も多いので、町会を通じて住んでいる人全員が知り合いになれるようになるとうい。
- ・ 町会費や役員の関係で不公平感が強い。
- ・ 個人の生活環境の程度に応じた参加度を選択できる柔軟な組織であれば参加加入したいと思う。
- ・ マンション住民に対して町会の連絡等がない。マンション住民が参加できる雰囲気がなく、勧誘もない。
- ・ 長年この地域に住んでいる方々の結びつきが強いように感じ、そこに積極的に関わっていくことには躊躇してしまう。
- ・ マンション居住者には町会は分かりづらい。
- ・ 町会はあくまでも市民の自主的な団体であるため、これを行政・地方自治のための一部として利用することは適当ではない。
- ・ 町会の運営にも参画し、役に立ちたい気持ちはあるが、現役のサラリーマン生活の間は現実的には難しい。サラリーマンでも参加できる土日の活動に、少しでも手伝えるような場・役割が明示されるとききっかけが作れるかもしれないと思う。
- ・ 町会活動の必要性は感じているが、自分自身は仕事優先で参加できない。

V マンション管理組合向けの調査

1 管理組合及びマンション等について

(1) 回答者

全体	管理組合 理事長	社・管理 されて いる 管理 人	管理組合 から委託 している 委員会	その他	無回答
356	183	69	85	19	
100.0	51.4	19.4	23.9	5.3	



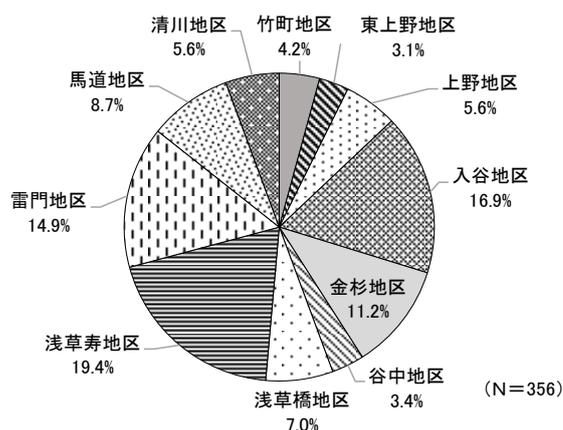
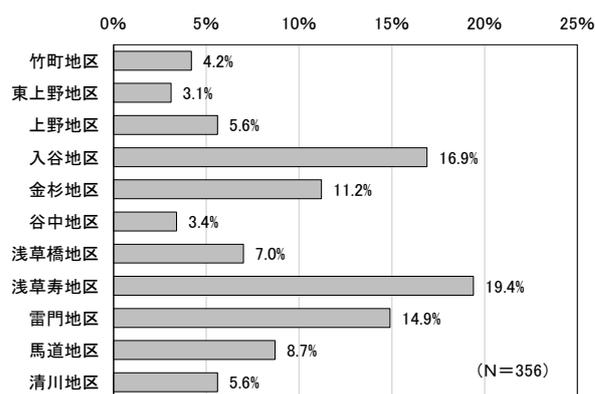
【「その他」の主な回答】

- ・ 管理組合役員等

(2) マンション所在地

「浅草寿地区」が最も多く、次いで「入谷地区」、「雷門地区」となっている。

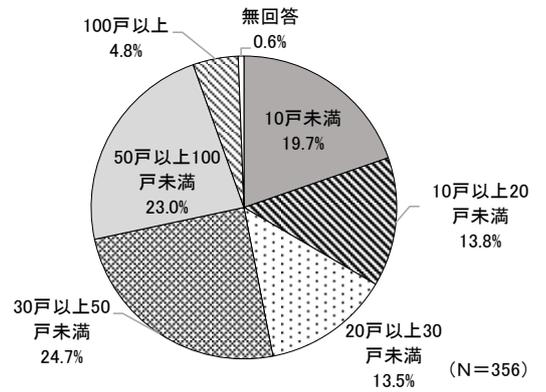
全体	竹町地区	東上野地区	上野地区	入谷地区	金杉地区	谷中地区	浅草橋地区	浅草寿地区	雷門地区	馬道地区	清川地区	上段:実数(件)	下段:割合(%)
356	15	11	20	60	40	12	25	69	53	31	20		
100.0	4.2	3.1	5.6	16.9	11.2	3.4	7.0	19.4	14.9	8.7	5.6		



(3) 総戸数

「30戸以上～50戸未満」が最も多く、次いで「50戸以上100戸未満」となった。

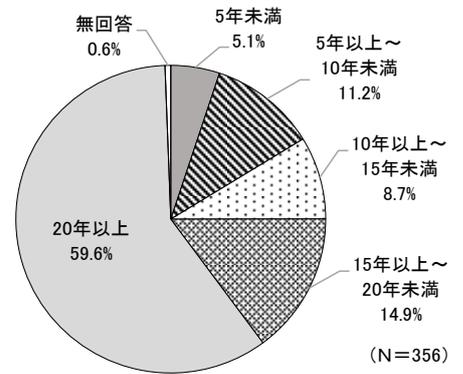
全体	上段:実数(件)						下段:割合(%)	
	10戸未満	20戸未満	30戸未満	50戸未満	100戸未満	100戸以上	無回答	無回答
356	70	49	48	88	82	17	2	0.6
100.0	19.7	13.8	13.5	24.7	23.0	4.8	0.6	



(4) 築年数

「築20年以上」が6割と最も多い。

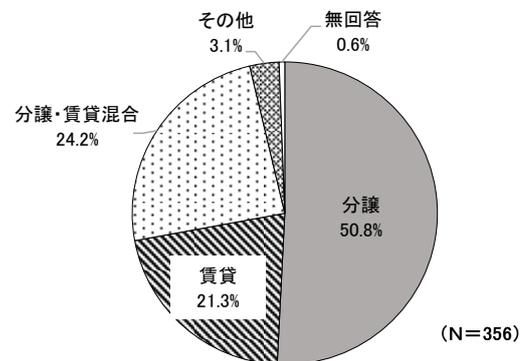
全体	上段:実数(件)					下段:割合(%)	
	5年未満	10年以上未	15年以上未	20年以上未	20年以上	無回答	無回答
356	18	40	31	53	212	2	0.6
100.0	5.1	11.2	8.7	14.9	59.6	0.6	



(5) 住居形態

「分譲」がほぼ5割を占めている。

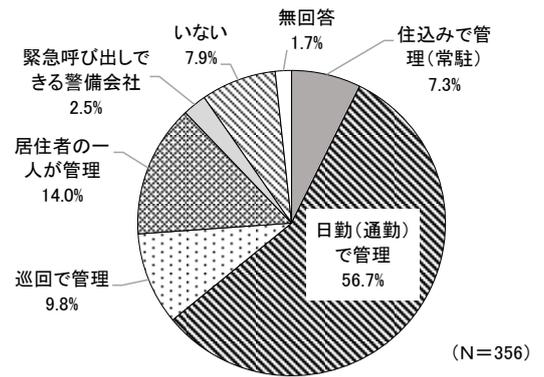
全体	上段:実数(件)				下段:割合(%)	
	分譲	賃貸	混合・賃貸	その他	無回答	無回答
356	181	76	86	11	2	0.6
100.0	50.8	21.3	24.2	3.1	0.6	



(6) 管理人の形態

「日勤（通勤）で管理」が6割近くと最も多い。

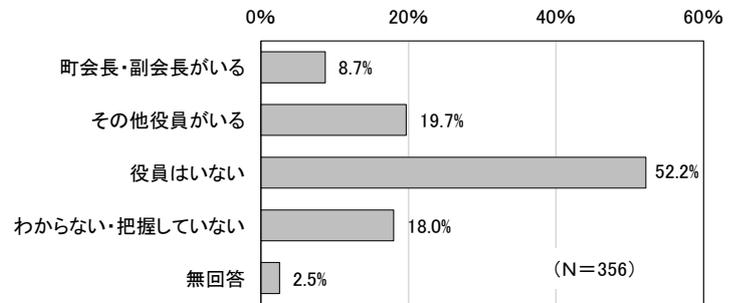
全体	住込みで管理 (常駐)	日勤(通勤) で管理	巡回で管理	居住者の一人 が管理	社で緊急呼び出し	緊急呼び出し がない	無回答	上段:実数(件)	
								下段:割合(%)	
356	26	202	35	50	9	28	6		
100.0	7.3	56.7	9.8	14.0	2.5	7.9	1.7		



(7) マンション居住者の町会役員有無

「役員はいない」が5割を超え最も多い。

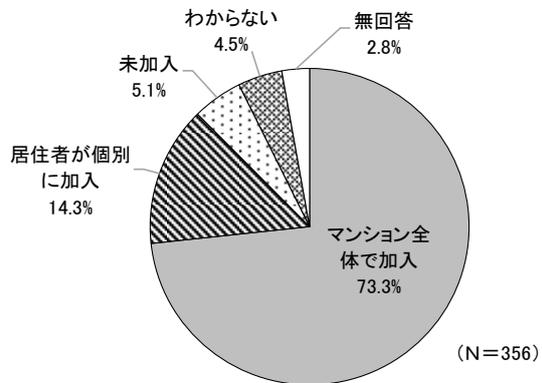
全体	町会長・副会長 がいる	その他の役員 がいる	役員はいない	把握してない ・わからない	無回答	上段:実数(件)	
						下段:割合(%)	
356	31	70	186	64	9		
100.0	8.7	19.7	52.2	18.0	2.5		



Q1-2 あなたのマンションでは町会に加入していますか。

「マンション全体で加入」が7割を超え最も多い。次いで、「居住者が個別に加入」が1割半ばとなった。

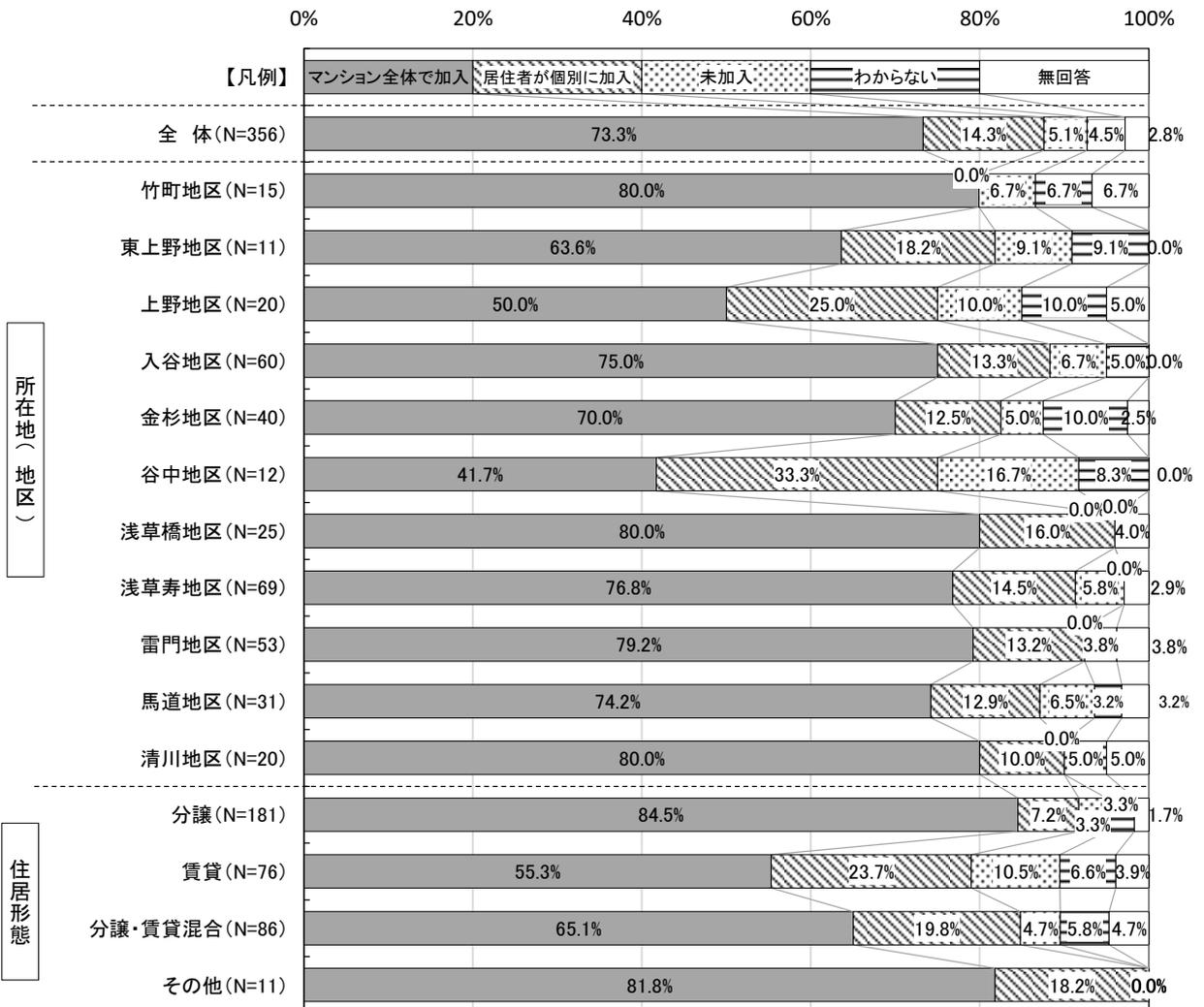
	全体	マンション全体で加入	居住者が個別に加入	未加入	わからない	無回答
上段: 実数(件)	356	261	51	18	16	10
下段: 割合(%)	100.0	73.3	14.3	5.1	4.5	2.8



■地区別・住居形態からの傾向及び特徴（町会加入状況）

全体では「マンション全体で加入」が73.3%となっている中、地区別にみると「居住者が個別に加入」の割合が、上野地区では25.0%、谷中地区では33.3%と他地区に比べて高い。

住居形態別では、分譲では「マンション全体で加入」が84.5%となっている一方、賃貸では「居住者が個別に加入」が23.7%と比較的高い割合となっている。

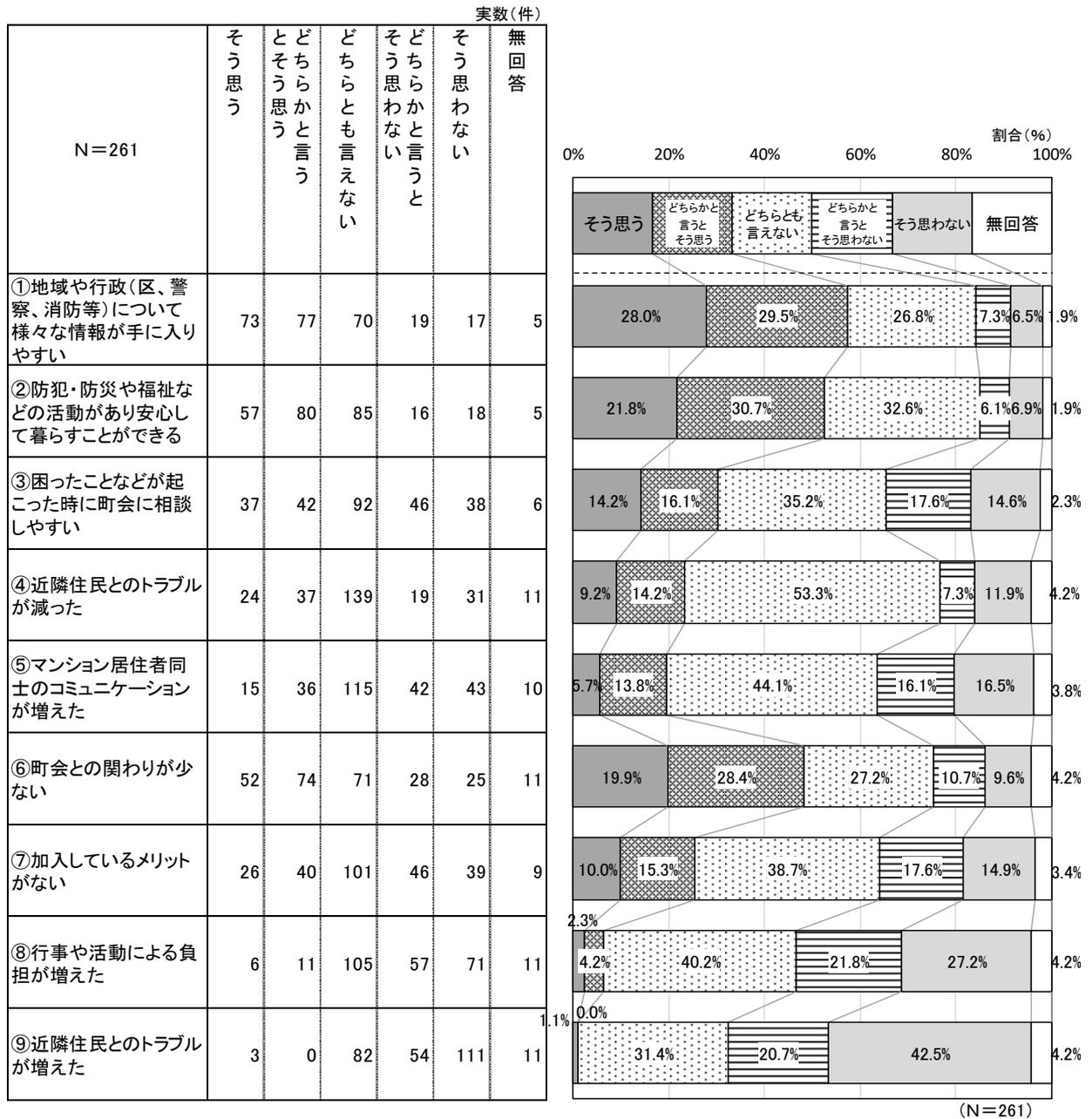


※Q1-2で「①マンション全体で加入」と回答した方に伺います。

Q1-3 町会に加入しているなかで、どのように感じていますか。

「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」を合わせた『そう思う傾向にある回答』としては、「地域や行政について様々な情報が手に入りやすい」「防犯・防災や福祉などの活動があり安心して暮らすことができる」「町会との関わりが少ない」が上位となっている。

一方、「そう思わない」の回答として最も多いのは「近隣住民とのトラブルが増えた」となった。

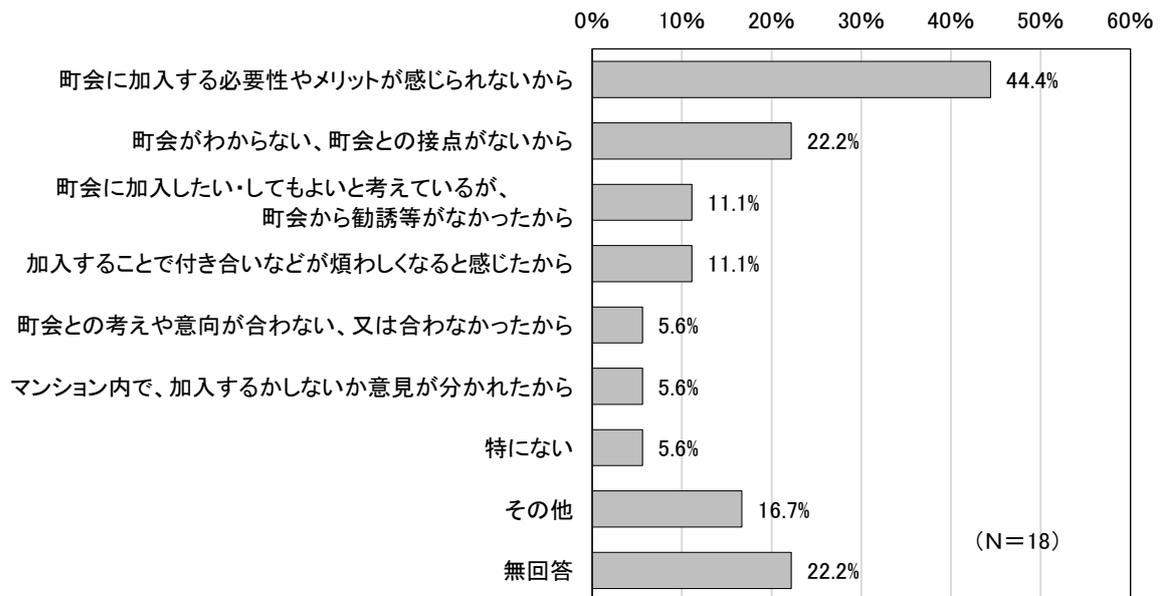


※Q1-2で「③未加入」を回答した方に伺います。

Q1-4 町会に加入していない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「町会に加入するメリットが感じられないから」が4割半ばと最も多い。次いで「町会がわからない、町会との接点がないから」があげられた。

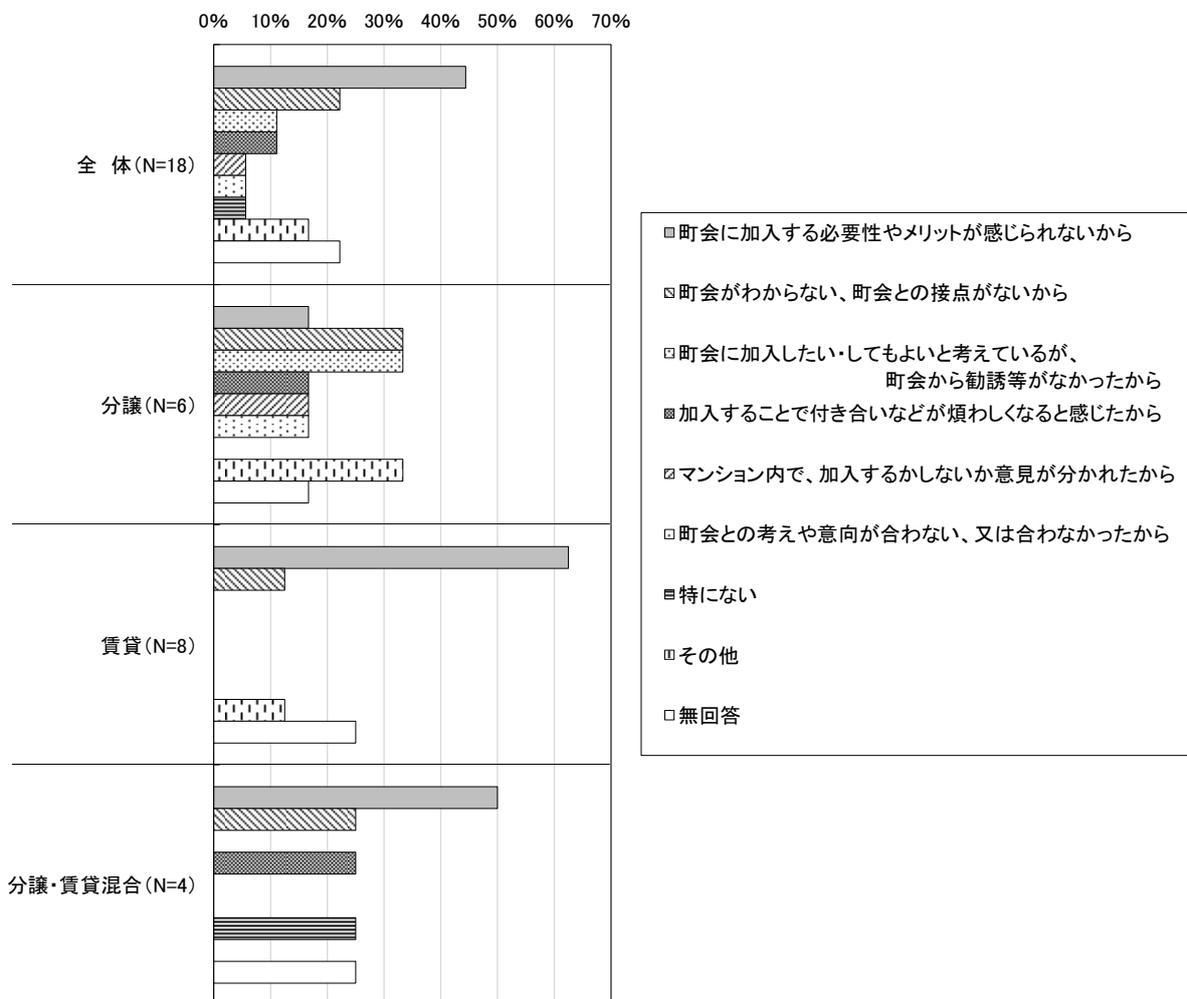
全体	町会に加入する必要性やメリットが感じられないから	町会がわからない、町会との接点がないから	町会に加入したい・してもよいと考えているが、町会から勧誘等がなかったから	町会に加入することで付き合いなどが煩わしくなると感じたから	町会との考えや意向が合わない、又は合わなかったから	マンション内で、加入するかしないか意見が分かれたから	特にない	その他	無回答	上段: 実数(件)	下段: 割合(%)
										18	8
	100.0	44.4	22.2	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	16.7	22.2	



■住居形態からの傾向及び特徴（未加入の理由）

サンプル数が少ない中であるが、分譲マンションでは、「町会がわからない、町会との接点がないから」「町会に加入したい・してもよいと考えているが、町会から勧誘等がなかったから」がともに 33.3%と全体と比べて高くなっている。

賃貸マンションでは、「町会に加入する必要性やメリットが感じられないから」が 62.5%と最も多くなっている。

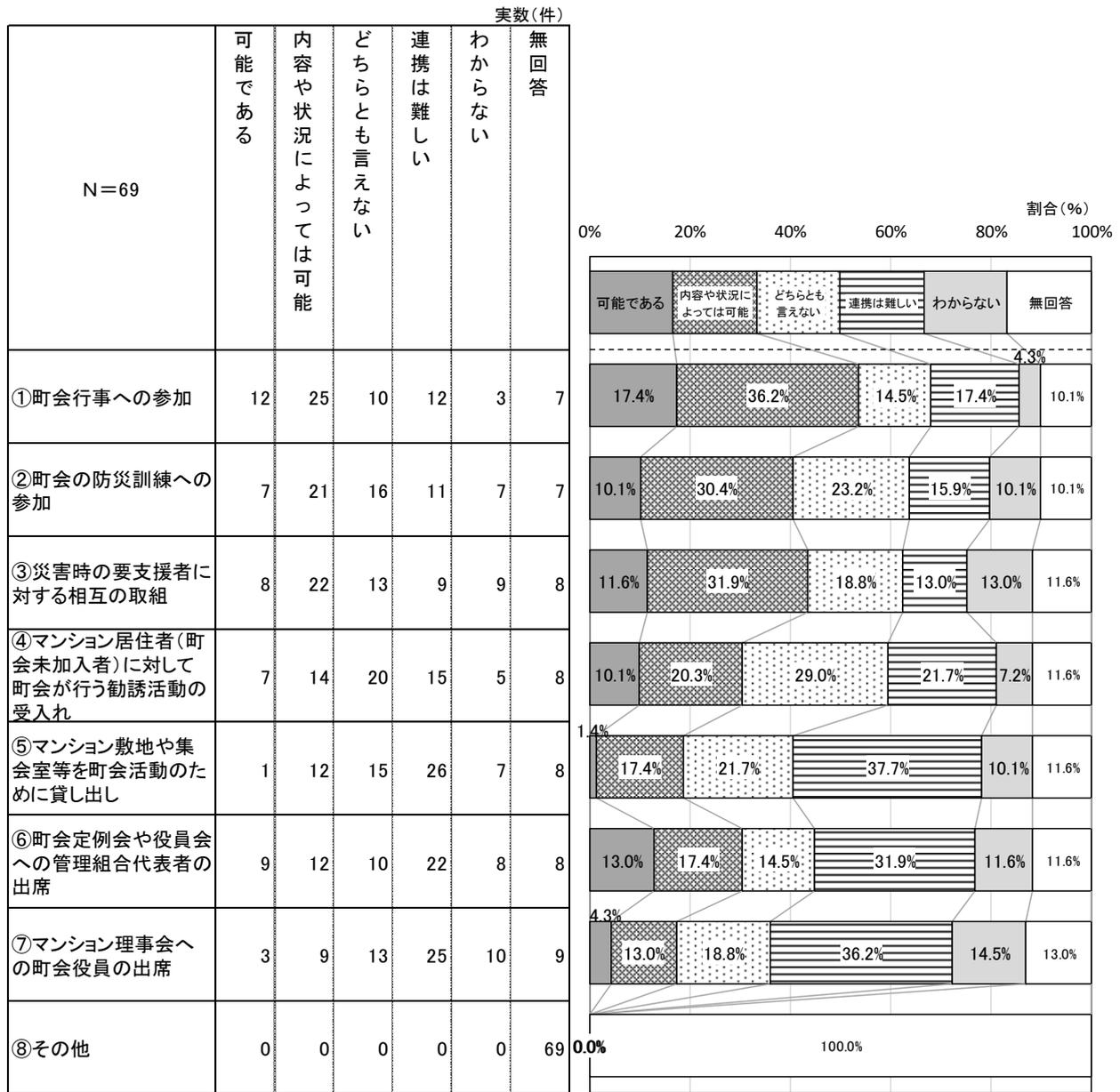


※Q1-2で「②居住者が個別に加入」及び「③未加入」を回答した方に伺います。

Q1-5 町会加入・未加入に関わらず、管理組合として、町会への協力は可能かどうか、それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。

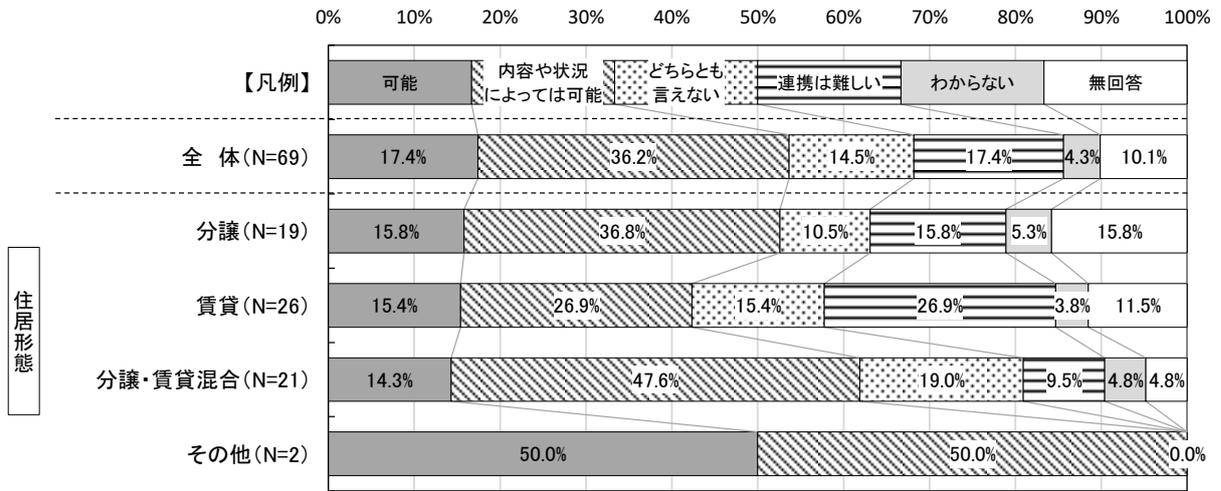
「可能である」と「内容や状況によっては可能」を合わせた『協力の可能性が高い』回答としては、「町会行事への参加」や「災害時の要支援者に対する相互の取り組み」が上位となっている。

一方、「連携は難しい」という回答としては、「マンション敷地や集会室等を町会活動の為に貸し出し」「マンション理事会への町会役員の出席」があげられている。

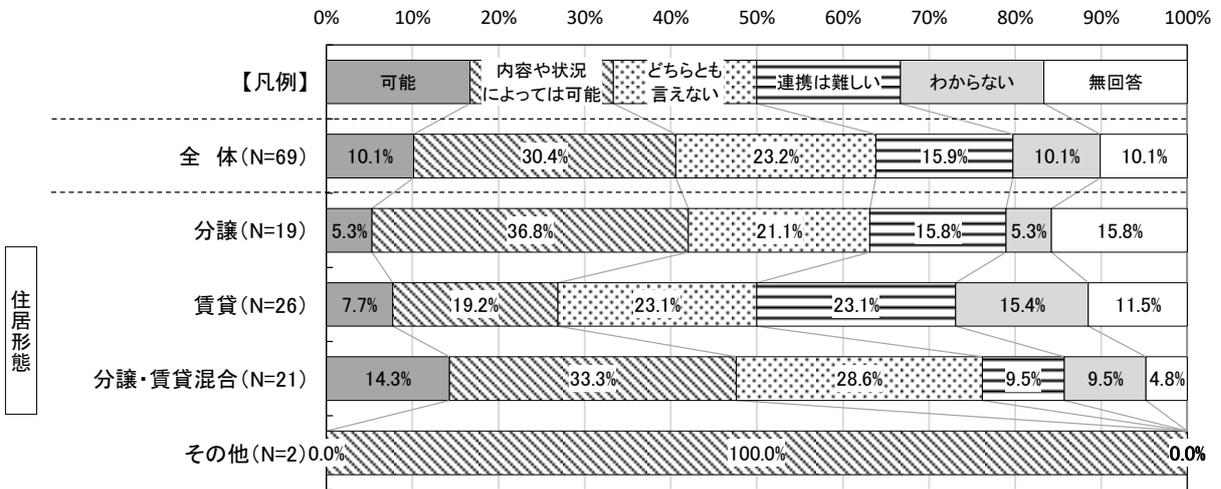


(N=69)

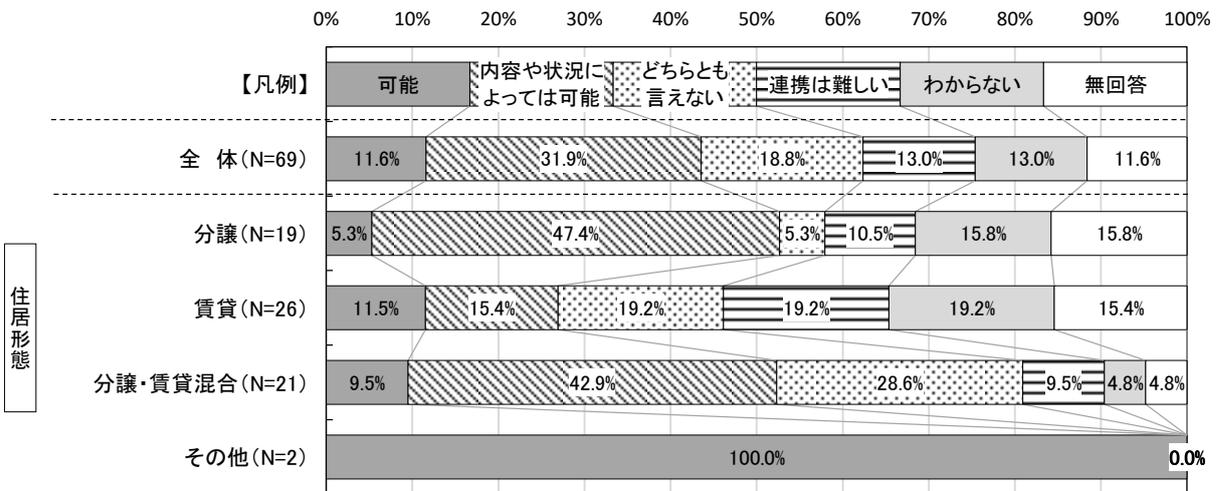
①町会行事への参加（町会への協力の可能性）



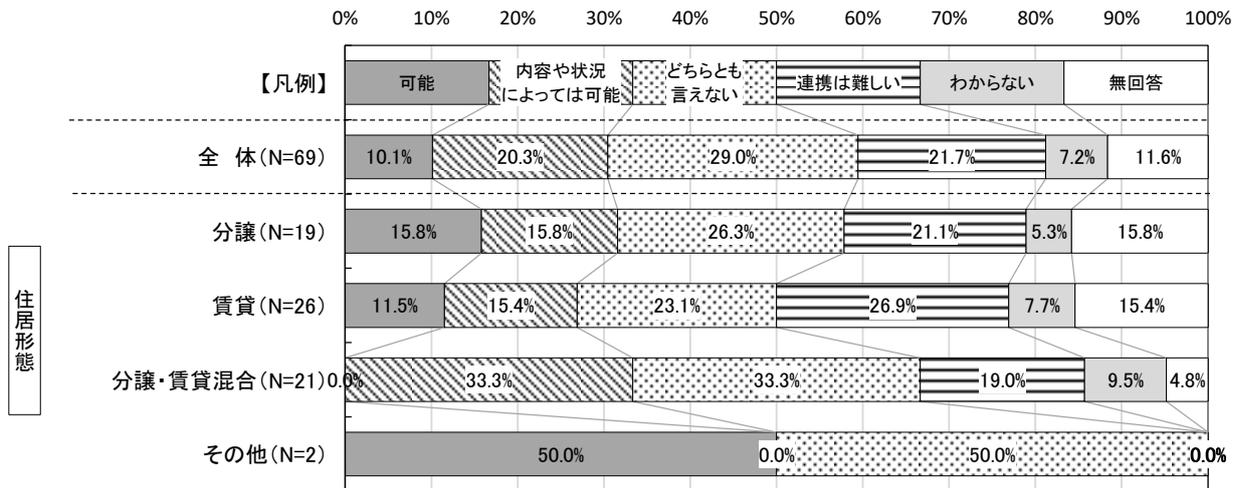
②町会の防災訓練への参加（町会への協力の可能性）



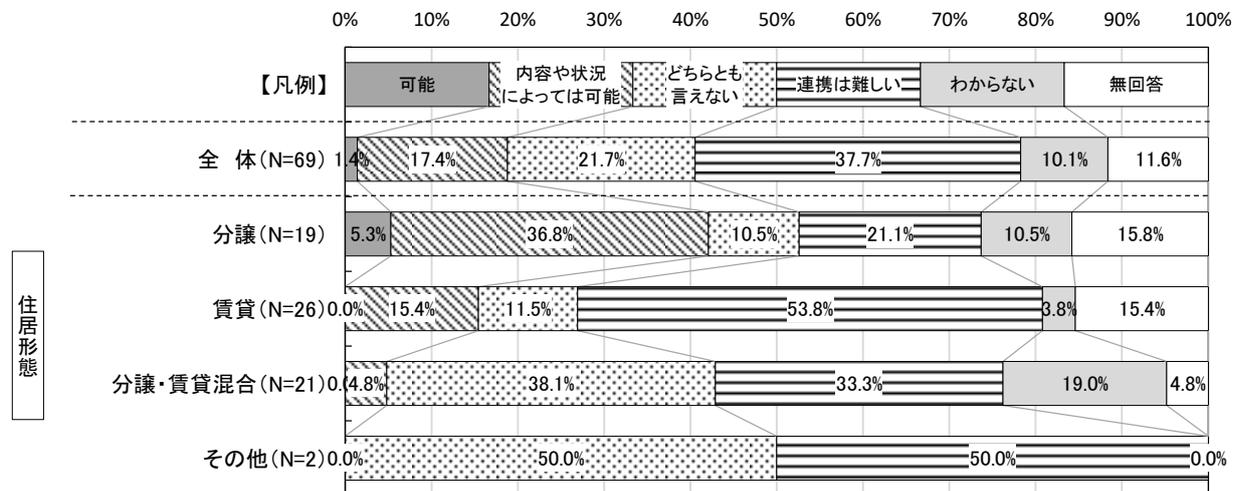
③災害時の要支援者に対する相互の取組（町会への協力の可能性）



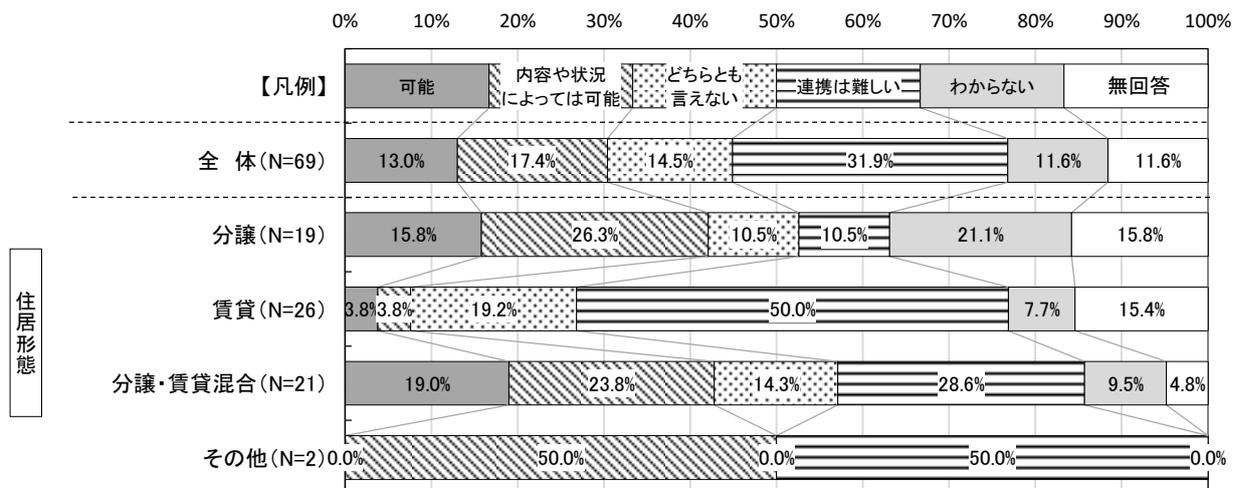
④ マンション居住者（町会未加入者）に対して町会が行う勧誘活動の受入れ（町会への協力の可能性）



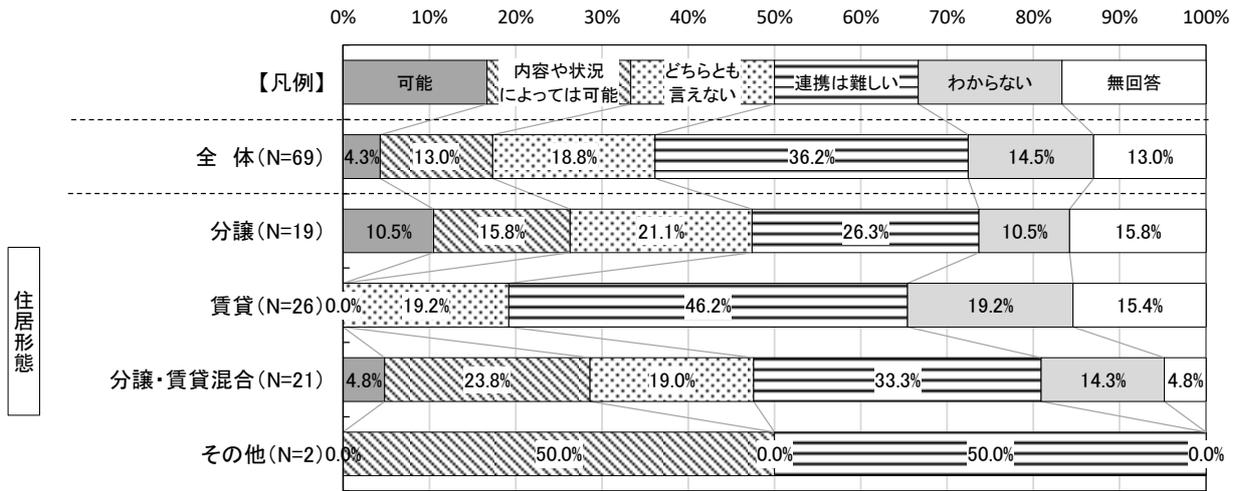
⑤ マンション敷地や集会室等を町会活動のために貸し出し（町会への協力の可能性）



⑥ 町会定例会や役員会への管理組合代表者の出席（町会への協力の可能性）



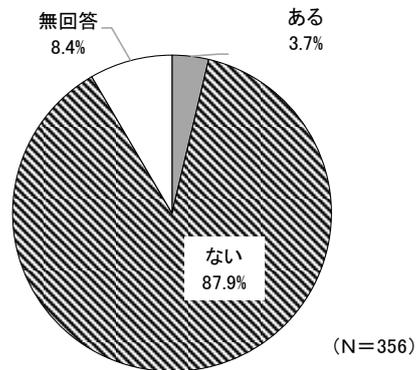
⑦マンション理事会への町会役員の出席（町会への協力の可能性）



※町会への加入・未加入に関わらず、すべての方に伺います。
 Q1-6 あなたのマンションでは、地域の町会に所属せず、マンション単独で一つの町会を組織して活動することを検討したことがありますか。

「ない」が9割近くとなっている。

	上段: 実数(件)			無回答
	ある	ない		
全体	13	313	30	
	3.7	87.9	8.4	



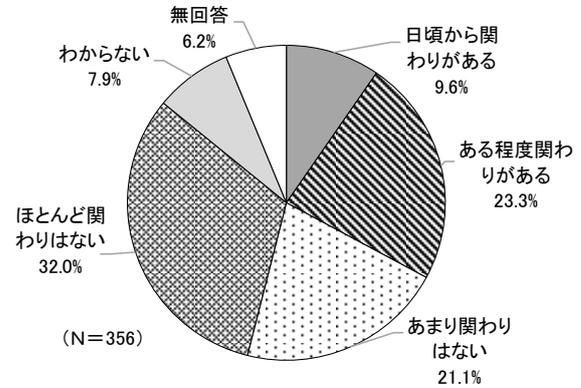
2 町会との関わりについて

(1) 町会との関わり度合い

Q2-1 管理組合と町会との関わりはどのくらいありますか。(1つだけ)

「ほとんど関わりが無い」と「あまり関わりが無い」を合わせた『関わりがない傾向にある回答』が5割を超えた。

全体	日頃から関わりがある	ある程度関わりがある	あまり関わりはない	ほとんど関わりはない	上段:実数(件)		下段:割合(%)	
					わからない	無回答	わからない	無回答
356	34	83	75	114	28	22	7.9	6.2
100.0	9.6	23.3	21.1	32.0	7.9	6.2	7.9	6.2



■地区別・住居形態・町会役員の有無・町会加入状況からの傾向及び特徴（管理組合と町会との関わり度合い）

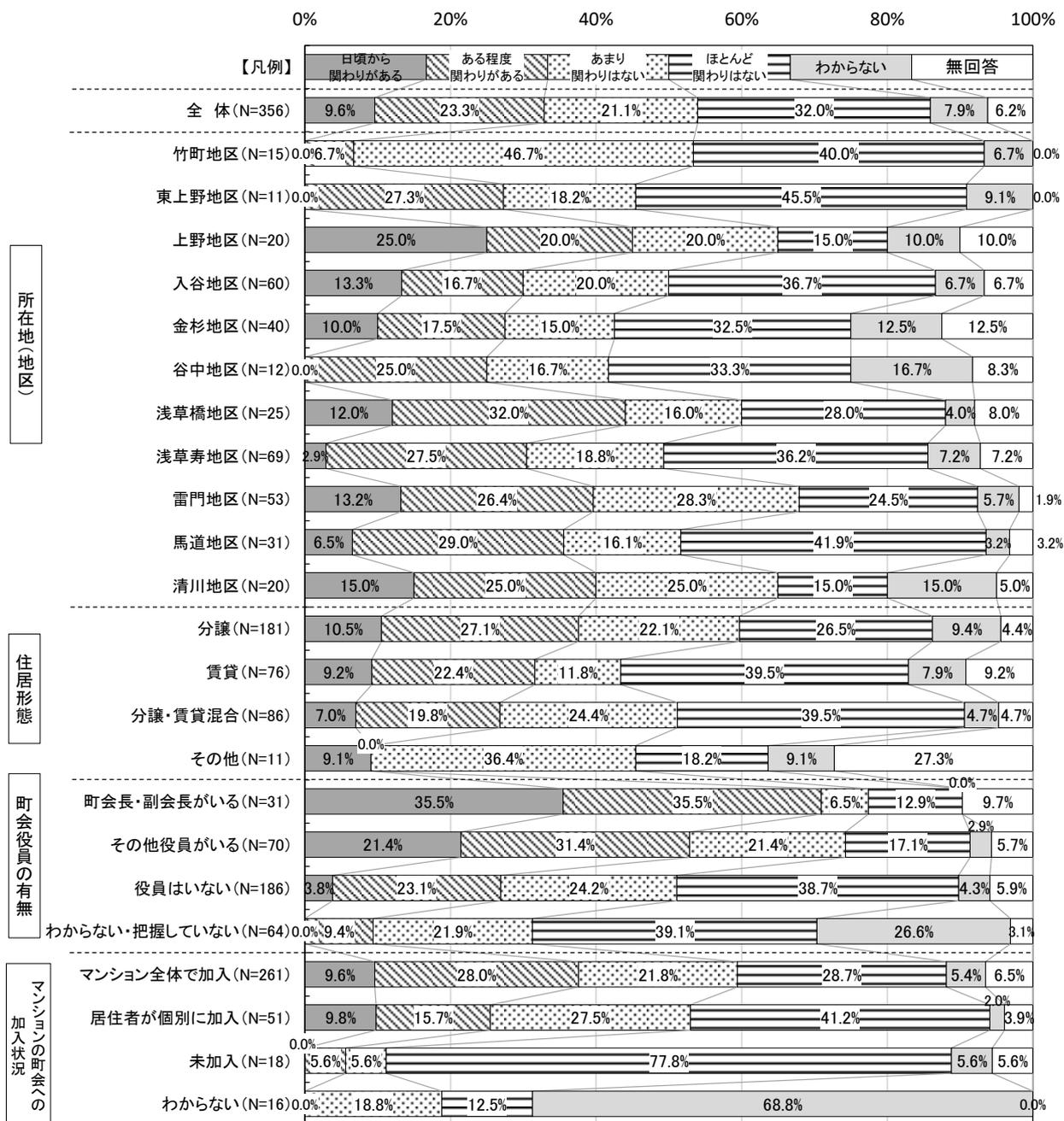
地区別では、関わりがある（「日頃から関わりがある」と「ある程度関わりがある」の合計）地区は、上野地区 45.0%、浅草橋 44.0%、清川地区 40.0%が上位となっている。

関わりがない（「あまり関わりはない」「ほとんど関わりはない」の合計）地区は、竹町地区 86.7%、東上野地区 63.7%、馬道地区 58.0%となっている。

住居形態では、分譲マンションは町会との関わりがある程度あるが、賃貸や分譲・賃貸混合では4割が「ほとんど関わりはない」と回答している。

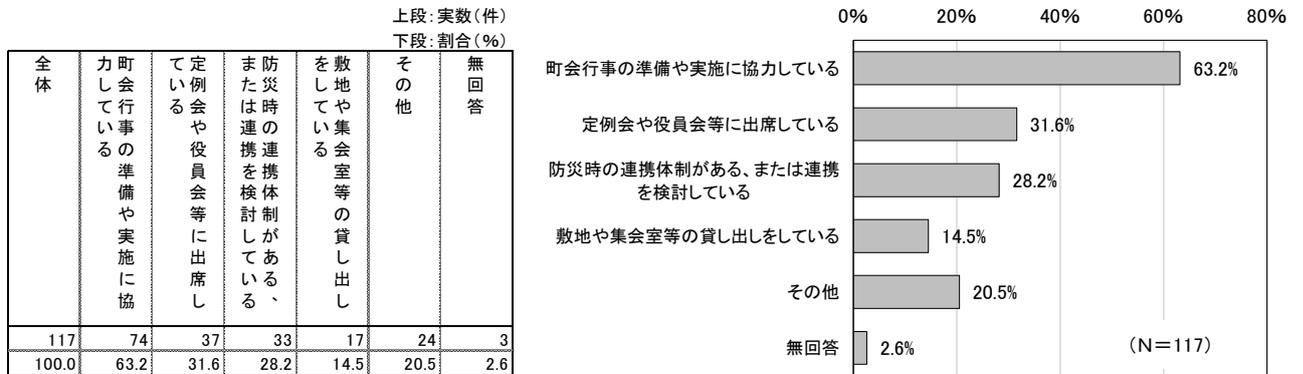
町会長や役員がいるマンションでは、町会との関わり度合いは深い。

全体で町会に加入しているマンションでは、関わりがある（「日頃から関わりがある」と「ある程度関わりがある」の合計）と回答した割合は 37.6%、関わりがない（「あまり関わりはない」「ほとんど関わりはない」の合計）と回答した割合は 50.5%と、関わりがない方が上回っている。



※Q2-1で「①日頃から関わりがある」または「②ある程度関わりがある」を回答した方に伺います。
 Q2-2 どのような関わりをされていますか。(当てはまるもの全てに○)

「町会行事の準備や実施に協力している」が6割を超え最も多い。



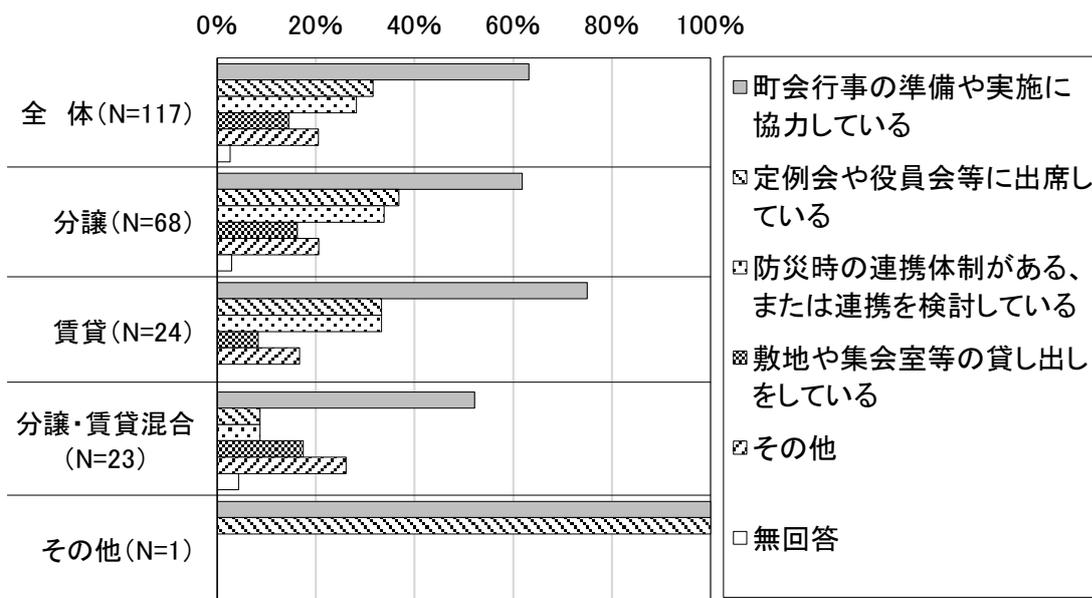
【「その他」の主な回答】

- ・ 町会会館の借用
- ・ 資源回収、ゴミ収集の管理・協力
- ・ 区報・チラシ等の配布、回覧板等の掲示

■住居形態からの傾向及び特徴（管理組合の町会との関わり方）

分譲マンションは全体の傾向と同様であるが、賃貸マンションでは、「町会行事の準備や実施に協力している」が75.0%と高くなっている。

【住居形態別】

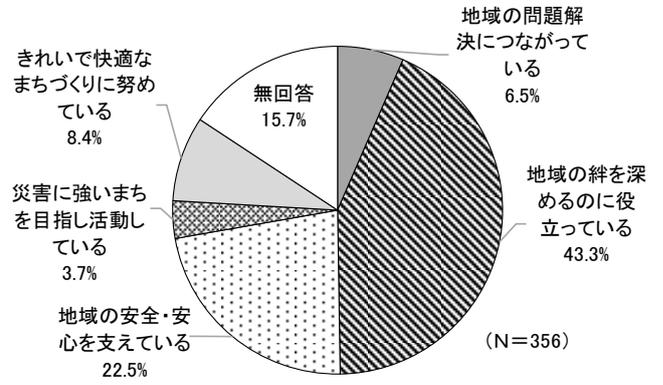


(2) 町会のイメージ

※町会との関わりの有り無しに関わらず、すべての方に伺います。
 Q2-3 町会について、あなたのイメージに近いものをお選びください。(1つだけ)

「地域の絆を深めるのに役立っている」が4割を超え最も多い。次いで、「地域の安全・安心を支えている」があげられている。

全体	な地 が域 っの 問 題 解 決 に つ	に地 役 立 っ て の 絆 を 深 め る の	支地 え域 ての 安 全 ・ 安 心 を	指災 し害 活に 動強 して ま ち を 目	づき く れ い に で 努 め 適 て な い ま ち	無 回 答	上段:実数(件)
							下段:割合(%)
356	23	154	80	13	30	56	
100.0	6.5	43.3	22.5	3.7	8.4	15.7	

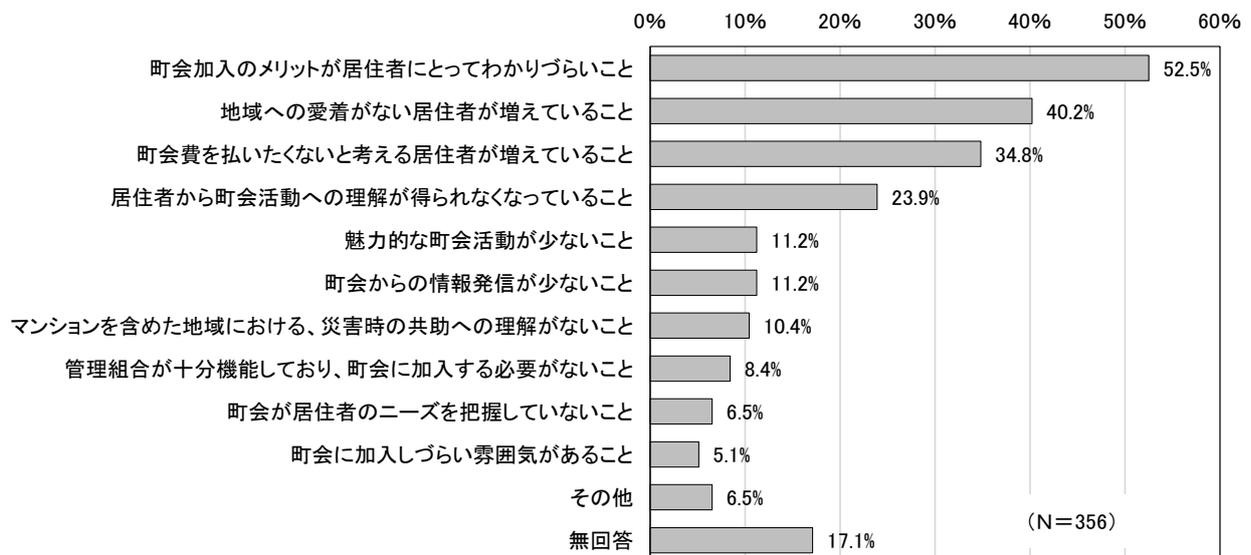


※町会との関わりの有り無しに関わらず、すべての方に伺います。

Q2-4 マンション居住者の町会に加入しない理由はどのようなことだと思いますか。それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。(3つまで)

「町会加入のメリットが居住者にとってわかりづらい」という回答が5割を超え最も多い。一方、「加入しづらい雰囲気があること」が最も少ない。

全体	住居者加入のメリットがわかりづらいこと	地域への愛着がない居住者が増えていること	町会費を払いたくないと考える居住者が増えていること	居住者から町会活動への理解が得られなくなっていること	魅力的な町会活動が少ないこと	町会からの情報発信が少ないこと	マンションを含めた地域における、災害時の共助への理解がないこと	管理組合が十分機能しており、町会に加入する必要がないこと	町会が居住者のニーズを把握していないこと	町会に加入しづらい雰囲気があること	その他	無回答	上段: 実数(件)	下段: 割合(%)
356	187	143	124	85	40	40	37	30	23	18	23	61		
100.0	52.5	40.2	34.8	23.9	11.2	11.2	10.4	8.4	6.5	5.1	6.5	17.1		



【「その他」の主な回答】

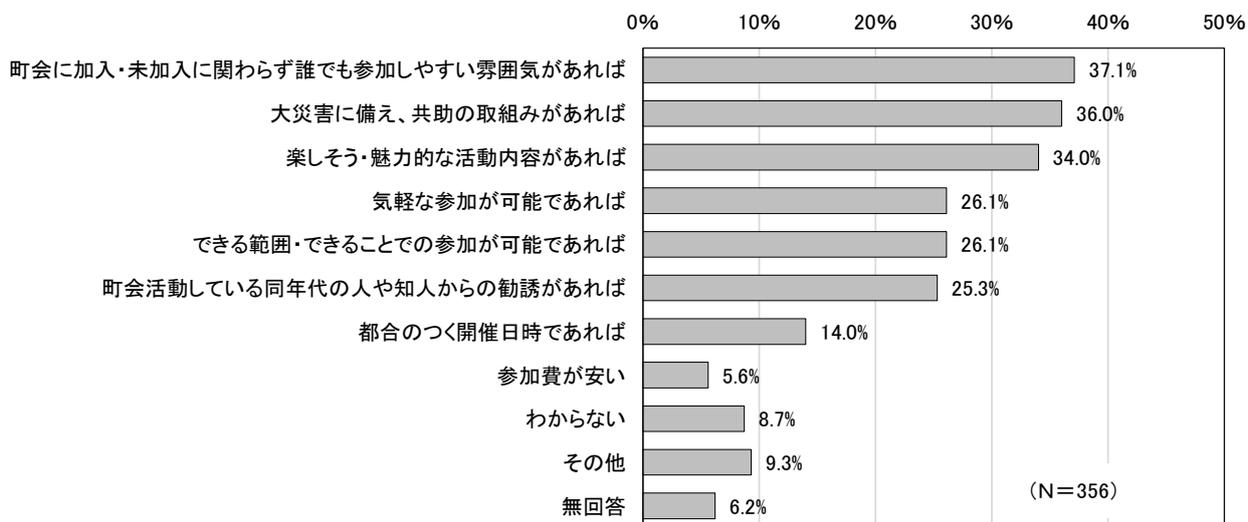
- ・ 町会の運営や人間関係への懸念があること
- ・ 若い人や単身者が多く定住しないこと

※町会との関わりの有り無しに関わらず、すべての方に伺います。

Q2-5 マンション居住者の町会活動への参加を増やすために、どのようなきっかけや条件があればいいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

「加入・未加入問わず、誰でも参加しやすい雰囲気があれば」、「大災害に備え、共助の取組みがあれば」、「楽しそう・魅力的な活動内容があれば」の回答が多い結果となった。

全体	やすい雰囲気があれば	町会に加入・未加入に関わらず誰でも参加しやすい	大災害に備え、共助の取組みがあれば	楽しそう・魅力的な活動内容があれば	気軽な参加が可能であれば	できる範囲・できることでの参加が可能であれば	町会活動している同年代の人や知人からの勧誘があれば	都合のつく開催日時であれば	参加費が安い	わからない	その他	無回答	上段:実数(件)		下段:割合(%)	
356	132	128	121	93	93	90	50	20	31	33	22					
100.0	37.1	36.0	34.0	26.1	26.1	25.3	14.0	5.6	8.7	9.3	6.2					



【「その他」の主な回答】

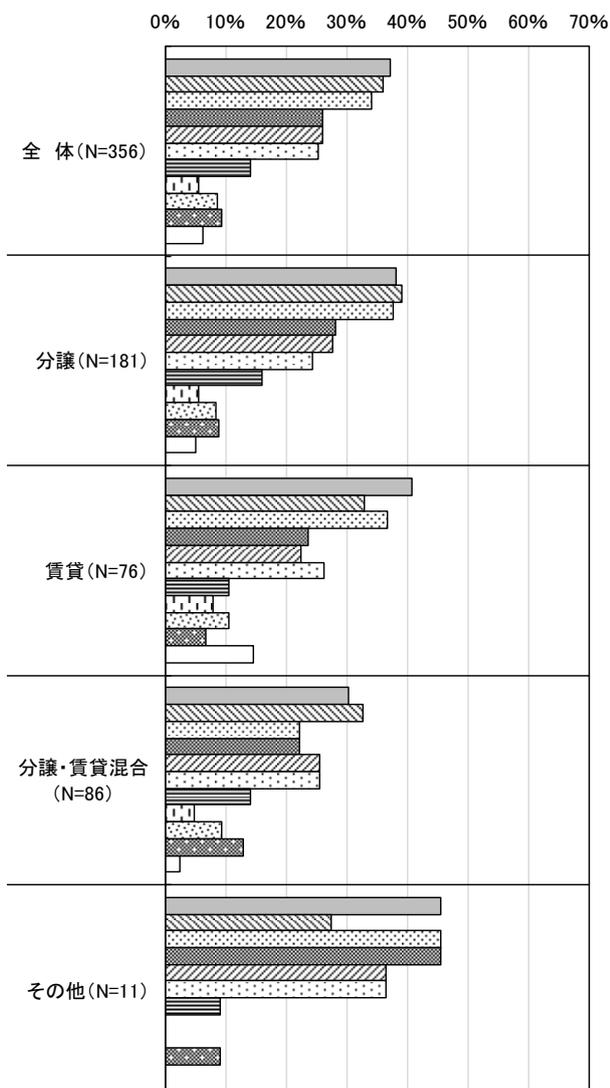
- ・ 町会の情報発信が十分にあれば
- ・ 住民ニーズの把握があれば

■住居形態・総戸数による傾向及び特徴（マンション居住者の町会活動への参加を増やすためのきっかけや条件）

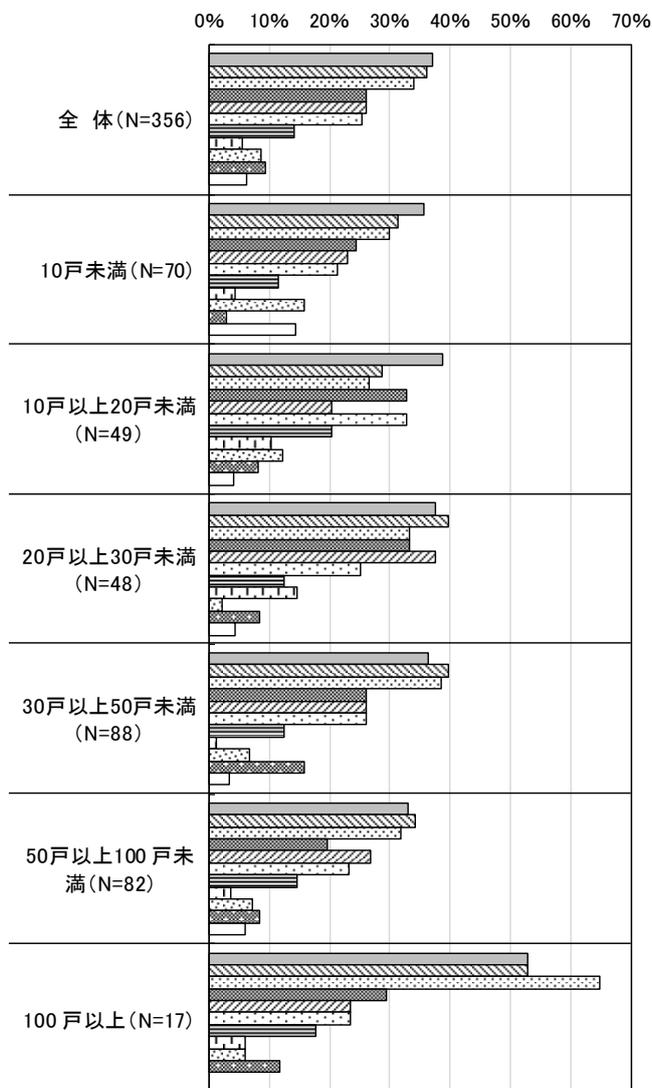
住居形態別にみると、分譲住宅では「大災害に備え、共助の取組みがあれば」が最も多く、賃貸住宅では「加入・未加入問わず、誰でも参加しやすい雰囲気があれば」が最も多くなっている。

総戸数別にみると、20戸以上100戸未満では「大災害に備え、共助の取組みがあれば」が最も多い。

【住居形態別】



【総戸数別】

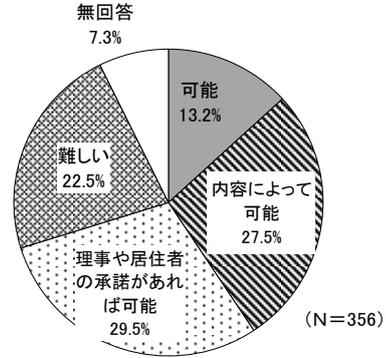


- 町会に加入・未加入に関わらず誰でも参加しやすい雰囲気があれば
- 大災害に備え、共助の取組みがあれば
- 楽しそう・魅力的な活動内容があれば
- 気軽な参加が可能であれば
- できる範囲・できることでの参加が可能であれば
- 町会活動している同年代の人や知人からの勧誘があれば
- 都合のつく開催日時であれば
- 参加費が安い
- わからない
- その他
- 無回答

※町会との関わりの有り無しに関わらず、すべての方に伺います。
 Q2-6 町会から「町会の役割」「町会の年間行事」等のPRや、声かけのため、マンション理事会等に参加希望の申し出があった場合、受入れは可能ですか。(1つだけ)

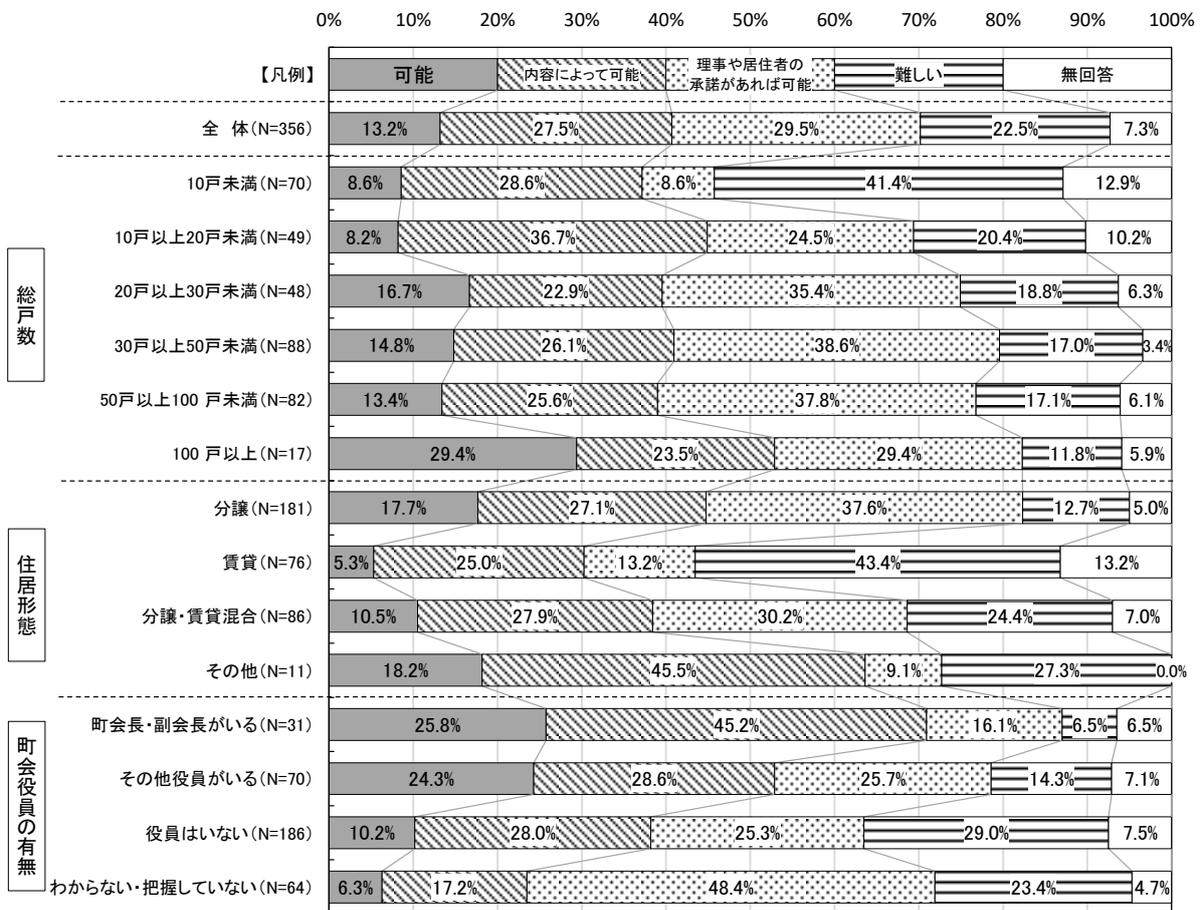
一定の条件を満たせば可能性がある(「内容によっては可能」と「理事や居住者の承諾があれば可能」の合計)が6割近くとなっている。

全体	可能	内容によっては可能	理事や居住者の承諾があれば可能	難しい	無回答
356	47	98	105	80	26
100.0	13.2	27.5	29.5	22.5	7.3



■総戸数・住居形態・町会役員の有無による傾向及び特徴(町会からのマンション理事会等への参加の受入れ可能性)

総戸数が10戸未満の戸数が少ないマンションや賃貸マンションでは、理事会等が行われていないことから、「難しい」が高い傾向となっている。一方、100戸以上のマンションでは、「可能」が29.4%となっている。

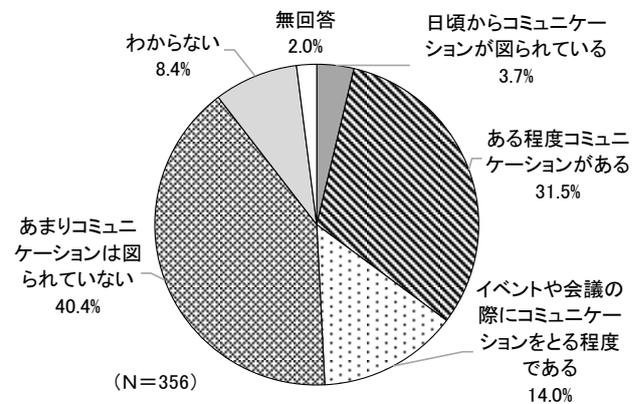


3 その他

Q3-1 マンション居住者同士のコミュニケーションが図られていると思いますか。

「あまりコミュニケーションは図られていない」という回答が4割と最も多い。

全体	「日頃からコミュニケーションが図られています」	「ある程度コミュニケーションがある」	「イベントや会議の際にコミュニケーションをとる程度である」	「イベントや会議の際にコミュニケーションをとる程度である」	「あまり図れていない」	「わからない」	上段:実数(件) 下段:割合(%)	
							無回答	
356	13	112	50	144	30	7	100.0	2.0
	3.7	31.5	14.0	40.4	8.4	2.0		

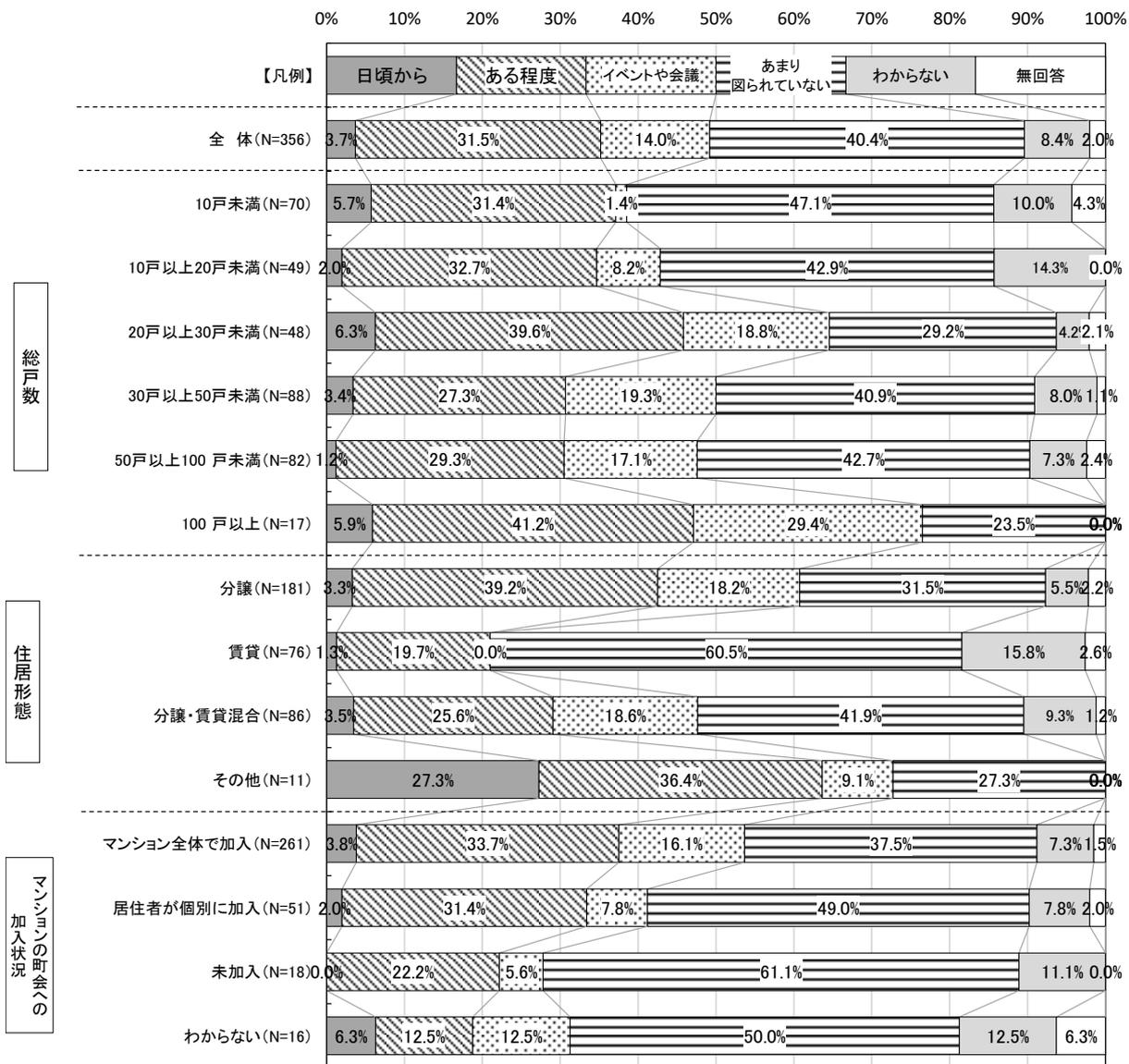


■総戸数・住居形態・町会加入状況による傾向及び特徴（マンション居住者同士のコミュニケーションの状況）

総戸数で見ると、戸数が増えるにつれて「イベントや会議」でコミュニケーションを図っている割合が高くなっている。

住居形態別で見ると、分譲住宅は「日頃から」「ある程度」を合わせた『コミュニケーションを日常的にとっている傾向』の割合が高い結果となった。賃貸住宅は「あまり図れていない」が最も多く、マンション居住者同士のコミュニケーションは住居形態による影響が大きいことが予測される。

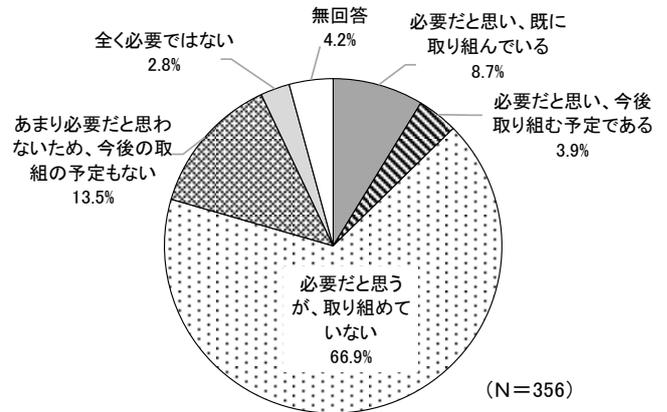
マンションの町会への加入状況で見ると、マンション全体で加入または居住者が個別に加入している『町会加入者がいるマンション居住者』は、「日頃から」「ある程度」を合わせた『コミュニケーションを日常的にとっている傾向』の割合が高い結果となった。一方、町会未加入または加入有無がわからないマンション居住者は、「あまり図れていない」「わからない」といった回答が多い結果となった。



Q3-2 町会との防災共助に関わる取組について教えてください。

「必要だと思うが、取り組めていない」という回答が7割近くと最も多い。

	上段:実数(件)						下段:割合(%)					
	取組んでいる、既に	必要だと思う、今後	必要だと思う、今後	必要だと思わないが、取	組まない、今後は取	組まない、今後は取	全く必要ではない	無回答				
全体	31	14	238	48	10	15	8.7	3.9	66.9	13.5	2.8	4.2

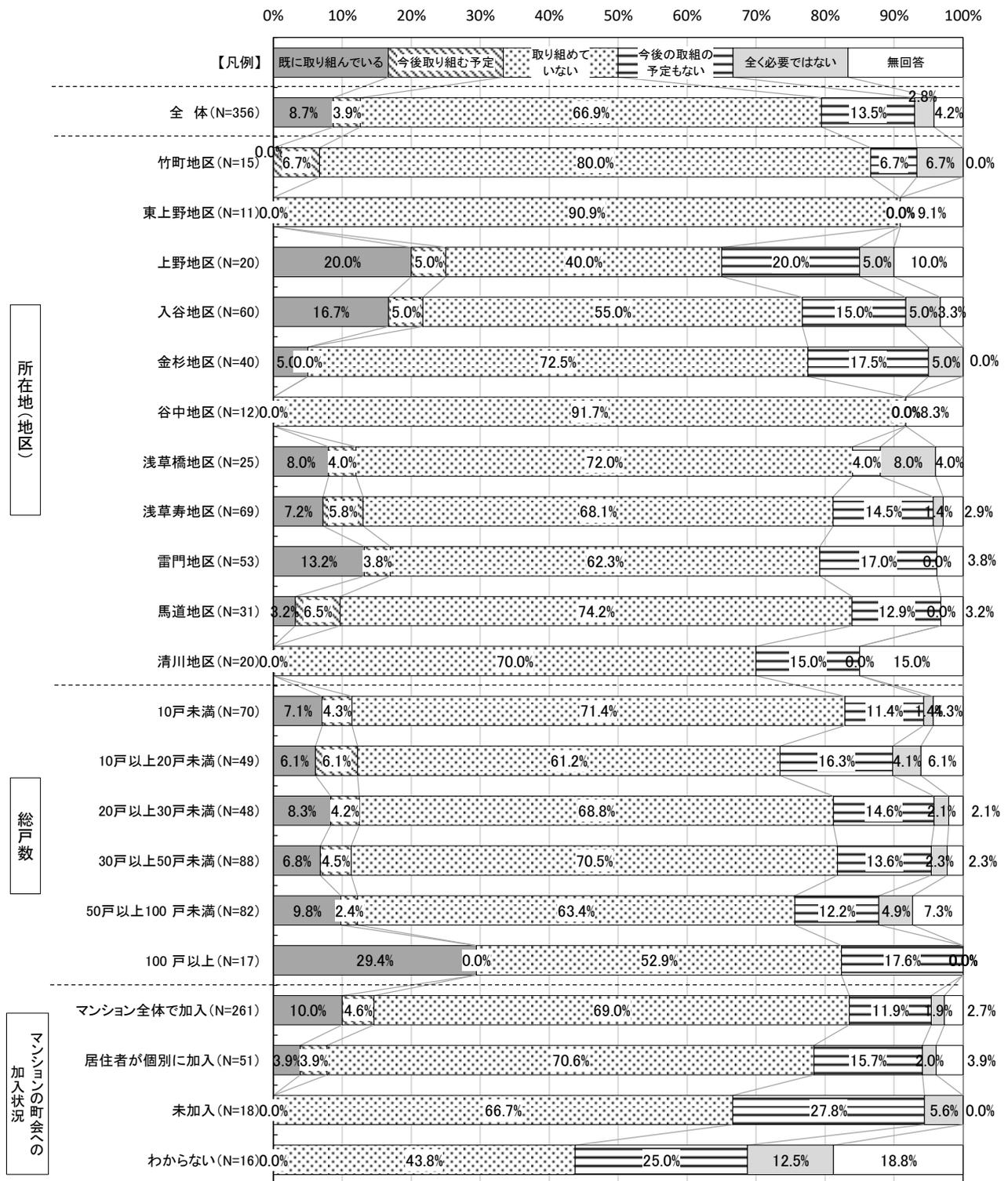


■地区別・総戸数・町会加入状況による傾向及び特徴（町会との防災共助に関わる取組）

地区別にみると、上野地区や入谷地区では「必要だと思ひ、既に取組んでいる」マンションがそれぞれ20.0%、16.7%となっている一方、「あまり必要だと思わないため、今後の取組の予定もない」も20.0%、15.0%とマンションによって取組状況や意識が異なっている。

100戸以上のマンションでは、「必要だと思ひ、既に取組んでいる」が29.4%となっている。

町会に未加入のマンションでも7割近くが「必要だと思ひ、取り組めていない」と回答している。



※Q3-2で「①必要だと思い、既に取り組んでいる」または「②必要だと思い、今後取り組む予定である」と回答した方にお聞きします。

Q3-3 具体的にどのような取組を実施していますか、実施する予定ですか。

※主な内容を抜粋

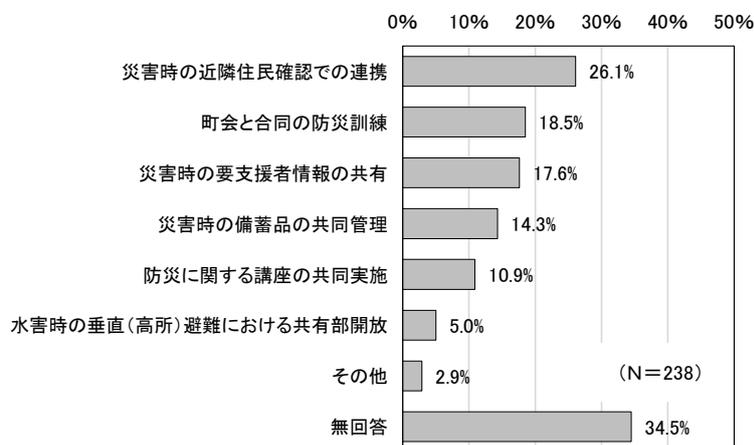
- ・ 防災訓練の共同開催
- ・ 町会主催の防災訓練への参加
- ・ 町会役員会での情報交換
- ・ 町会からの情報をマンション居住者へ伝達
- ・ イベント等日頃から積極的に住民の交流を実施

※Q3-2で「③必要だと思うが、取り組めていない」と回答した方にお聞きします。

Q3-4(1) 具体的にどのような取組が必要だと思いますか。

「災害時の近隣住民確認での連携」が最も多い。

全体	災害時の近隣住民確認での連携	町会と合同の防災訓練	災害時の要支援者情報の共有	災害時の備蓄品の共同管理	防災に関する講座の共同実施	水害時の垂直(高所)避難における共有部開放	その他	無回答	上段:実数(件)		下段:割合(%)						
238	62	44	42	34	26	12	7	82	100.0	26.1	18.5	17.6	14.3	10.9	5.0	2.9	34.5



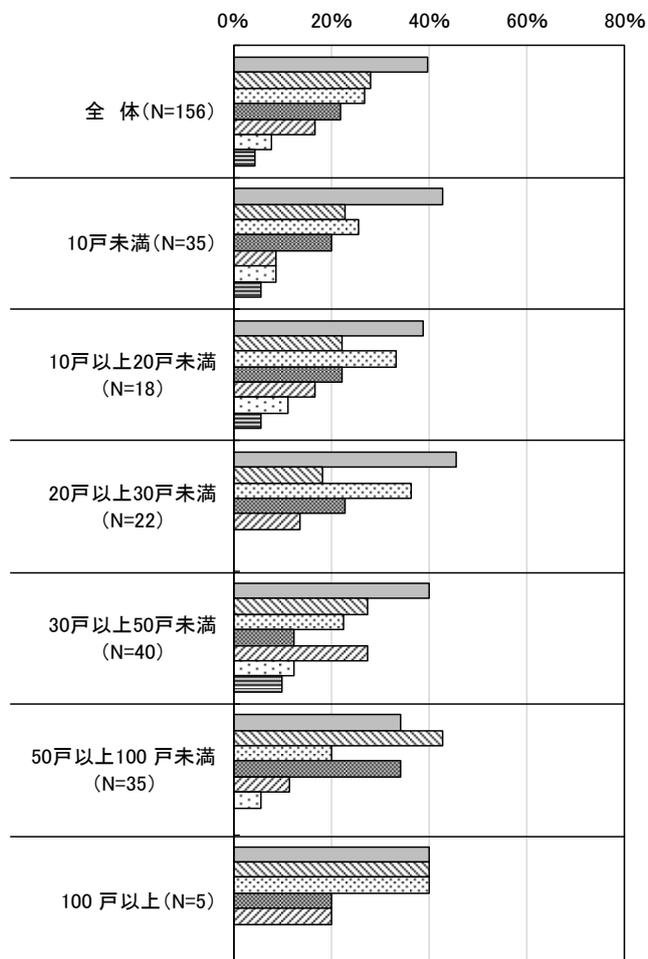
【「その他」の主な回答】

- ・ 災害時の町会の役割について情報共有

■ 総戸数・町会加入状況による傾向及び特徴（必要だと思う防災共助の取組）

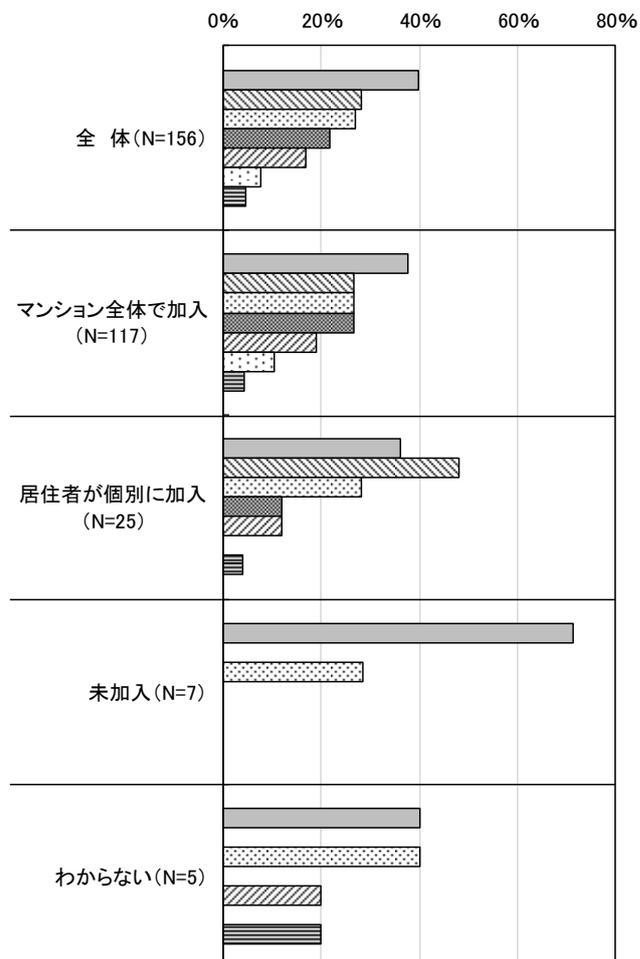
総戸数別にみると、50戸以上のマンションになると「町会と合同の防災訓練」が多くなっている。
町会加入有無別にみると、居住者が個別に加入しているマンションでは「町会と合同の防災訓練」が48.0%と最も多くなっている。

【総戸数別】



※グラフ作成上、N値は無回答を除いている。

【町会加入状況別】



※グラフ作成上、N値は無回答を除いている。

- 災害時の近隣住民確認での連携
- ▣ 町会と合同の防災訓練
- 災害時の要支援者情報の共有
- 災害時の備蓄品の共同管理
- ▣ 防災に関する講座の共同実施
- 水害時の垂直(高所)避難における共有部開放
- ▣ その他

※Q3-2で「③必要だと思うが、取り組めていない」と回答した方にお聞きします。

Q3-4(2) 取り組めていない理由や原因と考えられることをご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 町会活動とマンション居住者とのライフスタイルのずれ
- ・ マンション内の意思統一に時間がかかるため
- ・ 防災に対する意識が低いため
- ・ 町会との交流がほとんどなくきっかけがないため
- ・ 町会からの情報発信がないため

Q3-5 町会の運営及び活動に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

※主な内容を抜粋

- ・ 季節行事など色々開催していただき感謝している。災害時の対応についても進めてほしい。
- ・ 誰もが参加しやすいイベント等を企画し、顔見知りとなる努力を双方がやっていかないと、災害発生時の共助が出来ないと心配になる。
- ・ 町会活動記録や会計報告を分かりやすく詳細に公開してほしい。
- ・ 町会の運営・活動に関するパンフレット等があれば各居住者に配布しても良い。共生意識の啓蒙・高揚が必要なのもかもしれない。
- ・ マンション管理の諸問題で手一杯であり、町会活動まで手が回らない。
- ・ マンションも町会の中の住居のひとつとして、もっと積極的に会議の場や活動など意見交換できる場に誘っていただきたい。
- ・ 今までの活動を踏襲するばかりでなく、ニーズに合わせた活動をお願いしたい。
- ・ 昔からの顔なじみであれば町会の参加・活動もスムーズに行われると思うが、移住された方等にはもう少し町会に入る利点や意味をクリアにしていかないと加入は難しいと思う。

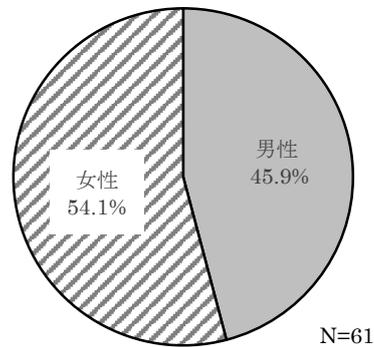
《参考資料》

(1) 外国人居住者向けの調査結果

1 回答者について

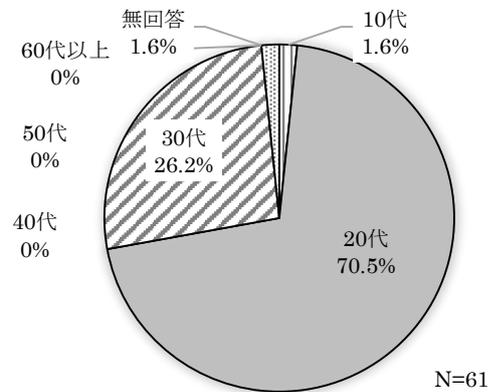
(1) 性別

上段: 実数(件)		
下段: 割合(%)		
全体	男性	女性
61	28	33
100.0	45.9	54.1



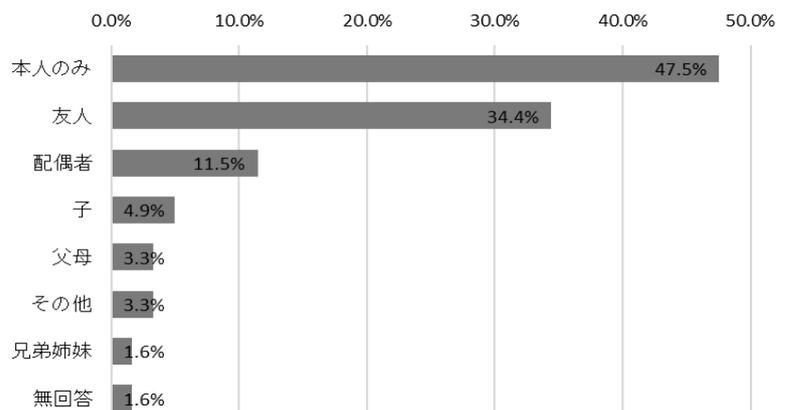
(2) 年齢

上段: 実数(件)							
下段: 割合(%)							
全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
61	1	43	16	0	0	0	1
100.0	1.6	70.5	26.2	0.0	0.0	0.0	1.6



(3) 家族構成

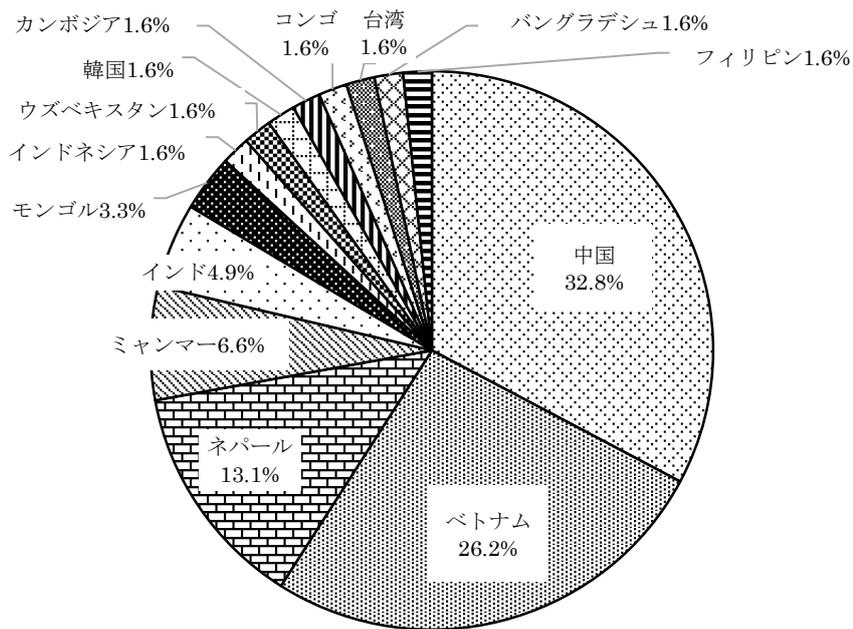
上段: 実数(件)								
下段: 割合(%)								
全体	本人のみ	友人	配偶者	子	父母	その他	兄弟姉妹	無回答
61	29	21	7	3	2	2	1	1
100.0	47.5	34.4	11.5	4.9	3.3	3.3	1.6	1.6



(4) 出身国

上段: 実数(件)
下段: 割合(%)

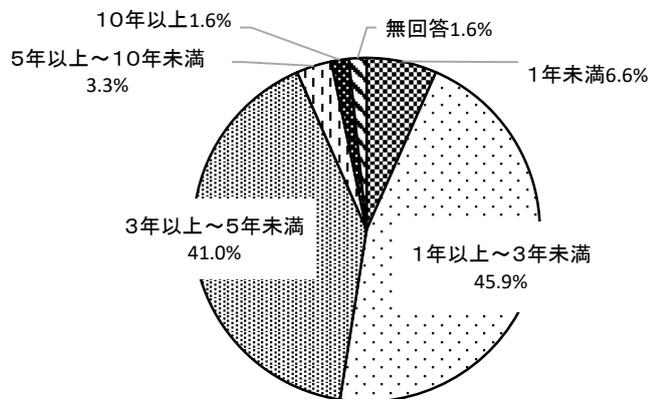
全体	中国	ベトナム	ネパール	ミャンマー	インド	モンゴル	インドネシア	ウズベキスタン	韓国	カンボジア	コンゴ	台湾	バングラデシュ	フィリピン
61	20	16	8	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
100.0	32.8	26.2	13.1	6.6	4.9	3.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6



(5) 在日年数

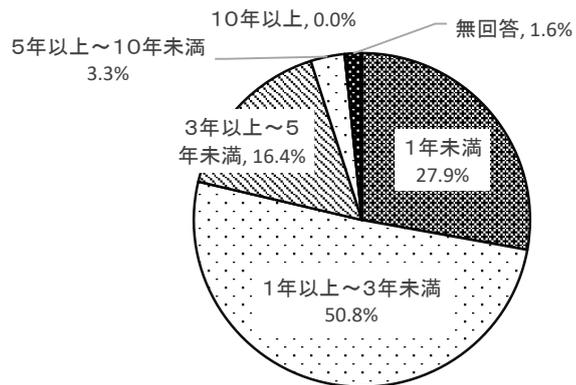
上段: 実数(件)
下段: 割合(%)

全体	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	無回答
61	4	28	25	2	1	1
100.0	6.6	45.9	41.0	3.3	1.6	1.6



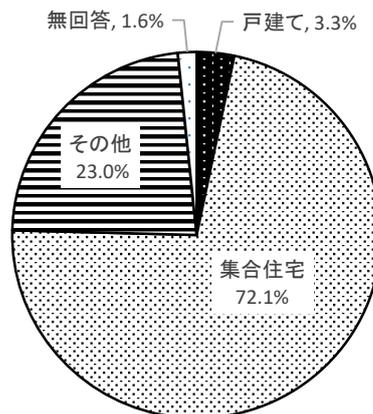
(6) 台東区での居住年数

	上段:実数(件)					
	下段:割合(%)					
全体	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	無回答
61	17	31	10	2	0	1
100.0	27.9	50.8	16.4	3.3	0.0	1.6



(7) 現在の居住の形態

	上段:実数(件)			
	下段:割合(%)			
全体	戸建て	集合住宅	その他	無回答
61	2	44	14	1
100.0	3.3	72.1	23.0	1.6



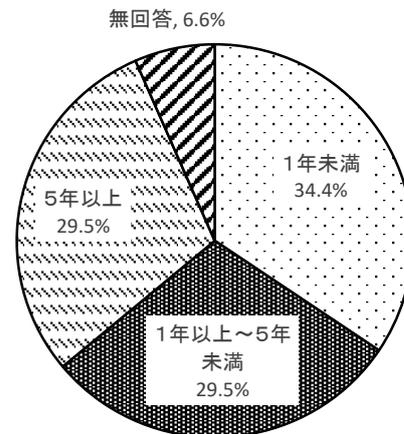
■「その他」の内容

- ・寮
- ・シェアハウス

(8) 現住宅の今後の居住年数予定

上段: 実数(件)
下段: 割合(%)

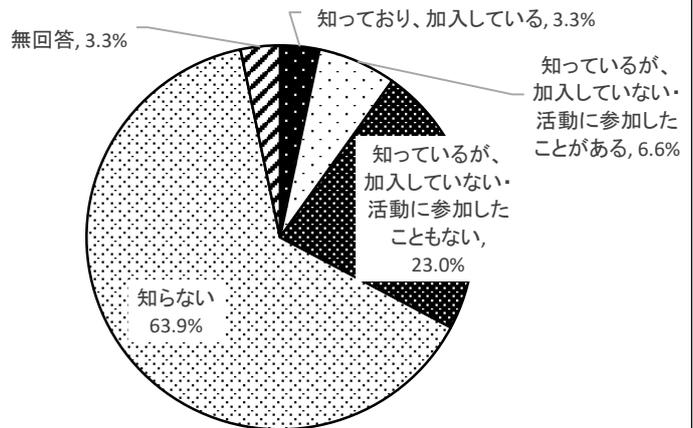
全体	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上	無回答
61	21	18	18	4
100.0	34.4	29.5	29.5	6.6



Q1-2 町会を知っていますか。

上段: 実数(件)
下段: 割合(%)

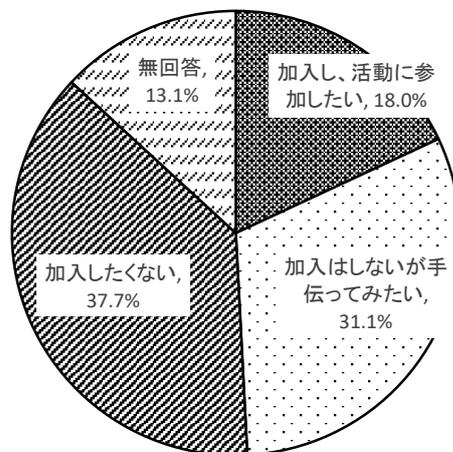
全体	知っており、加入している	知っているが、加入していない・活動に参加したことがある	知っているが、加入していない・活動に参加したことがない	知らない	無回答
61	2	4	14	39	4
100.0	3.3	6.6	23.0	63.9	6.6



Q1-3 町会に加入して、活動をしてみたいと思いますか。(1つだけ)

上段:実数(件)
下段:割合(%)

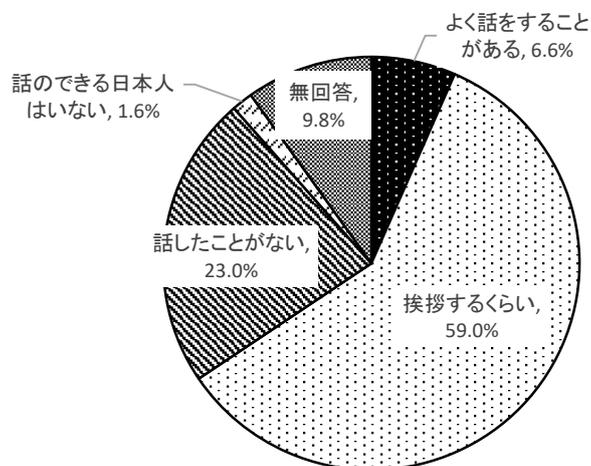
全体	加入し、活動に参加したい	加入はしませんが手伝ってみたい	加入したくない	無回答		
					実数(件)	割合(%)
61	11	19	23	8	100.0	18.0
						31.1
						37.7
						13.1



Q1-4 近所の人とどのくらい付き合いがありますか。(1つだけ)

上段:実数(件)
下段:割合(%)

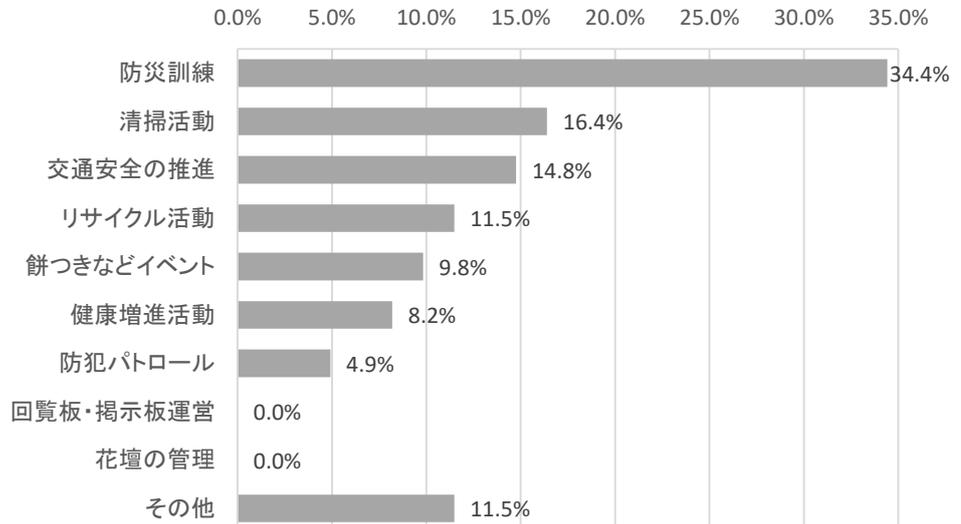
全体	よく話をするところがある	挨拶するくらい	話したことがない	話のできる日本人はいない	無回答		
						実数(件)	割合(%)
61	4	36	14	1	6	100.0	6.6
							59.0
							23.0
							1.6
							9.8



2 町会の加入について

Q2-1 知っている町会活動を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

全体	防災訓練	清掃活動	交通安全の推進	リサイクル活動	餅つきなどのイベント	健康増進活動	防犯パトロール	回覧板・掲示板運営	花壇の管理	その他	上段: 実数(件)	下段: 割合(%)
61	21	10	9	7	6	5	3	0	0	7	100.0	34.4



■「その他」の内容

- ・ 阿波踊り
- ・ 町会を知らない
- ・ 全部知らない

※Q1-2で「①知っており、加入している」と回答した方に伺います。

Q2-2 町会に加入して良かったことは何ですか。

- ・ いろいろなこと教えられて、生活の中で、困るとき、解決しやすいです。
- ・ 昨年のパーティー

Q2-3 町会に対するイメージは何ですか。

- ・ 中国にも町会に似ているものがある
- ・ 町会を離れていく人がいるし、役員をやりたくないから脱退する
- ・ いいと思います
- ・ 親切なお爺さん、お婆さんがいる組織
- ・ ルールとか多い
- ・ イメージできない
- ・ 町会の皆さんは優しくてお互いに手伝って団結している、良いイメージを与えてくれました
- ・ 官僚主義が多すぎる
- ・ 意識があると思います
- ・ 町会はその町の環境を守るシステムとイメージします
- ・ 私と関係がありません
- ・ みんなの生活をよくするためにつくられた会です
- ・ 人々が集まり、街の活動に参加する場所です

※Q1-2で「②知っているが、加入していない・活動に参加したところがある」または「③知っているが、加入していない・活動に参加したこともない」と回答した方に伺います。

Q2-4 町会を知っているが加入しない理由は何ですか。

- ・ 日本語はあまり話せない
- ・ 町会に加入してみたいが言葉の壁があり断念している
- ・ 町会活動の負担を負いたくない
- ・ 勉強が優先で時間がありません
- ・ どうやって加入するのか分かりません
- ・ 興味ないから
- ・ 学校変更就職でよく引っ越すから
- ・ 授業があるので参加できません
- ・ 留学生として朝早く出かけて学校に行き勉強とアルバイト毎日忙しく夜遅くまで家に帰りますから、町会に加入したいですが今ちょっと無理です、すみません！
- ・ 来年引っ越す予定です
- ・ チャンスがない、町会の具体的なこと知らないから、加入できません
- ・ 忙しくて時間がないから

台東区 町会活動に関する意識調査 (町 会 用)

【調査ご協力のお願ひ】

日頃より区政運営にご理解いただき、誠にありがとうございます。
町会は、行政と密接な協力関係の下で、地域の課題解決に重要な役割を果たしております。区ではこれまでも町会活性化や活動補助のために各種支援を行ってまいりましたが、町会加入や運営に関する課題についても把握しております。そこで、「町会活動に関する意識調査」を実施するため、町会の皆様をはじめ、無作為抽出した区民の皆様やマンション管理組合にも調査を行い、町会の現状を把握するとともに、今後の地域の活性化や協働のあり方について検討してまいります。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査は株式会社KITABAに委託して実施いたします。

令和元年10月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

所要時間 20分程度

- アンケートには、封筒のあて名(町会名)に誤りがないかご確認ください。
- 記入が済みましたら、お手数ですが **10月31日(木)までに** 区民事務所・分室・地区センターにご提出ください。
- ご不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

【実施主体】台東区 区民課 区民課
電話 03(5,246)1111 (代表) 内線2411・2412
【調査機関】株式会社KITABA 台東区意識調査担当
電話 03(6456)1033

1 あなた自身について

Q1-1 あなたご自身について伺います。現在の町会での役職、在職年数などについてお答えください。

(1) 性別	①男性 ②女性
(2) 年齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上
(3) 職業	①自営業 ②会社員 ③会社役員 ④公務員 ⑤アルバイト・パート ⑥家事 ⑦無職 ⑧学生 ⑨その他()
(4) 町会での役職	①会長 ②副会長 ③部長() ④副部長() ⑤班長 ⑥その他()
(5) 現役職の在職年数	①1年未満 ②1~3年未満 ③3~5年未満 ④5~10年未満 ⑤10~15年未満 ⑥15~20年未満 ⑦20年以上
(6) 地区	①竹町 ②東上野 ③上野 ④人谷 ⑤金杉 ⑥谷中 ⑦浅草橋 ⑧浅草寺 ⑨雷門 ⑩馬道 ⑪清川 地区

2 組織運営やコミュニケーション等について

Q2-1 あなたは、町会活動に1ヶ月あたりどのくらい従事していますか。町会に関わる所用品として30分以上従事する日数をお答えください。(1つだけ)

- ①5日未満 ②5~10日未満 ③10~15日未満 ④15~20日未満 ⑤20日以上

Q2-2 町会役員をやって、よかったですか。何ですか。(3つまで)

- ①地域に貢献できていると感じる
②人の役に立てる喜びが得られる
③知り合いが増え、困ったことなどが起こった時に相談しやすい
④地域や行政(区役所、警察、消防等)について様々な情報が手に入る
⑤防犯・防災や福祉等の活動があり安心して暮らすことができる
⑥特にない
⑦その他()

Q2-3 町会の仕事で、特に役員の負担が大きいと思う活動や事業はありますか。(3つまで)

- ①町会費等の基金 ②未加入者への加入案内 ③お祭りやイベント ④防災訓練
⑤子供や高齢者の見守り(バトロールを含む) ⑥リサイクルや清掃活動
⑦会議 ⑧行政からの依頼事項(回覧板、ポスター掲示、委員等)
⑨行政等への提出書類等作成 ⑩その他()

Q2-4 町会の役員同士(三役とその他役員、専門部間の役員同士など)の連絡やコミュニケーションの状況をどのように思いますか。(1つだけ)

- ①とても良好である ②良好である ③どちらとも言えない
④あまり良好ではない ⑤良好ではない

Q2-5 役員と役員以外の会員とのコミュニケーションは良好に図られていると思いますか。(1つだけ)

- ①とても良好である ②良好である ③どちらとも言えない
- ④あまり良好ではない ⑤良好ではない

Q2-6 町会の役員同士の連絡や情報伝達の主な手段は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①対面 ②固定電話 ③携帯電話 ④FAX ⑤メール
- ⑥SNS (LINEやFacebookなど) ⑦その他 ()

Q2-7 役員と役員以外の会員との連絡や情報伝達の主な手段は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①対面 ②固定電話 ③携帯電話 ④FAX ⑤メール
- ⑥SNS (LINEやFacebookなど) ⑦その他 ()

Q2-8 町会内の住民(非会員も含む)に対して、住民の要望や意見などの把握はしていますか。(1つだけ)

- ①積極的にやっている ②できるだけやっている ③あまり行っていない ④行っていない
- Q2-9へ →Q2-9へ →Q2-11へ →Q2-11へ

※02-8で「積極的にやっている」または「できるだけやっている」を回答した方に伺います。

Q2-9 どのような方法で、住民の要望や意見を把握していますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①会議等の中で聞き取り ②住民へのアンケート調査
- ③意見箱を設置 ④世帯の会話の中で
- ⑤ホームページやメールで受け付け ⑥その他 ()

※02-8で「積極的にやっている」または「できるだけやっている」を回答した方に伺います。

Q2-10 住民からの要望や課題から、町会の事業や活動の見直しなどを行っていますか。(1つだけ)

- ①要望等に合わせ見直しをしている
- ②要望等に合わせ見直しを検討している
- ③要望等に合わせた見直しが必要だと思うが、取り組んでいない
- ④見直しは行っていません

Q2-11 組織運営やコミュニケーション等に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

3 町会活動や広報活動について

Q3-1 あなたの町会の活動状況について、どのように思われますか。(1つだけ)

- ①大変活発である ②比較的活発である ③どちらとも言えない ④低迷している

Q3-2 下記の活動について、あなたの町会では実施していますか。「実施している場合」はA欄に、「実施していない場合」は「B欄」に、それぞれを選択肢からあらはまる部分に○を付けてください。

実施している場合は
こちらから選択してください

実施していない場合は
こちらから選択してください

活動内容	A 実施している場合 《今後の方向性について》		B 実施していない場合 《実施の必要性について》	
	今後さらに力を入れたい	現状維持で活動したい	やや必要性を感じている	あまり必要性を感じていない
①から⑤まで、それぞれについて記入してください				
①住民の親睦や交流を図るためのイベント	○			
②町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知			○	
③住民の親睦や交流を図るためのイベント				
④町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報				
⑤ホームページやSNS(LINE・Facebookなどを)を使った町会に関する情報発信				
⑥高齢者の見守り活動				
⑦子育て支援に関する活動				
⑧外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発など				
⑨防災パトロール				
⑩交通安全運動				
⑪防災訓練等、防災に関する活動				
⑫リサイクル、資源の集団回収				
⑬地域の若者活動				
⑭その他 ()				

Q3-3 町会活動や広報活動に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

4 未加入者の加入促進について

Q4-1 町会未加入者に対して、加入の呼びかけの取組について実施しているものはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している
- ②個別に訪問して勧誘している
- ③パンフレットなどをポストへ投函している
- ④集合住宅の建設段階で建築士等と覚書を交わすなど協力を依頼している → Q4-3へ
- ⑤マンションの管理会社や管理人を通して勧誘している
- ⑥加入促進に向けた委員会やチームを組織している
- ⑦その他 ()
- ⑧特に行っていない → Q4-2へ

※04-1で⑧特に行っていない回答した方に伺います。

Q4-2 未加入者への加入の呼びかけの取組をしていない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①未加入者と接点がない、どこにいないかわからないから
- ②加入のメリットなどをどのように説明したらいいかわからないから
- ③勧誘を行う人材が不足しているから
- ④学生など単身世帯が多く、加入に結びつかないと思うから
- ⑤相手の加入したいという気持ちがないと思うから
- ⑥現状の会員数が適当であると思うから
- ⑦大きなマンションでは戸数が多すぎて、戸別に呼びかけするのは大変だから
- ⑧単身者の多いマンションでは、居住者に会えないことが多いから
- ⑨その他 ()

Q4-3 いままでの加入の呼びかけの中で、加入を断られる理由として挙げられることは何ですか。(3つまで)

- ①人づきあいが面倒、億劫だから
- ②ほとんど家にいない、活動に参加できないから
- ③町会が何をしているかわからないから
- ④加入するメリットがないから
- ⑤会費を払いたくない、会費が高いから
- ⑥班長や役員になりたくないから
- ⑦加入は義務ではないから
- ⑧定住するつもりはない、引越しの予定があるから
- ⑨その他 ()

Q4-4 加入が進まない問題点は何だと思えますか。それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。

問題点	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
回答例①地域への愛着がない住民が増えている	1	2	3	4
①地域への愛着がない住民が増えている	1	2	3	4
②町会活動への理解が得られなくなっている	1	2	3	4
③町会加入のメリットが住民にとってわかりづらい	1	2	3	4
④町会加入に非協力的な集合住宅の管理組合が増えている	1	2	3	4
⑤町会費を払いたくないと考える住民が増えている	1	2	3	4
⑥加入しづらい雰囲気がある	1	2	3	4
⑦町会に、加入呼びかけの役割を担う人材が少ない	1	2	3	4
⑧魅力的な町会活動が少ない	1	2	3	4
⑨町会からの情報発信が少ない	1	2	3	4
⑩町会が住民の要望を把握できない	1	2	3	4
⑪その他 ()	1	2	3	4

Q4-5 町会加入の良さやメリットはどのようなことかあると思えますか。(3つまで)

- ①住みやすい地域づくりに貢献できる
- ②人の役に立てる喜びが得られる
- ③近隣で知り合いが増えるため、困ったことなどが起こった時に相談しやすい
- ④気楽に地域の催しに参加できる
- ⑤地域や行政について様々な情報が手に入る
- ⑥防犯や防災などの活動があり安心して暮らすことができる
- ⑦特になし ()
- ⑧その他 ()

Q4-6 未加入者の加入促進に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

5 集合住宅及び管理組合との連携について

Q5-1 マンション等の集合住宅の居住者に対してどう感じていますか。(3つまで)

- ①町会活動に積極的に参加・協力してもらい助かる
- ②災害時における共助に期待している
- ③同じ地域の住民として一緒に活動を盛り上げていきたい
- ④町会行事等に参加するが、町会に加入して欲しくない
- ⑤町会運営や活動に対して、意見や不満を言われる
- ⑥あまり関わりたくない
- ⑦その他 ()

Q5-2 マンション等の集合住宅との連携についてのどのような現状ですか。(1つだけ)

- ①マンション管理組合等と連携し、防災など地域の問題解決に向け積極的に取り組んでいる
- ②積極的とは言いえないが地域とマンション管理組合等の役員と連絡を取り合っている
- ③連携はできていないが、きっかけがあれば連携したい
- ④連携の必要性を感じない

Q5-3 以下のことについて、町会に未加入の管理組合との連携や受入が可能かどうか、それぞれあなただのお考えに近いものに○を付けてください。

項目	町会に未加入の管理組合との連携や受入
①から⑧まで、それぞれについて○を記入してください。その他がある場合は⑧の()内に記入のうえ、○を付けてください。	可能である
回答例①町会行事への参加	内容や状況によって可能
①町会行事への参加	1 2 3 4 5
②町会の防災訓練への参加	1 2 3 4 5
③災害時の要支援者に対する相互の取組	1 2 3 4 5
④マンション居住者(町会未加入者)への町会による勧誘活動の実施	1 2 3 4 5
⑤マンション敷地や集会室等を町会活動のために借用	1 2 3 4 5
⑥町会定例会や役員会への管理組合代表者の出席	1 2 3 4 5
⑦マンション理事会への町会役員の出席	1 2 3 4 5
⑧その他()	1 2 3 4 5

Q5-4 マンション等集合住宅との防災共助の取組についてどのように思われますか。(1つだけ)

- ①必要だと思いい、既に取組んでいる
- ②必要だと思いい、今後取組む予定である
- ③必要だと思いいが、今後取組む予定はない
- ④必要だと思いいわない

Q5-5 マンション等集合住宅及び管理組合との連携に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

6 外国人住民との関係について

Q6-1 町会区域内に外国人住民はどのくらいいますか。(1つだけ)

- ①多い →Q6-2へ
- ②やや多い →Q6-2へ
- ③少ない →Q6-3へ
- ④ほとんどいない →Q6-3へ

※Q6-1で「多い」または「やや多い」を回答した方に伺います。

Q6-2 町会に外国人住民は加入していますか。(1つだけ)

- ①概ね加入している
- ②半分程度は加入している
- ③あまり加入していない
- ④加入していない

Q6-3 町会区域内に居住する外国人に対して、町会加入の勧誘を行っていますか。(1つだけ)

- ①行っている
- ②行っていない
- ③わからない
- ④わからない

Q6-4 町会区域内に居住する外国人に開するトラブルはありましたか。(1つだけ)

- ①あった →Q6-5へ
- ②ない →Q6-6へ
- ③わからない →Q6-6へ
- ④わからない →Q6-6へ

※Q6-4で「あった」を回答した方に伺います。

Q6-5 具体的にどのようなトラブルがありましたか。

Q6-6 今後外国人住民が増えることが予想される中、町会で取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①日常的な挨拶や声かけ
- ②日常生活のルールやマナーの啓発
- ③町会行事などへの誘い・交流
- ④多言語での資料による町会への協力や勧誘
- ⑤外国人住民の要望や意識の把握
- ⑥お互いの国の文化的な交流事業の開催
- ⑦特に必要ない
- ⑧その他()

Q6-7 外国人住民との関係に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

7 町会運営に関する問題点について

Q7-1 町会区域内の地域の問題点はありますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①近所に町会未加入者が多く、災害時の共助が充分に行えない可能性があること
- ②住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること
- ③一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること
- ④子育て世帯への支援や理解が充分でないこと
- ⑤生活ルールやマナー等について、外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと
- ⑥ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと
- ⑦ひったくりや空き巣、振り込み詐欺等の犯罪被害が減らないこと
- ⑧迷惑駐車・駐輪が多いこと
- ⑨その他()
- ⑩特にない

Q7-2 Q7-1でOを付けたものうち、特に重要だと思える問題は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

特に重要だと思える問題 (右欄にQ7-1の番号を書いてください)		
-------------------------------------	--	--

Q7-3 町会の運営に関する問題点はありますか。(当てはまるもの全てにO)

- ①町会への関心が低い住民が多い
- ②個人情報保護の観点から名簿作成が難しい
- ③未加入世帯が多い
- ④マンション居住者の加入率が低い
- ⑤町会行事への住民参加者が少ない
- ⑥現役世代の町会活動への従事者が少ない
- ⑦役員の高齢化や役員のなり手が不足している
- ⑧町会の仕事が増え、役員の負担が大き
- ⑨財政難、活動資金が不足している
- ⑩活動場所(町会会館など)が不足している
- ⑪その他()
- ⑫特にな

Q7-4 Q7-3でOを付けたものうち、特に重要だと思える問題は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

特に重要だと思える問題 (右欄にQ7-3の番号を書いてください)		
-------------------------------------	--	--

Q7-5 町会が抱える問題の解決のために町会としてどのような取組が必要だと思いますか。(当てはまるもの全てにO)

- ①町会の意義や活動を知ってもらうための情報発信(会報誌やパンフレット、ポスターなど)
- ②SNS(LINE・Facebookなど)やホームページなど新しい方法での情報発信
- ③町会活動を知ってもらう機会を提供(未加入者でも参加できるイベントの開催など)
- ④未加入者への積極的な勧誘活動
- ⑤アンケート等による町会会員のニーズ把握
- ⑥ニーズを捉えた魅力ある事業やイベントの実施
- ⑦町会の行事や会議に参加しやすい時間や曜日の設定
- ⑧部分的な参加でもよいなど、町会の事業に参加しやすい柔軟な対応
- ⑨町会の事業や組織体制の見直し、改善(事業の縮小、役員複数制の導入、引継ぎマニュアルの整備など)
- ⑩町会を支える法人会員の協力
- ⑪近隣町会やNPOなど他の団体との連携
- ⑫マンション等集合住宅及び管理組合との連携した事業の実施
- ⑬加入手続きや会費の納入の簡素化(WEBや口座振込など)
- ⑭その他()

Q7-6 町会運営の問題点に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

--

8 町会の規模や再編等について

Q8-1 町会を運営する上で、現在の町会区域の世帯数についてどのようになっていますか。(1つだけ)

- ①多い
- ②適切である
- ③少ない
- ④わからない

Q8-2 町会の再編(合併や分割)についてどのようにお考えですか。(1つだけ)

- ①再編の必要はない
- ②今後、再編が必要になってくる
- ③再編が必要である
- ④わからない

Q8-3 町会の規模や再編等に関して、感じていることやご意見等ございましたら、ご記入ください。

--

9 行政への要望について

Q9-1 行政(区役所、警察、消防等)からの依頼業務で特に負担になっているものは何ですか。(2つまで)

- ①回覧依頼
- ②行事や会議への出席依頼
- ③国勢調査員依頼
- ④各種委員の推薦依頼
- ⑤各種ボランティアの依頼
- ⑥募金依頼
- ⑦その他()
- ⑧特にな

Q9-2 町会への加入促進や町会活動の活性化のために、行政にどのような施策や支援を期待しますか。(当てはまるもの全てにO)

- ①転入者への町会活動の周知や町会への加入方法の案内(町会担当者の連絡先提供など)
- ②町会の広報活動(会報やニュースレターなど)広報物の制作、ホームページの作成やインターネット活用)に対する支援
- ③外国人に対する町会についての啓蒙や加入促進策の提供
- ④町会ニュースの翻訳や会合への通訳派遣など外国人住民とのコミュニケーションの支援
- ⑤町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート
- ⑥町会の問題を解決するためのアドバイザー派遣
- ⑦他の町会の成功事例等の集約・公表
- ⑧活動場所(会議、イベント等)確保のための支援
- ⑨町会への加入を促進するための条例を制定
- ⑩行政からの依頼事項の負担軽減
- ⑪特に必要な
- ⑫その他()

Q9-3 Q9-2でOを付けたものうち、特に期待する施策や支援は何ですか。上記から3つまで当てはまる番号をご記入ください。

--	--	--

特に期待する施策・支援
(右欄にQ9-2の番号を書いてください)

Q9-4 今後、町会活性化に向けた事業（活動支援や講演、情報交換の機会など）があった場合、参加したいと思いますか。（1つだけ）

- | | |
|---------------|---------|
| ①ぜひ参加したいへ | |
| ②内容によって参加したい | → Q9-5へ |
| ③時間等が合えば参加したい | |
| ④あまり参加したくない | |
| ⑤参加するつもりはない | → Q9-6へ |
| ⑥わからない | |

※Q9-4で「ぜひ参加したい」「内容によって参加したい」「時間等が合えば参加したい」と回答した方に伺います。

Q9-5 どのような内容の事業に参加したいですか。希望する事業やアイデアなどを記入ください。

Q9-6 行政への要望やご意見等ございましたら、ご記入ください。

10 その他

Q10-1 その他、町会の運営及び活動に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
封筒に入れ、管轄の区民事務所・分室・地区センターまでご提出ください。

台東区 町会活動に関する意識調査

(区 民 用)

【調査ご協力のおお願い】

日頃より区政運営にご理解いただき、誠にありがとうございます。
この度では、「町会活動に関する意識調査」を実施することとなりました。
町会は、長年にわたって住民相互の連絡、生活環境の整備など、良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行ってまいりました。

しかし、近年になり、世帯構成や居住形態の変化など様々な要因により、町会では会員の減少や役員の高齢化などの課題に直面しています。町会は、行政と密接な協力関係の下で、地域の安全安心や交流行事等多くの事業を実施しております。また、災害発生時には町会を中心とした地域コミュニティの共助・互助機能が重要であり、その強化が求められております。

本調査を通じて町会や区民の皆様の声をお聴きして、今後の地域の活性化や協働のあり方について検討してまいります。ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいませうようお願い申し上げます。本調査は令和元年8月1日時点の住民記録の情報を基に、世帯主の方へ無作為に送付しております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。
なお、本調査は株式会社KITABA に委託して実施いたします。

令和元年10月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

所要時間 15分程度

- アンケートは、「書面回答」または「WEB回答」のいずれかでお願いいたします。
- 「書面回答」の場合は、本紙にご記入の上、同封の返信用封筒に入れて下記の回答期限（当日消印有効）までにご返送ください。
- 「WEB回答」の場合は、以下のURLにアクセスし、「ID番号」を入力の上、下記の回答期限までにご回答ください。



◇WEBアンケートURL:

<http://kaijo-choukaishiki.jp/survey/index.php/489268>

※右記QRコードで読み取り、表示されたアンケート画面でご回答ください。

◇ID番号

WEB 回答用 ID 番号シール

このID番号は「書面回答」と「WEB回答」で重複がないよう確認するためのものです。個人が特定されることはありません。なお、重複回答は無効となる場合がございますので予めご了承ください。

4. 回答期限

10月25日(金)

- ご不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

【実施主体】台東区 区民部 区民課
 電話 03 (5246) 1111 (代表) 内線2411・2412
 【調査機関】株式会社KITABA 台東区意識調査担当
 電話 03 (6456) 1033

■地区一覧表
ご自身のお住まいの地区を確認する際にご覧ください。

町名 郵便番号	町名 郵便番号	丁目	番	号	地区	
あ	台東 112-0001	1丁目	全		竹町地区	
		2丁目	全		西草野地区	
	浅草 112-0002	1丁目	1~12番		西門地区	
		2丁目	13~27番		西門地区	
	西草野 112-0003	1丁目	28~35番		西門地区	
		2丁目	36~39番		西門地区	
	い	西草野 112-0004	1丁目	10~25番		西門地区
			2丁目	26~39番		西門地区
		入谷 112-0005	1丁目	1~28番		東草野地区
			2丁目	29~33番		上野地区
上野 112-0006		1丁目	34~39番		入谷地区	
		2丁目	40~49番		入谷地区	
う		上野 112-0007	1丁目	1~9番		竹町地区
			2丁目	10番~20番		上野地区
		上野公園 112-0008	1丁目	1~9番		竹町地区
			2丁目	10番		上野地区
	上野桜木 112-0009	1丁目	11~14番		竹町地区	
		2丁目	15~27番		上野地区	
	え	上野公園 112-0010	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14~15番		入谷地区
		上野桜木 112-0011	1丁目	16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0012		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
お		上野松木 112-0013	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0014	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0015	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	か	上野松木 112-0016	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0017	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0018		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
き		上野松木 112-0019	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0020	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0021	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	こ	上野松木 112-0022	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0023	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0024		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
こ		上野松木 112-0025	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0026	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0027	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	し	上野松木 112-0028	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0029	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0030		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
ち		上野松木 112-0031	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0032	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0033	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	ち	上野松木 112-0034	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0035	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0036		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
て		上野松木 112-0037	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0038	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0039	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	て	上野松木 112-0040	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0041	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0042		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0043	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0044	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0045	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0046	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0047	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0048		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0049	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0050	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0051	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0052	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0053	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0054		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0055	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0056	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0057	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0058	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0059	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0060		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0061	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0062	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0063	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0064	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0065	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0066		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0067	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0068	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0069	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0070	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0071	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0072		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0073	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0074	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0075	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0076	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0077	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0078		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0079	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0080	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0081	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0082	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0083	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0084		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0085	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0086	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0087	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0088	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0089	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0090		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0091	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0092	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0093	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0094	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0095	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
上野松木 112-0096		1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
と		上野松木 112-0097	1丁目	1~13番		上野地区
			2丁目	14番		上野地区
		上野松木 112-0098	1丁目	15~16番		上野地区
			2丁目	17~22番		上野地区
	上野松木 112-0099	1丁目	23~25番		上野地区	
		2丁目	26~28番		上野地区	
	と	上野松木 112-0100	1丁目	1~		

1 あなた自身について

Q1-1 はじめに、ご自身について伺います。

(1) 国籍・性別	①外国籍ではない	②外国籍である	①男性	②女性
(2) 年齢 (2019年4月1日時点)	①20代	②30代	③40代	④50代 ⑤60代 ⑥70代 ⑦80代以上
(3) 職業	①自営業	②会社員	③会社役員	④公務員 ⑤アルバイト・パート ⑥家事 ⑦無職 ⑧その他 ()
(4) 現在の居住地域	町名 _____ 丁目 <回答例> 西淺草 2 / 月 地区 <回答例> 藍門 地区 I P2 の地区一覧をご確認の上、該当する地区名をお書きください。			
(5) 現在住んでいる住居の居住年数	①1年未満	②1年以上～3年未満	③3年以上～5年未満	④5年以上～10年未満 ⑤10年以上～15年未満 ⑥15年以上～20年未満 ⑦20年以上
(6) 立東区に住んでいる居住年数	①1年未満	②1年以上～3年未満	③3年以上～5年未満	④5年以上～10年未満 ⑤10年以上～15年未満 ⑥15年以上～20年未満 ⑦20年以上
(7) 現在の住居の形態	①戸建て (特家)	②戸建て (賃貸)	③集合住宅 (特家)	④集合住宅 (賃貸) ⑤その他 ()
(8) 本人から見た同居者 (当ではまるもの全てに○)	①同居者なし ②配偶者・パートナー ③父・母 ④祖父・祖母 ⑤子 (18歳未満) ⑥子 (18歳以上) ⑦孫 ⑧兄弟姉妹 ⑨義父・義母 ⑩友人 ⑪その他 ()			

Q1-2 現在お住まいの地域に愛着はありますか。

- ①ある ②少しある ③どちらともいえない ④あまりない ⑤ない
 (それぞれ回答の理由を教えてください)

Q1-3 あまたのご近所付き合いについて、あてはまるものをお選びください。(1つだけ)

- ①日頃から会話をする等、交流のある人が多くいる ②会話をする等、交流のある人は数人いる
 ③あいさつをする程度で、それ以上の交流はない ④付き合いはない

Q1-4 現在お住まいの地域で、心配だと思ったり問題と感じることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①近所に知り合いがおらず、災害時の共助などが不安なこと
 ②住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること
 ③一人暮らしなど支援が必要な高齢者が増えていること
 ④子育て世帯への支援や理解が得られにくいこと
 ⑤生活ルールやマナー等について、外国人住民とのコミュニケーションがうまく図れないこと
 ⑥ルールを守らないごみの出し方やポイ捨て等、地域の美化が保たれていないこと
 ⑦ひったくりや空き巣、振り込み詐欺等の犯罪被害が減少しないこと
 ⑧迷惑駐車・駐輪が多いこと ⑨その他 ()
 ⑩増えない

2 町会の加入について

Q2-1 あなたは現在のお住まいで町会に加入していますか。(1つだけ)

- ①加入している → Q2-2へ
 ②加入していたが退会した → Q2-2へ
 ③加入していない → Q2-5へ
 ④わからない → Q3-1へ

※02-1で「①加入している」または「②加入していたが退会した」と回答した方に伺います。

Q2-2 町会に加入したきっかけは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①親の世代から加入しているの ②転入前のところでも加入していたので
 ③ペンフレットなどで町会があるのを知ったので ④町会から勧誘があったので
 ⑤知人が加入していたので ⑥加入するのが当然だと思うから
 ⑦現在の住宅に入居するとき義務付けられていたから
 ⑧その他 ()

※02-1で「①加入している」または「②加入していたが退会した」と回答した方に伺います。

Q2-3 町会に加入して良かったことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①近隣で知り合いが増える ②困ったことなどが起こった時に相談しやすい
 ③女将に地域の催しに参加できる
 ④地域や行政 (区役所、警察、消防など) について様々な情報が手に入る
 ⑤防犯・防災や福祉などの活動があり、安心して暮らすことができる
 ⑥人の役に立てる喜びが得られる ⑦住みやすい地域づくりに貢献できる
 ⑧特にない ⑨その他 ()

※02-1で「①加入している」と回答した方に伺います。

Q2-4(1) これまで町会を退会しようと思ったことはありますか (1つだけ)。

- ①思ったことがある →Q2-4(2)へ
 ②思ったことはない →Q3-1へ

※02-4(1)で「①思ったことがある」または02-1で「②加入していたが退会した」と回答した方に伺います。

Q2-4(2) 退会しようと思ったり、または、退会した理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①忙しくて、活動に参加できなから ②活動に参加したくないから
 ③町会が何をしているかわからないから ④活動や行事が楽しくないから
 ⑤加入するメリットがわからないから ⑥会費を払いたくないから・私えないから
 ⑦近所づきあいが面倒であるから ⑧町会に馴染めないから
 ⑨役員をやりたいくないから ⑩周りの人が退会したから
 ⑪その他 ()

※02-1で③加入していない理由を記入してください。

Q2-5 町会に加入していない理由は何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- ①地域との関わりが薄いの加入しにくいから (子供の学校が他の地域等)
- ②就業状況により活動に参加できないと思ったから
- ③家族の状況により活動に参加できないと思ったから
- ④自分のライフスタイルや価値観と合わないから
- ⑤加入するきっかけがなかったから
- ⑥町会及び活動内容が分からないから
- ⑦町会の情報を得ることができないから
- ⑧魅力的な活動や、参加したい活動が少ないと感じるから
- ⑨町会に加入するメリットを感じられないから
- ⑩町会費の負担が困難だから
- ⑪近所付き合いが困るから
- ⑫町会に関心がないから
- ⑬集合住宅内でコミュニティが完結しているから
- ⑭その他 ()

※02-1で③加入していない理由を記入してください。

Q2-6 町会に加入していない理由は何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- ①地域内のつながりがない
- ②地域の情報が入手しづらい
- ③行政 (区役所、警察、消防など) の情報が入手しづらい
- ④地域の行事に参加できない
- ⑤災害時に不安
- ⑥地域の困りごとを相談できない
- ⑦特にならない
- ⑧その他 ()

※02-1で③加入していない理由を記入してください。

Q2-7 どのような状況・条件があれば町会への加入を検討しても良いと思いますか。(当てはまるものを全てに○)

- ①活動内容がわかる情報発信があれば
- ②町会及び加入に関する丁寧な説明があれば
- ③町会活動している同年代の人や知人からの勧誘があれば
- ④加入しやすい雰囲気があれば
- ⑤未加入者も参加できる行事があり、町会の雰囲気を知ってから加入を検討することができれば
- ⑥活動内容が見直しされ、参加したいと思う活動が実施されたら
- ⑦ライフスタイルに配慮された活動参加が可能であれば
- ⑧子育て等が一段落し、自分自身にゆとりができれば
- ⑨定年退職し、自分自身にゆとりができれば
- ⑩明確で手続きしやすい加入方法があれば
- ⑪会費が見直しされれば
- ⑫わからない ()
- ⑬その他 ()

■ここからの質問は、町会加入・未加入に関係なく、全ての方がご回答ください。

3 町会の活動について

Q3-1 以下の項目は、主な町会活動の事例です。

- (1)この中であなたが特に力を入れてほしいと思う活動に○を付けてください。(いくつでも)
- (2)また、町会加入・未加入に関わらず、あなた自身もそれぞれの活動に参加してみたいと思うか、全ての項目について、あてはまる部分に○を付けてください。

活動内容 その他がある場合は他の () に内容を記入のうえ、 該当箇所に○を付けてください。	山符に力を入れてほしい活動 (いくつでも)		(2) 活動に参加してみたいと思うか (①～③全ての項目について)	
	ぜひ参加したい	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言えば参加したくない
回答例④高齢者の見守り活動		○	○	
回答例⑤子供の見守り活動				
①住民の親睦や交流を図るためのイベント				
②町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知				
③ホームページやSNS(LINE・Facebook)などを使った町会に関する情報発信				
④高齢者の見守り活動				
⑤子供の見守り活動				
⑥子育て支援に関する活動				
⑦外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発				
⑧防犯パトロール				
⑨交通安全運動				
⑩防災訓練等、防災に関する活動				
⑪リサイクル、資源の集団回収				
⑫地域の清掃活動				
⑬その他 ()				

Q3-2 町会活動に参加したことはありませんか。

- ①ある →Q3-3へ
- ②ない →Q3-4へ

※03-2で①あると回答した方に伺います。

Q3-3 町会活動に参加してよかったことは何ですか。(当てはまるものを全てに○)

- ①地域に溶け込めたと感じる
- ②人や地域の役に立てると感じた
- ③近隣で知り合いが増え、困り事の相談がしやすくなる
- ④地域や行政について様々な情報が手に入る
- ⑤防犯・防災や福祉等の活動があり、安心して暮らしやすいと感じる
- ⑥その他 ()

※03-2で②をいじると回答した方に似ています。

Q3-4 今後、どのようなきっかけや条件があれば町会活動に参加したいと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

- ①町会に加入・未加入問わず誰でも参加できる行事があれば(町会外の友人・知人と参加できる行事)
- ②同年代の人や知人が参加していれば ③来しそり・魅力的な活動内容だったら
- ④自分の得意分野を活かすことができる活動内容があれば
- ⑤気軽な参加が可能なら
- ⑥できる範囲・できることでの参加が可能なら
- ⑦都合のつく開催日時であれば ⑧子育て等が一段落し、自分自身にゆとりができたら
- ⑨定年退職し、自分自身にゆとりができたら
- ⑩参加者が安ければ ⑪わからない
- ⑫その他 ()

Q3-5 町会活動に関して、以下のとおり、それぞれ当てはまる数字に○を付けてください。

<p>A ●現在町会に加入している方</p> <p>●町会に加入していたが退会した方は、町会の活動にどのくらい満足しているかは、どのくらい重要な活動内容か (A)活動の満足度に○を付けてください。</p>	<p>B ●現在町会に加入していない方</p> <p>●町会に加入しているか分らない方は、どのくらい重要な活動内容か (B)活動の重要度に○を付けてください。</p>
---	--

活動内容	(A)活動の満足度	(B)活動の重要度
①から⑫まで、ご自身の町会加入の状況に応じて、「満足度」「重要度」のどちらかの欄に○を付けてください。その他がある場合は⑬の()内に記入のうえ、右欄番号に○を付けてください。		
回答例 ④高齢者の見守り活動 (町会に加入している方)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
回答例 ⑤子供の見守り活動 (町会に未加入の方)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
①住民の親睦や交流を図るためのイベント	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
②町会掲示板や町会回覧板を使った行政情報の周知	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
③ホームページや SNS(LINE・Facebook など)を使った町会に関する情報発信	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
④高齢者の見守り活動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑤子供の見守り活動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑥子育て支援に関する活動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑦外国人住民との交流や生活ルール・マナーの啓発	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑧防犯パトロール	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑨交通安全運動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑩防災訓練等、防災に関する活動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑪リサイクル、資源の集積回収	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑫地域の清掃活動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑬その他 ()		

4 町会に対するイメージや問題について

Q4-1 町会について、あなたのイメージに近いものをお選びください。(1つだけ)

- ①地域の問題解決につながっている
- ②地域の絆を深めるのに役立っている
- ③地域の安全・安心を支えている
- ④災害に強いまちを目指し活動している
- ⑤きれいで快適なまちづくりに努めている

Q4-2 町会活動の問題点と思うものは何ですか。(3つまで)

- ①若い世代や仕事を持った人が参加しにくい
- ②特定の会員しか運営・行事に関わらない
- ③会員の高齢化
- ④役員になり手が少ない
- ⑤地域の行事や会議等が多い
- ⑥役員や当番が負担である
- ⑦行政からの依頼事項が多い
- ⑧活動内容がマンネリ化している
- ⑨会費が高い
- ⑩活動費の不足
- ⑪活動内容が分かりづらい
- ⑫合意形成に不満がある
- ⑬募金・寄付の徴収
- ⑭祭礼等への関わり
- ⑮その他 ()

5 町会役員について

※以下の質問は、町会に未加入の方も、町会に加入しているとは仮定してご回答ください。

Q5-1 もし次年度の町会役員(〇〇部長など)の依頼を受けたらあなたは引き受けますか。(1つだけ)

- ①引き受ける
- ②内容や条件によって引き受けても良い
- ③どちらとも言えない
- ④あまり引き受けたくない
- ⑤引き受けない

Q5-2 町会役員を引き受けても良いと感じる条件や状況は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- ①役員の仕事内容が明確
- ②仕事の負担が少ない
- ③ライフスタイルに配慮された役員の仕事の分担
- ④業務のマニュアルが整っている
- ⑤任期が決まっている
- ⑥他の役員に同年代の人がいる
- ⑦自分の得意分野を活かすことができ活動内容があれば
- ⑧新しい企画を提案できる雰囲気がある
- ⑨子育て等が一段落し、自分自身にゆとりができたら
- ⑩定年退職し、自分自身にゆとりができたら
- ⑪わからない
- ⑫その他 ()

6 その他

Q6-1 町会の運営及び活動に関して、ご意見などお書きください。

ご協力ありがとうございます。同封の返信用封筒によりご返送ください。

(4) マンション管理組合向けアンケート調査票

台東区 町会活動に関する意識調査

(マンション管理組合用)

【調査ご協力のお願い】

日頃より区政運営にご理解いただき、誠にありがとうございます。
 区では、昨年実施しました「マンション実態調査」の結果等を踏まえ、この度「町会活動」に関する意識調査を実施することとなりました。

町会は、長年におわたって住民相互の連絡、生活環境の整備など、良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行ってまいりました。

しかし、近年になり、世帯構成や居住形態の変化など様々な要因により、町会では会員の減少や役員の高齢化などの課題に直面しています。また、災害発生時には町会を中心とした地域コミュニティの共助・互助機能が重要であり、その強化が求められています。

本調査を通じて町会や区民の皆様の声をお聴きして、今後の地域の活性化や協働のあり方について検討してまいります。ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査は株式会社KITABA に委託して実施いたします。

令和元年10月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

所要時間 15分程度

- アンケートは、「書面回答」または「WEB回答」のいずれかでお願いたします。
- 「書面回答」の場合は、本紙にご記入の上、同封の返信用封筒に入れて下記の回答期限（当日消印有効）までご返送ください。
- 「WEB回答」の場合は、以下のURLにアクセスし、「ID番号」を入力の上、下記の回答期限までにご回答ください。

◇WEBアンケートURL:

<http://taito-choukaisuishiki.jp/~org/survey/index.php/793662>

※右記QRコードで読み取り、表示されたアンケート画面でご回答ください。

◇ID番号

WEB回答用ID番号シール



このID番号は「書面回答」と「WEB回答」で重複がないか確認するためのものです。個人が特定されることはありません。なお、重複回答は無効となる場合がございますので予めご了承ください。

4. 回答期限

10月25日(金)

5. ご不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

【実施主体】台東区 区民課
 電話 03(5246)1111 (代表) 内線2411・2412
 【調査機関】株式会社KITABA 台東区意識調査担当
 電話 03(6456)1033

■地区一覧表

ご自身のお住まいの地区を確認する際にご覧ください。

町名 読み文字	町名	丁目	番	号	地区	
あ	秋葉原	全	全		竹町地区	
		1丁目	1~12番		雷門地区	
		2丁目	13~27番		馬道地区	
		3~4丁目	28~35番		馬道地区	
		5丁目	36~59番		馬道地区	
	浅草	6~7丁目	60~73番		馬道地区	
		1~5丁目	全		浅草橋地区	
		6丁目	1~21番		浅草橋地区	
		7丁目	22~31番		浅草橋地区	
		8丁目	32~59番		浅草橋地区	
い	入谷	1丁目	1~28番		入谷地区	
		2丁目	29~31番		入谷地区	
		3丁目	32~33番		入谷地区	
		4丁目	34~39番		入谷地区	
		5丁目	40~59番		入谷地区	
	上野	1~2丁目	全		上野地区	
		3丁目	10番~29番		上野地区	
		4丁目	全		上野地区	
		5丁目	1~9番		上野地区	
		6丁目	10番		上野地区	
う	上野公園	1丁目	1~14番		上野地区	
		2丁目	15~27番		上野地区	
		3丁目	28~33番		上野地区	
		4丁目	34~39番		上野地区	
		5丁目	40~59番		上野地区	
	上野桜木	1丁目	1~13番		上野地区	
		2丁目	14番		上野地区	
		3丁目	15~18番		上野地区	
		4丁目	19~23番		上野地区	
		5丁目	24~36番		上野地区	
か	雷門	1~2丁目	全		雷門地区	
		3丁目	1~21番		雷門地区	
		4丁目	22~27番		雷門地区	
		5丁目	28~33番		雷門地区	
		6丁目	34~59番		雷門地区	
	浅草橋	1丁目	1~11番		浅草橋地区	
		2丁目	12~19番		浅草橋地区	
		3丁目	20~27番		浅草橋地区	
		4丁目	28~33番		浅草橋地区	
		5丁目	34~59番		浅草橋地区	
こ	駒形	1丁目	1~15番		入谷地区	
		2丁目	16番~23番		入谷地区	
		3丁目	24~27番		入谷地区	
		4丁目	28~33番		入谷地区	
		5丁目	34~59番		入谷地区	
	下谷	1~2丁目	全		入谷地区	
		3丁目	10番~23番		入谷地区	
		4丁目	24~27番		入谷地区	
		5丁目	28~33番		入谷地区	
		6丁目	34~59番		入谷地区	
せ	千束	1~10番			馬道地区	
		11番			馬道地区	
		12~33番			馬道地区	
		34~39番			馬道地区	
		40~49番			馬道地区	
	台東	50~51番				馬道地区
		1~10番				馬道地区
		11番				馬道地区
		12~19番				馬道地区
		20~32番				馬道地区
た	台東	33~39番			馬道地区	
		40~49番			馬道地区	
		50~51番			馬道地区	
		1~10番			馬道地区	
		11番			馬道地区	
	日本堤	12~19番				馬道地区
		20~27番				馬道地区
		28~33番				馬道地区
		34~39番				馬道地区
		40~49番				馬道地区
に	西浅草	1丁目	全		浅草地区	
		2丁目	全		浅草地区	
		3丁目	全		浅草地区	
		4丁目	全		浅草地区	
		5丁目	全		浅草地区	
	日本堤	6丁目	1~14番		浅草地区	
		7丁目	15番		浅草地区	
		8丁目	16番		浅草地区	
		9丁目	17番		浅草地区	
		10丁目	18番		浅草地区	
は	稲場	1丁目	1~2番		浅草地区	
		2丁目	3~20番		浅草地区	
		3丁目	21~24番		浅草地区	
		4丁目	25番		浅草地区	
		5丁目	26~28番		浅草地区	
	花川戸	6丁目	29~30番		浅草地区	
		7丁目	31~32番		浅草地区	
		8丁目	33~34番		浅草地区	
		9丁目	35~36番		浅草地区	
		10丁目	37~38番		浅草地区	
ひ	東上野	1~2番			上野地区	
		3~4番			上野地区	
		5~6番			上野地区	
		7~8番			上野地区	
		9~10番			上野地区	
	東上野	11~12番			上野地区	
		13~14番			上野地区	
		15~16番			上野地区	
		17~18番			上野地区	
		19~20番			上野地区	
ま	三筋	1~2丁目	全		浅草地区	
		3丁目	1~10番		浅草地区	
		4丁目	11~18番		浅草地区	
		5丁目	19~23番		浅草地区	
		6丁目	24~27番		浅草地区	
	元浅草	7丁目	28~33番		浅草地区	
		8丁目	34~39番		浅草地区	
		9丁目	40~49番		浅草地区	
		10丁目	50~51番		浅草地区	
		11丁目	52~59番		浅草地区	
め	三筋	1~2丁目	全		浅草地区	
		3丁目	1~10番		浅草地区	
		4丁目	11~18番		浅草地区	
		5丁目	19~23番		浅草地区	
		6丁目	24~27番		浅草地区	
	元浅草	7丁目	28~33番		浅草地区	
		8丁目	34~39番		浅草地区	
		9丁目	40~49番		浅草地区	
		10丁目	50~51番		浅草地区	
		11丁目	52~59番		浅草地区	
や	谷中	1丁目	全		谷中地区	
		2丁目	全		谷中地区	
		3丁目	全		谷中地区	
		4丁目	全		谷中地区	
		5丁目	全		谷中地区	
	堀橋	6丁目	1~2丁目	全		谷中地区
		7丁目	3~4丁目	全		谷中地区
		8丁目	5~6丁目	全		谷中地区
		9丁目	7~8丁目	全		谷中地区
		10丁目	9~10丁目	全		谷中地区
り	堀橋	11丁目	11~12丁目	全	谷中地区	
		12丁目	13~14丁目	全	谷中地区	
		13丁目	15~16丁目	全	谷中地区	
		14丁目	17~18丁目	全	谷中地区	
		15丁目	19~20丁目	全	谷中地区	
	堀橋	16丁目	21~22丁目	全	谷中地区	
		17丁目	23~24丁目	全	谷中地区	
		18丁目	25~26丁目	全	谷中地区	
		19丁目	27~28丁目	全	谷中地区	
		20丁目	29~30丁目	全	谷中地区	

1 管理組合及びマンション等について

Q1-1 回答者及び管理されているマンション等について伺います。

(1) 回答者	①管理組合理事長 ②管理組合から委託されている管理会社・管理人 ③その他 ()
(2) 所在地	町名 _____丁目 <回答例> 西浅草 2 / 日 _____地区 <回答例> 雷門 地区 ↑ P2の地区一覧をご確認の上、該当する地区をお書きください。
(3) 総戸数	①10戸未満 ②10戸以上20戸未満 ③20戸以上30戸未満 ④30戸以上50戸未満 ⑤50戸以上100戸未満 ⑥100戸以上
(4) 築年数	①5年未満 ②5年以上10年未満 ③10年以上15年未満 ④15年以上20年未満 ⑤20年以上
(5) 住居形態	①分譲 ②賃貸 ③分譲・賃貸混合 ④その他 ()
(6) 管理人の形態	①住込みで管理(常駐) ②日勤(通勤)で管理 ③巡回で管理 ④居住者の一人が管理 ⑤緊急呼び出しできる警備会社 ⑥いない
(7) マンション居住者の町会役員有無	①町会長・副会長がいる ②その他役員がいる ③役員はいない ④わからない・把握していない

Q1-2 あなたのマンションでは町会に加入していますか。

- ①マンション全体で加入 (Q1-3へ)
- ②居住者が個別に加入 (Q1-5へ)
- ③未加入 (Q1-4へ)
- ④わからない (Q1-6へ)

※Q1-2で「①マンション全体で加入」と回答した方に伺います。

Q1-3 町会に加入しているなかで、どのように感じていますか。

項目	町会に加入して感じていること				
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
①から③まで、それぞれについて○を付けてください。 回答例①地域や行政について様々な情報が手に入りやすい	1	2	3	4	5
①地域や行政(区、警察、消防等)について様々な情報が手に入りやすい	1	2	3	4	5
②防犯・防災や福祉などの活動があり安心して暮らすことができる	1	2	3	4	5
③困ったことなどが起こった時に町会に相談しやすい	1	2	3	4	5
④近隣住民とのトラブルが減った	1	2	3	4	5
⑤マンション居住者同士のコミュニケーションが増えた	1	2	3	4	5
⑥町会との関わりが少くない	1	2	3	4	5
⑦加入しているメリットがない	1	2	3	4	5
⑧行事や活動による負担が増えた	1	2	3	4	5
⑨近隣住民とのトラブルが増えた	1	2	3	4	5

※Q1-2で「③未加入」を回答した方に伺います。

Q1-4 町会に加入していない理由は可ですか。(当てはまるものを全てに○)

- ①町会に加入したい・してもよいと考えているが、町会から勧誘等がなかったから
- ②マンション内で、加入するかしないか意見が分かれたから
- ③町会に加入する必要やメリットが感じられないから
- ④町会がわからない、町会との接点がないから
- ⑤町会との考えや意向が合わない、又は合わなかったから
- ⑥加入することで付き合いなどが煩わしくなると感じたから
- ⑦特にない
- ⑧その他 ()

※Q1-2で「②居住者が個別に加入」及び「③未加入」を回答した方に伺います。

Q1-5 以下のことについて、町会加入・未加入に関わらず、管理組合として、町会への協力は可能かどうか、それぞれあなたのお考えに近いものに○を付けてください。

項目	町会への協力について				
	可能である	内容や状況によって異なる	どちらとも言えない	難しい	わからない
①から③まで、それぞれについて○を付けてください。 その他がある場合は⑤の()内に記入のうえ、○を付けてください。	1	2	3	4	5
回答例①町会行事への参加	1	2	3	4	5
①町会行事への参加	1	2	3	4	5
②町会の防災訓練への参加	1	2	3	4	5
③災害時の要支援者に対する相互の取組	1	2	3	4	5
④マンション居住者(町会未加入者)に対して町会が行う勧誘活動の受入れ	1	2	3	4	5
⑤マンション敷地や集会室等を町会活動のために貸し出し	1	2	3	4	5
⑥町会定例会や役員会への管理組代表者の出席	1	2	3	4	5
⑦マンション理事会への町会役員の出席	1	2	3	4	5
⑧その他 ()	1	2	3	4	5

※町会への加入・未加入に関わらず、すべての方に伺います。

Q1-6 あなたのマンションでは、地域の町会に所属せず、マンション単独で一つの町会を組織して活動することを検討したことがありますか。

- ①ある
- ②ない

2 町会とのかわりについて

Q2-1 管理組合と町会との関わりはどのくらいありますか。(1つだけ)

- ①日頃から関わりがある } → Q2-2 へ
 ②ある程度関わりがある }
 ③あまり関わりはない }
 ④ほとんど関わりはない } → Q2-3 へ
 ⑤わからない }

※Q2-1で①日頃から関わりがある、または②ある程度関わりがあるを回答した方に伺います。

Q2-2 どのような関わりをされていますか。(当てはまるものを全てに○)

- ①町会行事の準備や実施に協力している
 ②敷地や集会室等の貸し出しをしている
 ③在例会や役員会等に出席している
 ④防災時の連絡体制がある、または連絡を検討している
 ⑤その他 ()

※以下Q2-6まで、町会との関わりが有り無しに関わらず、すべての方に伺います。

Q2-3 町会について、あなたのイメージに近いものをお選びください。(1つだけ)

- ①地域の問題解決につながっている ②地域の絆を深めるのに役立っている
 ③地域の安全・安心を支えている ④災害に強いまちを目指し活動している
 ⑤きれいで快適なまちづくりに努めている

Q2-4 マンション居住者の町会に加入しない理由はどのようなことだと思いますか、それぞれあなたの
 お考えに近いものに○を付けてください。(3つまで)

- ①地域への愛着がない居住者が増えていること
 ②居住者から町会活動への理解が得られなくなっていること
 ③マンションを含めた地域における、災害時の共助への理解がないこと
 ④町会費を払いたくないと考える居住者が増えていること
 ⑤管理組合が十分機能しており、町会に加入する必要がないこと
 ⑥町会加入のメリットが居住者にとってわかりづらいこと
 ⑦町会に加入しづらい雰囲気があること
 ⑧魅力的な町会活動が少ないこと
 ⑨町会からの情報発信が少ないこと
 ⑩町会が居住者のニーズを把握していないこと
 ⑪その他 ()

Q2-5 マンション居住者の町会活動への参加を増やすために、どのようなきっかけや条件があればいい
 と思いますか。(当てはまるものを全てに○)

- ①町会に加入・未加入に関わらず誰でも参加しやすい雰囲気があれば
 ②町会活動している同年代の人や知人からの勧誘があれば
 ③楽しそう・魅力的な活動内容があれば
 ④大災害に備え、共助の取組みがあれば
 ⑤気軽な参加が可能であれば
 ⑥できる範囲・できることでの参加が可能であれば
 ⑦都合のつく開催日時であれば
 ⑧参加費が安い
 ⑨わからない
 ⑩その他 ()

Q2-6 町会から「町会の役割」「町会の年間行事」等のPRや、声かけのため、マンション理事会等に
 参加希望の申し出があった場合、受入れは可能ですか。(1つだけ)

- ①可能 ②内容によって可能 ③理事や居住者の承諾があれば可能 ④難しい

3 その他について

Q3-1 マンション居住者同士のコミュニケーションが図られていると思いますか。

- ①日頃からコミュニケーションが図られている
 ②ある程度コミュニケーションがある
 ③イベントや会議の際にコミュニケーションをとる程度である
 ④あまりコミュニケーションは図られていない
 ⑤わからない

Q3-2 町会との防災共助に関わる取組について教えてください。

- ①必要だと思いい、既に取組んでいる } → Q3-3 へ
 ②必要だと思いい、今後取組む予定である }
 ③必要だと思いい、取組めていない } → Q3-4 へ
 ④あまり必要だと思わないため、今後の取組の予定もない }
 ⑤全く必要ではない } → Q3-5 へ

※03-2で「①必要だと思ひ、既に取組んでいる」または「②必要だと思ひ、今後取組む予定である」と回答した方に
お聞きします。

Q3-3 具体的ことのような取組を実施していますか、実施する予定ですか。

※03-2で「③必要だと思ひ、取組めていない」と回答した方にお聞きします。

Q3-4(1) 具体的ことのような取組が必要だと思いますか。

- ①町会と合同の防災訓練
- ②防災に関する講座の共同実施
- ③災害時の近隣住民確認での連携
- ④災害時の要支援者情報の共有
- ⑤水害時の垂直（高所）避難における共有部開放
- ⑥災害時の備蓄品の共同管理
- ⑦その他（ ）

※03-2で「③必要だと思ひ、取組めていない」と回答した方にお聞きします。

Q3-4(2) 取組めていない理由や原因と考えられることをご記入ください。

Q3-5 町会の運営及び活動に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒によりご返送ください。

台東区 町会活動に関する意識調査 報告書

令和2年3月

平成31年度登録第17号

発行：台東区 区民部 区民課

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03(5246)1111(代表)

内線2411・2412